

平成10年度

学校教育要覧

日野市教育委員会

日野市立図書館 081-7354



5051344

目 次

◇ 日野市教育委員会の教育目標	1
◇ 学校における主な教育推進施策と指導の重点	2
◇ 東京都教育委員会の教育目標	5
◇ 日野市の教育目標及び学校における主な教育推進施策と指導の重点	8
◇ 日野市教育委員会学校教育関係及び日野市立幼・小・中学校（園）行事予定表	9
◇ 日野市教育委員会指導室の年間事業計画	2 1
◇ 日野市教育委員会研修事業	2 6
◇ 日野市教育委員会の学校訪問	3 2
◇ 日野市教育委員会事務局組織	3 4
◇ 指導主事事務分担	4 2
◇ 日野市立教職員研究室	4 4
◇ 日野市心身障害教育推進協議会	4 7
◇ 日野市立小学校科学教育センター	4 9
◇ 日野市公立学校・幼稚園一覧	5 2
◇ 校長・教頭事業担当一覧	5 4
◇ 管理運営規則第八条に基づく主任一覧表	5 8
◇ 日野市立小・中学校主任及び担当一覧	6 0
◇ 研究奨励事業	6 6
◇ 東京都教育研究員等一覧	7 0
◇ 日野市立小・中学校使用教科書	7 1
◇ 就職・進学状況の推移	7 2
◇ 園児・児童・生徒・学級数	7 3
◇ 幼稚園児・小学校児童・中学校生徒数の推移	7 5
◇ 日野市立小・中学校施設一覧	7 6
◇ 避難場所と地区割当表	7 8
日野市立第一幼稚園	7 9
" 第二 "	8 0
" 第三 "	8 1
" 第四 "	8 2
" 第五 "	8 3
" 第六 "	8 4
" 第七 "	8 5
日野市立日野第一小学校	8 6
" 日野第二 "	8 9
" 日野第三 "	9 2
" 日野第四 "	9 5
" 日野第五 "	9 8
" 日野第六 "	1 0 1
" 潤 徳 "	1 0 4
" 平 山 "	1 0 7
" 日野第八 "	1 1 0
" 百草台 "	1 1 3
" 滝 合 "	1 1 6
日野市立高 幡 台小学校	1 1 9
" 日野第七 "	1 2 2
" 南 平 "	1 2 5
" 程 久 保 "	1 2 8
" 旭 が 丘 "	1 3 1
" 平 山 台 "	1 3 4
" 東 光 寺 "	1 3 7
" 三 沢 台 "	1 4 0
" 仲 田 "	1 4 3
日野市立日野第一中学校	1 4 6
" 日野第二 "	1 4 9
" 七 生 "	1 5 2
" 日野第三 "	1 5 5
" 日野第四 "	1 5 8
" 三 沢 "	1 6 1
" 大 坂 上 "	1 6 4
" 平 山 "	1 6 7

日野市教育委員会の教育目標

1. 教育目標

(1) 教育委員会の目標

日野市教育委員会は、日野市民一人一人が、いきいきと心豊かに、生涯を通じて学び続けることを目指し、教育・文化・スポーツの発展に努める。

- ① 自他を尊重する心豊かな人間性をのばす。
- ② たくましく生きる健やかな体をつくる。
- ③ 自ら学び続ける意欲と能力を高める。
- ④ 自然や文化を大切にする態度を養う。
- ⑤ 国際社会に生きる能力と態度を育む。

(2) 教育目標を達成するための基本方針

- ① 幼児・児童・生徒一人一人の個性や能力を伸ばし、豊かな人間性を育むために、学校教育の内容・方法の改善・充実に努め、生涯にわたる学習の基礎を培う教育活動を一層推進する。
- ② 教育施設・設備を充実し、その有効な活用と保全に努め、地域社会の人々へ積極的に開放する。
- ③ 学校・家庭・地域社会の連携に努め、学校週5日制の主旨を生かし、地域活動の活性化を図る。
- ④ 市民の多様な学習活動を支援するとともに、地域における青少年教育を進める。
- ⑤ 公民館活動及び図書館・ふるさと博物館の資料等の充実とその機能を生かし、市民の学習の機会を拡充する。
- ⑥ スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用に努め、地域の活動組織を育成し、市民の健康づくりを支援する。
- ⑦ 学校教育・家庭教育・社会教育の緊密な連携を図り、地域の自然や文化を愛し大切にする態度の育成に努める。
- ⑧ 地域に住む外国の人々とともに生きる、国際社会で活動できる態度の育成につとめる。

学校における主な教育推進施策と指導の重点

【主な教育推進施策】

日野市教育委員会は、先の教育目標を達成するため、次のことを学校教育において推進する。

1. 人権尊重の教育の推進

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目標を達成するために、学校の教育活動全体を通して、人権尊重の教育を行い、あらゆる偏見や差別の根絶に努める。

各学校においては、全教育活動を通して人権尊重の精神を培い、一人一人の児童・生徒の個性と創造性を伸ばし、互いに認め合い、支え合い、励まし合うなど人権を尊重する態度を育む。

また、道徳教育や人間としての在り方生き方にかかわる指導を充実するとともに、男女平等の教育を推進する。

2. 社会性を育む教育の推進

児童・生徒を健全な社会人として育成するために、郷土を愛する心を培い、地域社会の一員としての自覚を促し、地域社会の形成者としての資質を育てる。

各学校においては、家庭・地域・関係諸機関等との連携を一層深め、地域に根ざした学校教育を推進し、児童・生徒が地域の自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を育む。

また、社会人講師の活用や、地域の自然・文化を積極的に教育活動に取り入れるなど、指導内容・方法を改善し、社会性を育む教育を推進する。

3. 環境教育の推進

地球上の全ての生命の生存と尊厳に重大な影響をもたらす事象に関心をもちその保全に配慮した望ましい働きかけのできる技能や思考力、判断力を身につけ、よりよい環境の創造活動に主体的に参加する態度を育てる。

各学校においては、児童・生徒が全教育活動を通して、自然をいつくしむ心を育てるとともに、環境の保護や改善に主体的に働きかける行動力や実践的な意欲、能力、態度を育む。

また、日常の教育活動において、環境副読本「美しいまち日野」の活用を図るなど、環境教育を推進する。

4. 国際理解教育の推進

国際的な視野をもち、世界の平和に貢献できる児童・生徒を育成するために我が国と諸外国との生活や文化の相違を理解し、これを尊重する態度を育むとともに、コミュニケーション能力の育成に努め、進んで国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てる。

各学校においては、我が国の風土、生活様式、人々の生き方や考え方などの学習を通して、自国の文化や伝統について理解することや、国際協力に果たす個人や国家の役割について主体的に学ぶ態度を育む。

また、全教育活動を通して異文化理解の機会や、国際的な交流の機会を生かして、さまざまな

人々とのふれあいを通して、国際社会に生きる力を育む教育を推進する。

【指導の重点】

各学校では、教育研究・研修を充実し、教師一人一人が識見や指導力を高め教育活動を充実するとともに、家庭・地域社会との連携を一層深め、開かれた学校としての教育活動を展開する。

さらに、次のことを日常の教育における指導の重点として、学校教育の一層の充実・向上に努める。

1. 学習指導の改善・充実

各学校においては、次の点に重点をおいて、個に応じた指導や体験的な活動を重視するなど、指導内容・方法並びに評価の改善を進め、各教科等の基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、柔軟な思考力や創造力、表現力を育成するなど、生涯を通して学び続ける意欲と態度を育む。

- (1) 学校評価を年間を通して計画的に実施し、自校の年間指導計画を生かして計画的・組織的に教育活動を展開する。
- (2) 小集団による個を生かす学習活動、チーム・ティーチングによる学習指導、体験を基にした学習活動、地域の素材を生かした指導など、児童・生徒の学習過程に視点をおいた実践・研究を行う。
- (3) 指導内容・方法、指導形態を創意工夫し、児童・生徒の側に立った学習指導を行うなど、各教科等の特性を生かし、自ら学ぶ意欲や生涯を通じて学び続ける基礎を培う学習指導を積極的に行う。
- (4) 積極的に教育機器や、学校図書館を活用し、情報を選択し活用する能力を高める学習活動を行う。

2. 生活指導・進路指導の充実

各学校においては、次の点に重点をおいて児童・生徒が生き生きと意欲的に生活することができるよう、教育相談を積極的に進め、一人一人の児童・生徒のよさを深く理解し指導・援助するなど、全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う。

- (1) 学級経営の充実に務め、一人一人の児童・生徒の自己存在感を高める指導を計画的・継続的に行い、互いに認め合い、励まし合い、支え合う態度を育成する。
- (2) 学級活動等の指導内容・方法を創意工夫し、児童・生徒が自己理解を深めて、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を育成する。
- (3) 児童・生徒の奉仕的な活動など、社会活動への参加を一層促進し、地域社会の一員としての自覚を高める。
- (4) 家庭・地域・関係諸機関との連携を密にして、人と人との関わりを重視した指導の徹底に努め、健全な児童・生徒を育成する。

3. 健康・安全指導の充実

各学校においては、計画的・組織的に、生命の大切さを十分指導し、健康・安全についての理

解を徹底させ、自ら進んで健康の保持・増進や体力の向上を図る能力と態度を育成する。

- (1) 児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ態度を身につけ、心身を鍛え、生涯にわたってスポーツを継続することができるよう指導内容・方法を工夫し、体育活動の充実に努める。
- (2) 全教育活動を通して、性教育を組織的・計画的に行い、児童・生徒が人間の性やエイズに関する理解を深め、成長過程における課題に適切に対応できるよう指導・援助する。
- (3) 計画的・組織的に安全指導や安全管理を徹底し、事故防止に努める。
- (4) 多様な事態を想定した避難訓練等を計画的に実施し、学校における震災等に対する安全指導を徹底するとともに、学校の防災計画の周知徹底を図る。

4. 心身障害教育の充実

各学校においては、交流教育や理解教育を積極的に進めるとともに、個別の教育プログラムによる指導の展開等の研究を深め、心身障害教育を充実する。

- (1) 心身障害理解教育を推進し、児童・生徒・保護者並びに全教職員の理解を深める。
- (2) 障害の種類や程度に応じた適切な教育計画と指導内容・方法について創意工夫するとともに、児童・生徒の実態に即した交流教育を推進する。
- (3) 家庭、医療機関及び関係諸機関との連携を深めるとともに、継続的な教育相談活動を一層充実する。
- (4) 児童・生徒理解を基に個別教育プログラムを作成し、小集団による指導や個別の指導など、指導内容・方法を創意工夫し、一人一人の発達課題に即した指導を行う。

5. 幼児教育の充実

各幼稚園においては、幼児教育にかかわる研究・研修を充実し、幼児一人一人の発達にとともなう課題を適切にとらえ、豊かな人間性を育む教育内容・方法の改善・充実に努め、人間形成の基礎となる心情、意欲、態度を育む。

- (1) 幼児の生活態度や心身の発達の筋道をふまえ、教育内容・方法を工夫・改善し、幼児一人一人が十分に自己を発揮して活動できるようにする。
- (2) 身近な人と積極的にかかわる活動などを通して、基本的な生活習慣や社会性を育み、人間としての在り方、生き方の基礎を育成する。
- (3) 地域の特性を生かした教育活動を充実することや、幼児の興味や関心、意欲を大切に十分遊び込める環境を用意して、豊かな感性を育み、表現力や人とかかわる力を高める。
- (4) 小学校や関係諸機関、保護者、地域社会との連携を図り、家庭や地域社会に開かれた幼稚園教育を展開し、幼児の健全な育成に努める。

※ 学校を、園・学校に、児童・生徒を、幼児・児童・生徒に読み代える。

東京都教育委員会の教育目標

東京都教育委員会は、人間尊重の精神を基調とし、子どもたちが、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな都民として成長することを願い、学校教育、社会教育の緊密な連携のもとに、誰もが生涯を通じて主体的に学ぶことのできる生涯学習社会の実現を図り、もって、普遍的でしかも個性豊かな文化の創造と豊かな社会の形成に貢献することを期して、教育の推進を図る。

「東京都教育委員会の基本方針」

東京都教育委員会は、「教育目標」を達成するため、以下の「基本方針」及び当面の教育行政の課題と施策の方向に基づき、総合的に教育施策を推進する。

【基本方針 1 人権尊重の教育の推進】

日本国憲法及び教育基本法の精神に基づき、また児童の権利に関する条約等の趣旨を尊重して学校教育活動と社会教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくすため、人権尊重の教育を推進する。

- (1) 人間尊重の精神のもとに、一人一人の児童・生徒の成長・発達と自己実現の達成を図る同和教育を推進するとともに、すべての都民が人権尊重の精神を培い、同和問題をはじめ人権問題への正しい理解と認識を深めることができるよう努める。
- (2) 障害のある人が社会の一員として平等に活動できる社会の実現を目指し、相互理解と連帯を育む教育を推進する
- (3) 男女平等観に立った人間形成と社会的風土づくりを目指し、男女平等教育を推進する。
- (4) 人種、民族等を異にすることによって、人権が損なわれることのないよう、人権尊重を基盤とした国際理解教育を推進する。

【基本方針 2 生涯学習の振興】

都民が、生涯を通じていつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会を実現するため、生涯学習の基盤整備を図る。

- (1) 都民の生涯学習を総合的に支援できるよう、都民が主体的に学習・活動をするための条件整備を進め、区市町村、学校、大学、民間機関との連携を推進し、生涯学習ネットワークの整備・充実を図る。

- (2) 都民が学習成果を生かし地域社会や国際社会等で行うボランティア活動等を支援できるよう、情報の収集・提供や相談等の充実を図る。
- (3) 体育施設や教育等の地域解放、余裕教室の有効活用を進めるとともに、公開講座を実施するなど、学校の教育機能を地域の人々に積極的に開放し、地域における生涯学習の拠点として開かれた学校づくりを推進する。
- (4) 学校週5日制の趣旨を生かし、学校・家庭・地域社会それぞれの教育機能の充実と相互の連携の強化を図る。

【基本方針 3 児童・生徒の健全育成の推進】

いじめをなくし、子どもたちが、人間性豊かな社会の形成者として健やかに成長できるよう、区市町村、関係機関と協力し、学校・家庭・地域社会の緊密な連携のもとに、すべての子どもたちの「心とからだの健康づくり」の推進を図る。

- (1) 人権尊重の精神の育成、基本的な生活習慣の育成、社会性・道徳性の育成、健康の保持・増進を視点として、児童・生徒の健全育成のための施策の総合的・体系的推進を図る。
- (2) 子どもたちが、生活体験や自然体験などを通して、豊かな人間関係をはぐくんでいくことができるよう、多様な活動の機会や場の充実を図り、教育環境の整備に努める。
- (3) いじめ、登校拒否（不登校）や中途退学など、児童・生徒の多様な課題に対応するため、学校における指導体制や相談機能を充実するとともに、いじめや登校拒否（不登校）に関する相談、就学・進路に関する相談等を含めた総合的な教育相談機関の充実を図る。
- (4) 性に関する問題行動及び薬物乱用問題などに対応するため、家庭・地域社会・関係諸機関との連携のもとに、学校における性教育、薬物乱用防止に関する指導の推進を図る。

【基本方針 4 個性を生かす学校教育の充実】

児童・生徒が、生涯を通じて社会の変化に主体的に対応して成長できるよう、基礎・基本の徹底と、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等の資質・能力の育成を重視して、一人一人の個性を生かす教育の充実を図る。

- (1) 児童・生徒の特性や進路希望の多様化等に対応し、個性を重視した多様な教育を推進する。
高校においては、多様で弾力的な教育課程の編成を図るとともに、総合学科や単位制等の新しいタイプの高校の設置など学校の個性化・特色化の推進、教職員配置や施設設備等の教育諸条件の整備と併せて、学校の規模・配置の適正化を図るなど、都立高校の改革を計画的に推進する。
- (2) 児童・生徒の健康づくりを進めるとともに、生涯を通じて運動を实践できる基礎を培うため学校における体育・スポーツの充実を図る。

- (3) 心身に障害のある児童・生徒が、その能力・特性等を最大限に伸ばし成長・発達していけるように、それぞれに障害及び発達の状態に応じた適切な教育環境を整備し、心身障害教育の充実を図る。
- (4) 社会の大きな変化にかかわる現代的課題について、児童・生徒が関心をもち認識を深めることができるよう、情報教育、国際理解教育、福祉教育、環境教育、消費者教育、安全教育などを推進する。
- (5) 教職員の資質・能力の向上、学校内の指導体制の確立を図るとともに、家庭や地域社会と連携して開かれた学校経営の充実に努める。
- (6) 多様な教育活動や地域住民の利用、さらに災害時における学校の役割に配慮して、学校施設の整備を計画的に推進する。

【基本方針 5 多様な学習機会を提供する社会教育の充実】

都民が、生涯の各時期にわたって多様な学習機会を選択して学ぶことができるよう、学習の機会や場を提供するなど、社会教育の充実を図る。

- (1) 情報化、国際化、高齢化、環境問題などの現代的な課題についての学習の機会や場の提供を行うとともに、都民の学習ニーズの多様化・高度化に対応した社会教育施設の整備を進め、図書館のネットワーク化を推進するなど都民の学習活動の利便の向上を図る。
- (2) 家庭教育に関する情報や多様な学習・交流の機会を提供するなど、関係機関・関係団体との連携のもとに、家庭教育の支援に努める。

【基本方針 6 文化・スポーツ・レクリエーションの振興】

都民が、生涯を通じて文化・スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるよう、活動の機会や場を提供するなど支援を行う。

- (1) 都民が身近に文化に親しめる環境づくりを目指して博物館・美術館・ホール等の文化施設を整備し、芸術文化の様々な鑑賞の機会と文化の創造・交流の場を充実させるとともに、東京に伝わる有形・無形の文化財の保存、活用と都民がそれらに接する機会の拡充を図る。
- (2) 都民の健康づくり、生きがいづくりを進め、スポーツ・レクリエーションの振興を図るため、楽しむスポーツから競技スポーツまでを含めて、スポーツ施設の整備・活用、指導者の養成、活動組織の育成等に努める。

平成10年度 日野市の教育目標及び学校における主な教育推進施策と指導の重点

平成10年4月2日
日野市教育委員会

教育目標

1. 自他を尊重する心豊かな人間性をのばす
2. たくましく生きる健やかな体をつくる
3. 自ら学び続ける意欲と能力を高める
4. 自然や文化を大切にする態度を養う
5. 国際社会に生きる能力と態度を育む

◆東京都教育委員会の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、子どもたちが、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな都民として成長することを願い、学校教育、社会教育の緊密な連携のもとに、誰もが生涯を通じて主体的に学ぶことのできる生涯学習社会の実現を図り、もって、普遍的でしかも個性豊かな文化の創造と豊かな社会の形成に貢献することを期して、教育の推進を図る。

教育目標を達成するための基本方針

1. 幼児・児童・生徒一人一人の個性や能力を伸ばし、豊かな人間性を育むために学校教育の内容・方法の改善・充実に努め、生涯にわたる学習の基礎を培う教育活動を一層推進する。
2. 教育施設・設備を充実し、その有効な活用と保全に努め、地域社会の人々へ積極的に解放する。
3. 学校・家庭・地域社会の連携に努め、学校週5日制の主旨を生かし地域活動の活性化を図る。
4. 市民の多様な学習活動を支援するとともに、地域における青少年教育を進める。
5. 公民館活動及び図書館・ふるさと博物館の資料等の充実とその機能を生かし、市民の学習の機会を拡充する。
6. スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用にも努め、地域の活動組織を育成し、市民の健康づくりを支援する。
7. 学校教育・家庭教育・社会教育の緊密な連携を図り、地域の自然や文化を愛し大切にする態度を育成するとともに行動する力を育む。
8. 地域にすむ外国の人とともに生き、国際社会で活動できる態度の育成に努める。

◆21世紀に向けての教育改革の視点

1. 個性重視の原則
 2. 生涯学習体系への移行
 3. 変化への対応
- ◇ 教育課程の基準の改善のねらい
1. 豊かな心をもち、たくましく生きる人間の育成
 2. 自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成の重視
 3. 国民として必要とされる基礎的・基本的な内容を重視、個性を生かす教育の充実
 4. 国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成の重視
- ◇ 第15期中央教育審議会第一次答申
- ◇ 同 第二次答申
- ◇ 教育課程審議会中間のまとめ
- ◇ 幼児期からの心の教育

教育研究課題

個性尊重の教育の推進

- ア 小集団による主体的・創造的な学習活動
- イ ティームティーチングによる指導の実践
- ウ 体験的な学習活動の実践
- エ 地域の素材を生かした教育の実践

人権尊重の教育の推進

- ・ 学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくす。
- ・ 一人一人の児童・生徒の個性と創造性を伸ばし、人権尊重の精神を培い、互いに認め合い、支え合い、励まし合う態度を育む。

社会性を育む教育の推進

- ・ 地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れ、地域に根ざした学校教育を推進する。
- ・ 児童・生徒が地域の自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感・学校への所属意識を育む。

環境教育の推進

- ・ よりよい環境の創造活動に主体的に参加する態度を育てる。
- ・ 自然を慈しむ心を育てるとともに、環境の改善に主体的に働きかける行動力や実践的な意欲・態度・技能を育む。

国際理解教育の推進

- ・ 国際的な視野をもち、世界の平和に貢献できる児童生徒を育成する。我が国の風土等の学習を通して、自国の文化や伝統について理解することや、国際協力に果たす個人や国家の役割を主体的に学ぶ態度を育む教育を推進する。

学校における主な教育推進施策

学校における指導の重点

- ### 学習指導の改善・充実
- ・ 基礎的・基本的な内容の指導
 - ・ 個性を生かす教育の充実
 - ・ 指導内容・方法・評価の改善
 - ・ 柔軟な思考力や創造力の育成
 - ・ 生涯を通して学び続ける意欲と態度の育成
- 1 学校評価の計画的実施、年間指導計画による指導の展開
 - 2 小集団による学習活動、ティームティーチング、体験的な学習活動、地域素材を生かした指導
 - 3 指導内容・方法や指導形態の創意工夫、各教科の特性を生かし自ら学ぶ意欲を培う。
 - 4 教育機器や学校図書館を活用し、情報を選択し活用する能力を高める。

- ### 生活指導・進路指導の充実
- ・ 社会規範を守る態度を育成する。
 - ・ 自己実現を図る能力を育成する。
 - ・ 教育相談活動を充実する。
 - ・ 児童・生徒理解を深化する
 - ・ 校内の指導体制を充実する。
 - ・ 組織的・計画的に指導する。
- 1 学級経営の充実に努め、一人一人を生かす指導の徹底を図り、自己評価を高める指導を行う。
 - 2 主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を育てる指導を行う。
 - 3 奉仕的な活動等社会活動への参加の促進
 - 4 家庭・地域・関係諸機関との連絡と人々のかかわりを重視した指導の徹底

- ### 健康・安全指導の充実
- ・ 児童・生徒の心とからだの健康づくりを促進する。
 - ・ 計画的・組織的に生命の大切さを指導する。
 - ・ 健康の保持・増進や体力の向上を図る能力と態度の育成
- 1 自ら進んで運動に親しむ態度を育て、生涯にわたってスポーツを楽しむことができるよう指導内容・方法を工夫する。
 - 2 性教育を組織的・計画的に行い、人間の性やエイズに関する理解を深める指導を行う。
 - 3 計画的・組織的な安全指導や安全管理と事故防止の徹底
 - 4 避難訓練の計画的実施、防災計画の改善充実と周知徹底

- ### 心身障害教育の充実
- ・ 教育環境の整備充実
 - ・ 指導内容・方法の改善充実
 - ・ 交流教育・理解教育の推進
 - ・ 教育プログラムによる指導の展開などの研究の推進
- 1 心身障害理解教育を推進し、児童・生徒・保護者・教職員の理解を深める。
 - 2 障害の種類や程度に応じた適切な教育計画と指導内容・方法を工夫。児童・生徒の実態に即した交流教育の推進
 - 3 家庭、医療機関及び関係諸機関との連携。継続的な教育相談活動の充実
 - 4 個別教育プログラムによる指導方法の工夫改善

- ### 幼児教育の充実
- ・ 人間形成の基礎となる豊かな心、健やかな体
- 1 幼児の生活実態や心身の発達、遊びの重要性を踏まえ、教育内容・方法を改善する。
 - 2 身近な人と積極的にのかかわる活動、基本的な生活習慣や思いやりの心を育てる。
 - 3 地域の特性を生かし教育活動を通して豊かな感性を育み、表現力や人とかかわる力を養う。
 - 4 小学校や保護者、地域社会との連携を図り健全な幼児を育てる。

課題解決を目指す施策

- ### 各種主任会・連絡会
- ・ 教務主任会
 - ・ 生活指導主任会
 - ・ 保健主任会
 - ・ 進路指導主任会
 - ・ 研究主任会
 - ・ 体育主任会
 - ・ 給食主任会
 - ・ 学校図書主任連絡会
 - ・ 外国人児・生指導連絡会
 - ・ T指導連絡会

- ### 各種委員会・委託
- ・ 人権尊重教育推進委員会
 - ・ 心の教育推進委員会
 - ・ ひのつ子教育21研究員
 - ・ 情報教育推進委員会
 - ・ 英語指導改善委員会
 - ・ 海外文化交流推進委員会
 - ・ インターネット研究委員会
 - ・ 心身障害教育推進協議会
 - ・ 科学教育センター
 - ・ 教職研修実施協議会
 - ・ 相談学級運営協議会
 - ・ 幼稚園教育推進委員会

- ### 研修会
- ・ 学校経営研修
 - ・ 教職専門研修
 - ・ 現職研修Ⅰ
 - ・ 学習指導法研修
 - ・ 初任者研修
 - ・ 教育相談研修
 - ・ 学校保健研修
 - ・ 幼児教育研修
 - ・ 各種実技研修
 - ・ 各種宿泊研修
 - ・ 教育相談ケース会議
 - ・ 市教育研究会

- ### 運営・推進
- ・ 水泳記録会運営委員会
 - ・ 音楽鑑賞教室運営委員会
 - ・ 書初展運営委員会
 - ・ 小学校移動教室運営委員会

- ### 教育資料
- ・ 教育課程資料の活用
 - ・ 研究奨励報告書
 - ・ 環境副読本の活用
 - ・ 社会科副読本の活用
 - ・ 福祉副読本の活用
 - ・ まどへの編集・発行
 - ・ 進路指導資料集の活用
 - ・ 教育相談室活用
 - ・ 人権読本（教師用）
 - ・ 人権子供向けリーフレット
 - ・ 教育課題研究推進資料

研究奨励事業の推進 A 修学会の推進 教育相談活動の充実 校内研修・研究への支援 学校訪問等による指導・助言

平成10年度 日野市教育委員会学校教育関係及び日野市立幼・小・中学校(園)行事予定表

平成10年4月2日

4 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備 考 (学 校 関 係)	日
1	水		新補、転補校長、教頭辞令伝達式		1
2	木	再雇用嘱託員辞令伝達式 一般教職員辞令伝達式	△校長会 (505)		2
3	金				3
4	土				4
5	日			春季休業日終	5
6	月	△小学校入学式 △小・中学校始業式			6
7	火	△中学校入学式			7
8	水	△幼稚園入園式・始業式			8
9	木	△園長会	○転退職校長、教頭感謝式 ○定例教育委員会		9
10	金		○養護教諭会		10
11	土	土曜休業日			11
12	日				12
13	月		○小・中生活指導主任会		13
14	火		○心身障害教育推進協議会 ○給食主任会		14
15	水		○市教研		15
16	木	▲指導主事連絡協議会			16
17	金	△教頭会 (505) ▲教員研修担当指導主事連絡協議会	○教務主任会 ○幼稚園教育推進委員会 ○日光移動教室第1回担当者会		17
18	土				18
19	日				19
20	月		○就学相談委員会		20
21	火	▲生活指導担当指導主事連絡会	○英語指導改善委員会○ひのっ子教育21研究員総会 ○初任者研修①		21
22	水	▲多摩地区指導主事連絡協議会	○教職研修実施協議会		22
23	木	△人権尊重教育推進委員会役員会	○栄養士連絡会	□ハケ岳移動教室実地踏査	23
24	金	▲体育・健康教育担当指導主事連絡協議会	○初任者研修② ○教育相談ケース会	↓	24
25	土	土曜休業日			25
26	日				26
27	月		●S カウンセラー配置校連絡会 ○中学校生活指導主任会		27
28	火	△学校経営研修会①	○進路指導主任会 ○教育相談研修会①		28
29	水	みどりの日			29
30	木	△小・中校長役員連絡会		開校記念日 (二中)	30
備					
考					

5 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備 考（学校関係）	日
1	金		○学校経営研修会②	開園記念日（三幼）	1
2	土				2
3	日	憲法記念日			3
4	月	国民の休日			4
5	火	こどもの日			5
6	水	△校長会（505）			6
7	木	△園長会	○心の教育推進委員会 ●人権尊重教育推進校委員会	日光実地踏査 ↓	7
8	金	▲同和教育指導推進委員会	○研究主任会＋教職専門研修会① ○インターネット研究委員会		8
9	土	土曜休業日		開校記念日（一中）	9
10	日			開校記念日（平山小） 開園記念日（二幼）	10
11	月		○小・中生活指導主任会 ○人権尊重教育推進委員会		11
12	火	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会	○海外文化交流推進委員会○心身障害教育推進協議会 ○初任者研修指導教員連絡会○給食主任会	開校記念日（潤徳小）	12
13	水		○市教研総会 ○中教研総会		13
14	木		○定例教育委員会	図 平山台小	14
15	金	△教頭会（505） ▲国際理解教育＋在日外国人児＋生教育連協	○教務主任会 ○養護教諭会	図 東光寺小	15
16	土		科学教育センター①前期開講式		16
17	日				17
18	月			図 三沢台小	18
19	火	△学校経営研修会③	○栄養士連絡会 ○初任者研修③＋学習指導法研修会①		19
20	水				20
21	木		○幼児教育研修会①	図 一小	21
22	金		○互助会評議委員会 ○相談学級運営協議会		22
23	土	土曜休業日			23
24	日				24
25	月		○中学校生活指導主任会	開園記念日（一幼） 図 仲田小	25
26	火	□二幼（教育委員訪問） ▲教育課題指導連絡会 ▲消費者教育・環境教育推進委員会		図 二小	26
27	水	□一小（指導室訪問）		図 四小	27
28	木	□六幼（教育委員訪問） △小・中学校長役員連絡会 ▲幼稚園担当指導主事連絡協議会	○学校図書主任連絡会	図 五小	28
29	金	▲男女平等教育推進委員会	○教育相談研修会②	開園記念日（六幼） 図 六小	29
30	土		科学教育センター②		30
31	日				31
備 考					

地区協大会 5/20

6月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備 考（学 校 関 係）	日
1	月	△学校経営研修会④		開校（滝合、百草台、七生） 図 潤徳小	1
2	火	△校長会（505）	○進路指導主任会＋教職専門研修会② ○人権尊重教育推進委員会○心身障害教育推進協議会	図 平山小	2
3	水	□五幼（指導室訪問）		図 南平小	3
4	木	△園長会 □生活指導主任宿泊研修	○給食主任会	図 百草台小	4
5	金	↓▲生活指導担当指導主事連絡会		図 滝合小	5
6	土		科学教育センター③		6
7	日				7
8	月		○小学校体育主任会 ○情報教育推進委員会	図 高幡台小	8
9	火		○保健主任会＋教職専門研修会③	開校記念日（五小） 図 七小	9
10	水	□七幼（指導室訪問）	○市教研 ○中教研	開校記念日（三小） 図 八小	10
11	木	▲学校不適応対策連絡協議会	○定例教育委員会 ○現職研修Ⅰ部開講式	図 程久保小	11
12	金		○初任者研修④＋学習指導法研修会② ○水泳記録会運営委員会○学校経営研修会⑤		12
13	土	土曜休業日	科学教育センター④		13
14	日				14
15	月		●Sカウンセラー配置校連絡会	図旭が丘小	15
16	火		○海外文化交流推進委員会 ○養護教諭会		16
17	水	□四幼（指導室訪問）	○夏期体育大会		17
18	木		○T T指導連絡会 ○現職研修Ⅰ部②		18
19	金	△教頭会（展示室） ▲進路指導担当指導主事連絡協議会	○教務主任会＋教職専門研修会④ ○外国児童・生徒指導連絡会		19
20	土		科学教育センター⑤		20
21	日				21
22	月		○教育相談研修会③		22
23	火	▲教員研修担当指導主事連絡協議会	○栄養士連絡会 ○現職研修Ⅰ部開講式（予備）		23
24	水	□五小（都一般＋指導室訪問）	○夏季体育大会（中学）	開校（二小、高幡台小）	24
25	木	□南平（教育委員訪問） 教務主任宿泊研修会			25
26	金	↓▲福祉教育推進委員会	●在日外国人児童・生徒教育連絡協議会 ○英語指導改善委員会○初任者研修会⑤現職研修Ⅰ部③		26
27	土	土曜休業日			27
28	日				28
29	月		○教職研修実施協議会 ○幼稚園教育推進委員会		29
30	火		○心の教育推進委員会	開園・校（七幼、六小） □日光移動教室（一班）	30
備 考					

7月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備 考（学校関係）	日
1	水	□三幼（指導室訪問）	○市教研	音楽鑑賞教室（中学校）	1
2	木	△園長会▲体育・健康教育担当指導主事連絡協議会 △小・中校長役員連絡会	○就学相談委員会	□日光移動教室（二班）	2
3	金	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会	●人権尊重教育推進校委員会 ○相談学級運営協議会		3
4	土			□日光移動教室（三班）	4
5	日				5
6	月	△学校経営研修会⑥	○小・中生活指導主任会	↓	6
7	火	△校長会（展示室）	○心身障害教育推進協議会 ○教育相談ケース会議 ○初任者研修⑥		7
8	水	□平山中（都一般＋指導室訪問）	○中教研		8
9	木		○定例教育委員会 ○養護教諭会		9
10	金	▲指導主事連絡協議会・教科等部会	○人権尊重教育推進委員会 ○幼児教育研修会②		10
11	土	土曜休業日	科学教育センター⑥		11
12	日				12
13	月		○中学校生活指導主任会 ○インターネット研究委員会		13
14	火	△教頭会（防災セ）	○海外文化交流推進委員会		14
15	水				15
16	木		○栄養士連絡会 ○給食主任会		16
17	金				17
18	土	小・中学校終業式			18
19	日				19
20	月	海の記念日			20
21	火	夏期休業始 □初任者研修・宿泊研修会①＋2年次教員宿泊研		（夏季休業日・始）	21
22	水	□初任者研修・宿泊研修会②＋2年次教員宿泊研	科学教育センター夏季講座1 ⑦		22
23	木	□初任者研修・宿泊研修会③	科学教育センター夏季講座2 ⑧		23
24	金	□初任者研修・宿泊研修会④ □ひのっ子教育21研究員大成荘合宿	科学教育センター夏季講座3 ⑨		24
25	土	↓			25
26	日				26
27	月				27
28	火	□校長会一日研修			28
29	水	□現職研修I部④⑤			29
30	木	△初任者研修⑦	○初任者研修⑧		30
31	金	□教頭一日研修			31
備 考					

8 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備 考（学校関係）	日
1	土				1
2	日				2
3	月				3
4	火				4
5	水				5
6	木		○ひのっ子教育21研究員中間発表		6
7	金				7
8	土				8
9	日				9
10	月				10
11	火				11
12	水				12
13	木	定例教育委員会			13
14	金				14
15	土				15
16	日				16
17	月	校長、教頭、指導主事選考筆答試験			17
18	火	□研究員御岳研究集会（小学校）			18
19	水	↓			19
20	木	□研究員御岳研究集会（中学校）	科学教育センター⑩ 8/20のいずれかを選択		20
21	金	↓			21
22	土	↓			22
23	日				23
24	月	△初任者研修⑨	○初任者研修⑩		24
25	火	△初任者研修⑪	○初任者研修⑫		25
26	水				26
27	木				27
28	金				28
29	土				29
30	日				30
31	月	△小・中学校長役員連絡会		（夏季休業日・終）	31
備 考					

9月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備 考（学校関係）	日
1	火			二期始業式	1
2	水	△校長会（505）			2
3	木	▲同和教育指導推進委員会 △園長会▲進路指導担当指導主事連絡協議会			3
4	金	△人権尊重教育推進委員会役員会			4
5	土		○科学教育センター⑪		5
6	日				6
7	月		小学校水泳記録会（川南ブロック）		7
8	火	▲多摩地区指導主事連絡協議会	小学校水泳記録会（川北ブロック）		8
9	水		○市教研 ○中教研		9
10	木	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会	○定例教育委員会 ○養護教諭会○心身障害教育推進協議会		10
11	金	▲生活指導担当指導主事連絡協議会	○研究主任会 ○給食主任会		11
12	土	土曜休業日	科学教育センター⑫		12
13	日				13
14	月		○小・中生活指導主任会 ○英語指導改善委員会		14
15	火	敬老の日			15
16	水	□旭が丘小（都一般＋指導室訪問）		開校記念日（三沢中）	16
17	木	▲国際理解＋在日外国人児・生連協	●人権尊重教育推進校委員会 ○水泳記録運営協議会		17
18	金	△教頭会（505） ▲学校不適応対連協	○学習指導法研修会③＋初任者研修⑬ ○幼児教育研修会③		18
19	土		科学教育センター⑬		19
20	日				20
21	月		○就学相談委員会 ○教育相談研修会④		21
22	火		○進路指導主任会○栄養士連絡会 ○海外文化交流推進委員会		22
23	水	秋分の日			23
24	木	□平山小（指導室訪問）			24
25	金	▲男女平等教育推進委員会	○教務主任会		25
26	土	土曜休業日			26
27	日				27
28	月		○中学校生活指導主任会		28
29	火				29
30	水	□八小（都一般＋指導室訪問）			30
備					
考					

10月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備 考（学 校 関 係）	日
1	木	都民の日			1
2	金	▲教員研修担当指導主事連絡協議会	○学習指導法研修会④＋初任者研修④	開校記念日（三中、平山中）	2
3	土				3
4	日				4
5	月				5
6	火		○心身障害教育推進協議会 ○心の教育推進委員会		6
7	水		○市教研 ○中教研		7
8	木	△小・中校長役員連絡会	○定例教育委員会		8
9	金	▲指導主事連絡協議会	○人権尊重教育推進委員会		9
10	土	体育の日			10
11	日				11
12	月		○小・中生活指導主任会 ○小学校体育主任会		12
13	火	△校長会（505）	○給食主任会		13
14	水				14
15	木	△園長会	○インターネット研究委員会 ○養護教諭会		15
16	金				16
17	土		○就学相談委員会 科学教育センター④ 前期開講式 後期開講式		17
18	日				18
19	月		○教育相談ケース会議		19
20	火		○教育相談研修会⑤	開校記念日（程久保小）	20
21	水				21
22	木	■同和教育指導推進委員会視察	○栄養士連絡会		22
23	金	■同和教育指導推進委員会視察 △教頭会（505）	○教務主任会 ○教職研修実施協議会	音楽鑑賞教室（小学校）	23
24	土	土曜休業日			24
25	日				25
26	月	▲同和教育指導推進委員会	○幼稚園教育推進委員会		26
27	火		●S カウンセラー配置校連絡会		27
28	水				28
29	木	△小・中校長役員連絡会			29
30	金		●在日外国人児童・生徒教育連絡協議会		30
31	土		科学教育センター①		31
備考		運動会 小学校… 幼稚園… 体育祭 中学校… 合唱祭 中学校…			

11月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日 曜	午 前	午 後	備 考（学校関係）	日
1 日			開園・校（四幼、五幼、四小、八小）	1
2 月			開校記念日（大坂上中）	2
3 火	文化の日			3
4 水	△校長会（505） □三沢中（都一般訪問＋指導室訪問）	○市教研		4
5 木	△園長会 ▲進路指導担当指導主事連絡協議会	●人権尊重教育校推進校委員会 ○学校図書主任会		5
6 金		▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会 ○人権尊重教育推進委員会		6
7 土		科学教育センター③		7
8 日				8
9 月	▲消費者教育・環境教育推進委員会	○小・中生活指導主任会＋教職専門研修会⑤		9
10 火		○心身障害教育推進協議会○現職研修Ⅰ部⑥ ○情報教育推進委員会○養護教諭会		10
11 水	□程久保小（指導室訪問）	○中教研		11
12 木	▲生活指導担当指導主事連絡協議会	定例教育委員会 ○現職研修Ⅰ部閉講式○給食主任会		12
13 金		○T T指導連絡会○情報教育推進委員会 ○相談学級運営協議会		13
14 土	土曜休業日	科学教育センター④		14
15 日				15
16 月	□六小（指導室訪問）			16
17 火	▲福祉教育推進委員会	○外国児童・生徒指導連絡会 ○保健主任会		17
18 水	□七小（指導室訪問）			18
19 木		○教育相談研修会⑥ ○栄養士連絡会		19
20 金	▲体育・健康教育担当指導主事連絡協議会 △教頭会（505）	○教務主任会＋教職専門研修会⑥ ○学習指導法研修会⑤＋初任者研修⑬		20
21 土		○就学相談委員会		21
22 日			開校（南平、旭が丘、東光寺、平山台、仲田、四中）	22
23 月	勤労感謝の日			23
24 火	▲教育課題指導連絡会	○現職研修Ⅰ部閉講式（予備）		24
25 水	□一幼（指導訪問）			25
26 木	△小・中校長役員連絡会	○中学校生活指導主任会 ○進路指導主任会●家庭裁判所との連絡会		26
27 金	□一中（教育委員訪問）	○幼児教育研修会⑥		27
28 土	土曜休業日	科学教育センター⑤		28
29 日				29
30 月		○心の教育推進委員会 ○英語指導改善委員会		30
備 考				

12月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備 考（学校関係）	日
1	火	△校長会（505）			1
2	水		○市教研		2
3	木	△園長会 ▲学校不応対策連絡協議会	○初任者研修会⑩ ○教育相談ケース会議		3
4	金	△人権尊重教育推進委員会役員会	○教務主任会		4
5	土		○就学相談委員会 科学教育センター⑥		5
6	日				6
7	月		○小・中生活指導主任会		7
8	火				8
9	水	□潤徳小（都一般＋指導室訪問）	○中教研		9
10	木		○定例教育委員会 ○養護教諭会		10
11	金	□滝合小（教育委員訪問）	○幼稚園教育推進委員会 ○心身障害教育推進協議会		11
12	土	土曜休業日	科学教育センター⑦		12
13	日				13
14	月				14
15	火				15
16	水				16
17	木		○栄養士連絡会		17
18	金	△教頭会（505） ▲指導主事連絡協議会			18
19	土				19
20	日				20
21	月				21
22	火				22
23	水	天皇誕生日			23
24	木				24
25	金	△幼・小・中学校終業式			25
26	土			（冬季休業日・始）	26
27	日				27
28	月				28
29	火				29
30	水				30
31	木				31
備					
考					

1 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備 考（学 校 関 係）	日
1	金				1
2	土				2
3	日				3
4	月				4
5	火				5
6	水				6
7	木	△園長会 △小・中校長会役員連絡会 ▲同和教育指導推進委員会		(冬季休業日・終)	7
8	金	▲多摩地区指導主事連絡協議会（教育課程説明会） △幼・小・中学校始業式	○進路指導主任会		8
9	土	土曜休業日			9
10	日				10
11	月		○中学校生活指導主任会		11
12	火	△校長会（505）	○心身障害教育推進協議会 ○英語指導改善委員会○給食主任会		12
13	水		○中教研		13
14	木		○定例教育委員会		14
15	金	成人の日			15
16	土		○就学相談委員会 科学教育センター⑧	書初め展（小・中学校）	16
17	日			書初め展（小・中学校）	17
18	月		○小・中生活指導主任会		18
19	火		○栄養士連絡会 ○学習指導法研修会⑥＋初任者研修⑦		19
20	水	□四中（指導室訪問）	○市教研		20
21	木	▲幼稚園担当指導主事連絡協議会	○心の教育推進委員会		21
22	金	▲国際理解教育＋在日外国人児・生徒教育連協 △教頭会（505）	○教務主任会 ○研究主任会 ○養護教諭会		22
23	土	土曜休業日	科学教育センター⑨		23
24	日				24
25	月	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会 □大坂上中（教育委員訪問）			25
26	火		○幼児教育研修会⑤		26
27	水		●人権尊重教育推進校委員会		27
28	木	△小・中校長役員連絡会 □初任者研修・宿泊研修会①＋2年次教員宿泊研		図工展 ↓	28
29	金	↓▲男女平等教育推進委員会			29
30	土				30
31	日				31
備 考					

2 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備 考（学校関係）	日
1	月				1
2	火	△校長会（505）	○心身障害教育推進協議会		2
3	水		○冬季体育大会		3
4	木	△園長会 ▲教員研修担当指導主事連絡協議会			4
5	金		○初任者研修会⑨		5
6	土		科学教育センター⑩		6
7	日				7
8	月		○教育課程届出説明会：小・中3:00～兼：教務主任会		8
9	火		○教育課程届出説明会：幼稚園3:00～		9
10	水		○定例教育委員会	開校（一小、三沢台小）	10
11	木	建国記念の日			11
12	金				12
13	土	土曜休業日			13
14	日				14
15	月		○小・中生活指導主任会		15
16	火		○教育相談ケース会議		16
17	水		○市教研研究発表会 ○中教研研究発表会		17
18	木	▲生活指導担当指導主事連絡会	○養護教諭会 ○栄養士連絡会		18
19	金	▲在日外国人児童・生徒教育連絡協議会 △教頭会（505）	○人権尊重教育推進委員会 ○相談学級運営委員会		19
20	土		科学教育センター⑪ 後期 閉講式		20
21	日				21
22	月		○中学校生活指導主任会		22
23	火	▲体育・健康教育担当指導主事連絡協議会	○初任者研修会⑨		23
24	水				24
25	木	△小・中学校長役員連絡会	○心の教育推進委員会 ○給食主任会		25
26	金	▲指導主事連絡協議会	○教職研修実施協議会		26
27	土	土曜休業日			27
28	日				28
備 考					

3月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議、▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備 考（学校関係）	日
1	月			開校記念日（七小）	1
2	火	△校長会（505）	○幼児教育研修会⑥ ○心身障害教育推進協議会		2
3	水		○市教研 ○中教研一斉発表会		3
4	木	△園長会	○ひのっ子教育21研究員本発表		4
5	金	▲進路指導担当指導主事連絡協議会	○進路指導主任会		5
6	土				6
7	日				7
8	月		○小・中生活指導主任会		8
9	火	（教育課程届出受付）	○給食主任会		9
10	水	（教育課程届出受付）			10
11	木	（教育課程届出受付）	定例教育委員会		11
12	金	△教頭会（505）	○教務主任会○養護教諭会 ○就学相談委員会		12
13	土	土曜休業日			13
14	日				14
15	月		○初任者研究		15
16	火		（教育課程届出受付）		16
17	水		（教育課程届出受付）		17
18	木		（教育課程届出受付） ○栄養士連絡会		18
19	金	△中学校卒業式			19
20	土				20
21	日	春分の日			21
22	月				22
23	火				23
24	水	△小学校修了式 △幼稚園修了式			24
25	木	△小学校卒業式 △中学校修了式			25
26	金	（春季休業日始）		（春季休業日始）	26
27	土				27
28	日				28
29	月				29
30	火				30
31	水				31
備 考					

日野市教育委員会指導室の年間事業計画

A 主任会・委員会等

名称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
教務主任会	教務主任の立場から円滑な学校経営の在り方について研修するとともに、当面する教育課題について研究協議し自校の教育活動の改善・充実に役立てる。	・教務主任の職務 ・円滑な学校運営を図る教務主任の在り方 ・当面する教育課題 ・学校評価について	市役所 または 研究室	教務主任
小・中生活指導主任会	生活指導についての共通理解を深め、それぞれの学校における生活指導上の問題を解決するため情報交換と研修を行う。	・生活指導上の臨床的対策 ・学校生活に喜びを感じ、能力を十分に生かす生活指導の在り方	市役所 または 研究室	生活指導主任
中学校生活指導主任会	中学校の生活指導及び学校間の協力体制を推進し、生活指導の充実を図る。	・先生と生徒、生徒間の人間関係の在り方 ・学校生活に生きがいを感じる生活指導の確立	市役所 または 学 校	中学校生活指導主任
保健主任会	心身ともに健全な児童・生徒の育成を図るための保健教育の在り方について研究し、健康・安全教育の推進について研究する。	・学校保健の在り方 ・保健指導者の実態と望ましい在り方 ・分科会研究 ・研究発表	市役所 または 研究室	保健主任
進路指導主任会	中学校の進路指導の基本的な在り方について研修するとともに進路指導の充実を図る。	・全体的な指導体制の確立 ・進路指導上の問題点の整理と検討 進路指導の全体計画 各学年の指導の重点 進路指導を推進するための組織経営 指導資料の作成	市役所 または 学 校	進路指導主任

名称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
就学相談委員会	心身に障害のある幼児・児童・生徒の障害と発達の状態に応じた適切な教育措置をするための相談等を行う。	・東京都教育委員会、教育相談所及び児童相談所等との連絡と就学に関する継続相談 ・各種専門家による就学相談	学 校 または 幼稚園	就教 学育 指相 導談 委員 員員
教育ケース会議	事例研究を通して、望ましい教育相談技術を探る。	・事例研究	研究室	教兼 育任 相相 談談 員員
小学校体育主任会	児童の健康・運動能力の実態を把握し、その増進を図るための具体的方策を考え、学校教育活動全体を通じた体育指導の実践化と生活化を図る。	・体位、体力向上を目指した学校教育活動全体の検討 ・体育科の教科指導の充実を図る研究・研修 ・「体力づくりの日」の効果的実践 ・水泳記録会の企画	市役所 または 学 校	体 育 主 任
「まどべ」編集委員会	教育委員会と学校とを結ぶ機関紙を発行する。	・「まどべ」の企画、原稿依頼、編集、構成	学 校	編 集 委 員
研究主任会	児童・生徒が自ら考え主体的に判断し、行動したりすることができ資質や能力の育成を目指した教育活動をさらに充実・発展するための校内研究の進め方等について研修を進める。	・授業研究の推進 ・各校の校内研究の敷衍	市役所 及 び 現 地	研 究 主 任
水泳運営記録委員会	水泳記録会で、児童・生徒が日ごろの学習の成果を競い、体力の向上を図るとともに、学校間の交流を図る。	・水泳記録会の企画、連絡、調査、運営	市役所 及 び 現 地	運 営 委 員

名称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
日光移動教室運営委員会	日光移動教室を連合で行うに際し、円滑な運営が行われるよう連絡調整にあたる。	・日光移動教室の企画、実地踏査、連絡、調整、運営	市役所 及び 現 地	運 営 委 員
人権尊重推進教育委員会	人権尊重教育の推進の方法について検討し、学校における人権尊重教育の在り方について連絡協議する。 教師向けの指導資料及び児童・生徒用「こども人権副読本」を作成する。	・人権尊重教育の推進方法の協議 ・研修会の開催及び人権尊重教育推進校の成果の活用	市役所 または 学 校	推 進 委 員
情報推進教育委員会	社会の情報化への対応を目指し、学校教育でのコンピューター活用について研究協議する。	・学校におけるコンピューターの活用についての協議 ・教育方法としてのコンピューターの活用について研究	市役所 または 学 校	推 進 委 員
海外文化交流推進委員会	小学校における外国語教育（外国の文化・生活に慣れ親しむ）の導入を図るために調査研究を行う。	・先行研究等からの情報収集 ・先進校視察 ・人材確保の方法について検討	市役所 または 学 校	推 進 委 員
インターネット研究会	パーソナルコンピューター導入及びインターネット化について調査研究を行う。	・パーソナルコンピューター導入及びインターネット化実施上の課題について協議する。	市役所 または 学 校	委 員
在日外国人児童・生徒指導連絡会	市内公立小・中学校に在籍する外国人児童・生徒に対する指導上の課題解決を図る。	・指導上の課題解決に資する情報交換	市役所 または 学 校	当学校から一名 当該児童が在籍する

名称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
T・T指導連絡会	T・Tについての指導力の向上をはかることを通して、個に応じた指導を一層充実させる。	・事例研究 ・情報交換		
心の教育推進委員会	各校における道徳教育の充実を図るために、推進上の課題について協議する。	・各校の道徳教育推進上の課題について情報交換をする ・授業研究	市役所 または 学 校	各校 一名の 委員

B 宿泊研修会（一日研修を含む）

名称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
教務主任 宿泊研修会	児童・生徒の実態と地域に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地域を参観したり、情報交換等をとおしての資質を高める。	・教育課程の趣旨を生かし主体的学習を促す学習指導 ・学級指導を実践している学校の参観 ・研究協議	千葉県	教務主任
生活指導 宿泊主任研修会	児童・生徒の実態を把握し、生活指導の充実を図るため、他地域の学校を参観し、情報交換をとおして生活指導主任の資質を高める。	・他地域の学校の生活指導組織とその実践について学ぶ ・研究協議	神奈川県	生活指導主任
初任者・宿 新泊採 教員研修 会	一学期の教職経験を話し合い指導上の課題について協力して解決し教職の専門性を高める。	・講話「児童・生徒理解の方法と生活指導」 ・研究討議「一学期の反省と指導上の問題点」 ・自然観察の指導 「動物・植物・星・川」	山梨県清里他	新規採用教諭

日野市教育委員会研修事業（A）

No.	研 修 会 名	回	主 題	期 日（曜）
1	学校経営研修会	1	教頭への期待	4月28日（火）
2	〃	2	教育委員の教頭への思い	5月1日（金）
3	〃	3	事例を通して考える1（経営・運営）	5月19日（火）
4	〃	4	危機管理と教頭の役割	6月1日（月）
5	〃	5	事例を通して考える2（経営・運営）	6月12日（金）
6	〃	6	事例を通して考える3（経営・運営）	7月6日（月）
7	教職専門研修会	1	校内研究の推進と校内組織・体制の在り方	5月8日（金）
8	〃	2	自己選択能力の育成を目指した教育課程の編成	6月2日（火）
9	〃	3	保健室登校の児童・生徒への対応と課題	6月9日（火）
10	〃	4	教育課程編成における教務主任の役割	6月19日（金）
11	〃	5	青少年の問題行動の現状と課題	11月9日（月）
12	〃	6	評価の理論と方法について	11月20日（金）
13	現職研修Ⅰ部	1	開講式	6月11日（木）
14	〃	2	いじめ問題の解決に向けて1	6月18日（木）
15	〃	3	いじめ問題の解決に向けて2	6月26日（金）
16	〃	4	地域視察（都立誠明学園）	7月29日（水）
17	〃	5	地域視察（小澤酒造）	7月29日（水）
18	〃	6	閉講式	11月12日（木）
19	学習指導法研修会	1	ティームティーチングを生かした指導の展開	5月19日（火）
20	〃	2	自ら学ぶ力を促す指導の展開	6月12日（金）
21	〃	3	子どもの意欲を高める指導の展開	9月18日（金）
22	〃	4	子どもの表現力を高める指導の展開	10月2日（金）
23	〃	5	コミュニケーション能力をはぐくむ指導の展開	11月20日（金）
24	〃	6	心と体をはぐくむ指導の展開	1月19日（火）
25	教育相談研修会	1	児童・生徒の理解と実際	4月28日（火）
26	〃	2	登校拒否児童・生徒、いじめへの対応と指導	5月29日（金）
27	〃	3	カウンセリングマインドを生かした教育相談	6月22日（月）
28	〃	4	教育相談の理論と実際1	9月21日（月）
29	〃	5	教育相談の理論と実際2	10月20日（火）
30	〃	6	教育相談の理論と実際3	11月19日（月）
31	幼児教育研修会	1	幼児の実態把握の仕方と課題と仮設の設定	5月21日（木）
32	〃	2	保育記録の取り方と分析	7月10日（金）
33	〃	3	園内研究の協議の進め方とまとめ方	9月18日（金）
34	〃	4	事例研究1	11月27日（金）
35	〃	5	事例研究2	1月26日（火）
36	〃	6	園内研究のまとめと協議	3月2日（火）

講 師	会 場	備 考
日野市教育長 有元佐興	市役所504会議室	午前10時00分～
日野市教育委員会教育委員	市役所504会議室	午後2時30分～
日野市立平山台小学校長 増賀 従男	日野市立平山台小学校	午前10時00分～
日野市立日野第四中学校長 松原 勇	日野市立日野第四中学校	午前10時00分～
日野市立平山小学校長 畑野 元一	日野市立平山小学校	午後2時30分～
日野市立日野第三中学校長 福島 良樹	日野市立日野第三中学校	午前10時00分～
東京学芸大学付属小金井小学校副校長 藤原 直之	市役所504会議室	午後2時30分～
立川市立立川第一中学校長 遠藤 純夫	市役所 会議室	午後2時30分～
女子栄養大学教授 森田 光子	市役所504会議室	午後2時30分～
跡見学園女子大教授 堀内 一男	日野市立日野第一小学校	午後2時30分～
立川少年センター警部 山下 望	市役所 会議室	午後2時30分～
聖徳大学教授 渋谷 憲一	市役所 会議室	午後2時30分～
(未定)	多摩教育センター	午後2時30分～
弁護士 小笠原彩子	市役所501会議室	午後2時30分～
弁護士 小笠原彩子	市役所 会議室	午後2時30分～
都立誠明学園長	都立誠明学園	午前10時00分～
小澤酒造社長	小澤酒造	午後1時30分～
(未定)	多摩教育センター	午後2時30分～
東京学芸大学助教授 片山 舒康	七生中学校 犬束 正敏 西川 路子	午後1時30分～
東京学芸大学講師 池崎喜美恵	南平小学校 佐藤実千子	午後1時30分～
東京学芸大学教授 伊藤 説朗	仲田小学校 鈴木 裕子	午後1時30分～
東京学芸大学教授 大熊 徹	日野第三小学校 前田佐和子	午後1時30分～
元横浜市立松本中学校長 大久保洋子	日野第四中学校 前田 宏美	午後1時30分～
体育部体育健康指導課指導主事	日野第四小学校 馬場えり子	午後1時30分～
日野市教職員研究室相談員 門 昇	市役所504会議室	午後2時30分～
日野市教職員研究室相談員 門 昇	市役所 会議室	午後2時30分～
日野市教職員研究室相談員 門 昇	市役所 会議室	午後2時30分～
中部総合精神保健福祉センター 福田 圭子	市役所 会議室	午後2時30分～
中部総合精神保健福祉センター 福田 圭子	市役所 会議室	午後2時30分～
中部総合精神保健福祉センター 福田 圭子	市役所 会議室	午後2時30分～
(未定)	日野市立幼稚園	
文京区立小日向台町幼稚園長 斉藤美代子	日野市立幼稚園	午後2時30分～
(未定)	日野市立幼稚園	
(未定)	日野市立幼稚園	
文京区立小日向台町幼稚園長 斉藤美代子	日野市立幼稚園	午後2時30分～
(未定)	日野市立幼稚園	

日野市教育委員会研修事業（B）

種別	番号	主 題 名	対象	内 容	講 師	日 時	場 所	備考
教育 相 談	1	学校・家庭・相談 室の連携のあり方	幼 小 中	コミュニティ心理学を踏まえて、人間関 係づくりを学び地域ぐるみの連携のあり 方を考える。	慶 応 大 学 教 授 山本 和郎	5 / 12(火) 午後 2 時 ～ 4 時	研 究 室	
	2	子ども・保護者が 心を開くロールプ レイ	幼 小 中	日頃の相談活動を進める上で、子どもと の関わり方、親への接し方を実習を通し て学ぶ。	東京学芸大学教授 福島 脩美	6 / 30(火) 午後 2 時 ～ 4 時	研 究 室	実 技 あり
	3	カウンセリングマ インドを生かした 学級経営の実際	幼 小 中	担任として、学級経営に必要なカウンセ リングの基本的な考え方や心構えを、事 例を踏まえて深める。	武蔵野短期大学教授 須藤らん子	10 / 27(火) 午後 2 時 ～ 4 時	研 究 室	
	4	いま、なぜ荒れる 子どもたち	幼 小 中	なぜ、子どもたちは荒れるのか。学校や 家庭の何が問われているのか、事件から 学校の現状と向き合う。	東京学芸大学助教授 小林 正幸	11 / 20(金) 午後 2 時 ～ 4 時	研 究 室	
学 校 保 健	5	大人は子どもに何 が援助できるか	小 中	スクールカウンセラーの立場から捉えた、 現在の子どもたちの問題傾向を知り、ど んな援助が必要か考える。	三沢中 学校カウンセラー 山口 久恵	5 / 22(金) 午後 2 時 ～ 4 時	研 究 室	
	6	思春期の特徴とそ の指導	小 中	精神的に不安定な思春期の特徴を知り、 心身の健全な発達を促す指導の仕方を身 につける。	星美短期大学教授 黒沢 洋一	10 / 6 (火) 午後 2 時 ～ 4 時	研 究 室	
学 校 給 食	7	遺伝子の組み替え 食品を知ろう	幼 小 中	最近クローズアップしている遺伝子組み 替え食品についての正しい知識を得て、 学校給食を考える。	芽生え社編集長 安藤 節子	6 / 4 (木) 午後 2 時 ～ 4 時	研 究 室	
	8	噛むことの大切さ を学ぶ	幼 小 中	柔らかい食品の多いなかで、噛むことが おろそかにされているが、顎の発育はも ちろん、脳への影響を考える。	神奈川歯科大学教授 斉藤 滋	11 / 12(木) 午後 2 時 ～ 4 時	研 究 室	
幼 児 ・ 低 学 年 児 童	9	子どもの発達に即 した指導・援助	幼 小	幼稚園や小学校低学年の子どもの発達 の特徴を知り、それに即した指導・援助 のあり方を学ぶ。	東京学芸大学教授 松村 茂治	5 / 29(金) 2 時15分 ～ 4 時15分	研 究 室	
	10	子どもの喜ぶ集団 ゲーム	幼 小	幼稚園や小学校低学年の子どもが喜んで 参加できる集団ゲーム遊びを実技を通し て学ぶ。	前千代田区立昌平小学校校長 石黒 健	6 / 25(木) 2 時15分 ～ 4 時15分	研 究 室	実 技
	11	子どもが喜ぶ表現	幼 小	幼稚園や小学校低学年の子どもが楽しく 参加できる表現遊びを実技を通して学ぶ。	日本女子大学教授 岩崎 洋子	7 / 7 (火) 2 時15分 ～ 4 時15分	研 究 室	実 技
国 際 理 解	12	ベトナムから見た 日本	幼 小 中	最近のベトナム事情や、ベトナム人から みた日本の社会の印象、日本人への期待 等を知る。	中央大学大学院 イアン・ディ・タントゥイ	11 / 24(火) 午後 2 時 ～ 4 時	研 究 室	
	13	世界の国の教育事 情	幼 小 中	ユニセフの活動を通して、直接見たり、 体験したりして捉えたそれぞれの国の教 育事情を知る。	日本ユニセフ協会総務部長 大野 幸男	1 / 21(木) 午後 2 時 ～ 4 時	研 究 室	

種別	番号	主 題 名	対象	内 容	講 師	日 時	場 所	備考
環 境	14	日野のゴミを目で見て、考える	幼小中	学校や家庭から出るゴミの行方を追って、クリーンセンターを見学し、実際にゴミの組織分析をして環境問題を考える。	市クリーンセンター リサイクル推進課長	10/13(火) 午後2時 ～4時	クリーンセンター	作業あり
福 祉	15	学校でできるやさしいボランティア活動	幼小中	ボランティア教育の实践を知り、気軽に取り組める内容や方法を考える。	目黒区立中目黒小学校長 中村 孝一	12/8(火) 午後2時 ～4時	研 究 室	
	16	疑似体験を通して高齢者になる	幼小中	実際に荷重チョッキや膝サポーター等を身につけ疑似体験を通して、高齢者福祉の問題を考える。	日野市社会福祉協議会 若林 正治 小野 武	5/26(火) 午後2時 ～4時	研 究 室	先着10人迄です
体 験 活 動	17	象のウエストを測ってみよう	幼小中	ウォッチングセンターで動物園の活用の仕方を知ったり、発見ポケットで象のウエストなどを測ったりする。	多摩動物公園普及指導係長 馬島解説員	4/23(木) 午後2時 ～4時	多摩動物公園 正 門	駐車不可
	18	日野新選組を教材化する	幼小中	新選組副長土方歳三の130回忌にちなみ、歳三ゆかりの地を巡検し、時代背景を探るとともに、教材化を考える。	日野市立東光寺小学校長 小杉 博司	8/27(木) 午前9時30分 ～12時	研究室集合	歩きます
身 体 活 動	19	運動会に役立つダンス	小中	斬新で、子ども達に喜ばれる運動会用のダンスを実技をとおして身につける。	町田市立南第四小教諭 宇木 彰子 太田区立東蒲小教諭 秋元 桂子	7/22(水) 午前9時30分 ～午後3時30分	潤 徳 小 体 育 館	実技あり
	20	すぐ役立つ、跳び箱を跳ばせるこつ	小中	不得手の子どもでも、すぐに跳び越すことのできるポイントを模範演技を見ながら、実技をとおして身につける。	八王子市立第七中学校長 山村孝太郎	10/20(火) 午後2時 ～4時	潤 徳 小 体 育 館	実技
学 級 経 営	21	担任必修・学級経営の今日的課題	小中	学級崩壊が増えつつある今日、学級経営を進める上で、どんな課題があるのかを全国的な視野から考える。	全国学級経営研究会会長 平林 俊彦	6/9(火) 午後2時 ～4時	研 究 室	
	22	保護者との連携を深める学級経営	小中	担任だけでは解決することが困難な学級経営上の諸問題について、保護者とどう関わるか、事例を踏まえて考える。	北区立豊島西小学校長 小林 賢司	11/27(金) 午後2時 ～4時	研 究 室	
生 涯 学 習	23	子どもの一連の問題行動と心の教育	市民教員	多発する少年事件の背景を探り、情緒不安定な子ども達への心の教育のあり方を共に考える。	前中央教育審議会委員 中 進士	5/7(木) 午後2時 ～4時	研 究 室	

日野市教育委員会研修事業（C）

(1)初級コースー1

※A－2はウインドウズ95について知りたい方、パソコンを初めて購入しよ

研 修 会 コ ー ス 名	研修会番号	内 容
A. 初級コースー1 (FM・TOWNS)	A－1	・パソコンの扱い方、パソコンの仕組みを知る。 ・FM・TOWNS基礎と実習（市内小中学校設置すみ）
(Windows95)	A－2	・最近のパソコンを使用して「ウインドウズ95」の基礎と実習

(2)初級コースー2

研 修 会 コ ー ス 名	研修会番号	内 容
B. 初級コースー2 (ハイパーキューブ2)	B－1	・ワープロ 文書作成。グラフィックス 図や絵を描く。 - FM-TOWNS使用
(ハイパーキューブ2 ウインドウズ版)	B－2	・「ハイパーキューブ2 for windows」の扱い方・実習 ・表計算 ・データベース

(3)中級コースー1

※ワープロ経験のある方

研 修 会 コ ー ス 名	研修会番号	内 容
C. 中級コースー1 (ロータス1・2・3)	C－1	・表計算 「ロータス1・2・3」でどんなことが出来るか。 ・FM-TOWNS使用
(Excel 97 ウインドウズ版)	C－2	・表計算 「Excel 97」の基礎と実習 ・windows 95 使用

(4)中級コースー2

※初級コース、ウインドウズ経験者

研 修 会 コ ー ス 名	研修会番号	内 容
D. 中級コースー2 (一太郎8)	D－1	・「一太郎8 for windows」を使っでの文書作成の実習
(インターネット)	D－2	・インターネットの基礎と体験

うと考えている方へ

回 数	日 時	研 修 会 場
1 講 座	5 / 1 5 (金) 2 : 0 0 ~ 4 : 0 0	日 野 市 立 日 野 第 二 中 学 校
1 講 座	5 / 2 2 (金) 2 : 0 0 ~ 4 : 0 0	N E C 立 川 支 社

回 数	日 時	研 修 会 場
1 講 座	5 / 2 9 (金) 2 : 0 0 ~ 4 : 0 0	日 野 市 立 日 野 第 二 中 学 校
1 講 座	6 / 5 (金) 2 : 0 0 ~ 4 : 0 0	N E C 立 川 支 社

回 数	日 時	研 修 会 場
1 講 座	6 / 1 2 (金) 2 : 0 0 ~ 4 : 0 0	日 野 市 立 日 野 第 二 中 学 校
1 講 座	6 / 1 9 (金) 2 : 0 0 ~ 4 : 0 0	N E C 立 川 支 社

回 数	日 時	研 修 会 場
2 講 座	8 / 3 (月) 1 0 : 0 0 ~ 3 : 0 0	N E C 立 川 支 社
2 講 座	8 / 4 (火) 1 0 : 0 0 ~ 3 : 0 0	N E C 立 川 支 社

日野市教育委員会の学校訪問

1 趣 旨

学校訪問は、教育委員、教育長、学校教育部長、教育庶務課長、学務課長、指導室長、指導主事、課長補佐、係長、担当係が学校を訪問し、学校の教育活動の実態に直接ふれることを通し、下記の事柄について、理解を深め、日野市の教育の充実・発展に資する。

- ① 学校の当面する教育指導上の諸問題への対応を図る
- ② 学校の施設・設備上の諸条件の整備、活用状況を把握する
- ③ 日野市の教育活動の全体を把握し、教育行政上の参考にする
- ④ 各学校の教職員との協議・懇談を行い相互の理解を深める
- ⑤ 学校訪問の成果を日野市の教育内容・方法の充実・発展に資する

(1) 教育委員訪問

年間10校程度、教育委員、教育長、学校教育部長、教育庶務課長、学務課長、指導室長、指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、教育内容の充実・発展のために協議・懇談する。

- ①学校概況、②授業参観、③施設・設備の活用状況、④諸帳簿閲覧、⑤協議・懇談

(2) 指導室訪問

教育委員訪問のない学校に指導主事が訪問し、教育指導上の課題について、協議・懇談する。

- ①教科・道徳・特別活動の指導に関すること、②教育課題に関すること、③生活指導・進路指導に関すること、④授業研究に関すること、⑤学級・学年経営に関すること、⑥指導要録に関すること、⑦教育研究・研修に関すること、⑧教育課程に関すること

なお、原則として午前中に授業参観等を行い、午後に校内研究の推進に関わる研究授業参観及び研究協議等を行う。

(3) 教育監査訪問

1年に一度、教育庶務課、学務課、指導室の課長補佐、課長、担当係が訪問し、学校経営全般にわたって諸帳簿により実態を把握し、教育活動の充実・発展のために学校の管理能力及び事務能力の向上を図るとともに、国や東京都の監査の準備に資する。

- ①学校概況、②施設・設備の活用状況、③諸帳簿閲覧

なお、原則として諸帳簿閲覧は午前中に終える。

(4) 一般訪問

学校、幼稚園の要請に応じ、東京都教育委員会指導主事並びに日野市教育委員会指導主事が訪問し、それぞれの学校（園）の置かれている条件に応じ、教職員とともに学校（園）のもっている問題について、实际的に解決する方途を見いだすなど、隔意のない協議・懇談を行う。

ただし、一般訪問は、教育委員訪問のない学校に指導室訪問と合わせて行う。

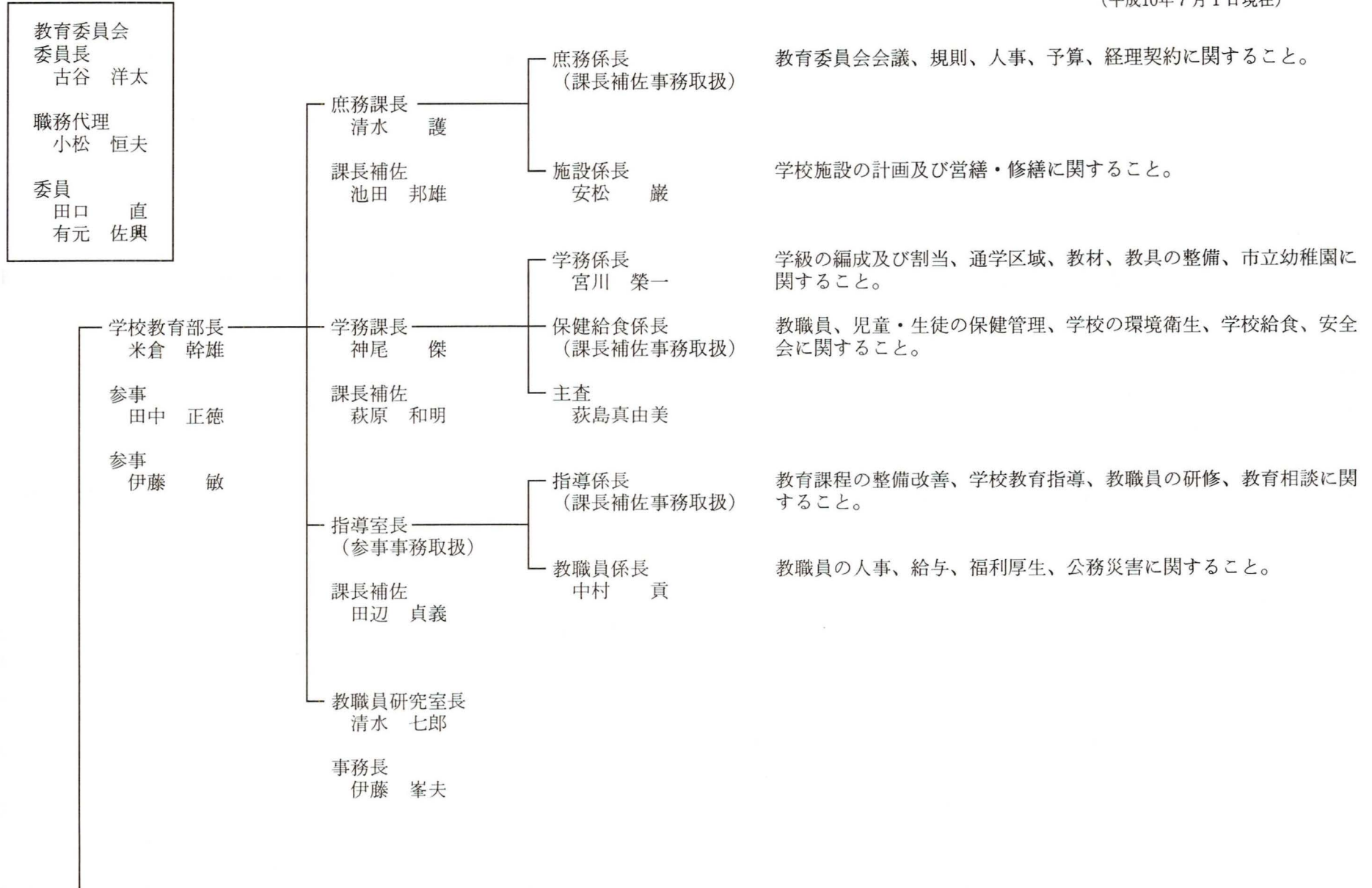
平成10年度

学校訪問予定一覧表

			教育委員訪問	指導室訪問	都一般＋指導室訪問
5 月	26 火	二 幼	★		
	27 水	一 小		◆	
	28 木	六 幼	★		
6 月	3 水	五 幼		◆	
	10 水	七 幼		◆	
	17 水	四 幼		◆	
	24 水	五 小			●
	25 木	南 平 小	★		
7 月	1 水	三 幼		◆	
	8 水	平 山 中			●
9 月	16 水	旭が丘小			●
	24 木	平 山 小		◆	
	30 水	八 小			●
10 月	5 月	三 中	★		
	7 水	二 中		◆	
	14 水	三 小		◆	
	16 金	平山台小		◆	
	19 月	三沢台小	★		
	20 火	仲 田 小		◆	
	21 水	東光寺小			●
	22 木	二 小		◆	
	26 月	百草台小		◆	
	27 火	四 小	★		
	28 水	高幡台小		◆	
11 月	4 水	三 沢 中			●
	11 水	程久保小		◆	
	16 月	六 小		◆	
	18 水	七 小		◆	
	25 水	一 幼		◆	
	27 金	一 中	★		
12 月	9 水	潤 徳 小			●
	11 金	滝 合 小	★		
1 月	20 水	四 中		◆	
	25 月	大坂上中	★		
	27 水	七 生 中		◆	

日野市教育委員会事務局組織

(平成10年7月1日現在)



教育長
有元 佐興

生涯学習部長
松橋 英子

生涯学習課長
谷野 省三
課長補佐
下田 勝美
副主幹
藤井 和夫
副主幹
斉藤 行平

生涯学習係長
(課長補佐事務取扱)
文化財係長
(副主幹事務取扱)
主査
清野 利明

社会教育の総合計画、社会教育団体の指導育成、芸術、文化の振興に関すること。
文化財の調査、保護に関すること。

スポーツ振興課長
宮越 満

スポーツ振興係長
(課長補佐事務取扱)
主査
井上 秀樹

社会体育事業及び市民プール、南平体育館、市民陸上競技場等の管理。運営、学校開放、スポーツ団体の育成に関すること。

課長補佐
山口 隆司

庶務整理係長
米田 裕治

庶務全般・係・他機関との連絡調整に関すること。
予算・決算に関すること。図書館協議会に関すること。

奉仕係長
榊田 昌盛

分館の運営、奉仕計画、連絡調整、移動図書館運営、広報・宣伝及び電算に関すること。

業務係長
浅野 茂

図書館運営の調査研究・企画、係に関すること。
電算に関すること。

多摩平児童図書館分館長
(社会教育センター図書館分館長兼務)

高幡図書館分館長
西村久美子

高幡図書館に関すること。

日野図書館分館長
小山 一郎

日野図書館に関すること。

社会教育センター図書館分館長
渡辺 生子

社会教育センター図書館に関すること。

平山図書館分館長
森下 芳則

平山図書館に関すること。

百草台児童図書館分館長
(奉仕係長兼務)

市政図書室分館長
中尾 順一

市政図書室に関すること。

百草図書館分館長
竹村 純一

百草図書館に関すること。

副館長
藤沢 和男

中央公民館長
小寺 瑞彦
副館長
大海 謙一

管理係長
(副館長事務取扱)

予算、文書管理、施設の維持管理、物品の保管、施設の利用に関すること。

指導係
(副館長事務取扱)

公民館活動の企画運営、成人、青少年、高齢者、障害児(者)教育関係行事の実施に関すること。

主査
斉藤 秀明 小泉 尚武

ふるさと博物館事務長
(館長事務取扱)
永野 安秀

庶務係
(事務次長事務取扱)

予算、経理、施設の維持管理に関すること。

事務次長
小澤 昭道

学芸係
(事務次長事務取扱)

資料の収集、展示、整理、保管に関すること。

教育庶務課事務分担表

課長 清水 護

係 名	職 名	氏 名	事 務 分 担 内 容
庶 務 係	課 長 補 佐 (庶務係長 事務取扱)	池 田 邦 雄	1 課の総括・調整に関する事 2 教育委員会の会議に関する事 3 教育委員会の条例、規則の制定・改廃に関する事 4 職員の人事及び給与等に関する事 5 校長交際費に関する事 6 給料運搬
	主 事	菊 島 隆 広	1 教育委員会の報酬の支払及び出張に関する事 2 教育委員会の対外関係に係る事務及び予算執行に関する事 3 教育委員会職員の休暇等に関する事 4 教育委員会事務局及び学校の購読物・帳票類に関する事 5 学校職員の職務免除及び学校臨時職員に関する事 6 労働安全衛生に関する事 7 その他、部及び課内庶務に関する事（課内文書収受） 8 給料運搬
	主 事	三 好 仁 美	1 学校物品購入に係る契約事務及び単価契約に関する事 2 小・中学校の公共料金の執行管理事務 3 児童・生徒の派遣費に関する事 4 小・中学校のザイムス処理に関する事 5 予算・決算に関する事 6 課内庶務に関する事
	主 事	山 下 義 之	1 教育委員会の条例、規則の制定・改廃に関する事 2 高校生奨学金・私立高校入学生貸付斡旋に関する事 3 学校配当予算に関する事 4 予算・決算に関する事 5 用務員の被服貸与・研修に関する事 6 教育委員会の会議に関する事 7 給料運搬
	主 事	佐 藤 謙 太 郎	1 小・中学校委託業務に関する事 2 特別整備用備品の購入・管理事務（備品検討委員会も含む） 3 小・中学校のザイムス処理に関する事 4 小・中学校の校庭整備及び警備に関する事 5 教育委員会の会議に関する事 6 予算・決算に関する事 7 学校物品購入に係る契約事務及び単価契約に関する事 8 給料運搬

係 名	職 名	氏 名	事 務 分 担 内 容
施 設 係	係 長	安 松 巖	1 係の統括・調整に関する事 2 渉外調整に関する事 3 教育施設の整備計画に関する事 4 文部省学校施設補助に関する事 5 新規事業の統括・調整に関する事 6 予算・決算に関する事 7 新規・営繕・委託業務に関する事
	主 事	岡 部 秀 樹	1 学校用地補助に関する事 2 防衛庁関係補助に関する事 3 中学校の営繕修繕・施設整備に関する事 4 七生中樋門・都市計画道路関係に関する事 5 各調査資料作成 6 施設台帳調査・報告に関する事 7 (教育施設の整備計画に関する事) 8 支出命令(小学校修繕)
	主 事	小 田 嶋 雄 一	1 小学校の営繕修理・施設整備に関する事 2 小学校の目的修繕に関する事(大規模他) 3 水質検査に関する事 4 係の備品・消耗品の購入に関する事 5 支出命令(新規・営繕・建設費委託) 6 予算・決算に関する事(データ管理) 7 (教育施設の整備計画に関する事) 8 支出命令(中学校修繕)
	主 事	久 松 信 浩	1 修繕契約業務に関する事 2 施設係各種データ集積・管理 3 委託業務に関する事 4 新規・営繕・建設費委託(データ管理) 5 文部省学校施設補助申請書作成に関する事 6 (小学校の営繕修繕・施設整備に関する事) 7 (教育施設の整備計画に関する事)

学 務 課 事 務 分 担 表

学務課長 神尾 傑

係 名	職 名	氏 名	事 務 分 担 内 容
学 務 係	係 長	宮 川 栄一	1 学務課の予算・決算の取りまとめに関すること 2 学務係の予算・決算の取りまとめに関すること 3 学務課及び幼稚園の予算編成に関すること 4 幼稚園の配当予算に関すること 5 園長会に関すること 6 幼稚園の園児募集に関すること 7 幼稚園の修繕・営繕・備品に関すること 8 新設校、幼稚園設置届等に関すること 9 進学路に関すること
	主 事	兼 子 理夫	1 入学事務に関すること 2 学齢簿作成等に関すること 3 学級編成に関すること 4 指定校変更、区域外就学に係る事務に関すること 5 学区域に関すること 6 学校基本調査等調査・統計に関すること 7 その他就学事務に関すること 8 通学路に関すること
	主 事	菅 野 尚美	1 学務課内の庶務に関すること 2 幼稚園に係る事務に関すること 3 学務課及び幼稚園予算の執行（修繕・営繕・備品を除く）に関すること 4 幼稚園・学校配当予算の財務会計執行事務に関すること 5 幼稚園に係る予算の決算に関すること 6 小・中学校配当予算に係る決算に関すること 7 幼稚園の園児募集に関すること 8 幼稚園使用料の徴収・督促事務に関すること 9 幼稚園の就園奨励費に関すること 10 幼稚園の臨時職員の雇用・賃金支払いに関すること
	主 事	宮 本 喜芳	1 小・中学校の予算編成に関すること 2 小・中学校の配当予算に関すること 3 小・中学校の予算執行に関すること 4 小・中学校に係る予算の決算に関すること 5 小・中学校の教材用設備・備品の整備に関すること 6 就学援助費に関すること 7 特殊教育就学奨励費に関すること 8 通学路に関すること

係 名	職 名	氏 名	事 務 分 担 内 容
保健給食係	課 長 補 佐 (保健給食係長 事務取扱)	萩 原 和 明	1 保健給食の全般に関すること 2 保健給食係の予算・決算の取りまとめに関すること 3 学校保健会・給食会等の関係団体に関すること 4 学校（園）医等に関すること 5 給食関係視察等に関すること 6 学校給食関係の各種委員会に関すること
	主 査	萩 島 真 由 美	1 栄養士・調理員の庶務事務に関すること 2 栄養士・調理員の臨時職員の雇用及び派遣に関すること 3 学校給食関係の視察等に関すること 4 栄養士・調理員の研修に関すること 5 給食関係職員の被服貸与に関すること 6 就学措置委員会に関すること
	主 事	國 栖 光 雄	1 給食関係予算の編成に関すること 2 給食関係予算の執行に関すること 3 給食関係予算の決算に関すること 4 学校給食会に関すること 5 給食関係の統計調査報告等に関すること 6 その他給食関係の庶務に関すること
	主 事	照 沼 み ゆ き	1 幼稚園・学校の環境衛生に関すること 2 園児・児童・生徒及び教職員の各種健康診断に関すること 3 日本体育・学校健康センターに関すること 4 学校医等に関すること 5 学校保健会に関すること 6 養護教諭会に関すること 7 保健関係予算の編成に関すること 8 保健関係予算の執行に関すること 9 保健関係予算の決算に関すること

指導室事務分担表

学校教育部参事（指導室長事務取扱） 伊藤 敏

係 名	職 名	氏 名	事 務 分 担 内 容
指 導 係	課 長 補 佐 (指導係長 事務取扱)	田 辺 貞 義	1 校長会・教頭会に関すること 2 指導室関係予算の調整及び執行に関すること 3 学校図書館事務嘱託員に関すること 4 帰国児童生徒講師及び外国人英語指導補助員雇用に関すること 5 庁内調査等に関すること 6 その他連絡調整に関すること
	主 事	小 野 雅 生	1 児童生徒用教科書に関すること 2 クラブ活動謝礼金に関すること 3 奨学金に関すること 4 教育相談・就学相談に関すること 5 特殊学級編成に関すること 6 心身障害児教育関係の予算、各種事業、援助に関すること
	主 事	西 垣 至	1 移動教室・修学旅行の実施及び援助に関すること 2 水泳記録会に関すること 3 プール指導謝礼金に関すること 4 社会科見学、遠足、移動教室の届出に関すること 5 部活動外部指導員謝礼金に関すること
	主 事	大 場 恵 理 子	1 教科用図書採択、教師用教科書・指導書に関すること 2 教員の研修及び研修関係の都費の支出に関すること 3 社会人講師に関すること 4 各種事業委託及び補助事業に関すること 5 バス補助金に関すること 6 学校訪問の届出に関すること 7 教育実習に関すること 8 音楽鑑賞教室に関すること 9 都立高校入学選抜書類に関すること 10 指導関係文書の収受、整理及び配布に関すること

係 名	職 名	氏 名	事 務 分 担 内 容
教職員係	係 長	中 村 貢	1 校長及び教職員（以下「学校教職員」という）の任免、服務、分限その他人事に関する事 2 学校教職員の勤務評定・業務評定に関する事 3 学校教職員の叙位・叙勲・表彰に関する事 4 学校教職員の職員団体に関する事 5 事務・栄養士の研修に関する事 6 その他学校職員に関する事
	主 事	赤久保洋司	1 学校教職員の定数、講師授業時数の割当に関する事 2 臨時的任用教職員（産休・育休代替教職員）及び講師の採用に関する事 3 学校教職員の履歴の整理・保管に関する事 4 学校教職員の任免、服務、分限その他人事に関する事 5 再雇用嘱託員に関する事
	主 事	奥住 大輔	1 学校教職員の給与に関する事 2 学校教職員の扶養親族の認定に関する事 3 学校教職員の住民税の整理・保管に関する事 4 学校教職員の給与簿の整理・保管に関する事 5 学校教職員の退職手当に関する事 6 臨時的任用教職員（産休・育休代替教職員）及び再雇用嘱託員の社会保険に関する事 7 講師の報酬支給に関する事
	主 事	旗野久美子	1 学校教職員の旅費に関する事 2 学校教職員の福利厚生に関する事 3 日野市教職員互助会に関する事 4 学校教職員の公務災害に関する事 5 学校配当予算の執行に関する事 6 学校共通帳票に関する事 7 外国人児童生徒講師・外国人英語指導補助員・巡回指導員の賃金支払に関する事 8 室内の庶務に関する事

指導主事事務分担

1 教科・領域

国語、書写	長谷川	生活	長谷川	体育、保健体育	栗田
社会	長谷川	音楽	栗田	外国語	長谷川
算数、数学	栗田	図画工作、美術	栗田	道徳	長谷川
理科	栗田	家庭、技術家庭	栗田	特別活動	長谷川

2 市教育委員会事業

校長会	長谷川	幼稚園長会	長谷川
教頭会	栗田	教務主任会	長谷川
生活指導主任会	栗田	進路指導主任会	栗田
保健主任会	長谷川	中学校生活指導主任会	栗田
研究主任会	長谷川	体育主任会	栗田
給食主任会	栗田	研修（初任者研修、A研修）	栗田
就学相談委員会	栗田	人権尊重教育推進委員会	長谷川
心身障害教育推進協議会	栗田	心の教育推進委員会	長谷川
学校指定・課題指定研究校	長谷川	情報教育推進委員会	栗田
幼稚園教育推進委員会	長谷川	海外文化交流推進委員会	長谷川
外国人児童・生徒指導連絡会	長谷川	インターネット研究委員会	長谷川
TT指導連絡会	長谷川	学校図書主任連絡会	長谷川
書写展運営委員会	栗田	相談学級運営協議会	栗田
日野市幼・小学校教育研究会	長谷川	英語指導改善委員会	長谷川
日野市中学校教育研究会	栗田	教職研修実施協議会	栗田
科学教育センター運営委員会	栗田	日光移動教室運営委員会	栗田
科学教育検討委員会	長谷川	水泳記録会運営委員会	栗田
進路指導問題協議会	栗田	音楽鑑賞教室運営委員会	栗田
教育相談ケース会議	長谷川	情報公開検討委員会	長谷川

3 指導事務分担

都教委指導部・都研・多摩研	長谷川	都教育研究員・東京の教育21	長谷川
国・都研究奨励・多摩推・多摩研	長谷川	学校訪問・指導訪問	栗田
教育課程届	長谷川	教育課程・年間指導計画	長谷川
研究収録、副読本	栗田	教材届承認	栗田
遠足、移動教室、修学旅行届	栗田	まどべ編集・発行、指導室だより	栗田
就学・措置替指導	長谷川	都市指導主事会、第二地区会	長谷川
行事予定作成、委員会	栗田	教育資料・情報	長谷川
ひのっ子教育21研究員	長谷川	学校指定研究・課題指定研究校	長谷川

4 施設・行事

教職員研究室	長谷川	教科書展示室	栗田
文化行事	長谷川	体育行事	栗田

5 東京都教育委員会指導事務分担

学校訪問協議会	栗田	同和教育指導推進委員会	長谷川
生活指導担当指連協	栗田	道徳教育担当指連協	長谷川
教育課題研究会議	長谷川	幼稚園教育担当指連協	長谷川
心身障害教育担当指連協	栗田	男女平等教育推進委員会	栗田
消費者教育推進委員会	長谷川	国際理解教育推進委員会	長谷川
在日外国人児童・生徒教育連絡会	長谷川	福祉教育推進委員会	栗田
外国人児童・生徒教育担当連絡会	長谷川	体育・健康担当指連協	栗田
教員研修担当指連協	栗田	人権尊重教育推進校委員会	長谷川
環境教育推進委員会	長谷川	進路指導担当指連協	栗田
学校不適応対策連絡協議会	栗田	多摩地区健全育成行政連絡会	栗田
道徳教育助言者研究協議会	長谷川		

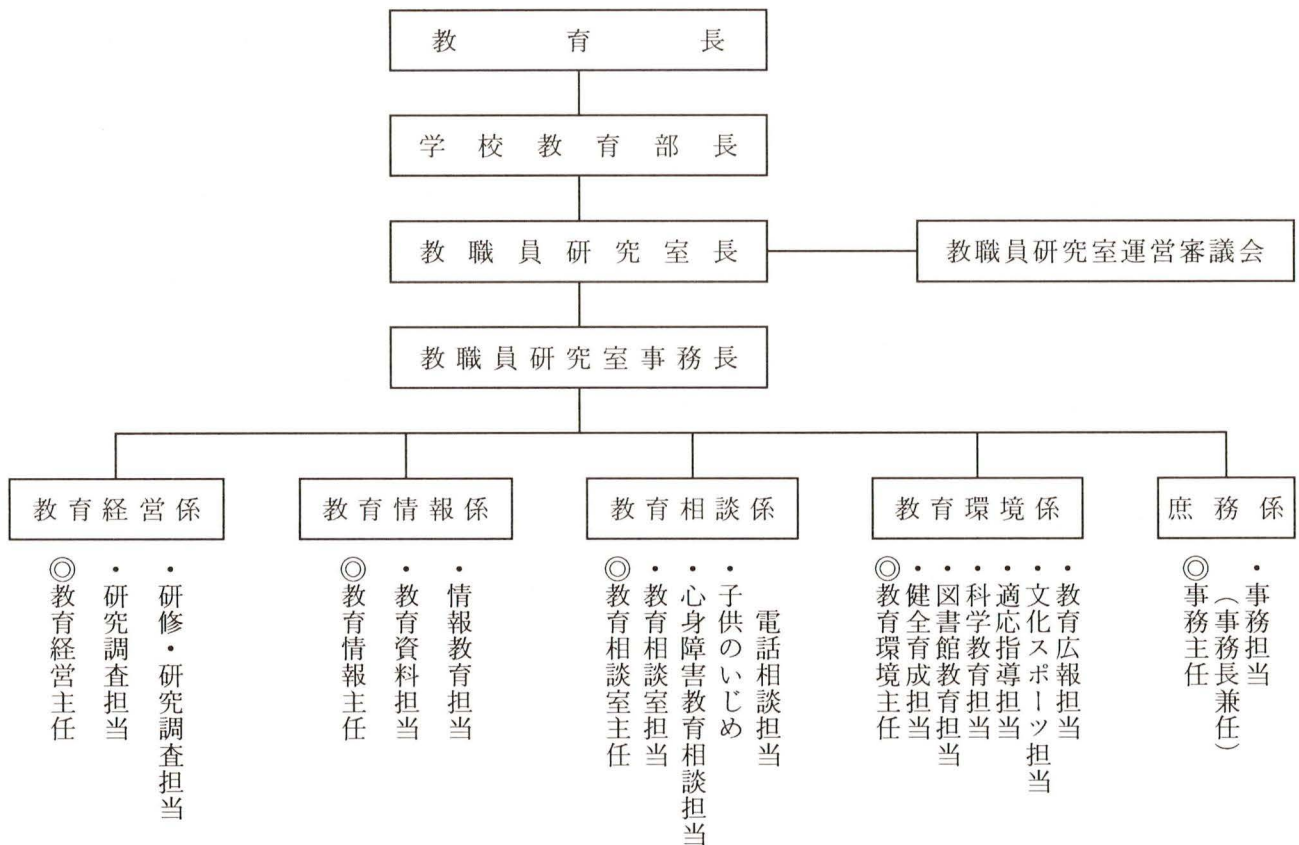
日 野 市 立 教 職 員 研 究 室

日野市立教職員研究室は、教育に関する専門的・技術的事項の研究を通じ、その成果を敷衍し、教育内容の向上を図るとともに、教育関係職員の研修を積極的に進め、その物資の向上を図り、日野市における教育の充実と振興を図る教育機関として位置する。

1. 日野市立教職員研究室の組織及び運営

日野市立教職員研究室に、室長、事務長、事務職員、専門職員を置く。それぞれの職は、教育委員会がこれを任命する。

(1) 組 織



(2) 職 務

- ① 室長は、日野市教育委員会の命を受け、教職員研究室を管理し、教職員研究室が行う事業を企画、運営、実施する。また、その他の事務を掌理するとともに、所属職員を指揮監督する。
- ② 事務長は、室長を補佐し、担当事務を処理する。
- ③ 主任は、各係を統括し、事業を遂行する。
- ④ 専門職員は、上司の命を受け、担当する事項の研究及び所掌事務に従事するとともに、指導主事の助言を得て、事業の実施に当たる。

専門職員は、教育相談員、教育指導員（嘱託員）並びに教育委員会が任命する専門職員をいう。

- ⑤ 事務職員は、上司の命を受け、担当事務を処理する。

(3) 日野市立教職員研究室運営審議会

教職員研究室の運営について必要な事項を審議する。委員は、教育委員会が委嘱する、学校関係者、教育行政機関関係者、学識経験者を持って充てる。

2. 日野市立教職員研究室の事業内容と分担

(1) 教職員研究室の事業

- ① 幼児・児童・生徒についての研究調査及び教育関係職員の研修等に関すること。
- ② ひのっ子教育21研究員会の研究に関すること。
- ③ 教育に関する専門的・技術的事項の研究及び教育環境に関すること。
- ④ 教育に関する資料の整備及び活用に関すること。
- ⑤ 教育相談に関すること。
- ⑥ 前各号に掲げるもののほか必要な事業。

(2) 教職員研究室事務分掌

- ① 教育経営係
 - ・ ひのっ子教育21研究員会の研究に関すること。
 - ・ 教育経営の研究及び調査に関すること。
 - ・ 教育関係職員の研究及び研修に関すること。
 - ・ 教育方法の研究及び改善充実に関すること。
 - ・ 幼児教育の研究及び資料の提供に関すること。
- ② 教育情報係
 - ・ 教育資料の収集及び提供に関すること。
 - ・ 情報教育の研究及びその活用に関すること。
- ③ 教育相談（室）係
 - ・ 教育相談に関すること。
 - ・ 教育相談に関する研究及び学校への援助に関すること。
 - ・ 心身障害児の相談及び援助に関すること。
- ④ 教育環境係
 - ・ 健全育成に関する研究及び資料提供に関すること。
 - ・ 児童・生徒の適応指導及び学習促進に関すること。
 - ・ 学校図書館の機能の活用に関すること。
 - ・ 自然科学教育の研究及び振興に関すること。
 - ・ 学校施設の活用に関すること。
 - ・ 教育広報に関すること。
- ⑤ 庶務係
 - ・ 教職員研究室の事務に関すること。
 - ・ 他の係に属さないこと。

3. 教職員研究室職員

室 長 清 水 七 郎

事務長 伊 藤 峯 夫

(1) 教育経営係

- | | | |
|-------------|----------|---------|
| ○ 研究調査担当 | 影山 建 | 本田 仁 |
| | 馬場 武 | |
| ○ 研修・研究調査担当 | ◎石川 耀子 | 岩下 和夫 |
| | 小林 繁人 | |

(2) 教育情報係

- | | | |
|----------|----------|---------|
| ○ 教育資料担当 | ◎波多野 坦 | 橘田 晟 |
| ○ 情報教育担当 | 三井 春勇 | |

(3) 教育相談係

- | | | |
|------------|---------|---------|
| ○ 一般教育相談担当 | 中村 晶子 | 高嶋 ひさ |
|------------|---------|---------|

◎門 鼻 古屋真由枝

- 心身障害教育相談担当 御子柴万里子
- 子供のいじめ電話相談担当 大野 隆久 片岡千壽子
- 顧問 日本女子体育大学教授（心理学） 石川 尚子
東京学芸大学教授（心理学） 松村 茂治
都立梅ヶ丘病院精神科医長 海老島 宏
武蔵丘短期大学教授 河井 英子

(4) 教育環境係

- 健全育成担当 北原 景昭 小幡 建
- 図書館教育担当 草刈 喜一
- 科学教育担当 江口 耕一 (小幡 建)
- 適応指導担当 ◎有泉 徹郎 (内藤 康)
- 文化スポーツ担当 内藤 康
- 教育広報担当 鍋田 良子

(5) 庶務係

藤田まゆみ 小松あさ江
若林 正治

4. 教育相談事業

日野市立教職員研究室教育相談室（係）は、日野市に在住する幼児・児童・生徒（高校生を含む）及びその保護者を対象とする教育相談に応ずるとともに、学校が行う教育相談への協力・援助を行い、教育相談活動の促進と充実を図る。

(1) 相談内容・方法

【一般教育相談】

幼児・児童・生徒の学習、行動、特徴、性格、進路適正等にかかわる相談に応じ、個性や社会性を伸長するための助言・援助を行う。

【心身障害教育相談】

心身に障害のある幼児・児童・生徒の発達・成長にかかわる相談に応じ、その適正や能力を伸ばし、積極的に社会参加できるように相談・援助する。また、一人一人の幼児・児童・生徒の特性に側した適切な教育を実現するための相談・援助を行う。

【学校教育相談】

幼児・児童・生徒の学校（園）生活への適応、問題行動等にかかわる相談に応じ、学校、保護者、関係機関等との協力を得て、幼児・児童・生徒の個性や社会性を伸長するなどの指導、助言・援助を行う。

【電話相談】（592－1160）

電話による相談を行う。

【子供のいじめ電話相談】（592－2782）

幼児・児童・生徒のいじめにかかわる相談に応じ、適切な人間関係を培う助言・援助を行う。また、学校・家庭・地域・関係機関との連携を図る。

(2) 兼任相談員

第二幼稚園園長	坂口 嘉津子	日野第八小学校教諭	若林 真砂子
日野第二小学校教諭	矢野 良枝	仲田小学校教諭	斉藤 弥生
日野第五小学校教諭	越村 あや子	三沢中学校教諭	広田 淑子
潤徳小学校教諭	川原田 和子	大坂上中学校教諭	原沢 和江
平山小学校養護教諭	佐藤 ヒサ子		

日野市心身障害教育推進協議会

1. 目 的

本協議会は、日野市教育委員会から研究委託を受けて、心身障害教育の充実を図ることを目指し、心身に障害のある幼児・児童・生徒に適切な教育を保障するための教育条件の整備、指導内容・方法の改善・充実並びに社会的な自立を促す教育の在り方等について研究するとともに、心身障害児理解教育を具体的に進め、啓発活動や教職員を対象とした研修、交流教育等の諸事業を企画し実践する。

2. 事業の内容

上記の目的を達成するため、本協議会の事務局を協議会会長校に置き、次の主たる事業を行う。

- ①心身障害教育の在り方の検討、②固定学級及び通級学級における指導と学級経営の在り方の検討、③心身障害教育に関する啓発資料の作成及び交流教育の推進、④就学相談と充実と相談活動への協力と援助、⑤幼児・児童・生徒の適応状況及び発達状況の把握、⑥学校における相談組織と機能の充実、⑦進路指導の充実

3. 組 織

- (1) 本協議会は、次に掲げる者をもって組織する。

日野市教育委員会教育長、学校教育部長、指導室長、学務課長、指導主事、指導係長、顧問医、日野市心身障害学級設置校長、心身障害学級担任、各幼・小・中学校（園）の教員（心身障害教育担当）、教育相談室専任相談員、本協議会会長が指名した者。

- (2) 本協議会は、次の専門部を置き、上記の事業を推進する。

- ア. 研究部 心身障害教育の在り方、心身障害学級の適正配置及び将来構想等に関する研究
- イ. 研修部 心身障害教育に関する研修の推進、啓発資料の作成等に関する取り組みと調査
- ウ. 相談部 相談活動への協力、幼児・児童・生徒の適応状況及び発達状況の把握と担任への援助

4. 委託の内容

- (1) 心身に障害のある児童・生徒の教育内容・方法の研究

一人一人の幼児・児童・生徒の障害の特性に応じた適切な指導内容・方法及び評価の工夫・改善を進める。そのために、個に応じた教育プログラムを作成し、個別指導や小集団による指導を進め、授業実践を通して基礎・基本の徹底を図るとともに、個性を育む教育の在り方について検討願いたい。

- (2) 固定学級及び通級学級における指導の在り方の検討

固定学級の在り方並びに通級学級の指導と在籍する学級での指導との関連や役割を明確にする。

徳に通常の学級に在籍する聴覚・言語障害児・生徒への指導の在り方と現状及び通級による指導との関連や役割を明確にする。さらに、日野市における聴覚・言語障害の指導及び日野市での通級学級における入・退級の整合したシステムの構築、及び聴覚・言語障害の指導のための学級の設置について調査研究願いたい。

(3) 心身障害教育に関する啓発資料の作成及び交流教育の推進

日野市全体を視野に入れた心身障害教育に関する啓発資料並びに広報活動を具体的に検討し、実施願いたい。

(4) 就学相談の充実と相談活動への協力と援助

学校、医療、福祉、保健の各機関の専門性を生かした連携を図るとともに、きめ細かい相談活動を通して、一人一人の発達を保障するための相談活動に向けての研修の在り方、及び相談活動を行うための研修の在り方について研究を願いたい。

(5) 進路指導の充実

心身に障害のある生徒の個性や能力、適正を最大限に伸ばし、将来的に社会的自立・自活をしていけるように、福祉・ハローワーク及び商工会などの協力を得た、職業体験を実施し、それらの体験活動を通して、進んで社会参加をすることのできる生徒の育成を目指した実践的な指導の在り方の研究を願いたい。

日野市立小学校科学教育センター

1. 目 的

児童の課題意識を基に観察・実験などを通して、意欲的に探求し、自然の事物・現象についての特性や決まりをとらえ、自然についての科学的な見方や考え方を養うとともに自然を愛する豊かな心情を涵養し、自ら学ぶ意欲を高め、生涯を通じて学び続ける児童を育むことを目指すものとする。

このことによって、これから先の高度情報化社会や産業構造、生活様式の変化に主体的に対応し、こころ豊かに逞しく生きていく児童を育成する。

2. 内 容

児童の自然科学に対する興味・関心を喚起し、課題意識を持って意欲的に探求することのできる内容とする。

指導員は、可能な限り教えることを少なくし、児童が問題の発見から結論に至る一連の問題解決の課程を大切にしたい支援・指導に重点を置き、児童の自ら学ぶ楽しさ、追求する楽しさ、調べる楽しさなどを実感できるものとする。

こうした内容のもとに、児童の自然に対する豊かな心情を高めることができるものとする。

3. 運 営

(1) 設 置 科学教育センター校として、当分の間、日野市立日野第五小学校に置く

(2) 講 座 ア. 1年間を前期、後期の二期制とし、期を通して児童の課題意識を基に、問題の発見から結論に至る一連の研究活動を行うものとする。

さらに、夏季講座を開講する。夏季講座は、「日野市立八ヶ岳高原大成荘」を拠点として、自然観察を中心とした内容とする。

①前期（5月～9月）、②後期（10月～2月）、③夏季講座（7月下旬）

イ. 各講座の単位時間と単位数

①1単位時間を概ね2時間（土曜日午後）とする。

②単位数を概ね8単位とする。

③夏季講座は、5単位とする。

ウ. 夏季講座の移動用バス借上料以外の諸費用は参加者の自己負担とする。

(3) 対象児童と定員

各講座の定員を40名とする。ただし、前期は6年生児童、後期は5年生児童を対象とする。夏季講座は、前期講座終了予定者を主たる対象とする。

4. 運営組織

(1) 科学教育センター長、センター次長、主任を置く

- ①科学教育センター長は、科学教育センターの設置校長とする。
- ②科学教育センター次長は、科学教育センターの設置教頭とする。
- ③主任は、東京都嘱託職員を充てるものとする。

(2) 科学教育センター運営委員会を置く

- ①次の運営委員による協議を基に科学教育センターを運営する。

- ア. 科学教育センター長 1名
- イ. 科学教育センター次長 1名
- ウ. 科学教育センター主任及び担当 2名
- エ. 指導員（小学校教諭） 4名
- オ. 日野市教育委員会学校教育部指導室長 1名
- カ. 日野市教育委員会指導主事 1名

- ②運営委員会はセンター長が召集する。

(3) 指導組織

- ①科学教育センター長、次長の指導の下、主任と指導員が協力してセンター生の指導に当る。
- ②指導員は、センター生の小集団を形成し、これを責任を持って援助・指導に当る。

(4) 指導員を置く

- ①小学校教諭をもって当てる。
- ②学習内容に即した社会人講師を充てる。ただし、科学教育センター長の要請によるものとする。

(5) 指導計画作成委員会を置く

- ①指導計画作成委員会を設置し、各期及び夏季講座の指導計画を作成する。
- ②指導計画作成委員会は、科学教育センター長の指導のもと、センター主任が中心となり、指導員の協力のもとに指導計画を作成する。

運営費・その他

(1) 科学教育センター委託費

授業委託費を運営費（消耗品、備品、印刷費、夏季講座バス借上料等）並びに指導員等の報酬に当てる。

(2) センター生（児童）の通学

- ①科学教育センターへの通学のための諸費用はセンター生の自弁とする。
- ②通学途中における交通事故等による災害補償は、児童の在籍校が日本体育・学校健康センターへの手続きを行い、給付を受けるものとする。
- ③自転車による通学は禁止し、センター主任を中心として、適宜交通安全指導を行うものとする。

5. 科学教育センターの運営組織

センター長	鈴 本 利恵子 (日野第五小学校教長)	次 長	菊 岡 俊 介 (日野第五小学校教頭)
主 任	江 口 耕 一 (教 職 員 研 究 室)	主 任	小 幡 建 (教 職 員 研 究 室)
指 導 員	小 田 準 子 (日野第一小学校教諭)	指 導 員	高 橋 智 子 (高幡台小学校教諭)
指 導 員	飯 塚 昭 (日野第二小学校教諭)	指 導 員	豊 田 光 (日野第七小学校教諭)
指 導 員	栗 原 智 子 (日野第三小学校教諭)	指 導 員	磯 島 章 (南平小学校教諭)
指 導 員	田 澤 直 子 (日野第四小学校教諭)	指 導 員	鈴 木 美彌子 (程久保小学校教諭)
指 導 員	室 住 秀 樹 (日野第五小学校教諭)	指 導 員	桑 原 雅 道 (旭が丘小学校教諭)
指 導 員	鶴 間 紀 子 (日野第六小学校教諭)	指 導 員	和 栗 悦 子 (旭が丘小学校教諭)
指 導 員	渡 邊 桂 子 (潤徳小学校教諭)	指 導 員	中 村 康 成 (平山台小学校教諭)
指 導 員	工 藤 容 子 (平山小学校教諭)	指 導 員	入 田 純 子 (東光寺小学校教諭)
指 導 員	大 成 鐸 夫 (日野第八小学校教諭)	指 導 員	丸 茂 洋 子 (三沢台小学校教諭)
指 導 員	矢 野 百合子 (百草台小学校教諭)	指 導 員	雨 宮 宣 夫 (仲田小学校教諭)
指 導 員	馬 場 裕 子 (滝合小学校教諭)		

日野市公立学

学 校 名	第一幼稚園	第二幼稚園	第三幼稚園	第四幼稚園	第五幼稚園	第六幼稚園	第七幼稚園	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	第五小学校	第六小学校	潤徳小学校	平山小学校	第八小学校	百草台小学校
校（園）長名	上野 美津枝	坂口 嘉津子	平向 邦江	山本 智恵子	渡辺 明子	梶村 和子	酒匂 瑠美子	秋山 憲一	吉野 美智子	齋藤 正子	小原 良雄	鈴木 利恵子	小笠原 久雄	信夫 清彦	畑野 元一	圓谷 雅之助	木内 秀雄
学級数	4	2	2	2	2	2	4	14	18 (1)	12 (3)	18	15 (1)	12	12	12	18	8 (1)
児童数 (生徒数)	95	61	62	62	65	45	98	474	544 (4)	318 (19)	516	494 (5)	415	358	362	679	236 (8)
教職員数	6	4	4	4	4	4	6	25	27	23	27	29	20	19	19	26	17
電 話	581 4124 4105	591 4125	581 7127	583 3903	592 0432	592 6330	586 3770	581 0073 0061	581 0070 0851	581 0101 0850	581 0038 3076	581 0407 0445	581 0366 4686	591 0409 0410	591 4123 0512	591 2411 2412	591 0997 0998
所 在 地	多摩平四―三	平山四―五―四	日野本町二―一四―一	石田四三一―六	三沢一七五	程久保八七六―二	旭が丘二―四二	日野本町二―一四―一	東豊田二―一四―一	日野台二―一―一	石田四三〇	多摩平六―二一―一	多摩平三―二一	高幡四〇二	平山四―八―六	三沢二〇〇	百草九九九
交 通 機 関	中央線豊田駅下車、徒歩十分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より京王バス四小前下車、徒歩四分 日野駅より都バス日野橋南詰下車、徒歩七分、立川駅北口・	京王線高幡不動駅下車、徒歩十二分	高幡不動駅下車、百草団地行バス高幡台団地下車、徒歩五分	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩六分	京王線南平駅下車、徒歩十五分 中央線豊田駅下車、徒歩十分	京王バス日野自動車前下車、徒歩七分 中央線日野駅下車、徒歩十分	立川駅北口・高幡不動駅より京王バス四小前下車、徒歩二分 日野駅より都バス日野橋南詰、下車、徒歩七分	中央線日野駅下車、バス日野自動車前下車 中央線豊田駅又は日野駅下車、バス日野五小前下車	中央線豊田駅下車、徒歩十二分 京王バス小西六裏門下車、徒歩三分	京王線高幡不動駅下車、東北へ徒歩五分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩八分	京王線高幡不動駅下車、徒歩十五分	徒歩五分 高幡不動駅より百草団地行きバス百草センター下車

校・幼稚園一覽

平成10年5月1日現在

滝合小学校	高幡台小学校	第七小学校	南平小学校	程久保小学校	旭が丘小学校	平山台小学校	東光寺小学校	三沢台小学校	仲田小学校	第一中学校	第二中学校	七生中学校	第三中学校	第四中学校	三沢中学校	大坂上中学校	平山中学校
西田敦子	許斐文代	品田敏男	畑石重輝	小山田穰	熊野時巳	増賀従男	小杉博司	飯田國代	河野和昌	松澤茂久	日食和雄	岩浪真	福島良樹	松原勇	熊沢直孝	谷合明雄	辻野良子
11	8	17	14	11	21	6 (2)	12	9	9	16	13	11 (2)	14	16	15	17 (1)	9
346	212	601	459	268	711	172 (14)	284	265	250	584	465	392 (10)	519	592	559	614 (7)	344
17	15	24	24	19	31	15	19	16	16	33	23	25	26	30	29	34	19
583 5172 5173	591 7011 7012	583 3907 3908	592 2021 2022	592 5014 5015	583 3733 3748	592 6381 6382	584 6200 6201	593 2351 2352	581 8511 8512	581 0009 0261	581 0056 0262	591 0174 0175	591 2228 2229	583 3905 3906	592 5017 5018	583 9755 9756	593 3015 3016
西平山二―三―一	程久保五〇	神明三―二	南平四―一八―一	程久保一―一四―二	旭が丘五―二一―一	平山二―一一―一	新町三―二四―一	百草八九六―一	日野本町六―一一七四	日野本町七―七―七	多摩平四―五―二	南平六―七―一	程久保六五〇	旭が丘二―四二	三沢一―一七―四	大坂上四―一七―一	平山四―二一―三
京王線平山城址公園・長沼駅下車、徒歩十分	高幡台団地下車、徒歩五分 京王線高幡不動駅から百草団地行又は桜ヶ丘行バス	中央線日野駅下車、徒歩十五分	京王線南平駅下車、徒歩十二分	高幡不動駅より多摩動物公園行バス中程久保下車、徒歩二分	中央線豊田駅下車、徒歩二十五分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、豊田方面徒歩十三分	京王線百草園駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、立川方面徒歩十分	中央線豊田駅北口下車、徒歩十分	京王線南平駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より百草団地行バス高幡台団地下車、徒歩七分	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動駅又は百草園駅下車、徒歩十二分	中央線日野駅下車、徒歩十二分	京王線南平駅・平山城址公園駅下車、徒歩八分 中央線豊田駅下車、徒歩十八分

() 内は心障学級数

校長・教頭事業担当一覧

1. 学校教育部

(1) 指導室関係

分類	名称	校長会		教頭会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
主任会	教務主任会	秋山 憲一	福島 良樹	八木 文夫	中野 秀樹
	生活指導主任会	小笠原久雄	松澤 茂久	雨宮 充	鈴木 直也
	中学校生活指導主任会		松澤 茂久		鈴木 直也
	進路指導主任会		日食 和雄		片倉 俊秀
	保健主任会	畑石 重輝	熊沢 直孝	逸見 明男	阿部信一郎
	研究主任会	信夫 清彦		高橋 茂子	鈴木 直也
	体育主任会	熊野 時巳		佐藤 静雄	
	給食主任会	圓谷雅之助	辻野 良子	西森 恵子	正留 久巳
委員会	人権尊重教育推進委員会	吉野美智子	熊沢 直孝	田中 晴美	岡部 秀敏
	心の教育推進委員会	小笠原久雄	谷合 明雄	光地 幸子	
	情報教育推進委員会	秋山 憲一	福島 良樹	清水 義路	
	情報公開検討委員会	秋山 憲一	松原 勇	岡田壽美子	片倉 俊秀
運営	音楽鑑賞教室運営委員会	小杉 博司	松澤 茂久	宇野有斐子	沖山 治
	日光移動教室運営委員会	圓谷雅之助		田中 晴美	
	水泳記録会運営委員会	鈴木本利恵子		古宮キヨ子	
	相談学級運営委員会	小杉 博司		川原 保彦	
委託	学校図書館主任連絡会	信夫 清彦		佐藤 静雄	
	外国人児童・生徒指導連絡会	河野 和昌		矢野 優	
	T . T 指導連絡会	熊野 時巳	日食 和雄		正留 久巳
		飯田 國代			岡部 秀敏
委託	心身障害教育推進協議会	増賀 從男	谷合 明雄	宇野有斐子	嘉陽 義明
		鈴木本利恵子	岩浪 真	上條 茂	
		木内 秀雄		古宮キヨ子	
	科学教育センター	吉野美智子		菊岡 俊介	
委託		齋藤 正子			
		鈴木本利恵子			

推 進	海外文化交流推進委員会 インターネット研究委員会 就学相談委員会	小杉 博司 河野 和昌 増賀 従男 鈴木恵子 木内 秀雄 吉野美智子 齋藤 正子	福島 良樹 谷合 明雄 岩浪 真	難波 和子	沖山 治 中野 秀樹 嘉陽 義明
	英語指導改善委員会 教職研修実施協議会	畑野 元一 小山田 穰	福島 良樹 谷合 明雄	森野 豊	沖山 治
	日野市教育研究会	畑野 元一 許斐 文代	福島 良樹	森野 豊 難波 和子	嘉陽 義明
	書初展運営委員会	許斐 文代	辻野 良子	光地 幸子	岡部 秀敏
資 料	「まどべ」編集委員会	飯田 國代		川原 保彦	阿部信一郎

(2) 学務課関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
給食関係	栄 養 士 会 学 校 給 食 会	圓谷雅之助 圓谷雅之助	辻野 良子 辻野 良子	西森 恵子 西森 恵子	正留 久巳 正留 久巳
保健関係	学 校 保 健 会 養 護 教 諭 会	畑石 重輝 畑石 重輝	熊沢 直孝 熊沢 直孝	逸見 明男	阿部信一郎

(3) 研究室関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
委 員	運 営 審 議 会	西田 敦子 増賀 従男	松原 勇		

2. 生涯学習部

(1) 生涯学習課関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
委 員	社 会 教 育 委 員 市 P T A 連 絡 協 議 会 理 事	秋山 憲一 小原 良雄 木内 秀雄 齋藤 正子	松原 勇 岩浪 真		

(2) スポーツ振興課関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
委 員	学校体育施設開放運営委員	熊野 時巳	松原 勇	岡崎 滋	鈴木 直也

(3) 図書館関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
委 員	図 書 館 運 営 審 議 委 員	信夫 清彦			

(4) 公民館関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
委 員	公 民 館 運 営 審 議 委 員	小笠原久雄			

(5) ふるさと博物館関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
委 員	ふ る さ と 博 物 館 協 議 委 員	畑野 元一	松澤 茂久		

3. 都校長会・都教育委員会関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
委 員	環 境 週 間 行 事 運 営 委 員	小杉 博司			

4. その他

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
委 員	環 境 緑 化 協 会 評 議 委 員 市 教 職 員 互 助 会 理 事	許斐 文代 増賀 從男		森野 豊	

平成10年度 管理運営規則

	学 校 名	学 校 長	教 務 主 任	生 活 指 導 主 任	保 健 主 任	進 路 指 導 主 任
1	日野一小	秋 山 憲 一	清 水 俊 幸	土 方 久 枝	黒 部 久 子	
2	日野二小	吉 野 美 智 子	小 島 義 範	高 橋 孝 子	渡 辺 敏 子	
3	日野三小	齋 藤 正 子	橋 本 清 明	古 家 静 子	渡 邊 三 枝 子	
4	日野四小	小 原 良 雄	川 井 龍 介	玉 置 順 子	川 口 雅 恵	
5	日野五小	鈴 本 利 恵 子	越 村 あ や 子	西 志 村 二 三 子	金 野 峰 子	
6	日野六小	小 笠 原 久 雄	市 川 光 男	霊 山 邦 夫	内 田 一 美	
7	潤 徳 小	信 夫 清 彦	高 橋 健	渋谷 鈴 子	川 原 田 和 子	
8	平 山 小	畑 野 元 一	渡 辺 学	比 嘉 道 子	佐 藤 ヒ サ 子	
9	日野八小	圓 谷 雅 之 助	大 成 鐸 夫	三 浦 理 恵 子	井 戸 川 喜 代	
10	百草台小	木 内 秀 雄	菱 田 美 恵 子	山 本 さ き 子	船 山 陽 子	
11	滝 合 小	西 田 敦 子	五十嵐 容 子	栗 原 典 子	高 橋 紀 子	
12	高 幡 台 小	許 斐 文 代	越 智 久 子	高 橋 智 子	古 越 富 子	
13	日野七小	品 田 敏 男	小 坂 克 信	岩 松 親 和	櫻 田 淳	
14	南 平 小	畑 石 重 輝	山 田 栄 子	宗 近 孝 子	竹 野 久 乃	
15	程久保小	小 山 田 穰	三 木 滋	田 中 悦 子	窪 田 弥 生	
16	旭が丘小	熊 野 時 巳	桑 原 雅 道	秋 野 美 津 子	進 藤 章 子	
17	平山台小	増 賀 從 男	中 村 康 成	山 田 謙 一	丸 山 幸 江	
18	東光寺小	小 杉 博 司	猿 田 恵 一	高 木 宏	川 崎 知 子	
19	三沢台小	飯 田 國 代	茂 木 敏 光	佐々木 幸 恵	太 島 真 知 子	
20	仲 田 小	河 野 和 昌	雨 宮 宣 夫	岩 崎 英 夫	小 林 八 重 子	
1	日野一中	松 澤 茂 久	渡 辺 重 己	菅 野 武	徳 田 紀 恵	迫 丸 英 明
2	日野二中	日 食 和 雄	鬼 頭 昭	野 口 英 一	三 瓶 法 子	藤 塚 康 子
3	七 生 中	岩 浪 真	安 里 孝 信	今 井 正 喜	根 岸 智 子	櫻 井 圭 子
4	日野三中	福 島 良 樹	塚 本 優 輝 雄	吉 田 俊 明	小 林 浄 子	岩 崎 弘 晃
5	日野四中	松 原 勇	鎌 田 義 男	石 川 晴 一	須 田 由 香	村 野 浩 史
6	三 沢 中	熊 沢 直 孝	長 友 良 嗣	清 水 明	小 野 田 恵 子	澤 田 昌 喜
7	大坂上中	谷 合 明 雄	三 浦 利 信	大 房 裕 司	小 美 濃 亜 矢 子	中 原 明 寿
8	平 山 中	辻 野 良 子	林 範 夫	中 嶋 建 一 郎	田 那 部 好 美	金 田 広 美

第八条に基づく主任一覧表

学 年 主 任					
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
黒 部 久 子	菊 池 治	土 方 久 枝	乾 ひさ子	鈴 木 節 子	清 水 俊 幸
荒 木 正 美	菅 野 君 江	高 橋 孝 子	西 尾 京 子	小 林 恵 久 子	久 保 田 由 子
樋 口 俊 子	小 峯 み ゆ き	由 比 ケ 濱 慶 子	長 澤 範 重	前 田 佐 和 子	北 島 あ け み
赤 松 昭 子	玉 置 順 子	橋 爪 憲 子	名 取 明 代	田 中 和 子	川 井 龍 介
寺 岡 千 恵 子	盛 恭 子	後 藤 絢 子	徳 永 英 子	風 野 敏 子	志 賀 由 具
望 月 朝 子	菊 池 静 枝	垣 内 奈 緒 美	逸 見 黎 子	飴 家 純	鶴 間 紀 子
小 俣 靖 江	澤 崎 き よ み	川 原 田 和 子	渋谷 鈴 子	林 亀 三	武 井 か を り
梅 澤 芳 美	茅 野 と め 子	金 子 直 子	鈴 木 玲 子	橋 本 美 枝 子	工 藤 容 子
蔵 元 節 子	土 井 公 子	安 田 キ ミ 子	赤 松 紀 子	間 島 春 美	海 老 原 眞 知 子
山 本 さ き 子	中 村 み ど り	矢 野 百 合 子	武 田 恵 子	有 賀 康 美	井 浦 弘
伊 藤 と も よ	五十 嵐 容 子	佐 藤 文 敏	村 山 栄 子	日 高 真 理 子	山 中 政 尚
越 智 久 子	吉 田 哲 夫	井 上 洋 美	山 中 康 生	高 橋 智 子	御 木 茂
藤 本 は る み	田 中 吉 子	津 田 八 重 子	末 間 志 信	赤 井 光 子	市 川 博 子
網 野 嘉 恵	生 井 恵 子	小 林 照 子	西 原 美 枝 子	吉 田 京 子	田 村 操
志 村 道 子	井 上 美 子	吉 野 宏	窪 田 弥 生	三 木 滋	田 中 悦 子
相 原 早 苗	小 林 あ や め	鈴 木 知 英 子	窪 田 正 子	高 田 真 澄	青 柳 香 保 留
若 松 富 紀 子	宇 留 賀 眞 理 子	中 村 康 成	山 田 謙 一	吉 尾 眞 理 子	小 山 田 ひ ろ み
石 岡 房 子	川 井 田 和 子	佐 々 木 隆 雄	溝 江 恵 美 子	矢 口 由 美 子	入 田 純 子
桑 田 悦 子	小 林 和 子	鈴 木 茂 子	熊 本 幸 代	丸 茂 洋 子	鷹 尾 富 貴 江
植 松 久 美 子	笠 井 祐 子	斎 藤 弥 生	岩 崎 英 夫	西 弘 美	雨 宮 宣 夫
岸 隆 男	横 井 純 子	平 沢 明 雄			
小 鷹 文 一	浅 田 恭 子	田 中 厚			
鈴 木 茂	西 川 路 子	松 井 保 子			
磯 崎 百 合 子	古 田 俊 光	五 味 田 修			
菊 池 基 文	斎 藤 道	辰 巳 恵 子			
井 田 久 雄	岡 部 稔	横 澤 照 夫			
佐 藤 至 正	高 野 和 美	鈴 木 康 弘			
松 野 智 子	堤 信 博	常 松 悦 子			

日野市立小・中学校主任

	学 校 名	研 究・研 修	人 権 尊 重	国 語 科	社 会 科	算数・数学科
1	日野一小	乾 ひさ子	高 田 伸 子	乾 ひさ子	土 方 久 枝	朝 田 幹 雄
2	日野二小	槇 圭 子	矢 野 良 枝	荒 木 達 也	後 藤 健 夫	杉 本 功
3	日野三小	北 島 あけみ	古 家 静 子	前 田 佐 和 子	諏 訪 英 樹	由比ヶ濱慶子
4	日野四小	田 村 直 樹	田 中 和 子	橋 爪 憲 子	田 中 和 子	丸 山 由 紀 夫
5	日野五小	菊 池 和 子	山 木 さゆみ	菊 池 和 子	風 野 敏 子	吉 川 美 幸
6	日野六小	鶴 間 紀 子	飴 家 純	垣 内 奈 緒 美	鶴 間 紀 子	望 月 朝 子
7	潤 徳 小	小 野 勝 政	澤 崎 きよみ	澤 崎 きよみ	渋谷 鈴 子	小 野 勝 政
8	平 山 小	橋 本 美 枝 子	橋 本 美 枝 子	坂 西 圭 子	金 子 直 子	渡 辺 学
9	日野八小	田 中 延 子	海老原眞知子	赤 松 紀 子	田 中 延 子	安 田 キヨ子
10	百草台小	有 賀 康 美	武 田 恵 子	矢 野 百 合 子	武 田 恵 子	山 本 さき子
11	滝 合 小	村 山 栄 子	五十嵐 容子	村 山 栄 子	山 中 政 尚	栗 原 典 子
12	高幡台小	御 木 茂	吉 田 哲 夫	井 上 洋 美	石 原 美 代	越 智 久 子
13	日野七小	豊 田 光	小 林 良 江	藤 本 はるみ	末 間 志 信	馬 場 裕 美
14	南 平 小	依 田 逸 夫	吉 田 京 子	永 原 愛 子	西 原 美 枝 子	平 尾 淳 子
15	程久保小	木 附 隆 三	吉 野 宏	後 藤 欣 子	窪 田 弥 生	根 岸 朋 代
16	旭が丘小	小 淵 ゆり子	内 田 裕 子	鈴木 知英子	内 田 裕 子	上 條 光 子
17	平山台小	吉 尾 真 理 子	坂 井 千 秋	宇留賀眞理子	吉 尾 真 理 子	宇留賀眞理子
18	東光寺小	秋 葉 榮 一	石 岡 房 子	溝 江 恵 美 子	高 木 宏	佐々木隆雄
19	三沢台小	鈴 木 茂 子	熊 本 幸 代	鷹 尾 富 貴 江	真 野 功	桑 田 悦 子
20	仲 田 小	佐 藤 民 男	植 松 久 美 子	植 松 久 美 子	次 田 圭 三	斎 藤 弥 生
1	日野一中	熊 谷 仁 一	熊 谷 仁 一	馬 場 誠	杉 本 恵 志	熊 谷 仁 一
2	日野二中	柴 山 和 華 子	藤 塚 康 子	松 本 栄 二	斉 藤 孝 之	鬼 頭 昭
3	七 生 中	秋 山 哲 男	三 島 雅 裕	杉 山 典 子	荒 川 善 敏	宮 原 久 仁 夫
4	日野三中	御 木 聖 子	鈴木 恵理子	岡 部 純 子	吉 田 俊 明	藤 塚 正
5	日野四中	杉 本 洋 子	大 澤 由 紀	杉 本 洋 子	鈴木 英 顕	小 佐 野 一 秀
6	三 沢 中	阿 部 真 一	古 怒 田 幸 一	池 本 ユウ子	岡 辺 稔	齋 藤 光 司
7	大坂上中	上 地 悦 子	中 原 明 寿	木 下 英 典	大 房 裕 司	鈴 木 康 弘
8	平 山 中	小 杉 智 代	堤 信 博	村 田 照 美	川 井 信 義	木 所 智
1	第三幼稚園		前 川 恵 子			
2	第六幼稚園		井 上 宏 子			

及び担当一覧表（その１）

理 科	生 活 科	音 楽 科	図工・美術科	体育・ 保健体育科	技術・ 家庭科（女）
小 田 準 子	高 田 伸 子	棚 倉 美 幸	関 賀 穂 留	菊 池 修	櫻井加代子
飯 塚 昭	小 嶋 義 範	須山ひとみ	川 名 勝 紀	番場はるか	槇 圭 子
栗 原 智 子	樋 口 俊 子	森 菜 摘	野 崎 秀 登	宮 坂 裕 子	北 島 あ け み
塚 本 純 子	田 中 史 子	田 島 泉	丸 カズ子	鈴 木 淳	田 澤 直 子
室 住 秀 樹	盛 恭 子	坂 田 圭	松 岡 容 子	君 島 幸 紀 子	青 柳 晴 美
小 池 守	近 藤 幸 子	野 崎 恭 子	霊 山 邦 夫	小 川 浩 太 郎	高 木 千 恵 子
渡 邊 桂 子	永 田 弘 美	依 田 妃 佐 子	小 俣 靖 江	林 亀 三	茂 木 典 子
品 田 真	茅 野 と め 子	大 野 香	服 部 た か し	橋 本 美 枝 子	工 藤 容 子
大 成 鐸 夫	渡 辺 明 美	鶴 蘭 美 千 代	矢 澤 ま の	石 田 隆 彦	若 林 真 砂 子
菱 田 美 恵 子	中 村 み ど り	石 井 典 子	北 野 義 昭	井 浦 弘	坂 本 和 子
馬 場 裕 子	高 橋 紀 子	小 林 佳 代 子	岩 崎 裕	田 能 倉 み つ ゑ	日 高 真 理 子
山 中 康 生	越 智 久 子	作 山 秀 樹	宇 留 賀 公 夫	宇 留 賀 公 夫	高 橋 智 子
豊 田 光	田 中 吉 子	寺 澤 千 代 子	尾 関 い ず み	石 見 明 彦	市 川 博 子
山 田 栄 子	井 出 ま り	稲 葉 重 樹	依 田 逸 夫	磯 島 章	佐 藤 実 千 子
鈴 木 美 彌 子	井 上 美 子	川 上 一 枝	木 村 令 子	吉 野 宏	田 中 悦 子
岡 田 充 生	松 本 純 子	田 中 千 枝 子	梅 田 勝 裕	金 丸 仁 志	中 島 寿 子
中 村 康 成	田 辺 美 江	坂 井 千 秋	大 久 保 睦 子	小 山 田 ひ ろ み	吉 尾 真 理 子
矢 口 由 美 子	北 脇 春 樹	洲 崎 明 美	秋 葉 榮 一	藤 井 義 啓	入 田 純 子
茂 木 敏 光	小 林 和 子	征 矢 ち づ る	針 貝 則 子	鈴 木 茂 子	丸 茂 洋 子
西 弘 美	笠 井 祐 子	櫻 川 順 子	寺 田 禎	岩 崎 英 夫	鈴 木 裕 子
長 澤 千 尋		大 野 ゆ き 子	大 山 学	横 溝 雅 之	鵜 川 節 子
廣 田 武 彦		鈴 木 晶 子	伊 藤 信 吾	石 川 恵 子	三 条 正 善
犬 束 正 敏		櫻 井 圭 子	三 島 雅 裕	今 井 正 喜	佐 藤 壽 枝
古 田 俊 光		坂 入 弘 恵	早 崎 希 子	磯 島 百 合 子	鈴 木 恵 理 子
斎 藤 道		小 池 享 子	大 澤 由 紀	市 川 佐 和 子	竹 田 和 彦
長 友 良 嗣		小 野 澤 通 恵	齋 藤 ま り え	米 内 洋 子	広 田 淑 子
北 田 昇 司		山 田 よ し 子	高 橋 陽 子	上 地 悦 子	田 中 愛 子
坂 井 悦 子		松 野 智 子	中 里 久 子	金 田 広 美	堤 信 博

日野市立小・中学校主任

	学 校 名	技術・ 家庭科（女）	英 語 科	進 路	特 別 活 動	学 校 行 事
1	日野一小	櫻井加代子			関 賀 穂 留	清 水 俊 幸
2	日野二小	槇 圭 子			内 田 知 子	小 島 義 範
3	日野三小	北 島 あ け み			森 菜 摘	橋 本 清 明
4	日野四小	田 澤 直 子			名 取 明 代	川 井 龍 介
5	日野五小	青 柳 晴 美			青 柳 晴 美	越 村 あ や 子
6	日野六小	高 木 千 恵 子			小 川 浩 太 郎	市 川 光 男
7	潤 徳 小	茂 木 典 子			松 崎 し の ぶ	高 橋 健
8	平 山 小	工 藤 容 子			大 野 香	渡 辺 学
9	日野八小	若 林 真 砂 子			横 山 昌 司	石 田 隆 彦
10	百草台小	坂 本 和 子			石 井 典 子	菱 田 美 恵 子
11	滝 合 小	日 高 真 理 子			日 高 真 理 子	五 十 嵐 容 子
12	高 幡 台 小	高 橋 智 子			富 田 郁 子	宇 留 賀 公 夫
13	日野七小	市 川 博 子			藤 井 京 子	小 坂 克 信
14	南 平 小	佐 藤 実 千 子			永 原 愛 子	山 田 栄 子
15	程久保小	田 中 悦 子			後 藤 欣 子	三 木 滋
16	旭が丘小	中 島 寿 子			野 崎 智 恵 子	桑 原 雅 道
17	平山台小	吉 尾 真 理 子			田 辺 美 江	中 村 康 成
18	東光寺小	入 田 純 子			藤 井 義 啓	猿 田 恵 一
19	三沢台小	丸 茂 洋 子			真 野 功	茂 木 敏 光
20	仲 田 小	鈴 木 純 子			櫻 川 順 子	雨 宮 宣 夫
1	日野一中	鵜 川 節 子	葛 岡 明 子	迫 丸 英 明	渡 辺 重 己	渡 辺 重 己
2	日野二中	三 条 正 善	倉 田 宣 子	藤 塚 康 子	倉 田 宣 子	浅 田 泰 子
3	七 生 中	佐 藤 壽 枝	林 田 千 野	櫻 井 圭 子	安 里 孝 信	安 里 孝 信
4	日野三中	鈴 木 恵 理 子	阿 部 貴 浩	岩 崎 弘 晃	吉 田 俊 明	塚 本 優 輝 雄
5	日野四中	竹 田 和 彦	船 矢 厚 子	村 野 浩 史		
6	三 沢 中	広 田 淑 子	永 澤 幸 恵	澤 田 昌 喜		
7	大坂上中	田 中 愛 子	中 原 明 寿	中 原 明 寿	吉 田 真 由	三 浦 利 信
8	平 山 中	堤 信 博	常 松 悦 子	金 田 広 美	堤 信 博	林 範 夫

及び担当一覧表（その２）

視 聴 覚	学 校 図 書 館	給 食	安 全 教 育	養 護
井 口 幸 恵	乾 ひ さ 子	中 山 良 子	土 方 久 枝	清 水 妙 子
飯 塚 昭	磯 田 洋 子	菅 野 君 江	高 橋 孝 子	渡 辺 敏 子
野 崎 秀 登	小 峰 み ゆ き	飴 家 洋 子	前 田 佐 和 子	渡 邊 三 枝 子
土産田千寿子	田 中 和 子	橋 爪 憲 子	田 村 直 樹	馬 場 え り 子
室 住 秀 樹	西志村二三子	松 岡 容 子	盛 恭 子	金 野 峰 子
飴 家 純	菊 池 静 枝	野 崎 恭 子	霊 山 邦 夫	内 田 一 美
小 野 勝 政	茂 木 典 子	依 田 妃 佐 子	川 原 田 和 子	塚 本 聡 美
品 田 真	茅 野 と め 子	工 藤 容 子	服 部 た か し	佐 藤 ヒ サ 子
安 斎 美 代 子	間 島 春 美	蔵 元 節 子	渡 辺 明 美	井 戸 川 喜 代
船 山 陽 子	矢 野 百 合 子	北 野 義 昭	坂 本 和 子	船 山 陽 子
伊 藤 と も よ	村 山 栄 子	佐 藤 文 敏	栗 原 典 子	戸 塚 美 由 記
山 中 康 生	石 原 美 代	作 山 秀 樹	高 橋 智 子	古 越 富 子
小 坂 克 信	赤 井 光 子	白 倉 お と 江	尾 関 い ず み	櫻 田 潤
稲 葉 重 樹	依 田 逸 夫	板 垣 久 美 子	磯 島 章	竹 野 久 乃
小 澤 智 幸	鈴 木 美 彌 子	志 村 道 子	田 中 悦 子	藤 田 教 子
高 田 真 澄	青 柳 香 保 留	塚 田 美 佐 江	梅 田 勝 裕	進 藤 章 子
山 田 謙 一	若 松 富 紀 子	田 中 祐 美 子	山 田 謙 一	丸 山 幸 江
入 田 純 子	石 岡 房 子	北 脇 春 樹	高 木 宏	川 崎 知 子
真 野 功	針 貝 則 子	征 矢 ち づ る	佐 々 木 幸 恵	太 島 真 知 子
寺 田 禎	笠 井 祐 子	次 田 圭 三	西 弘 美	小 林 八 重 子
阿 部 末 正	葛 岡 明 子	管 和 代	菅 野 武	徳 田 紀 恵
斉 藤 孝 之	横 井 直 子	鈴 木 晶 子	田 中 厚	三 瓶 法 子
宮 原 久 仁 夫	柳 沢 宣 子	佐 藤 壽 枝	今 井 正 喜	根 岸 智 子
古 田 俊 光	磯 部 博 子	山 本 潔 子	松 岡 憲 彦	小 林 浄 子
小 佐 野 一 秀	深 谷 朋 子	塩 谷 直 子	森 山 央	須 田 由 香
若 松 民 雄	岡 部 稔	石 井 良 明	池 永 敦	小 野 田 恵 子
北 田 昇 司	山 田 よ し 子	田 中 愛 子	堀 田 智 暁	小 美 濃 亜 矢 子
林 範 夫	村 田 照 美	山 田 ま ち 子	鈴 木 浩	田 那 部 好 美

日野市立小・中学校主任

	学 校 名	心身障害推進協議会委員	情報教育推進委員	相談学級運営協議会	英語指導改善委員	音楽鑑賞教室運営委員
1	日野一小	芦 川 廣 子				棚 倉 美 幸
2	日野二小	久 保 田 由 子				須 山 ひ と み
3	日野三小	和 田 雅 実				森 菜 摘
4	日野四小	赤 松 昭 子				田 島 泉
5	日野五小	中 込 久 美				坂 田 圭
6	日野六小	内 田 一 美				野 崎 恭 子
7	潤 徳 小	藏 野 博 子				依 田 妃 佐 子
8	平 山 小	坂 西 圭 子				大 野 香
9	日野八小	近 藤 多 賀 子				鶴 蘭 美 千 代
10	百草台小	高 瀬 は る 美				石 井 典 子
11	滝 合 小	戸 塚 美 由 記				小 林 佳 代 子
12	高 幡 台 小	越 智 久 子				作 山 秀 樹
13	日野七小	小 林 良 江				寺 澤 千 代 子
14	南 平 小	吉 田 京 子				稲 葉 重 樹
15	程久保小	井 上 美 子				川 上 一 枝
16	旭が丘小	松 本 純 子				田 中 千 枝 子
17	平山台小	坂 井 千 秋				坂 井 千 秋
18	東光寺小	北 脇 春 樹				洲 崎 明 美
19	三沢台小	真 野 功				征 矢 ち づ る
20	仲 田 小	小 林 八 重 子				櫻 川 順 子
1	日野一中	本 莊 ま さ み	荻 野 正 隆	井 原 千 恵 子	阿 部 末 正	菅 和 代
2	日野二中	柴 山 和 華 子	廣 田 武 彦	秋 庭 英 子	倉 田 宣 子	鈴 木 晶 子
3	七 生 中	水沢光子・松尾晴正	鈴 木 茂	青 柳 玲 子	林 田 千 野	櫻 井 圭 子
4	日野三中	松 岡 憲 彦	井 上 義 孝	吉 田 俊 明	小 柳 恵 美 子	坂 入 弘 恵
5	日野四中	菊 池 基 文	青 木 久 敏	鈴 木 園 生	前 田 宏 美	鈴 木 園 生
6	三 沢 中	井 田 久 雄	若 松 民 雄	広 田 淑 子	永 澤 幸 恵	小 野 澤 通 恵
7	大坂上中	鈴 木 康 弘	北 原 昇 司	秋 山 智 子	中 原 明 寿	山 田 よ し 子
8	平 山 中	村 田 照 美	堤 信 博	中 嶋 建 一 郎	常 松 悦 子	松 野 智 子
1	第一幼稚園	須 田 さ や か				
2	第二幼稚園	堀 理 江				
3	第三幼稚園	井 上 祐 子				
4	第六幼稚園	永 島 恭 子				
5	第七幼稚園	強 矢 る り 子				

及び担当一覧表（その３）

日光移動教室運営委員	水泳記録会運営委員	科学教育センター指導員	T T 指導連絡会	心の教育推進委員	外国人児童・生徒指導連絡会
清水俊幸	井口幸恵	小田準子	小田準子		
後藤健夫	榎圭子	飯塚昭	杉本功	菅野君江	
北島あけみ	長澤範重	栗原智子		古家静子	諏訪英樹
井川龍介	井川龍介	田澤直子	川口雅恵	玉置順子	
青柳晴美	青柳晴美	室住秀樹	吉川美幸	山木さゆみ	
鶴間紀子	小川浩太郎	鶴間紀子	小池守	鈴木美智子	高木千恵子
小野勝政	小野勝政	渡邊桂子	茂木典子	澤崎きよみ	
工藤容子	品田真	工藤容子	品田真	池田雅子	渡辺学
石田隆彦	石田隆彦	大成鐸夫	寺島則子	清水絢子	夏目たみ子・中島志郎
坂本和子	井浦弘	矢野百合子	菱田美恵子	有賀康美	
山中政尚	田野倉みつゑ	馬場裕子	高橋紀子	佐藤文敏	村山栄子
御木茂	富田郁子	高橋智子	石原美代	富田郁子	井上洋美
齋藤和貴	市川博子	豊田光	小坂克信	白倉おと江	小坂克信
山田栄子	根元あやめ	礒島章	礒島章	網野嘉恵	
小澤智幸	田中悦子	鈴木美彌子	鈴木美彌子	木附隆三	上條かなゑ
上條光子	和栗悦子	桑原雅道・和栗悦子	大橋美智子	小渕ゆり子	秋野美津子
吉尾真理子	小山田ひろみ	中村康成			
高木宏	原島光	入田純子	洲崎明美	川井田和子	原島光
真野功	鷹尾富貴江	丸茂洋子	茂木敏光		
佐藤民男	佐藤民男	雨宮宣夫	雨宮宣夫	斎藤弥生	
			斉藤光人	葛岡明子	
			廣田武彦	須貝光一	小鷹文一
			犬束正敏	林田千野	宮原久仁夫
			藤塚正	永井義治	阿部貴浩
			小池享子	市川尚春	森紀子
			横溝照夫	鈴木晴敏	
			村田厚子	大房裕司	中原明寿
			山田まち子	中里久子	

研究奨励事業

1 平成10年度研究奨励事業について

平成9年度まで、研究奨励事業は、(1)研究指定補助①学校研究 ②団体研究 ③個人研究 (2)校内研究補助 (3)授業改善補助等をもって推進し、教員の資質の向上、とりわけ指導力の向上に成果を上げることができた。

しかし、今般の教育改革の流れの中で、「生きる力」を育てる教育課程の編成、新しい指導観に基づいた指導力の養成、環境教育、国際理解教育をはじめとする教育課題の解決等、組織としての学校に、また、教員一人一人に課せられた課題はこれまで以上に大きい。

教育委員会は、新しい時代の研究奨励事業を推進するに当たり、従来のように日野市の児童・生徒、地域社会の実態を踏まえた教育課題と国や都の動きも視野に入れた教育課題の両面からその解決に力を注いでいく必要があると考える。

このような考えに立ち、本市における研究奨励事業は、校内研究を基盤とした研究、教育課題の解決を図るための研究、校内研究補助とする等、焦点化し、平成10年度以降の研究奨励事業を、(1)学校指定研究補助 (2)課題指定研究補助 (3)校内研究補助によって推進していくことに改める考えである。

なお、団体研究、個人研究の事業が果たす教員の指導力の向上にかかわるところは、指導室主管の授業改善委員会と教職員研究室主管の事業推進委員会の研究を教職員研究室主管の研究員事業として一本化し、よりいっそうの充実を図る。

2 補助の種別

- (1) 学校指定補助
- (2) 課題指定研究補助
- (3) 校内研究補助

3 補助金交付の要件

- (1) 学校指定研究補助
 - ア 個に応じた教育を推進するための授業改善
 - イ 教育課題の解決
 - ウ 児童・生徒理解を深める教育相談の充実
 - エ 特色ある学校づくり
 - オ その他、学校教育の改善

(2) 課題指定研究補助

- ア ボランティア教育
- イ 国際理解教育
- ウ 環境教育
- エ 情報教育
- オ 福祉教育
- カ 教科研究
- キ 特色ある教育課程
- ク その他、教育課程の解決

(3) 校内研究補助

学校が実証的な研究、研修を行うための諸経費であること。

4 研究期間

学校指定研究は、従来通り2年間の継続研究とする。ただし、研究の内容等により単年度の研究も認める。

また、研究の実践と成果を市内小・中学校に敷衍させるために公開発表を原則とする。2年間継続研究する学校は、1年次に中間発表、2年次に本発表を実施するものとする。

単年度で研究する学校は、その年度内に公開発表するものとする。

課題指定研究についても同様である。

平成10年度 研究奨励補助金受給校一覧

補助金受給校	学校指定研究	程久保小学校 校長 小山田 稜
		仲田小学校 校長 河野 和昌
		日野第一中学校 校長 松澤 茂久
		日野第三中学校 校長 福島 良樹
期 間	2 年間	程久保小学校 仲田小学校
	1 年間	日野第一中学校 日野第三中学校

小中学校研究主題一覧

校 名	受給(代表)名	研 究 主 題
日 野 一 小	秋 山 憲 一	かかわり合いの中で表現する喜びをもつ子ども ―聞く・話す活動を通して―
日 野 二 小	吉野美智子	自ら学ぶ力を育てる指導法の研究
日 野 三 小	齋 藤 正 子	子供たちが楽しく学習するための教材、教具の充実と指導法の工夫
日 野 四 小	小 原 良 雄	お互いの考えを深め合う学習活動の研究
日 野 五 小	鈴木利恵子	主体的な活動を通して楽しく学び合う児童の育成
日 野 六 小	小笠原久雄	主体的に表現する児童の育成
潤 徳 小	信 夫 清 彦	認め合い学び合う力を育てる指導法の研究
平 山 小	畑 野 元 一	生き生きと学習に取り組む児童を目指して ―本の楽しさに出会える子―
日 野 八 小	圓谷雅之助	自分の生命や他人の命を大切にする子供の育成
百 草 台 小	木 内 秀 雄	考える力を育てる指導法の工夫
滝 合 小	西 田 敦 子	子どもが意欲的に学ぶ学習活動の工夫
高 幡 台 小	許 斐 文 代	一人一人が自ら考えお互いに認め合う児童の育成
日 野 七 小	品 田 敏 男	児童一人一人が自ら考え自ら学ぶ学習活動の工夫
南 平 小	畑 石 重 輝	お互いの考えを認め合う学習活動の研究
程 久 保 小	小 山 田 稷	見つけよう自分 伝えよう自分
旭 が 丘 小	熊 野 時 巳	お互いのよさを認め合い、自らのよさや可能性を伸ばす児童の育成
平 山 台 小	増 賀 従 男	児童の人権意識を育てる指導法の工夫 ―児童の権利条約の学習を通して―
東 光 寺 小	小 杉 博 司	一人一人が生き生きと課題に取り組む指導法
三 沢 台 小	飯 田 國 代	体験学習を通して自分で課題を発見し追及する
仲 田 小	河 野 和 昌	お互いに認め合い高め合いながら進んで学ぶ子の育成
日 野 一 中	松 澤 茂 久	活力のある学校を目指して ―主体的に活動し表現する生徒の育成―
日 野 二 中	日 食 和 雄	生徒理解を深める
七 生 中	岩 浪 真	生き生きとした学校、学級づくり ―生徒の実態をとらえ効果的な指導方法を研修する―
日 野 三 中	福 島 良 樹	生徒理解を深めるための工夫 ―生徒との対話を通して―
日 野 四 中	松 原 勇	豊かな人間形成を目指した指導の在り方
三 沢 中	熊 沢 直 孝	生徒理解の方法と実践
大 坂 上 中	谷 合 明 雄	生き生きと魅力ある学校を目指して
平 山 中	辻 野 良 子	生徒理解を深める指導法の改善

東京都教育研究員・「東京の教育21」研究開発委員会委員

[教育研究員]

学 校 名	職 名	氏 名	部 会 名
平 山 台 小 学 校	教 諭	宇 留 賀 眞 理 子	国 語
仲 田 小 学 校	教 諭	西 弘 美	理 科
大 坂 上 中 学 校	教 諭	刀 禰 孝 司	音 楽
大 坂 上 中 学 校	教 諭	堀 田 智 暁	学 校 給 食
平 山 中 学 校	教 諭	川 井 信 義	社 会

[「東京の教育21」研究開発委員会委員]

学 校 (園) 名	職 名	氏 名	部 会 名
日 野 第 二 幼 稚 園	教 諭	富 尾 真 須 子	生 活
三 沢 中 学 校	教 諭	横 溝 照 夫	社 会
大 坂 上 中 学 校	教 諭	大 房 裕 司	道 徳

日野市立小・中学校使用教科書

1. 小 学 校

国 語 科	「国 語」	(光 村 図 書)
	「書 写」	(光 村 図 書)
社 会 科	「新編 新しい社会」	(東 京 書 籍)
	「楽しい小学校社会科地図帳」	(帝 国 書 院)
算 数 科	「小学校 算数」	(学 校 図 書)
理 科	「新版 たのしい理科」	(大 日 本 図 書)
生 活 科	「せいかつ」	(教 育 出 版)
音 楽 科	「小学生の音楽」	(教 育 芸 術 社)
図画工作科	「図画工作」	(日 本 文 教 出 版)
保 健 科	「新・みんなの保健」	(学 習 研 究 社)
家 庭 科	「新編 新しい家庭」	(東 京 書 籍)

2. 中 学 校

国 語 科	「中学校 国語」	(学 校 図 書)
	「中学書写」	(日 本 書 籍)
社 会 科	「社会科中学生の地理 世界の人々と日本の国土初訂版」	(帝 国 書 院)
	「中学社会 歴史的分野」	(日 本 書 籍)
	「中学社会 公民的分野」	(日 本 書 籍)
	「新編 新しい社会科地図」	(東 京 書 籍)
数 学 科	「新しい数学」	(東 京 書 籍)
理 科	「新版 中学校理科 (1.2 分野) 1・2 年 「新編 新しい科学 (1.2 分野) 3 年	(大 日 本 図 書)
		(東 京 書 籍)
音 楽 科	「中学生の音楽」	(教 育 芸 術 社)
	「中学生の楽器」	(教 育 芸 術 社)
美 術 科	「美術」	(日 本 文 教 出 版)
保健体育科	「新編 新しい保健体育」	(東 京 書 籍)
技術家庭科	「技術・家庭 上・下」	(開 隆 堂 出 版)
外 国 語 科	「TOTAL ENGLISH」	(秀 文 出 版)

就職・進学状況の推移（平成4年～平成9年）

（ ）はパーセント

年 度	性 別	高 等 学 校 本 科															職業教育機関等	就業・その他			卒 業 者 総 数	
		総 計	高 等 学 校 全 日 制 課 程							高等学校定時制課程				高等 専門 学校	高等 学校 通信 制	盲 ・ 養 護 学 校		専修・各種学校 就業訓練学校	計	就 職 者		無 業 者 （ 在 家 庭 者 ）
			計	国 公 立			私 立			計	普 通 科	職 業 科	就 職 進 学 者									
				普 通 科	職 業 科	小 計	普 通 科	職 業 科	小 計													
平成 4 年度	計 男 女	1,882 (95.2) 1,027 855	1,813 (91.8) 973 840	798 (40.4) 449 349	234 (11.8) 128 106	1,032 (52.2) 577 455	699 (35.4) 349 350	82 (4.1) 47 35	781 (39.5) 396 385	32 (1.6) 23 9	26 (1.3) 18 8	6 (0.3) 5 1	1 (0.05) 1 0	9 (0.5) 8 1	22 (1.1) 19 3	6 (0.3) 4 2	63 (3.2) 24 39	30 (1.6) 22 9	11 (0.5) 11 0	20 (1.0) 11 9	1,976 1,073 903	
平成 5 年度	計 男 女	1,663 (95.8) 850 813 (96.4)	1,618 (93.2) 817 (91.5) 801 (95.0)	755 (43.5) 381 (42.7) 374 (44.4)	183 (10.5) 8.8 (9.9) 9.5 (11.3)	938 (54.0) 469 (52.5) 469 (55.6)	602 (34.7) 296 (33.1) 306 (36.3)	77 (4.4) 51 (5.7) 26 (3.1)	679 (39.1) 347 (39.9) 332 (39.4)	27 (1.6) 17 (1.9) 10 (1.2)	21 (1.2) 12 (1.3) 9 (1.1)	6 (0.3) 5 (0.6) 1 (0.1)	10 (0.6) 6 (0.7) 4 (0.5)	2 (0.1) 2 (0.2) 0	10 (0.6) 10 (1.1) 0	3 (0.2) 1 (0.1) 2 (0.2)	40 (2.3) 18 (2.0) 22 (2.6)	31 (1.8) 23 (2.6) 54 (6.4)	18 (1.0) 15 (1.7) 3 (0.3)	13 (0.7) 8 (0.9) 5 (0.6)	1,736 893 843	
平成 6 年度	計 男 女	1,649 (95.9) 854 (95.7) 795 (96.1)	1,571 (91.4) 787 (88.2) 784 (94.8)	787 (45.7) 399 (44.8) 388 (46.9)	155 (9.0) 86 (9.6) 69 (8.4)	942 (54.8) 485 (54.4) 457 (55.3)	541 (31.5) 244 (27.3) 297 (35.9)	88 (5.1) 58 (6.5) 30 (3.6)	629 (36.6) 302 (33.8) 327 (39.5)	47 (2.8) 39 (4.4) 8 (1.0)	40 (2.4) 33 (3.7) 7 (0.9)	7 (0.4) 6 (0.7) 1 (0.1)	3 (0.2) 3 (0.3) 0 (0)	7 (0.4) 7 (0.8) 0 (0)	20 (1.2) 18 (2.0) 2 (0.2)	4 (0.2) 3 (0.3) 1 (0.1)	33 (1.9) 14 (1.6) 19 (2.3)	37 (2.2) 24 (2.7) 13 (1.6)	18 (1.1) 14 (1.6) 4 (0.5)	19 (1.1) 10 (1.1) 9 (1.1)	1,719 (100) 892 (100) 827 (100)	
平成 7 年度	計 男 女	1,452 (95.6) 752 (93.9) 700 (97.5)	1,393 (91.7) 714 (89.1) 679 (94.5)	700 (46.1) 345 (43.1) 355 (49.5)	149 (9.8) 97 (12.1) 52 (7.2)	849 (55.9) 442 (55.2) 407 (56.7)	496 (32.6) 238 (29.7) 258 (35.9)	48 (3.2) 34 (4.2) 14 (1.9)	544 (35.8) 272 (33.9) 272 (37.8)	37 (2.4) 25 (3.1) 12 (1.7)	27 (1.8) 19 (2.4) 8 (1.1)	10 (0.6) 6 (0.7) 4 (0.6)	1 (0.1) 1 (0.1) 0 (0.0)	3 (0.2) 3 (0.4) 0 (0.0)	6 (0.4) 4 (0.5) 2 (0.3)	13 (0.9) 6 (0.8) 7 (1.0)	41 (2.7) 29 (3.6) 12 (1.7)	26 (1.7) 20 (2.5) 6 (0.8)	21 (1.4) 17 (2.1) 4 (0.5)	5 (0.3) 3 (0.4) 2 (0.3)	1,519 (100) 801 (100) 718 (100)	
平成 8 年度	計 男 女	1,456 (96.7) 742 (96.4) 714 (97.1)	1,391 (92.4) 699 (90.8) 692 (94.1)	712 (47.3) 356 (46.3) 356 (48.4)	190 (12.6) 101 (13.1) 89 (12.1)	902 (59.9) 457 (59.4) 445 (60.5)	427 (28.4) 199 (25.8) 228 (31)	62 (4.1) 43 (5.6) 19 (2.6)	489 (32.5) 242 (31.4) 247 (33.6)	32 (2.1) 26 (3.4) 6 (0.8)	23 (1.5) 18 (2.3) 5 (0.7)	9 (0.6) 8 (0.1) 1 (0.1)	4 (0.3) 3 (0.4) 1 (0.1)	6 (0.4) 4 (0.5) 2 (0.2)	17 (1.1) 10 (1.3) 7 (1)	10 (0.7) 3 (0.4) 7 (1)	27 (1.8) 14 (1.8) 13 (1.8)	22 (1.5) 14 (1.8) 8 (1.1)	8 (0.6) 7 (0.9) 1 (0.1)	14 (0.9) 7 (0.9) 7 (1)	1,505 (100) 770 (100) 735 (100)	
平成 9 年度	計 男 女	1,449 (97.5) 777 (96.9) 672 (98.0)	1,389 (93.5) 730 (91.0) 659 (96.2)	723 (48.6) 353 (44.0) 370 (54.0)	157 (10.6) 94 (11.7) 63 (9.2)	880 (59.2) 447 (55.7) 433 (63.2)	462 (31.1) 247 (30.8) 215 (31.4)	47 (3.2) 36 (4.5) 11 (1.6)	509 (34.3) 283 (35.3) 226 (33.0)	31 (2.1) 23 (2.9) 8 (1.2)	24 (1.6) 17 (2.1) 7 (1.1)	7 (0.5) 6 (0.8) 1 (0.1)	0 (0) 0 (0) 0 (0)	8 (0.5) 7 (0.9) 1 (0.1)	13 (0.9) 12 (1.5) 1 (0.1)	8 (0.5) 5 (0.6) 3 (0.4)	23 (1.5) 16 (2.0) 7 (1.1)	15 (1.0) 9 (1.1) 6 (0.9)	4 (0.3) 4 (0.5) 0 (0)	11 (0.7) 5 (0.6) 6 (0.9)	1,487 (100) 802 (100) 685 (100)	

園児・児童・生徒・学級数

[平成10年5月1日現在]

上段 平成10年度

下段 平成9年度 () 学級数

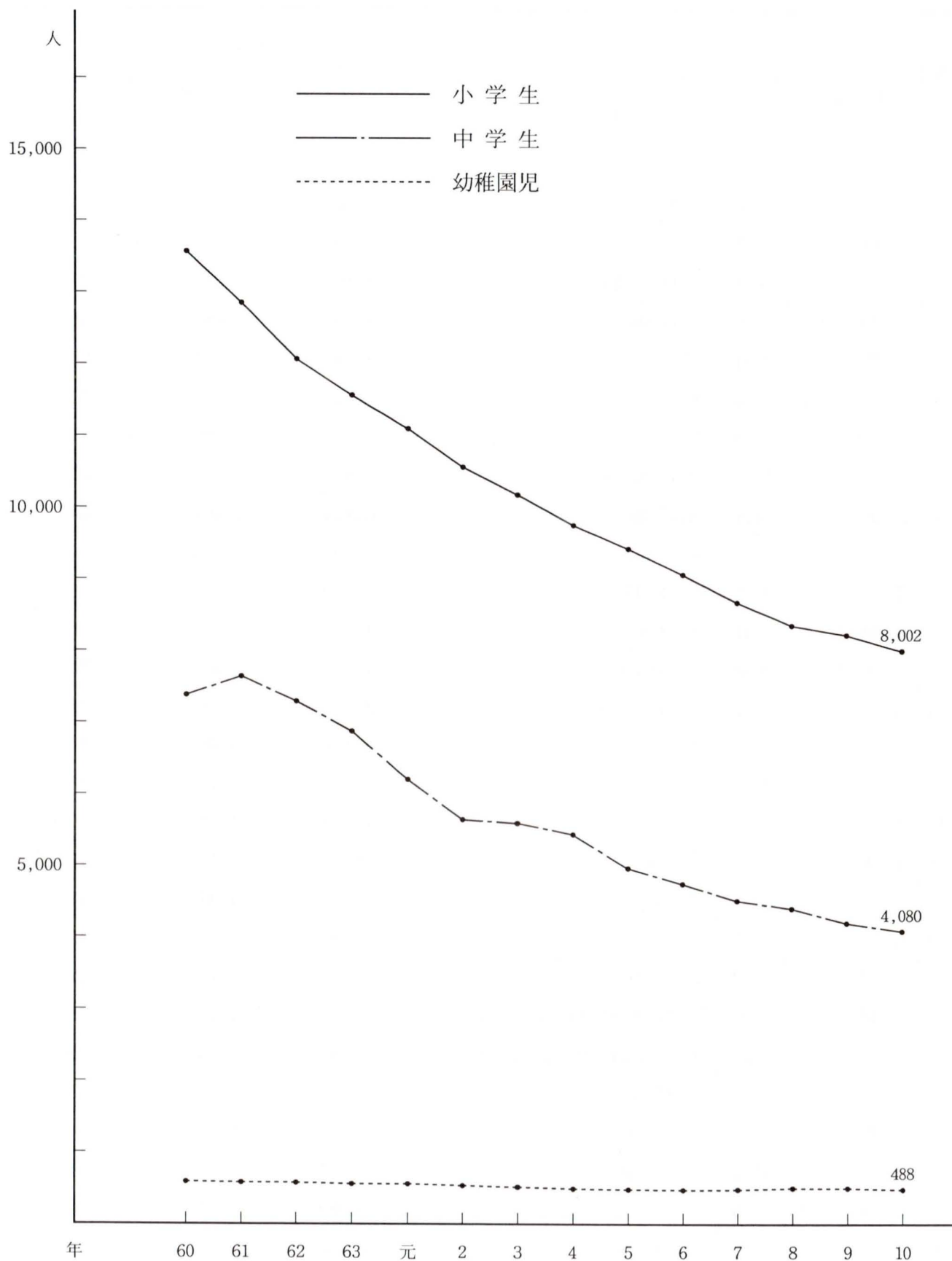
No.	小 学 校 名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計	心障学級
1	日野第一小学校	86(3) 70(2)	71(2) 68(2)	72(2) 82(3)	88(3) 79(2)	80(2) 74(2)	77(2) 75(2)	474(14) 448(13)	
2	日野第二小学校	94(3) 96(3)	93(3) 96(3)	93(3) 81(3)	82(3) 101(3)	99(3) 86(3)	83(3) 105(3)	544(18) 565(18)	4(1) 4(1)
3	日野第三小学校	48(2) 52(2)	54(2) 50(2)	50(2) 46(2)	46(2) 50(2)	52(2) 69(2)	68(2) 67(2)	318(12) 334(12)	19(3) 14(2)
4	日野第四小学校	83(3) 97(3)	96(3) 88(3)	87(3) 89(3)	88(3) 78(2)	81(3) 77(2)	81(3) 90(3)	516(18) 519(16)	
5	日野第五小学校	80(2) 85(3)	83(3) 85(3)	77(2) 83(3)	78(2) 91(3)	85(3) 96(3)	91(3) 98(3)	494(15) 538(18)	5(1) 4(1)
6	日野第六小学校	61(2) 69(2)	63(2) 83(3)	73(2) 65(2)	63(2) 84(3)	80(2) 73(2)	75(2) 75(2)	415(12) 449(14)	
7	潤 徳 小 学 校	55(2) 69(2)	67(2) 67(2)	62(2) 52(2)	48(2) 56(2)	56(2) 75(2)	70(2) 62(2)	358(12) 381(12)	
8	平 山 小 学 校	56(2) 64(2)	66(2) 51(2)	54(2) 60(2)	62(2) 62(2)	63(2) 57(2)	61(2) 63(2)	362(12) 357(12)	
9	日野第八小学校	108(3) 108(3)	116(3) 119(3)	118(3) 97(3)	106(3) 106(3)	113(3) 111(3)	118(3) 115(3)	679(18) 656(18)	
10	百 草 台 小 学 校	40(1) 37(1)	38(1) 36(1)	36(1) 45(2)	42(2) 38(1)	38(1) 44(2)	42(2) 55(2)	236(8) 255(9)	8(1) 5(1)
11	滝 合 小 学 校	53(2) 62(2)	61(2) 61(2)	59(2) 42(2)	40(1) 64(2)	60(2) 78(2)	73(2) 83(3)	346(11) 390(13)	
12	高 幡 台 小 学 校	30(1) 23(1)	23(1) 32(1)	33(1) 43(2)	40(2) 36(1)	36(1) 50(2)	50(2) 30(1)	212(8) 214(8)	
13	日野第七小学校	111(3) 101(3)	97(3) 82(3)	90(3) 117(3)	112(3) 100(3)	112(3) 72(2)	79(2) 121(4)	601(17) 593(18)	
14	南 平 小 学 校	80(2) 64(2)	66(2) 78(2)	80(2) 63(2)	67(2) 82(3)	84(3) 84(3)	82(3) 76(2)	459(14) 447(14)	
15	程 久 保 小 学 校	43(2) 46(2)	47(2) 36(1)	34(1) 42(2)	43(2) 60(2)	59(2) 45(2)	42(2) 76(2)	268(11) 305(11)	
16	旭 が 丘 小 学 校	123(4) 98(3)	91(3) 123(4)	115(3) 130(4)	129(4) 139(4)	133(4) 118(3)	120(3) 115(3)	711(21) 723(21)	
17	平 山 台 小 学 校	35(1) 27(1)	30(1) 19(1)	23(1) 25(1)	26(1) 28(1)	27(1) 29(1)	31(1) 48(2)	172(6) 176(7)	14(2) 13(2)
18	東 光 寺 小 学 校	46(2) 41(2)	41(2) 46(2)	45(2) 52(2)	48(2) 53(2)	49(2) 59(2)	55(2) 70(2)	284(12) 321(12)	
19	三 沢 台 小 学 校	32(1) 34(1)	39(1) 31(1)	37(1) 39(1)	43(2) 49(2)	53(2) 57(2)	61(2) 46(2)	265(9) 256(9)	
20	仲 田 小 学 校	30(1) 52(2)	50(2) 38(1)	36(1) 35(1)	37(1) 55(2)	53(2) 42(2)	44(2) 37(1)	250(9) 259(9)	
計		1,294(42) 1,295(42)	1,292(42) 1,289(42)	1,274(39) 1,288(45)	1,288(44) 1,411(45)	1,413(45) 1,396(44)	1,403(45) 1,507(46)	7,964(257) 8,186(264)	38(8) 31(7)

No.	中 学 校 名	1 年	2 年	3 年	合 計	心 障 学 級
1	日 野 第 一 中 学 校	187(5) 201(6)	202(6) 189(5)	195(5) 199(5)	584(16) 589(16)	
2	日 野 第 二 中 学 校	146(4) 141(4)	139(4) 182(5)	180(5) 163(5)	465(13) 486(14)	
3	七 生 中 学 校	128(4) 111(3)	115(3) 148(4)	149(4) 144(4)	392(11) 403(11)	10(2) 11(2)
4	日 野 第 三 中 学 校	159(4) 177(5)	175(5) 183(5)	185(5) 178(5)	519(14) 538(15)	
5	日 野 第 四 中 学 校	193(5) 202(6)	196(5) 207(6)	203(6) 231(6)	592(16) 640(18)	
6	三 沢 中 学 校	195(5) 174(5)	181(5) 181(5)	183(5) 208(6)	559(15) 563(16)	
7	大 坂 上 中 学 校	226(6) 174(5)	173(5) 210(6)	215(6) 223(6)	614(17) 607(17)	7(1) 9(2)
8	平 山 中 学 校	119(3) 112(3)	116(3) 111(3)	109(3) 127(4)	344(9) 350(10)	
計		1,353(36) 1,292(37)	1,297(36) 1,411(39)	1,419(39) 1,473(41)	4,069(111) 4,176(117)	11(3) 20(4)

No.	幼 稚 園 名	4 歳 児	5 歳 児	計
1	第 一 幼 稚 園	4 5 (2) 4 6 (2)	5 0 (2) 5 6 (2)	9 5 (4) 1 0 2 (4)
2	第 二 幼 稚 園	3 0 (1) 3 0 (1)	3 1 (1) 3 3 (1)	6 1 (2) 6 3 (2)
3	第 三 幼 稚 園	3 0 (1) 2 9 (1)	3 2 (1) 3 4 (1)	6 2 (2) 6 3 (2)
4	第 四 幼 稚 園	3 0 (1) 3 0 (1)	3 2 (1) 2 6 (1)	6 2 (2) 5 6 (2)
5	第 五 幼 稚 園	3 0 (1) 3 0 (1)	3 5 (1) 3 5 (1)	6 5 (2) 6 5 (2)
6	第 六 幼 稚 園	2 7 (1) 1 9 (1)	1 8 (1) 2 1 (1)	4 5 (2) 4 0 (2)
7	第 七 幼 稚 園	4 3 (2) 5 9 (2)	5 5 (2) 6 1 (2)	9 8 (4) 1 2 0 (4)
計		2 3 5 (9) 2 4 3 (9)	2 5 3 (9) 2 6 6 (9)	4 8 8 (1 8) 5 0 9 (1 8)

公立幼稚園児、小学校児童、中学校生徒数の推移

(平成10年 5月1日現在)



市 立 小 ・ 中

番 号	校 名	開校 年度	建 築 増 改 築 年 度	校 地 面 積 m ²	校 舎 保 有 面 積 m ²	普 通 教 室
						(保 有)
1	日 野 一 小	M 6	37.38.39	20,947	4,365	20
2	日 野 二 小	M 7	42.43.48.53~54	11,640	4,667	24(1)
3	日 野 三 小	S 23	41.42.47.49~50.H6	16,806	6,011	23(2)
4	日 野 四 小	M 6	40.44.49	15,292	3,880	18
5	日 野 五 小	S 34	H2	16,765	5,934	23
6	日 野 六 小	S 40	38.40.43.48	19,833	5,996	30
7	潤 徳 小	M 6	39.40.45	15,376	4,780	26
8	平 山 小	M 6	39.40.41.44	15,845	4,382	21
9	日 野 八 小	S 44	44.47.49	17,601	5,091	24
10	百 草 台 小	S 45	44.48.50	15,482	5,245	24(1)
11	滝 合 小	S 46	45~46.H6	20,458	5,540	26
12	高 幡 台 小	S 47	46.48.52	16,017	4,976	25
13	日 野 七 小	S 48	47~48.52~53.57	13,509	4,803	22
14	南 平 小	S 49	48~49.53.56	16,020	5,250	25
15	程 久 保 小	S 52	49~50.50~51	16,988	4,088	17
16	旭 が 丘 小	S 52	51~52.56	16,642	5,460	26
17	平 山 台 小	S 53	52~53.54	18,536	4,931	19(2)
18	東 光 寺 小	S 54	53~54	19,586	4,349	17
19	三 沢 台 小	S 55	54~55	15,170	4,460	17
20	仲 田 小	S 59	58~59	15,660	3,428	12
1	日 野 一 中	S 22	37.38.40.41.50.58	19,386	6,098	22
2	日 野 二 中	S 29	34.35.38.41.49~50.60~61	21,150	6,584	25
3	七 生 中	S 22	36.38.44.45.50~51.59~60	20,367	5,898	20(2)
4	日 野 三 中	S 45	45.47.49.58~59	21,520	7,278	25
5	日 野 四 中	S 48	47.49.52.61~62	18,955	6,471	24
6	三 沢 中	S 52	51~52.58~59	23,623	7,138	24
7	大 坂 上 中	S 55	54~55.57	19,389	6,623	24(2)
8	平 山 中	S 56	55~56.H3	18,200	5,985	19

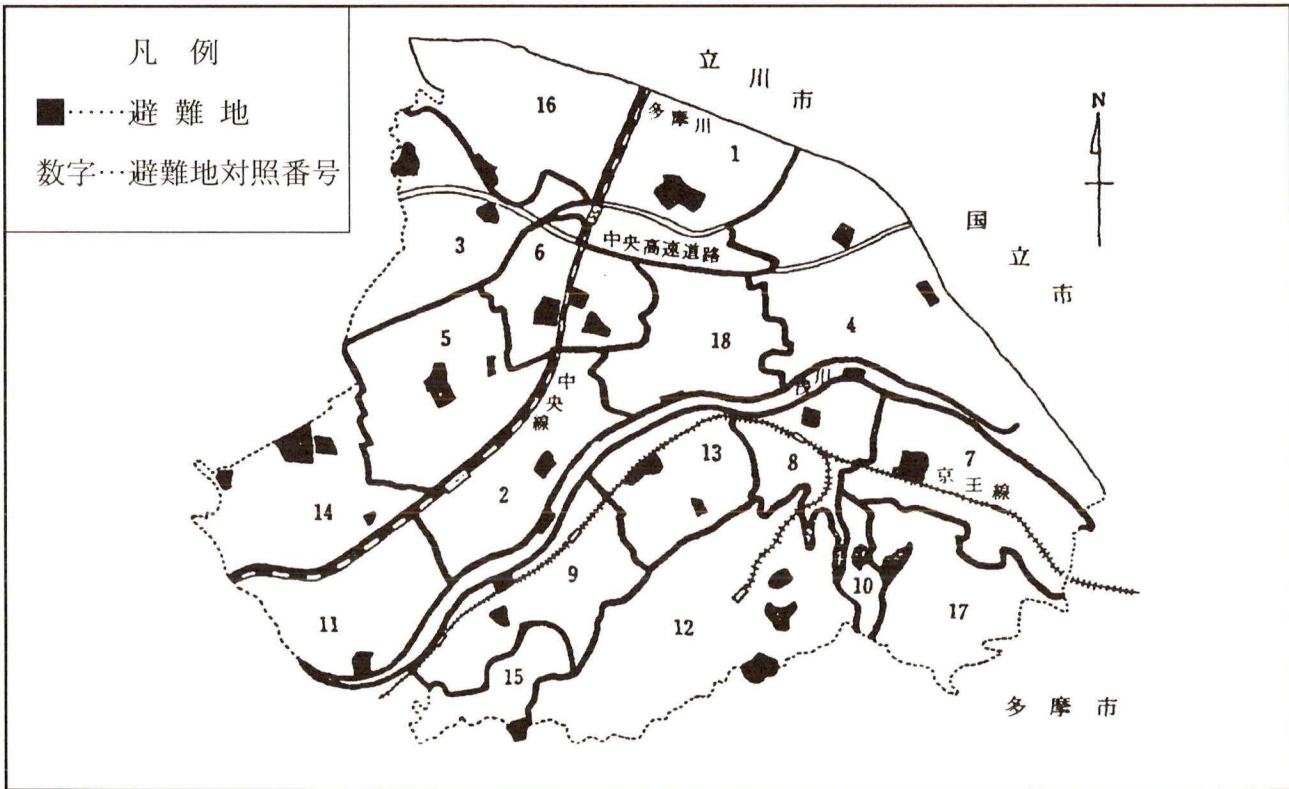
学校施設一覧

平成10年5月1日現在

教室											体育館 m ²	プール 大(25×11m) 小(10×5m)	給食室 m ²	保健室 m ²	学級数 ()心障学級
理 科	音 楽	図工・ 美術	技 術	家 庭	視 覚	図 書	食 堂	特 別 活 動	教 育 相 談	コン ピ ュ ー タ 室					
1	1	2		1		1		1			760	大・小	179	61.2	14
1	2	1		1	1	1		1			761	〃	192	62.9	19
2	2	2		2	1	1		2			814	〃	144	62.9	12(3)
1	1	1		1		1					765	〃	130	62.9	18
2	2	1		1		1					809	〃	349	63.75	15(1)
1	1	1		1		1					795	〃	213	62.9	12
1	1	1		1		1					779	〃	191	62.9	12
1	1	1		1		1		1			545	〃	157	62.9	12
1	1	1		1		1					710	〃	231	64.1	18
1	1	1		1		1					752	〃	188	95.62	8(1)
1	2	1		1		1					751	〃	256	61.2	11
1	1	1		1		1		1			775	〃	226	59.5	8
1	1	1		1		1					736	〃	219	62	17
1	1	2		1		1					734	〃	188	62.9	14
1	1	1		1		1					760	〃	216	62.9	11
1	1	1		1		1					760	〃	213	81.54	21
1	1	1		1		1					760	大・小12×5m	268	62.9	6(2)
1	1	1		1		1					760	大・小	214	62.9	12
1	1	1		1		1					757	〃	215	83.3	9
1	1	1		1		1					760	〃	224	63.3	9
2	2	2	2	2		1	1		1	1	842	大	310	64.26	16
2	2	1	2	2		1	1			1	1,075	〃	290	62.9	13
2	2	2	3	3		1	1		1	1	765	〃	290	63	11(2)
3	3	2	3	2		1	1		1	1	1,067	〃	435	62.9	14
2	2	2	2	2		1	1		1	2	1,136	〃	355	62.9	16
2	2	2	2	2		1	1		1	1	1,118	〃	293	60.75	15
2	2	1	2	2		1	1		1	1	1,118	〃	233	62.9	17(1)
2	2	2	2	2		1	1		1	2	1,189	〃	197	63.75	9

避難場所と地区割当表

No.	避難場所	収容人口	避難地区	No.	避難場所	収容人口	避難地区
1	第一中学校・市民の森スポーツ公園	人 28,000	日野の一部 神明4丁目の一部 日野本町1～7丁目	11	滝合小学校	人 8,500	東平山1～3丁目 西平山1～4丁目
2	豊田児童公園 第二小学校	11,000	東豊田1.2.4丁目 豊田1～4丁目	12	高幡台小学校 第三中学校 明星大学	22,000	程久保の大部分 高幡 台団地、南平
3	第三小学校 日野自動車グランド	23,000	新町1.2.4.5丁目 日野台1～5丁目	13	かしまだい地区広場 南平小学校 南平体育館	12,500	南平1～5丁目
4	多摩川グランド 浅川スポーツ広場 都立日野高校 第四小学校	22,500	日野の一部、新井、石田、 万願寺、下田の一部	14	旭が丘小、第四中、 都立科学技術大学 旭が丘東公園	30,000	旭が丘の全部 西平山5丁目
5	多摩平団地自然公園 第二中学校 多摩平第一公園	21,000	多摩平1～6丁目 東豊田3丁目 多摩平7丁目の一部	15	平山台小学校	7,500	平山1～3丁目 平山苑
6	第七小学校 日野中央公園 実践女子大	23,000	多摩平7丁目 神明1～4丁目 大坂上1～4丁目	16	東光寺小学校 東光寺グラウンド	8,600	栄町1～5丁目 新町3丁目
7	第八小学校 三沢中学校	16,000	百草、落川、三沢の一 部	17	三沢台小学校 百草台自然公園	13,000	百草、三沢の一部 日本信販造成地
8	新井橋際河川敷 潤徳小学校	11,000	高幡、新井の一部、三 沢の一部	18	駒形公園	10,000	日野の一部、堀之内、 上田、宮の全部
9	平山小学校 平山中学校	13,000	平山4～6丁目 南平6～9丁目	計		286,600	
10	百草台小学校	6,000	百草団地、百草、 程久保の一部				





園 名 日野市立第一幼稚園
所 在 地 日野市多摩平4－3
電 話 042－581－4124（4105）
順 路 豊田駅より北へ徒歩10分
園 児 数 男43名 女52名 計95名

園長氏名 上 野 美津枝

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置
4. 10 第1回入園式挙行（5歳児・4歳児含む7学級 園児280名）
昭41. 5. 25 開園記念日とする。
昭43. 12. 20 遊戯室増築工事完了
昭44. 3. 10 プール工事完了
昭45. 7. 15 運動場拡張工事完了
昭48. 3. 14 東京都交通安全教育第1年次研究発表
昭49. 10. 23 東京都交通安全教育第2年次研究発表
昭50. 3. 10 創立10周年記念研究発表会開催
園歌制定
12. 20 園舎（鉄筋・鉄骨）増改築工事完了
昭51. 4. 1 4歳児（2年保育）募集中止
昭58. 9. 1 幼児教育センター開設に伴い、保育園側の2教室を提供
昭60. 4. 1 4歳児（2年保育）募集再開、2学級60名、5歳児3学級
11. 29 遊戯室の屋根の改装工事完了
12. 17 幼稚園外周緑化工事完了
昭62. 9. 15 玄関隣接の便所の改装工事完了
昭63. 4. 1 1学級減 4学級となる。
平3. 3. 31 たまだいら保育園との通路工事完了、物置移設、温水シャワー設置
平4. 3. 31 遊戯室内の改修工事完了
3. 31 幼児教育センター廃止
6. 10 プール改修工事
平7. 11. 18 開園30周年記念式挙行

2. 歴代の園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
江 角 正 子	昭40.4.1～昭56.3.31
光 永 久 夫	昭56.4.1～昭57.3.31
田 中 光 一	昭57.4.1～昭60.3.31
上 山 洋 一 郎	昭60.4.1～昭62.3.31
高 橋 千 鶴 子	昭62.4.1～平3.1.9
三 上 道 子	平3.1.10～平5.3.31
楨 島 静 子	平5.4.1～平8.3.31
上 野 美津枝	平8.4.1～現在

3. 地域の環境

住宅公団の中にあり、近くには、大工場や商店街がある。団地内には、公園や緑地などが多くあり、自然環境に恵まれている。

4. 教育目標

(1) 幼稚園の教育目標

人として生きる力、人とのかかわる力を身につけた感性豊かな幼児の育成を目指す。

- ・心の豊かな子ども
- ・明るく元気な子ども
- ・よく考えやりぬく子ども

5. 指導の重点

(1) 幼児一人一人の課題や、学年・学級としての課題を期ごとに適確にとらえ教育内容・方法の改善・充実に努める。

四歳・教師との信頼関係を大切にして、安定した園生活を送ることができるように、一人一人に合ったきめ細かな援助をする。

- ・基本的な生活習慣や、集団としてのルールが身に付くように繰り返し指導する。
- ・自分の気持ちを素直に表現したり、友だちとかかわる楽しさが味わえるようにいろいろな遊びを体験させる。

五歳・グループの活動を多く取り入れ、互いに自分の考えやイメージを伝えたり、受け入れたりしながら、友だち関係を広げ、遊びを進めていく。

- ・遊びの中で、課題意識を持ち、試したり、工夫したりしながら、達成感・満足感を味わわせる。

6. 本年度の研究主題

遊びのイメージを豊かにしていくための指導のあり方

7. 本園の特色

地域の幼児教育という広い視野にたち、保育園との交流をはじめ、みんなで遊ぶ会や未就園児への解放子育て相談など幼児教育のセンター的役割をはたしている。

8. その他（教職員の研究歴）

No.・内訳	研 究 員	開 発 委 員
1	上 野 美津枝	上 野 美津枝



園 名 日野市立第二幼稚園
所 在 地 日野市平山4-5-4
電 話 042-591-4125
順 路 京王線平山城址公園駅下車徒歩10分
園 児 数 男33名 女28名 計61名

園長氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校校庭内に設置される。
4. 10 第1回入園式挙行 入園児 131名
学級数4、(一年保育2学級、二年保育年少2学級)
5. 10 開園記念日と定める
5. 30 園章制定
昭41. 4. 1 学級数3、(二年保育年長1学級、一年保育年長1学級 二年保育年少1学級)以後3学級運営
昭46. 3. 10 日野市研究協力園として研究発表を行う
昭48. 4. 1 一年保育3学級の編成
昭49. 2. 21 東京都交通安全教育推進学校研究発表会(第一年次)
10. 22 東京都交通安全教育推進学校研究発表会(第二年次)
12. 14 開園10周年記念式典挙行
昭55. 10. 18 都立教育研究所幼児教育研究室調査協力の幼児運動能力調査を行う
昭57. 4. 1 二年保育再開
昭59. 8. 30 現在地に園舎防音改築工事が開始される
昭60. 4. 1 新園舎完成移転
平4. 5. 屋上プールサイドの塗装、及び人工芝の張り替え
平6. 11. 30 遊戯室、舞台壁面改修
平7. 11. 29 開園30周年記念式典挙行

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
後 藤 正 太	昭40. 4 ～ 昭42. 3
安 積 利 治	昭42. 4 ～ 昭47. 3
小 野 晃	昭47. 4 ～ 昭51. 3
深 澤 真 人	昭51. 4 ～ 昭55. 3
林 元 美	昭55. 4 ～ 昭58. 3
伊 藤 智 章	昭58. 4 ～ 昭61. 3
蓮 池 守 一	昭61. 4 ～ 昭62. 3
坂 口 嘉津子	昭62. 4 ～ 平元. 3
槇 島 静 子	平元. 4 ～ 平5. 3
平 向 邦 江	平5. 4 ～ 平10. 3
坂 口 嘉津子	平10. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

市の南西部に位置し、浅川と多摩丘陵に挟まれ、多摩市、八王子市と隣接している。近くには農地がいくらか残っているが、近年宅地化が進み、市街化されつつある。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基盤に、一人一人が個性を発揮し人間性豊かな心情をもち、主体的で心身共に健康な幼児の育成を目指す。

- 元気であかるい子ども
- 進んで取組み、やりぬく子ども
- やさしい心を持つ子ども

5. 本年度の指導の重点

一人一人の幼児が自分の力を十分に発揮し、充実した園生活となるよう援助する。

△基本的な生活習慣や集団生活のルールを身につけ進んで園生活に取り組む。

△いろいろな遊びを経験し楽しさを味わう。

△幼児の感じたこと、考えたことを周囲の人に伝える方法、力を身につける

△集団での遊び、行動の中で友達のよさに気づいたり、一緒に活動を進める楽しさ、充実感、達成感などを味わい、友達関係を広めたり深める。

△最後までやり通すことの大切さ、協力することの楽しさに気づいたり、知ったりする。

・豊かなイメージをもち、いろいろな方法で表現する力をつける。

6. 本年度の研究主題

「自ら遊びをつくりだす子を育てるための教師の援助」自分から遊びに取り組み、夢中になって遊ぶ姿、場面の記録から、要因を分析し指導の手だてを求める。

7. 本園の特色

○園周辺や市内の自然環境(平山城址公園、浅川、公園)を利用し、四季を通じて自然に親しむ野外活動を多くとり入れている。

8. その他(教職員の研究歴)

No.・内訳	研 究 員	開 発 委 員
1	坂口嘉津子(44年)	坂口嘉津子(49年)
2	富尾真須子(H5年)	富尾真須子(H7年)
3	石川 星子(H10年) ひのっ子21	富尾真須子(H7年) 東京の教育21



園 名 日野市立第三幼稚園
所 在 地 日野市日野本町 2 -14- 1
電 話 042-581-7127
順 路 J R 日野駅下車 東へ 8 分
園 児 数 男32名 女30名 計62名

園長氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

- 昭41. 4. 1 日野市立第三幼稚園として日野第一小学校内に設立
4. 11 第一回入園式を挙行
学級数 (4)
4 歳児… 2、 5 歳児… 2
園児数…143
5. 4 開園記念日と定める
昭46. 4. 日野市教育委員会研究協力園となる
昭49. 4. 全学級 1 年保育となる。
昭51. 2. 区画整理のため、正門を東側に移動
開園10周年記念研究発表
昭56. 3. 園歌制定
4. 2 年保育再開 1 学級募集
昭61. 4. 開園記念日を 5 月 1 日と改める
平 8. 11. 27 開園30周年記念式典挙行

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
吉 田 辰 次	昭41. 4. 1 ～昭41. 5. 31
永 野 林 弘	昭41. 6. 1 ～昭42. 3. 31
吉 田 辰 次	昭42. 4. 1 ～昭44. 3. 31
下 田 忍	昭44. 4. 1 ～昭50. 3. 31
溝呂木 桂 次	昭50. 4. 1 ～昭55. 3. 31
村 田 安 正	昭55. 4. 1 ～昭58. 3. 31
古 谷 洋 太	昭58. 4. 1 ～昭62. 3. 31
平 向 邦 江	昭62. 4. 1 ～昭63. 3. 31
沖 山 英 代	昭63. 4. 1 ～平 3. 3. 31
山 本 智 恵 子	平 3. 4. 1 ～平 5. 3. 31
坂 口 嘉 津 子	平 5. 4. 1 ～平10. 3. 31
平 向 邦 江	平10. 4. 1 ～現在

3. 地域の環境

交通量の多い甲州街道、川崎街道、市道に囲まれている。周囲には高層住宅も増え、自然が失われ、子どもの遊び場も限られてきている。しかし市役所、市民会館、図書館、公民館、博物館、生活保健センター、公園など文化的な環境に恵まれている。

4. 教育目標

- 人間尊重の精神を基調にして、心身共に健康で、いきいきと活動し、心豊かな幼児の育成を目指して
- 友達と元気に遊ぶ子
 - 丈夫な体と強い心をもつ子
 - 自分を素直に表現する子

5. 本年度の指導の重点

- 4 歳児 ●教師との信頼関係を基に、自己を十分に表現しながら、友達と一緒に遊ぶことができるようにするために、幼児の実態を正確にとらえ、のびのびと安心して自分を表現できるような指導にあたる。
- 園生活に必要な基本的生活習慣や、態度の育成を図るために、家庭との連携を密にし、共通理解を図る。
- 5 歳児 ●友達と一緒に考えたり、工夫したりして、遊びを進め満足感、充実感が味わえるように援助し、自ら活動に取り組む力を育てる。
- 一人一人の幼児が多くの子と触れ合う中で、友達の良さに気付いたり、受け入れたり認め合うなど互いに必要な存在であることに気付かせる。

6. 本年度の研究主題

「生き生きと遊ぶ幼児を育てる教師の援助」
一人一人の幼児が自分の力を発揮し、安心して遊びに取り組み、楽しむ意欲や態度を育てる教師の援助の在り方を探る。

7. 本園の特色

- 全教諭が園児一人一人の名前、個性を知って指導にあたっている。
- 園内には沢山の草花や、実のなる木があり触れたり、収穫を楽しんでいる。
- 地域の自然環境や施設を積極的に活用し、子どもや、保護者が地域を愛し、親しむ心をそだてるよう努力している。
- 保育参観、保育参加の機会を持ったり、地域の人との触れ合い場を作り、人に親しむ態度を育てるよう心がけている。

8. その他 (教職員研究歴)

No.	内 訳	研 究 員	開 発 研 究
1		平向 邦江 (49年)	平向 邦江 (58年)
2			前川 恵子 (5 年)



園 名 日野市立第四幼稚園
所 在 地 日野市石田431－6
電 話 042－583－3903
順 路 立川－高幡不動 京王バス四小前下車 徒歩5分
園 児 数 男39名 女23名 計62名

園長氏名 山 本 智恵子

1. 沿革の概要

- 昭48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園 学級数2、園児数41名
10. 9 落成式挙行
11. 1 開園記念日と定める
昭51. 8. 30 各保育室前、テラス完成
昭54. 9. 8 廊下床、足洗い場改装完成
昭56. 9. 30 各保育室、教材整理棚完成
昭57. 11. 11 創立10周年記念式典挙行
園歌制定
昭60. 8. 31 職員室床木製改装完了
昭62. 8. 26 廊下改修、屋根、外装塗装
平2. 8. 30 各保育室床、遊戯室床、壁塗装
平3. 8. 31 水道管のとりかえ工事
平4. 11. 18 創立20周年記念式典
平5. 9. 13 屋根部分改修
平6. 8. 23 雨どい改修
平8. 8. 13 天井一部改修
平9. 8. 29 腰洗い槽設置・洋式便器設置

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
内 藤 達 夫	昭48. 4. 1～昭52. 3. 31
釜 池 博	昭52. 4. 1～昭57. 3. 31
竹 永 秀 雄	昭57. 4. 1～昭60. 3. 31
田 中 光 穂	昭60. 4. 1～昭62. 3. 31
梶 村 和 子	昭62. 4. 1～平元. 3. 31
上 野 美 津 枝	平元. 4. 1～平5. 3. 31
山 本 智 恵 子	平5. 4. 1～現在

3. 地域の環境

日野橋より東へ約1km入った多摩川の土手近くにあつて、日野第四小学校に隣接している。田畑や梨園、多摩川の河川敷等自然環境に恵まれているが、宅地化が進み、自然環境も少なくなり、子どもが遊べる場所がなくなっている。

4. 教育目標

自ら学び、自ら考え、豊かな心をもって生きていく幼児を育成する。

- 心身共に健康なこども。
- 意欲をもって元気に遊ぶ子ども。
- 思いやりのあるこども。

5. 本年度の指導の重点

- 幼児の実態や発達に即した長期・短期の指導計画及び、個々の幼児の実態に即した個別の指導計画を立案し、教師一人一人が保育に対するとらえ方や能力を高める。また、共通理解のもとに日々の指導と評価の充実に努める。
- 遊びの中で起こる様々な事象について、幼児が気付いた事を受け止め、幼児自身がさらに興味を持って考えたり、試したりするように援助していく。
- 幼稚園生活を通して相手の感情などに徐々に気付かせるようにし、人の嫌がる事、心を傷つけるような事等を言ったりしないような態度を育てていく。
- 4歳 ・基本的生活習慣の自立を図る。
 - ・友達と一緒に思い切り遊び、楽しく幼稚園生活を送る
 - ・いろいろな事に興味を持って、自分から進んで物事に取り組む。
- 5歳 ・意欲をもって遊び、充実した幼稚園生活をおくる。
 - ・相手の立場になって考え、良さを認め合えるようにする。
 - ・友達と一緒に遊びをより楽しくするために考え、試したり工夫したりする。

6. 本年度の研究主題

「幼児の遊びと心の育ち」

7. 本園の特色

- 木登りや竹馬遊びなど体を動かす遊びを楽しみながら一人一人の心の育ちを大切にしている。また、幼児は様々な事に心を揺さぶられながら、意欲的に取り組み、友達を思いやる心が育ち、自己表現力も豊かになってきている。
- 自然環境を生かした遊びの中から、四季折々の動植物への関心と親しみを持たせていく。
- 教師と子どもが共感し合い、認め合いながら自己発揮できる環境の設定に配慮している。



園 名 日野市立第五幼稚園
所 在 地 日野市三沢175
電 話 042-592-0432
順 路 京王線 高幡不動駅下車 東へ徒歩13分
園 児 数 男31名 女34名 計65名

園長氏名 渡 邊 明 子

1. 沿革の概要

- 昭49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置
学級数2、定員80名
4. 15 第一回入園式挙行 園児数62名
11. 1 落成式を挙行 開園記念日とする。
昭53. 4. 1 1学級増のためプレハブ教室増築、学
級数3、定員120名
昭56. 4. 1 学級数2、定員80名
昭59. 2. 25 創立10周年記念式挙行
3. 31 プレハブ教室撤去
昭60. 4. 1 2年保育開始 学級数2、定員70名
昭61. 3. 15 教材室増設
平3. 10. 6 ホール屋根取替・トイレ改修
平3. 8. 31 保育室流し台改修・ホール床改修
平5. 1. 18 外灯設置、園舎職員室・保育室屋根改
修
平8. 8. 31 温水シャワー設置、保育室屋根改修・
塗替

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
岡 本 省 吾	昭49. 4. 1 ～ 昭53. 3. 31
古 谷 洋 太	昭53. 4. 1 ～ 昭58. 3. 31
渋谷 義 一	昭58. 4. 1 ～ 昭61. 3. 31
櫻 田 鈴 子	昭61. 4. 1 ～ 平3. 3. 31
高 野 英 男	平3. 4. 1 ～ 平3. 4. 30
酒 匂 瑠 美 子	平3. 5. 1 ～ 平8. 3. 31
渡 邊 明 子	平8. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

京王線高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の位置にあり、周囲は開発途上にあるがまだ自然に恵まれており、小学校、中学校に隣接している。近くには、高幡不動尊、多摩動物公園、百草園などがあり、四季折々の野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

心身共に健全で主体性をもち、人間性豊かな子どもを育成するために、次の目標を設置する。

- 元気な子ども ・たくましい子ども
- やさしい子ども ・豊かな心をもつ子ども
- 考える子ども ・自分で考え、進んで行動する子ども

5. 指導の重点

幼児の実態をとらえ、発達段階に即した学年及び学級目標を設定し、次のことに留意して学級経営を行う。

- 4 歳児○一人一人が安定して園生活を送り、生活のための習慣や態度を身につけていく。
- 周りの人や物への興味・関心を広げながら遊びや生活を通して多様な経験をし、親しみを持って環境にかかわる力を養っていく。
 - 友だちとのかかわりの中で、自分の思いを出したり、友だちを意識しながら遊ぶことを十分楽しみ、より良い友だち関係を広げていく。
- 5 歳児○一人一人が自分を十分に発揮し、課題や目的をもって取り組み、満足感や充実感を味わい、いろいろなことを積極的にやってみようとする力を育てていく。
- 友だちや教師、身近な人との豊かな触れ合いや様々な体験をもとに、友だちと一緒に遊びを考えたり工夫したりしながら、互いに支え合い、心豊かに人とかかわる力を高めていく。

6. 本年度の研究主題

「生き生きと遊べる子どもを育てる」
～実態に即した物的環境の在り方～
—ごっこ遊びを通して—

7. 本園の特色

- 広い園庭を十分利用し、幼児はいろいろな体験を通して幅広い戸外遊びを楽しむことができる。
- 園生活や地域施設・四季折々の自然環境を利用した遊びを通して、友だちと遊ぶ楽しさを感じ、互いに刺激し合い育ち合える場となっている。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳	研 究 員	開 発 委 員
氏 名	小宮広子（H8年）	渡邊明子（63年）



園 名 日野市立第六幼稚園
所 在 地 日野市程久保876-2
電 話 042-592-6330
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバス
高幡台団地下車 徒歩5分
園 児 数 男25名 女20名 計45名

園長氏名 梶 村 和 子

1. 沿革の概要

- 昭50. 9. 6 園舎新築工事起工
昭51. 3. 19 園舎完成、鉄筋平屋建
4. 1 日野市立第六幼稚園として開園
学級数2、定員数80名
園長1名、教諭3名、用務員1名
4. 10 入園式挙行、園児数73名
5. 29 開園記念式典挙行、開園記念日とする
昭52. 5. 30 プール（ヤマハ・キューティメイトDX）設置
昭53. 3. 12 1学級増設のためプレハブ教室増設、
学級数3、定員120名
昭55. 4. 1 1学級減、学級数2、定員80名
昭58. 8. 5 プールのフェンス、防球ネット完成
昭60. 4. 1 2年保育開始、定員70名、学級数2、
4歳児30名、5歳児40名
11. 1 園歌制定
12. 14 創立10周年記念式挙行
昭61. 9. 10 園庭拡張、園舎外壁塗装
平1. 8. 31 南側テラスに屋根取り付け
平3. 11. 15 教室、ホールのストーブ改修
平4. 8. 31 廊下床張り替え、門柱、門防球ネット
設置、登り棒新設
平5. 8. 20 ホール、保育室の床改修
平8. 11. 30 開園20周年記念式挙行

2. 歴代園長

氏 名	年 月～ 年 月
手代木 和 夫	昭51.4.1～昭54.3.31
近 内 信 輝	昭54.4.1～昭58.3.31
津野田 昭 二	昭58.4.1～昭62.3.31
上 野 美津枝	昭62.4.1～平元.3.31
坂 口 嘉津子	平元.4.1～平5.3.31
高 野 真由美	平5.4.1～平8.3.31
梶 村 和 子	平8.4.1～現在

3. 地域の環境

日野市の東南部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地と百草団地との境に位置し、園舎は、緑の林に囲まれ起伏に富んだ所である。

近くには、多摩動物公園、百草園、高幡不動尊などがあり、野外遊びのできる場所も多く、自然に親しむことができる。

4. 教育目標

人間尊重の精神に基づき、自らたくましく生きようとする力を養い心身共に健康で明るい、人間性豊かな幼児の育成を目指す。

- ・元気な身体で、よくあそぶ子
- ・自分で考え、最後までやりぬく子
- ・思いやりのある子

5. 本年度の指導の重点

- (1) 幼児自らが、環境に働きかける経験や活動を大切に
にし、一人一人の発達をふまえた幼児理解を行い計
画性のある指導を行う。

- 4歳児・自己を十分に発揮し、人とのかかわり合う楽し
さを味わわせるために、教師と幼児、幼児相
互の信頼関係を深めると共に、個々の興味や
発達に応じた遊びの充実を図る。

- ・自ら興味関心を持ってかかわろうとする態度
を育てるために、幼児の実態を十分に把握し
興味関心に応じた活動内容の精選に努めた指
導を行う。

- 5歳児・意欲を持って活動に取り組めるように、満足
感や充実感、創意工夫する楽しさが味わえる
ような柔軟性のある指導計画を作成し、友達
との遊びを楽しませる。

- ・互いの考えを伝え合ったり良さを認めあつた
りできるように、一人一人の発達や友達との
つながりを把握し、友達と一緒に遊びを進め
楽しさが感じられる活動を計画的に行う。

- ・身体を動かして遊ぶ楽しさが感じられるように、運
動な遊びや集団ゲームなどを取り入れた遊びを計画
的に行う。

- ・地域の環境を活用した園外保育の充実を図り、園内
で体験しにくい自然との触れ合いを通して豊かな感性
を培う。

- ・様々な経験の積み重ねが生かせるような指導を行な
い生活経験を豊かにし、身近な自然や社会事象に興
味や関心を持てるようにする。

6. 本年度の研究主題

「友達関係を育てる物的環境の在り方を探る」

7. 本園の特色

- ・園生活を親子で楽しめる行事や参観日を設けている。
- ・園外の自然環境を活用し園外保育を計画的に取り入れ、
自然に親しませ園内では、出来ない実体験の場を設け
ている。
- ・動植物の飼育栽培を行い育てる喜びと直接体験を通し
情緒豊かな子の育成に努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	梶村和子(S.54年度)	梶村和子(S.53年度)	
2	井上宏子(H.2年度)	井上宏子(H.4年度)	井上宏子(H.8年度)



園 名 日野市立第七幼稚園
所 在 地 日野市旭が丘 2-42
電 話 042-586-3770
順 路 J R 豊田駅下車 京王バス 都立科学技術大学前
園 児 数 男58名 女40名 計98名

園長氏名 酒 匂 瑠美子

1. 沿革の概要

- 昭59. 10. 6 園舎新築工事起工
昭60. 4. 1 日野市立第七幼稚園として設置
鉄筋コンクリート 2階建
学級数2 定数70名
教職員3名 園地面積2599㎡
昭60. 4. 1 第1回入園式挙行 園児数49名
昭60. 6. 30 開園記念日とする
昭62. 4. 1 4歳児1クラス増、定員100名
(年少2、年長1)
昭63. 3. 7 園舎増築工事完成
昭63. 4. 11 学級数4 (4歳児2、5歳児2)
定員140名
平元. 4. 10 第5回入園式挙行 定員130名
平2. 2. 20 園歌制定
平6～7. 文部省委託研究「幼稚園教育の在り方
についての実践的調査研究」
平7. 12. 15 開園10周年記念式典挙行

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
石 井 三 士	昭60. 4. 1 ～ 昭62. 3. 31
沖 山 英 代	昭62. 4. 1 ～ 昭63. 3. 31
平 向 邦 江	昭63. 4. 1 ～ 平5. 3. 31
上 野 美 津 枝	平5. 4. 1 ～ 平8. 3. 31
酒 匂 瑠 美 子	平8. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

市の西端に位置し、地域の約半分が工業地区職住近接による公団や社宅により若年層の人口が増加している。周辺道路の交通量が多いが道路は整備され、街路樹やグリーンベルトが四季折々に美しい。大学、中学校、保育園、児童館、障害者や老人のための施設が隣接し、文化福祉ゾーンとして地域のかなめとなっている。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調にし、主体的で心豊かな幼児の育成を目指す。

- 明るく元気な子ども
- 一生懸命とりくむ子ども
- 心の豊かな子ども

5. 本年度の指導の重点

○幼児の実態と発達段階をとらえ、教師との信頼関係を基調とした学年及び学級目標を設定し、次のことに留意して学級経営を行う。

- 4歳児・一人一人の興味、関心にもとづいた遊びや生活を通して社会性を育み、基本的生活習慣や生命の大切さを意識した生活行動が身につくようにする。
- ・友だちとのつながりや遊びを通して、自分なりに試したり、表現できるような経験を積み、集団で遊ぶことを十分に楽しむようにする。
- 5歳児・教師が幼児の実態を一人一人適切に把握し個に応じた指導の充実を図ることで幼児が自己を十分発揮し、達成感や充実感を味わい、自信を持って園生活を送れるようにする。
- ・友だちと気持ちを通い合わせながら遊びや生活を進めることで、人とかかわる力の育成を図り、互いに認め合い、集団としてのつながりを深めていく。

6. 本年度の研究主題

「一人一人の幼児が思いを実現する指導の在り方」
園内の学年間、異年齢間の交流を年間指導計画に位置づけ研究を進めていく。

7. 本園の特色

- 通園区域は広く、高層住宅、社宅等が多い。
- 飼育物の世話や菜園、園庭での草花の栽培等の直接体験を通して情操豊かな心を育てている。
- 地域の自然や特性を生かした地域の人々との交流を年間計画の中に位置づけている。



学 校 名 日野市立日野第一小学校
所 在 地 日野市日野本町 2 - 14 - 1
電 話 042-581-0073・0061
順 路 中央線日野駅下車 徒歩 6 分
児 童 数 男250名 女224名 計474名

校長氏名 秋 山 憲 一

教頭氏名 宇 野 有斐子

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 土淵山普門寺の本堂をあて開校。第一
大学区第八中学区第五十四番小学日野
学校と称す。（現在の 中央公民館の
となり。）
- 明45. 2. 11 校歌、校章制定、校舎増改築、校地拡
張
- 昭11. 4. 29 校旗寄贈（古谷剛次郎氏）
- 昭15. 日野2800番地（現在地）に土地800余
坪、新校舎建築開始。
- 昭23. 4. 25 新校舎に移転完了
- 昭27. 3. 5 東京都指定実験学校となり、教育課程
の研究発表
- 昭28. 8. 22 80周年記念プール竣工
- 昭38. 11. 3 日野市制施行により日野市立日野第一
小学校と校名を変更
- 昭43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育環境の
整備」を主題に発表
8. 1 日野市集会場を屋内運動場兼講堂とし
て移管される。
- 昭44. 2. 21 日野市研究協力校として「教育環境の
整備について」発表
5. 1 東京都学校花壇協力校となる
- 昭46. 4. 1 日野市小学校訪問学級設置
- 昭47. 2. 都市計画神明上区画整理事業開始
校庭南側一部縮小
- 昭48. 4. 10 授業研究校（「子どもの思考力を育て
る」をテーマに研究発表）
11. 創立百周年記念祭
- 昭49. 4. 10 授業研究校（「考える力をのばす」を
テーマとして研究発表）
- 昭57. 6. 体育館新設
- 昭58. 8. 校内塗装、窓アルミサッシ化
11. 開校110周年記念集会、式典
- 昭59. 3. 仲田小分離
- 昭60. 3. 体育倉庫新設
11. 南・北側ブロックべいを植込に。
- 昭62. 2. 東京都教育委員会「健康づくり推進校」
として公開発表
- 平成. 8. 校庭整備工事
11. 校舎建具等改修、建築工事
11. 温度保持設備工事新設
- 平 2. 8. 放送室改修工事
- 平 3. 1. 日野市研究協力校（「一人一人の読み
の力を育てるための指導法の工夫」を

主題として研究発表）

- 平 3. 8. 校庭改修
- 平 4. 10. 第二図工室焼き窯設置
- 平 5. 8. ランチルーム全面改修
教室出入口扉の改修
駐輪場設置
- 平 6. 2. 10 120周年記念式典、祝賀会举行。
「記念誌」「目で見る日野一小」発行。
同日を開校記念日とする。
3. 飼育小屋設置
- 平 7. 2. 9 日野市教育委員会奨励校として社会科
生活科公開発表
- 平 8. 2. 20 小体研・日野市教育委員会奨励校とし
て体育科研究発表大会
3. トンボ池設置
- 平 9. 8. 12 キンバリー小学校と姉妹校提携
8. 水道管とりかえ校舎内廊下塗装
3. 水車設置

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月
1	日 野 義 順	明 6. 5 ～ 明 9. 7
2	国府田 学	明 9. 7 ～ 明 11. 3
3	小 川 則 要	明 11. 4 ～ 明 15. 3
4	鈴 木 宗 也	明 15. 4 ～ 明 16. 8
5	上 野 兼 松	明 16. 9 ～ 明 18. 3
6	二 見 友三郎	明 18. 4 ～ 明 19. 4
7	八木岡 寛 制	明 19. 5 ～ 明 21. 10
8	佐 野 鶴 松	明 21. 11 ～ 大 5. 3
9	古 谷 剛次郎	大 5. 4 ～ 大 12. 1
10	河 合 平 作	大 12. 2 ～ 大 15. 3
11	古 谷 剛次郎	大 15. 4 ～ 昭 11. 1
12	宮 川 海 三	昭 11. 2 ～ 昭 18. 3
13	貫 井 半 蔵	昭 18. 4 ～ 昭 23. 8
14	小 池 嘉 一	昭 23. 9 ～ 昭 34. 3
15	尾 崎 半次郎	昭 34. 4 ～ 昭 37. 3
16	五十嵐 葆 光	昭 37. 4 ～ 昭 38. 3
17	木 村 清	昭 38. 4 ～ 昭 41. 3
18	吉 田 辰 次	昭 41. 4 ～ 昭 44. 3
19	下 田 忍	昭 44. 4 ～ 昭 50. 3
20	溝呂木 桂 次	昭 50. 4 ～ 昭 55. 3
21	村 田 安 正	昭 55. 4 ～ 昭 58. 3
22	古 谷 洋 太	昭 58. 4 ～ 昭 62. 3
23	山 口 武 彦	昭 62. 4 ～ 平 4. 3
24	岩 下 和 夫	平 4. 4 ～ 平 9. 3
25	秋 山 憲 一	平 9. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

校区は広く、農地、工場、商店、住宅により構成される地域である。本校は日野駅より徒歩6分の所に位置する。駅周辺は開発も進み、かつての日野宿のおもかげも失われつつある。しかし、まだ随所に歴史をとどめる史跡も残り、自然も美しく、心やすまる環境も残されている。

4. 学校のエ育目標

人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において尊敬と信頼の得られる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、次のように本年度の学校教育目標を設定する。

- ① 科学性を身につける子ども
事実を正しく見る目を養い、正しい判断力・順序だった思考力・意欲的な創造力等の知性を育てる。
- ② 豊かな心情を持った子ども
真・善・美に対する感受性を養うとともに、自然や動植物愛護、他人と協調し思いやりの心を育てる。
- ③ 強い意志を育てる子ども
困難にあってもくじけない耐性を育て、目標に向かって最後までやりとげる実践力を培う。
- ④ じょうぶな体をつくる子ども
健康に関心を持ち、進んで運動に取り組み、健康の増進・体力の向上を目指していく。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

生涯にわたって主体的に学び続ける意欲や能力・態度の基礎基本を身に付ける。また、児童が主体的に学習できる授業を創造する。そのため、次の点を重視する。

- ・指導内容の重点化を図り、パソコン体験等を通して考える・調べる・確かめる等の時間を十分にとり、考える力・情報活用能力・表現力・創造性の育成を図る。
- ・新しい学力観に立つ学力を育成することを重視して、T・T等を含めた指導法の改善に努める。
- ・児童が健康、体力に関心をもち、体育科の学習活動を通して、進んで心と体の健康づくりに取り組むよう指導の工夫に努める。
- ・豊かな心情をもった子どもの育成を重視し、多様な体験を取り入れ子どもの心のひだに訴えるような学習活動の工夫に努める。

イ 道徳

社会規範・生活規範のもととなる道徳的価値の高揚・内面化を図り、道徳的実践力を高める。そのため、

- ・道徳の時間の充実を図り、意図的・計画的な指導に努める。
- ・全教育活動を通じて、根気強さや耐性、自然環境の大切さ、生命の尊重、他を思いやる心等の育成を重視した指導を進める。

ウ 特別活動

児童の協働・協力活動を通して、助け合い、学び合い、支え合う心を育てる。また児童の自主的・自治的活動を通して個性や社会性・国際性を培う。そのため、

- ・児童の主体的・体験的活動を促し、縦割り活動等望ましい集団活動を行う中で連帯感や豊かな人間関係を育てるとともに、地域の一員として望ましい生き方ができるように指導する。
- ・多様な教育活動を行う中で、個人の持つ特性の発見に努め、一人一人のよい面が伸長できるように指導法を工夫する。
- ・体育的な活動を通して、ねばり強さや耐性、健康・体力の向上等心と体の健康づくりを推進する。

(2) 特色ある教育活動

ア 児童と教師、児童相互のふれあえるふれあいタイムを通して、児童理解を深め、心と体の健康づくりに努める。

イ 幼稚園、中学校との交流の場を設定し、幼・小・中の触れ合いを通して異年齢の相互理解を深める。

ウ 学級活動、学校裁量の時間を通して、個別指導の充実、学級経営の推進を図り、児童一人一人が、いじめのない楽しくゆとりのある学校生活を送れるよう指導する。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 全教職員の共通理解のもとに基本的行動様式の定着を推進する。そこで「五つの約束」を重点として、集団の秩序と安全保持の立場から指導を徹底する。
- ② 校内の教育相談を通して、児童の不安や悩みを聞き、学校生活への適応・学習の適応を図り、明るく楽しい学校生活を送れるように指導する。
- ③ 学校週五日制に伴う休日の過ごし方について、学校と家庭・地域の連携を深め健全なる生活ができよう指導する。

イ 進路指導

児童一人一人の個性・能力の開発・伸長をめざす。そのため、児童のよい面の発見に努め、認め・褒め或いは児童のもつ悩みや願いの相談にのり、励まし力づける。また、各教科・道徳・特別活動等さまざまな学習の場を通して、児童がめあてを持ち、健康でたくましい生き方ができるよう指導に努める。

6. 本年度の研究主題

「かかわり合いの中で表現する喜びをもつ子」
— 聞くこと・話すことを通して(国語科) —

7. 本校の特色

- ① 創立125年目をむかえた歴史と伝統を持つ学校である。本校同窓生を初め、地域・保護者から学校に寄せる信頼も厚く、また、大変協力的である。
- ② 児童は五つのやくそく（人の話をよくきく・せいいそいそとんをする・時間を守る・あいさつをする・正しい歩行をする）を守り、規律正しい生活をつくり出している。
- ③ 全教職員が児童の教育活動の向上をめざして、環境づくりに熱心に取り組んでいる。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	中央研・研究生	研 究 員	開 発 委 員 等	助 言 研 、 他
1	秋山憲一（研究生S58）	清水 妙子（S47） （学校保健）	秋山 憲一（S54） （理科）	黒部 久子（H2）
2	清水 俊幸（H9）	秋山 憲一（S52） （理科）	宇野有斐子（S62） （道徳）	清水 俊幸（H10） （ひのっ子）
3		清水 俊幸（H4） （特活）		
4		菊池 修（H8） （体育）		
5		乾 ひさ子（H9） （国語）		
6		大久保淳子（H7） （学校給食）		
7		黒部 久子（H6） （道徳）		
8		小田 準子（H5） （理科）		
9		高木 健示（H7） （国語）		



学 校 名 日野市立日野第二小学校
所 在 地 日野市東豊田 2-14-1
電 話 042-581-0070・0851 FAX042-581-0851
〈せせらぎ〉042-581-3211(TEL・FAX)
順 路 JR豊田駅南口下車徒歩10分 京王線南平駅下車徒歩15分
児 童 数 男293名 女249名 計542名

校長氏名 吉 野 美智子

教頭氏名 佐 藤 静 雄

1. 沿革の概要

- 明7. 3. 神奈川県9大区小4区豊田村尋常小学校として創設、戸長山口平大夫氏長屋を仮校舎にする
- 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下2等級に分ける。
- 明12. 2. 豊田1320番地、善生寺の西隣に新校舎建築
- 明41. 3. 日野小学校豊田分教場となる
- 昭17. 豊田218番地に新校舎建築、平屋建6教室
- 昭21. 6. 南多摩郡豊田国民学校として再び独立
- 昭27. 12. 第1次増築、2階建8教室、日野町立日野第二小学校と校名変更
- 昭31. 4. 第2次増築、2階建6教室
- 昭38. 11. 日野市立日野第二小学校と校名変更
- 昭43. 6. 第1次防音、4階建校舎完成
- 昭44. 3. 第2次防音、4階建校舎完成
- 昭46. 2. 体育館工事、落成
- 昭49. 3. 第3次防音、4階建校舎完成
11. 創立百周年記念式典を行う
- 昭55. 3. 1階建校舎完成
- 昭56. 5. 新プール完成
9. 校庭整備完成
- 昭57. 8. 普通教室内部塗装完了
- 昭58. 12. 校庭歩道完成
- 昭59. 6. 創立百十周年記念式典を行う
- 昭63. 8. 体育館改築
- 平元. 8. 高置水槽取替
- 平2. 8. 校舎大規模改修完了
- 平3. 9. 給食室・床(4階)天井(3階)改修完了
- 平5. 2. ランチルーム完成
2. 生活科広場完成
3. 第二校庭用地借上げ決定
8. 校舎、床、天井改修
- 平6. 8. 各階ろう下内装改修
- 平7. 3. 保健室シャワー設置
- 平8. 4. 東京都人権尊重教育推進校
- 平9. 4. 東京都人権尊重教育推進校
- 難聴通級学級〈せせらぎ〉開設
- 平10. 4. 東京都人権尊重教育推進校

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 山 茂 平	昭21. 6～昭27. 9
増 島 光 一	昭27. 10～昭34. 3
小 池 嘉 一	昭34. 4～昭38. 3
森久保 惣 次	昭38. 4～昭42. 3
後 藤 正 太	昭42. 4～昭47. 3
安 積 利 治	昭47. 4～昭50. 3
永 井 雅 夫	昭50. 4～昭53. 3
鈴 木 英 夫	昭53. 4～昭57. 6
篠 宮 忠 男	昭57. 7～昭61. 3
荒 木 健 治	昭61. 4～平元. 3
馬 場 武	平元. 4～平6. 3
秋 山 憲 一	平6. 4～平9. 3
吉 野 美智子	平9. 4～現在

3. 地域の環境

- 本校の学区は、かつては“豊田の里”と呼ばれた静かな農村であったが、近年になって急に宅地造成が進み、農家の割合が激減している。しかし、学区内の至る所に湧水があり、サワガニやカワニナが生息する自然環境が残されている。
- 保護者や地域の方々は、教育に対する関心が深く協力的である。登校時の交通安全指導や各種のサークル活動に積極的に参加している。
また、浅川を含んだ地域の清掃活動であるPTA主催のクリーン作戦は、15年目を迎えるなど、環境に対する関心も高い。
- 学校前の都道をはじめとして、学区内の道路はどれも道幅がせまく歩道もない。しかも交通量がしだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況になってきている。
- 現在、豊田南及び東豊田土地区画整理事業が進行し、通学路の変更が度重なっている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神に徹し、日本人としての自覚を高め、国際社会に貢献できる心身共に豊かな子どもの育成を目指して、次の目標を定める。

- ・からだも心も強く、明るい子
- ・みんなと仲良く力を合わせられる子
- ◎よく考え、進んで行動する子（重点目標）
- ・責任をもって最後までやり抜く子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

教育目標の具現化のために、全教職員の共通理解を大切にし意図的、計画的、組織的、継続的に以下の方針をもって、教育活動を進める。

1. 心豊かな人間性を基調とした人権尊重の意識と自他を思いやる実践的行動力を育てるために、全教育活動を通して行う。
2. 自ら課題を見つけ、考え判断し、表現して、よりよく解決できる能力を育成するために、児童一人一人の個性、能力をみつめた指導を推進する。
3. 基礎的・基本的内容の理解定着を図り、生涯にわたって自己実現を図る土台を培うために、「自ら学ぶ力を育てる」主題を設定し、授業研究を通して指導法の改善に努める。
4. 規範意識を育て、自主的、自律的な生活態度を育成するために、児童の基本的な行動様式、基本的生活習慣の確立に対する職員の理解を共通化する。
5. 地域への愛着を培い、人間関係を豊かにできるようにするために、家庭、地域との連携を一層深める。
6. 環境を大切に、その保全に配慮できる態度を育成するために、地域の環境に関心を持たせる教育活動を推進する。
7. 我国の文化や伝統を大切にすると共に諸外国の生活や文化を理解し尊重する態度を育むために、全教育活動を通して行う。
8. 心身に障害のある児童および外国人児童が自ら適応できるようにするために、実態に応じた適切な教育活動を創意工夫し推進する。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

生涯にわたって学び続ける意欲や能力・態度（思考力、表現力、情報活用能力、コミュニケーション能力）の土台を築くために、

- ・指導内容重点化のため学習時間を確保し、多様な指導方法、形態（T・T.の導入等）を創意工夫する。
- ・個に応じた学習を推進するため、体験的な活動や問題解決的な学習形態を工夫する等指導方法を改善する。
- ・児童の課題意識に応じた学習を推進するため、教材、教具の整備活用を図る。
- ・一人一人に学習の目当てを持たせ、学び方を学ぶ授業を創造する。
- ・人間関係を豊かにし、学び合い、磨き合う学習集団を形成する。

イ 道徳

全教育活動を通して、下記の事項を重点として指導するとともに、道徳の時間を通して、道徳的価値を学び、判断力を高め、道徳的実践力を育てる。

- ◎自分自身……自らを律する生活態度、能力を育成するために、学校生活をみつめ振り返らせる。（学期始めや終わりの自己目標の検討、月目標（生活、保健、給食）の反省など）
- ◎他 の 人……相手の立場を理解できる能力、態度を育成するために、思いやりの心をもとにして言語環境を整える。
- ◎自然、崇高なもの…環境保全や生命尊重の意識を深めるために、地域の自然や文化の教材化を図る。
- ◎集団・社会…個と集団の在り方を自覚させ、「いじめは絶対許さない」という明確な倫理、規範意識の確立に努めるために、人間関係を大切にした学級経営を推進する。

ウ 特別活動

望ましい集団生活を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

- ・自己の存在感の自覚と他者と豊かに関わる集団を形成するために、行事や係活動、集会活動を充実する。
- ・自覚と責任ある行動をとることができるようになるために、児童会活動（七夕集会、子供祭り、1年生を迎える会、6年生を送る会等）や委員会活動、クラブ活動を児童の発想や主体性を生かして運営する。

(2) 特色ある教育活動

- 心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るために児童会活動や集会、生活体育を充実する。
〈なわとび集会、こども祭り〉
- 地域から学び、他者と豊かに関わることができるために地域の自然や社会を教材化する。
〈体験的な活動の重視、社会人講師の活用〉
- 環境美化や環境保全の意識、態度を身につけさせるために家庭や地域と連携する。
〈クリーン作戦（地域清掃体験活動、ポスターや標語作り）「みどりの町」への作文応募〉
- 個に応じた学習指導を推進するためにティームティーチングをより充実する。
〈指導形態、個別学習の創意工夫〉

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・基本的生活習慣の確立を図るために、日々の児童の実態を的確に掴み、全職員の共通理解の下、組織的に指導に当たる。
- ・いじめのない豊かな人間関係を確立するために、生活全般に亘り言語環境を整備し、コミュニケーション能力を育成する。
- ・学習への意欲と自ら学ぶ姿勢を高めるため、学習環境（掲示、教材整備）を整える。
- ・社会体験や生活体験の充実を図るために、家庭、地域社会及び保育園、幼稚園、中学校との連携を図り、児童の健全育成を進める。（地区育成会、小中交流会、豊田保育園学校参観等）
- ・児童の心の健康を図るために、教育相談活動を充実し、いじめの早期発見に努める。
- ・事故防止のために、定期的な施設整備の安全点検を実施するとともに児童自身が環境整備に心掛けるよう学級指導を充実する。

イ 進路指導

- ・児童一人一人の個性、能力を伸長するため、児童のよさを引き出し、認め励ますとともに組織的な教育相談体制の充実を図る。
- ・将来への夢や希望をもって生きていく態度を育てるために、地域や学級での人間関係の中で一人一人に自らのよさを自覚させるよう指導する。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	現代化委員・開発委員	道 徳 ・ 助 言 研
1	佐藤 静雄（H2 社会）	吉野美智子（S62 道徳）	吉野美智子（S63）
2	槇 圭子（H4 学校給食）		菅野 君江（H8） （H10）
3	小島 義範（H4 特別活動）		



学 校 名 日野市立日野第三小学校
所 在 地 日野市日野台2-1-1
電 話 042-581-0101・0850 FAX 042-581-0850
児 童 数 男169名 女169名 計338名
(内ひばり19名)

校長氏名 齋藤 正子

教頭氏名 岡崎 滋

1. 沿革の概要

- 昭23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童1～3年340名、教室4、全学年2部授業
- 昭25. 6. 10 日野台小学校として独立する
児童数696名、教室9、4年生迄2部授業
7. 18 校章制定
9. 19 4教室増築、教室数13、3年まで2部授業
- 昭27. 4. 15 4教室増築、教室数17、2年まで2部授業
6. 10 校歌制定
- 昭28. 6. 10 校地850坪拡張、6教室増築、教室数23、2部授業を解消
- 昭30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を増築
教室数25、児童数869名
- 昭33. 8. 3 給食調理室完成・大小プール落成
- 昭34. 3. 校地1,100坪拡張
- 昭35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される
- 昭38. 11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更
- 昭42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭43. 11. 15 校地地番変更、日野市日野台2丁目1番地の1
- 昭46. 2. 16 体育館落成式、校章制定
- 昭48. 4. 1 鉄筋新校舎9教室増築落成
- 昭50. 2. 25 鉄筋新校舎竣工
6. 1 校旗制定
- 昭54. 4. 1 東光寺小と分離
- 昭58. 4. 2 ひばり学級教室増設
- 昭58. 4. 20 無人化(夜間・日曜・祝祭日等)機械警備始
- 昭59. 3. 10 藤だな改修
3. 25 給食調理室天井塗装
体育館渡り廊下天井改修
体育館ステージホリゾン幕改修
8. 29 音楽室床全面改修・黒板灯設備
用務員室改修
12. 20 南校舎非常階段手すり改修
- 昭60. 3. 20 給食雑排水経路改修・浄化槽整備・プール内シート防水・排水・バルブ改修・消防水利設備
- 昭60. 3. 31 裏門拡張・門扉改修

- 昭61. 3. 31 道路側防球ネット生垣完成
8. 31 体育館内部塗装
10. 31 北校舎屋上改修
- 昭62. プール更衣室等照明取付
ひばり教室改装・体育館外部塗装
- 昭63. 1. 20 体育館屋根塗装・北校舎外壁修理
8. 20 体育館床塗装・渡り廊下外壁修理
8. 31 屋外幹線改修・校庭整備
- 平成. 3. 31 プールフェンス・プールサイド改修
- 平2. 8. 21 南校舎玄関塗装
8. 30 理科室床研磨、実験机交換
- 平3. 9. 30 北校舎改修(1年次)
9. 30 ランチルーム開設
- 平4. 北校舎改修(2年次)
- 平5. 北校舎大規模改修終了
プールのトイレ改修
- 平6. 3. 飼育小屋新設
- 平6年度 体育館大規模改修
南校舎窓枠改修
校庭防球ネット延長
- 平7年度 生ゴミ処理機設置
体育館奈落改修
- 平9年度 テレビ放送システム整備

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
高野忠正(事務取扱)	昭25. 6. 10～昭26. 3. 12
高 野 忠 正	昭26. 3. 13～昭27. 9. 30
尾 崎 半 次 郎	昭27. 10. 1～昭34. 3. 31
五十嵐 葆 光	昭34. 4. 1～昭37. 3. 31
塚 本 正	昭37. 4. 1～昭41. 3. 31
池 田 瑞 男	昭41. 4. 1～昭47. 3. 31
岩 井 庄 三	昭47. 4. 1～昭50. 3. 31
平 松 健 太 郎	昭50. 4. 1～昭54. 3. 31
竹 永 秀 雄	昭54. 4. 1～昭57. 3. 31
古 田 耿 介	昭57. 4. 1～昭62. 3. 31
内 藤 康	昭62. 4. 1～平2. 3. 31
増 賀 従 男	平2. 4. 1～平6. 3. 31
三 津 山 要	平6. 4. 1～平9. 3. 31
齋 藤 正 子	平9. 4. 1～現在

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔80mの日野台地を中心とした地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり台地のため公害も少ない。

日野台地（学区）の北部は多摩川をへだて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子市が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

教育基本法に基づき、人間尊重の精神を基調に、心身ともに健康で心豊かな児童の育成を目指し、一人一人の個性・能力を生かす教育を推進する。

○ じょうぶな子ども

○ よく考える子ども

◎ 明るく思いやりのある子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

○ 「明るく思いやりのある子ども」を重点目標とし、互いに認め合い、励まし合い、支え合う望ましい人間関係を育む教育を推進し、人間尊重の態度の育成に努める。

○ 児童一人一人がかけがえのない一人の人間として大切にされ、頼りにされていることを実感でき、存在感や自己実現の喜びを味わうことのできる学級経営を進める。

○ 校内研究・研修を通して、指導内容、方法、評価の改善、充実に努め、発達段階に即し、基礎的、基本的内容の定着を図る。

○ 地域の特色を生かした体験的な学習や問題解決的な活動を取り入れ、児童一人一人の個性と創造性を伸ばし、社会の変化に主体的に対応できる能力を育み、生涯を通じて学び続ける意欲と能力を育成する教育の充実に努める。

○ 保健・体育的活動を年間を通して計画・実施し、自ら進んで心身をきたえる態度を養うとともに、たくましく生きる児童の育成に努める。

○ 学校週5日制の月2回実施の定着が進むなかで、学校・家庭・地域社会の各々の教育力を生かしながら、地域の自然や文化を大切に、課題解決に向けて自ら判断し行動できる、心豊かな子供の育成に努める。

○ 学校の教育目標・基本方針が家庭に十分理解され、協力が得られるように積極的に働きかけて家庭・地域社会との連携に努め、開かれた学校づくりを推進する。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

○ 教科教具の工夫・活用を研究し、各教科のねらいを明確にし、学習過程を工夫することにより、基礎的・基本的事項の学習の定着を目指した指導を充実させる。

○ 体験的学習・問題解決的な活動を重視し、気づかせ・発見させる学習を推進することによって、児童が自ら課題解決に向かう資質を育み、柔軟な思考力・的確な判断力を培う。

○ 成就感・達成感をもてる授業を確立することによって、主体的に学ぶ学び方を身につけ、意欲的に学習に取り組む態度を育成する。

○ 個性をとらえ、学習形態や学習過程を工夫し、個に応じた指導に努める。

イ. 道徳

○ 資料・視聴覚教材の充実を図り、授業の工夫・改善を進め、自分自身を真剣に見つめる心と他の人を優しく思いやる心を養い、道徳的価値の自覚を促す指導に努める。

○ 教育活動全体を通じて道徳教育を充実させ、実際の・体験的活動の中で、よく考え、進んで実践していく道徳的实践力を高める。

ウ. 特別活動

○ 学級活動や委員会、クラブ活動、集会活動等の自主的・実践的活動を充実させ、望ましい人間関係を形成するとともに、集団の中で自己を生かす力を育てる。

○ 児童の実態に即応した活動計画をもとに、創意工夫を生かした活動を通して、互いに思いやり、助け合う態度を養い、豊かでうるおいのある心を育てる。

(2) 特色ある教育活動

ア 地域の自然・人材を生かした多様な教育活動を工夫し、自然・文化・伝統を大切にする態度を培い、地域を誇りに思う児童を育む。

イ 兄弟学級集会・誕生給食における異年齢集団活動や行事給食における地域の人々とのふれあいを通して、学校の一員・地域の一員としての連帯感や責任感を育てる。

ウ 心身障害学級や養護学校との交流を通して、心身に障害のある友だちや人々との相互理解を深め、思いやりや共に生きることの大切さ・すばらしさを学ばせる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全教職員の共通理解をもとに、学校生活における基本的生活習慣を確立し、きまりを大切にする態度を養う。
- 児童一人一人を共感的に理解し、児童相互、児童と教師の心のふれあいを大切にして、自分の夢や生き方を考える児童を育成する。

イ. 進路指導

- 児童一人一人のよさを発見し、その個性や特性を生かすことのできる教育活動の場を設定し、目標達成に向かって意欲的に生活することができるように援助する。
- 様々な体験的活動を促し、社会の一員としてのかけがえのない自己に気づかせ、正しい勤労観・職業観を持つ児童を育てる。

6. 本年度の研究主題

子ども達が楽しく学習するための教材・教具の充実と指導法の工夫

7. 本校の特色

- (1) 児童は主体性・粘り強さにもう一步というところはあるが、明るく素直で活発である。
- (2) 校内研究では子ども達が楽しく学習するために教科・教具の充実を図ると共に、その開発・工夫・整備・活用による指導法の工夫を掲げて、授業研究を進める。
- (3) 地域に残されている畑や自然を教材として活用し、さらに、地域の農産物を給食に取り入れ、「ふれあい給食」等を実施して、地域の人々との交流を大切にしている。
- (4) ひばり学級（心身障害学級）があり、校内における交流教育はもとより、市内心障学級や地域に隣接している八王子東養護学校との交流教育にも力を入れ、豊かな心の育成に努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

No. / 内訳	研 究 生	研 究 員	開 発 員	中 央 研	海 外 派 遣
1	青木 利夫（平6） （心障教育）	岡崎 滋（昭60） （体育）			野崎 秀登（平3） （短期海外派遣）
2		齋藤 正子（昭63） （書写）			
3		青木 利夫（平元） （心障教育）			
4		野崎 秀登（平元） （中・教育課題）			
5		前田佐和子（平5） （国語）			



学 校 名
所 在 地
電 話
順 路

日野市立日野第四小学校

日野市石田430

042-581-0038 FAX 042-581-3076

日野駅から高幡不動駅行バス下田下車

立川駅北口から京王高幡不動駅行バス四小前下車
徒歩3分

児 童 数

男242名 女274名 計516名

校長氏名 小 原 良 雄

教頭氏名 高 橋 茂 子

1. 沿革の概要

明6. 5. 5 下田学舎
明11. 9. 下田小学校
明41. 3 日野小学校下田分教場
昭29. 8. 18 校地決定4.259.14坪
昭30. 4. 4 落成式並びに開校式 この日を開校記念日とする
12. 22 校章制定
12. 25 第二期校舎竣工
昭31. 3. 5 校旗完成
昭35. 7. 20 プール落成式並祝賀会
昭36. 11. 1 校歌発表会、以後この日を開校記念日とする。
昭40. 3. 31 防音校舎9教室完成
昭41. 3. 31 防音校舎第二期工事完了
昭43. 11. 27 統計教育研究指定校として研究発表会をする（都、市指定校）
昭45. 3. 31 体育館落成
防音校舎7教室増築完成
昭48. 5. 22 創立百周年記念式典
昭54. 3. 20 受水槽改修、渡り廊下改修
3. 25 防火戸改修、非常放送装置設備
6. 22 プールサイド全面コンクリート塗装工事
昭55. 2. 2 給食室作業場、休憩室改修工事
6. 20 プール内塗装工事
昭56. 8. 25 新校舎への親子方式TV配線、放送室内のスタジオ形式の改装
8. 27 屋上高置水槽改造
8. 30 都市ガス化にともなう配管取替
昭57. 3. 27 旧校舎屋上ネットフェンス貼替
4. 4 プール便所の水洗化、更衣室等の改修
9. 4 非常階段設置
昭58. 3. 27 自転車置場設置
10. 31 創立百十周年記念式典
昭59. 3. 31 仲田小学校分離 141名転出
9. 28 校庭の体育館倉庫新設
昭60. 8. 31 校舎棟工事（窓枠・天井張替等）
昭61. 2. 28 体育館玄関・天井・屋上修理
校庭東側フェンス張替工事
8. 4 給食調理室、配膳空間壁撤去工事
昭62. 2. 23 プールシャワー、目洗い場等工事
昭63. 3. 27 プール内塗装工事
7. 31 小プール排水工事完了
8. アスベスト撤去工事

8. 3 集水樹工事完了
8. 8 放送室調整卓取替工事
平元. 8. 31 校庭改修工事
校舎外塗装工事
平2. 3. 17 体育館自動巻き上げバスケット取り付け工事
7～10 体育館内外壁・床工事
9～10 消火栓ポンプ取替工事
平3. 3. 1 保健室エアコン設置工事
3. 17 体育館消火栓工事
平4. 8 パソコン設置
8 造形砂場設営工事
平5. 8. 給食調理室改築工事
11. 創立120周年記念式典
平6. 3. 生ごみ分解消滅機設置
10 新館建物内外改装完了
平7. 2 ランチルーム使用始
6 プール循環装置新設
平8. 3 多目的室を普通教室に改修
8 本校舎外壁工事（補習及び塗装）
10 職員室更衣室用プレハブ新設
平10. 3 屋上フェンス塗装
3 学級増に伴う校舎改築（和室→普通教室）
3 ブランコの周囲の棚取り付け

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月
1	浦 上 増太郎	昭30. 3. 29～昭36. 3. 31
2	田 中 善 次	昭36. 4. 1～昭44. 3. 31
3	森 徹	昭44. 4. 1～昭47. 3. 31
4	内 藤 達 夫	昭47. 4. 1～昭52. 3. 31
5	釜 池 博	昭52. 4. 1～昭57. 3. 31
6	竹 永 秀 雄	昭57. 4. 1～昭60. 3. 31
7	田 中 光 穂	昭60. 4. 1～昭63. 3. 31
8	波 多 野 坦	昭63. 4. 1～平3. 3. 31
9	片 岡 千 壽 子	平3. 4. 1～平7. 3. 31
10	小 原 良 雄	平7. 4. 1～現在

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯8地区である。甲州街道から約1km南にへだたった多摩川あたりに位置する。近年、万願荘の集合住宅を始め、万願寺、新井地区の区画整理宅地造成化が進められ、田園地域より住宅化しつつある。また、モノレールの工事も着々と進んでいる。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、生涯にわたる学習の基礎を培い社会の変化に自ら対応できる課題解決への意欲をもち豊かな心と生きる力の育成をめざして、次の目標を定める。

- ◎自分の力で考える子（重点目標） ○みんなと協力する子
- じょうぶな体をつくる子 ○最後までやりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

未来社会をたくましく生き抜く子どもを育成するために「地域に根ざした、開かれた教育」を基盤として、課題解決に意欲的に取り組み、自ら学ぶ力を身に付けた個性豊かな児童の育成をめざす。

- ① 教育目標を学校・学年・学級で具現化し、全教育活動を通して人間尊重の精神を培い、豊かな人間関係を通して人としての在り方や生き方を学ばせる。
- ② 児童の個に応じた授業の工夫・改善をめざし、問題解決や体験を重視した指導を通して、新しい学力観に立った主体的な学習態度の育成を推進すると共に、基礎・基本の学力の定着を図る。
- ③ 「みんな仲よし助け合い学び合う学校」をめざして、教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、道徳性の涵養を図ると共に、人々との触れ合いを通して社会人としての良識ある態度を養い、国際人として素地を培う。
- ④ 健康安全について理解を深め、生命の尊さを自覚し、生涯にわたって体力の維持向上を図る能力や態度の基礎を培う。
- ⑤ 学校週5日制の趣旨を生かし、家庭・地域社会との交流と連携を密にすると共に、地域の自然・文化及び諸施設を活用した教育活動を推進し、開かれた学校をめざす。また、地域の一員としての自覚のもと、逞しく生きる力を持ち、心豊かで思いやりのある児童の育成をめざす。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 児童一人一人の考え方や学び方を大切にし、基礎的・基本的な内容の重視・精選を進め、成就感や満足感を味わう中から、学習意欲を喚起して生きる力を育む。そのために、校内研究の充実に努め授業の公開を通して指導内容の重点化・指導法の改善につとめる。
- 表現力・思考力・創造力の育成を図るために、体験的学習・問題解決学習を重視した指導計画の作成及び教材教具の工夫改善を図り、情報活用能力の育成に努める。
- 配慮を要する児童理解に努め、個に応じた指導・支援の在り方やチームティーチング等の指導体制の工夫・改善を進める。

イ. 道徳

- 全教育活動を通して児童相互の人間関係・児童と社会、自然との関わりや所属感を深める中で児童の内面に根ざした道徳性の育成を図り、人としての在り方・生き方を学ばせる。
- 家庭や地域社会との連携を図る中で、社会の一員であることの自覚を深め、日常生活における基本的な生活習慣や善悪の判断力を養い、望ましい人間関係を築く実践的な態度を培う。

ウ. 特別活動

- 児童会活動・行事においては、話し合い活動を充実させると共に、児童相互の協働の場を設定し、協力してよりよい生活を築こうとする連帯感や所属意識を育てる。
- クラブ活動では、自発的・自治的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主的・実践的な態度の育成を図る。
- 学級活動では一人一人の意見や考えを尊重し、よりよい学級づくりをめざす中から、成就感・達成感により自己実現を図らせる。

(2) 特色ある教育活動

- 異年齢集団活動の場を設定し、児童相互の関わりを広げ、社会性や思いやりの心を育てると共に創造性のある逞しく生きる力を育てる。
- 多摩川の自然を生かした環境教育や堤での体力づくり、近隣の畑における生産的学習、地域の施設や人材を生かした体験的学習及び歴史・文化等の学習を通して、自ら触れて学ぶ基本的姿勢を育てる。
- 外国児童との交流活動を取り入れ、国際社会の一員としての自覚を培う。
- ノーチャイムを一部導入し、自主性・創造性を高める中、ゆとりと充実のある活動を推進する。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 話を聞く態度の育成を中心に、集団生活の中で必要な基本的な生活習慣や情報選択能力を育成し、表現力を高めよりよい人間関係を培う。
- PTAによるアルミ缶回収活動ならびに校内清掃活動等を通して、物を大切にする習慣の形成に配慮し、環境

を維持・改善していく態度の素地を培う。

- 配慮を要する児童はもとより児童一人一人の良さを理解し、指導・援助していくために、家庭・地域との連携を一層深めると共に、教育相談体制の充実を図る。

イ. 進路指導

- 児童の発達段階に即して、主体的な学び方や関わり方を身に付けさせると共に、個性や特性を生かす指導体制の充実を図る。
- 小中との交流会を通し、教職員及び児童生徒間の信頼関係を深める中、進級・進学への適切な指導を行う。

6. 本年度の研究主題

『一人一人が自ら考え、お互いに認めあい高めあう児童の育成』

7. 本校の特色

- ① 創立124年の歴史と伝統をもつ学校である。四小を母校とする父母、新しく住居を構えた父母、集合住宅に住む父母がおり、教育に対する関心や意識が多様である。
- ② 異年齢たてわり集団活動により、児童同士の心のふれあいや協力する場の中で思いやりのある心豊かな児童を育て、人間性豊かでうおいのある学校づくりに努めている。
- ③ ノーチャイムを一部導入し、児童の自主性・創造性を高める中、ゆとりと充実のある教育活動の推進に努めている。
- ④ 多摩川、近隣農家の自然利用、地域性を生かしての体験学習を実施している。
- ⑤ 幼・小・中学との連携、教職員によるP.T.Aや地域団体の活動への積極的参加により本校教育の充実を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	内訳 No.	開 発 委 員
1	小原 良雄（昭62・道徳）	7	丸 カズ子（平4・図工）
2	高橋 茂子（平3・特別活動）	8	田村 直樹（平8・道徳）
3	玉置 順子（昭61・給食）		
4	丸 カズ子（昭52・図工）		
5	川口 雅恵（平5・国語）		
6	土産田千寿子（平5・教育課題）		



学 校 名 日野市立日野第五小学校
所 在 地 日野市多摩平6-21-1
電 話 042-581-0407・0445 FAX 042-581-0445
順 路 豊田駅北口より京王バス日野駅行き五小前にて下車徒歩3分
日野駅より京王バス八王子駅行き日野自動車工場前下車 徒歩5分
児 童 数 男247名 女247名 計499名（うち病弱児5名）

校長氏名 鈴 本 利恵子

教頭氏名 菊 岡 俊 介

1. 沿革の概要

- 昭34. 4. 1 日野町立日野第五小学校開校
4. 6 日野第二小学校、日野第三小学校の校舎を借用し授業開始
6. 8 第1期工事完成 新校舎にて授業開始（現在地）
昭35. 9. 13 第2期工事完成2部授業解消
昭36. 5. 31 第3期工事完成
8. 28 大プール、小プール竣工
昭38. 2. 20 校章制定
昭39. 3. 11 校歌発表会
3. 25 校旗制定（卒業記念寄贈品）
昭40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
昭42. 2. 23 都、市研究協力校発表会
昭43. 5. 20 体育館竣工
昭44. 3. 3 創立10周年記念式典
昭50. 4. 1 訪問学級設置
昭51. 3. 31 校舎全面的改修着手
昭54. 3. 31 校舎5教室改修
昭55. 3. 31 校舎5教室改修
昭56. 3. 31 校舎6教室改修（H校舎）
昭59. 3. 31 理科室改修、玄関ドア取付
昭60. 3. 31 体育館床研磨
昭61. 3. 31 渡り廊下屋根取替
昭62. 9. 校舎新築本決まり
昭63. 4. 18 改築設計予算決定
平元. 3. 29 校舎改築工事予算承認
7. 17 校舎改築工事着工
平2. 3. 26 一年校舎取りこわし工事
4. 5 さやか学級新校舎に引越し
7. 30 新校舎へ引越し
8. 1 旧校舎解体工事
9. 1 新校舎で授業始
11. 30 30周年記念・校舎落成記念式典
12. 5 校庭工事検査完了
平4. 2. 25 「さやか学級」公開研究発表
平5. 1. 7 体育館舞台袖幕取替え
6. 11 体育館舞台吊物昇降機工事完了
平6. 11. 28 さやか学級研究発表（文部省調査研究協力校）
平7. 3. 8 体育館舞台緞帳工事
6. 15 社会教育施設として、一部教室を開放
8. 17 特別室棟非常階段防護柵設置工事
平8. 8. 31 トーテム広場階段のスロープ化
平9. 7. 29 校長室・事務室・主事室エアコン設置

8. 25 校舎・体育館・雨よけ防止ボード設置

11. 24 校庭防塵処理完了

平10. 3. 10 体育館一舞台中幕取り替え

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
増 島 光 一	昭34. 4. 1 ～昭36. 3. 31
浦 上 増 太 郎	昭36. 4. 1 ～昭39. 3. 31
福 寿 文 雄	昭39. 4. 1 ～昭42. 3. 31
星 野 正 男	昭42. 4. 1 ～昭47. 3. 31
荒 井 一 男	昭47. 4. 1 ～昭49. 3. 31
三 井 知 夫	昭49. 4. 1 ～昭52. 3. 31
多 昌 直 之	昭52. 4. 1 ～昭56. 3. 31
田 中 光 一	昭56. 4. 1 ～昭60. 3. 31
上 山 洋 一 郎	昭60. 4. 1 ～平3. 3. 31
野 村 武 郎	平3. 4. 1 ～平5. 5. 7
畑 石 重 輝	平5. 5. 16～平9. 3. 31
鈴 本 利 恵 子	平9. 4. 1 ～現在

3. 地域の環境

昭和33年日本住宅公団により日野台地が開発され、多摩平団地が建設された。この一角に日野第五小学校が設置された。南は中央線、北は国道20号線（甲州街道）にはさまれ、バス網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、付近には日野自動車など4つの大会社がある。また、自然環境に比較的恵まれ、団地内は公園、緑地、広場などが整備され立木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっているが、公団建て替えにより、ここ数年児童数の減少傾向にある。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調に、これからの社会において児童一人一人が心身共に健康で主体的に生き、個性を発揮し、生涯を通して自ら学ぶ意欲と学習の仕方を身に付け、国際社会に貢献できる児童を育成する。

- 児童像として ・健康で たくましい子ども
・心豊かで 明るい子ども
・進んで学び 工夫する子ども
・認め合い 助け合う子ども

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・重点研究「主体的な活動を通して、楽しく学び合う児童の育成」の実現に向け授業改善を図り、主体的に学ぶ力や学び方を育てる。
- ・指導教材を基礎的・基本的な事項に精選し、指導計画のもとに個に応じた指導の工夫を図り、学力の定着に努める。3、4年生は、ティームティーチングを行う。
- ・地域の自然・社会環境の活用や教材・教具の整備活用を図り、体験学習を取り入れるなど積極的にいき、生きる力を育む。

イ. 道徳

- ・自然や人々とのふれあいを深める体験や動植物を育てる体験を通して、豊かな感性を育て児童の内面に根ざした道徳性を育てる。
- ・資料を整備し、全体指導計画のもとに道徳授業の充実を図る。
- ・教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、他への思いやり等の心情を陶冶しその実践力を育てる。

ウ. 特別活動

- ・学級活動、児童会活動、クラブ活動等に異年齢集団の活動や交流教育を取り入れ、楽しい学校生活を展開し、自己存在感を味わわせる。
- ・児童の興味、関心のある多様な集会活動を主体的に実施させ、自主性を育てる。
- ・身近な環境に目を向けさせ、勤労生産・ボランティア活動等を通して、環境をよりよくしていこうとする実践的態度を培う。

(2) 特色ある教育活動

- ・集会活動を企画し、兄弟学級等、異年齢集団の活動を通し、規律ある楽しい学級、学校生活にする。
- ・多目的ホール、多目的教室、視聴覚機器等の施設、設備の活用を通して主体的な活動を促し、学習活動の充実を図る。
- ・地域・保護者への共通理解を求め、「クリーンandオアシス」を合い言葉にし、社会人講師を活用し、総合的学習の視点に立ち、学校生活に変化と活力をもたせる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・年間の重点生活目標及び毎月の指導目標を具体的に設定し、生活朝会・生活指導全体会等で指導内容を明確にし、教職員の共通理解を図り、基本的生活習慣の定着と、「安心して生活ができる安全な学校」を目指す。
- ・児童の心身の安定を図るために、教師と児童とのふれあいを密にし、教育相談の指導体制を強化・充実を図る。
- ・家庭、地域の連携を深め、基本的学習・生活習慣を身に付け、実践できる児童を育てるため、児童一人一人のよさを深く理解するとともに、個々の課題に的確に対応する。

イ. 進路指導

- ・児童一人一人の特性を十分理解し、よさを認め励まし、その個性や能力を伸ばし、将来の希望等について教育活動全体を通して指導する。
- ・全教育活動を通して、一人一人がめあてを持ち、生涯を通して、主体的に学習を推進する意欲と態度を育成する。

6. 本年度の研究主題

「主体的な活動を通して、楽しく学び合う児童の育成」—聞く・話す・書くなどの表現活動を通して—

7. 本校の特色

住宅公団の進出に伴い、昭和34年新しい建築様式により建設された。当時少ない児童数と広く静かな校域の中で理想的教育活動をめざしていた。しかし児童数の急増により、8回に亘る増改築の後、新しい施設・設備の整った現在の校舎が平成2年に完成した。校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。平成7年度より多目的ホール、教室を積極的に地域に開放し、開かれた学校としてその推進役を果たしている。

日々の教育活動では、市の重点・課題のもとに地域・児童の実態に即した創意ある指導の実践に努めるとともに、

多目的ホール・多目的教室を生かした学習活動を取り入れている。

校内研究では主体的に学ぶ力を育成するために、本年度は「主体的な活動を通して楽しく学び合う児童の育成」を研究主題に取り上げ、基礎・基本となる内容を重視し、聞く、話す、書くなどの表現活動を通して、主体的に学ぶ力を育成するとともに、豊かな心情を育てることを目指している。

学校行事や特別活動では、兄弟学級の活用を取り入れながら体力づくり、運動会、音楽会、さらには身近な環境に目を向けさせ勤労生産・ボランティア活動等の教育活動を設定している。

- 各学年では発達段階に応じ、主体的に学ぶ力・表現力を高める指導法の研究に努め、児童の主体性を高める。
- 児童と児童、児童と教師相互の交流を通じ、教育相談・個別指導を重視し創意ある教育活動を実践する。
- 兄弟学級の活動を通じ、児童の創意や発想を大切に、最後までねばり強い活動を推進する。

8. ひのっ子教育21研究員

1	越 村 あや子	教 育 相 談	2	盛 恭 子	学 級 経 営
3	山 木 さゆみ	総 合 的 学 習	4	坂 田 圭	音 楽

9. その他（教職員の研究歴）

内 訳 No.	中 央 研	研 究 員	開 発 委 員	海 外 派 遣	文 部 省・東 京 都	道 徳・助 言 研
1	鈴 本 利 恵 子 (平4)	鈴 本 利 恵 子 (昭59 国語)	志 賀 由 具 (昭60 体育)	菊 岡 俊 介 (平3 ヨーロッパ)	菊 岡 俊 介 (昭53 文部省情報処理研)	室 住 芳 樹 (平10)
2	志 賀 由 具 (平4)	菊 岡 俊 介 (昭63 社会)	風 野 敏 子 (平7 生活)	青 柳 晴 美 (平7 ヨーロッパ)	菊 岡 俊 介 (昭62 上智大カウンセリング研究所)	
3		松 岡 容 子 (昭53 図工)		志 賀 由 具 (平7 長)		
4		志 賀 由 具 (昭59 体育)				
5		青 柳 晴 美 (平6 社会)				



学 校 名 日野市立日野第六小学校
所 在 地 日野市多摩平 3-21
電 話 042-581-4686・0366 FAX 042-581-0366
順 路 中央線豊田駅北口下車 徒歩13分
京王バス コニカ裏門下車 3分
児 童 数 男214名 女201名 計415名

校長氏名 小笠原 久雄

教頭氏名 岡 田 壽美子

1. 沿革の概要

- 昭39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として設置
児童1年～3年
7学級 263名
- 昭40. 4. 1 日野第六小学校として開校
14学級 児童数515名 教職員21名
9. 6 プール完成（6コース25m）
- 昭42. 2. 21 校歌の発表会
- 昭43. 2. 22 児童の体力づくりの研究発表会
6. 17 南校舎（普通教室11、職員室、校長室）
完成
- 昭45. 2. 28 屋内体育館完成
- 昭47. 2. 28 正門前舗装、北西門取付
3. 「児童の社会性育成の実践指導」発表
（市研究協力校）
4. 「考えさせる授業への手だて」発足
- 昭49. 4. 南校舎3階増築（普通教室5、音楽室、
管理室4）
5. 南門完成
- 昭50. 3. 18 49年度都愛鳥モデル校に指定
6. 28 開校10周年を祝う会
- 昭52. 1. 10 体育倉庫完成
4. 1 日野市旭が丘小学校分離
- 昭54. 9. 北校舎非常階段完成
- 昭56. 11. 18 六小こどもまつりの実施
- 昭58. 11. 26～27 展覧会開催（昭和42年以来16年ぶ
り）
3. ～ 体育館屋根等の塗装、大プールビニー
ル張り、南校舎内装改修
- 昭59. 7. 北校舎廊下の張り替え
- 昭60. 6. 29 創立20周年記念、六小子どもまつりを
行う 円形花壇完成
- 昭61. 12. 校庭南側生垣完成
- 昭63. 8. 体育館の床・壁面改修
11. 12 第1回音楽会開く。この年より、学芸
会、展覧会、音楽会を順に行う
- 平1. 8. 北校舎玄関、下駄箱新設
- 平2. 3. 1 ランチルームが新装なる
- 平5. 3. 31 造形砂場完成
4. 人権尊重教育の推進校指定
11. 6～7 展覧会を行う
- 平6. 11. 5～6 第3回音楽会を開く
- 平7. 3. 17 プール薬品庫完成
- . 6. 1～10. 10 南校舎大改修一期工事、体育
館改修、北校舎給水管工事

- 平7. 11. 11 三十周年記念行事子ども祭り
11. 17～18 三十周年記念学芸会を行う
12. 2 三十周年記念式典・祝賀会を行う
- 平8. 7. 3～11. 22 南校舎大改修二期工事
- 平9. 1 プール循環器自動化
- 8 図工室床改修
10. 校庭フェンス改修
11. 14～15 音楽会

2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月 ～ 年 月
加々美 良 英	昭40.4.1～昭43.3.31
峰 岸 敬次郎	昭43.4.1～昭46.3.31
新 海 圭 三	昭46.4.1～昭50.3.31
安 積 利 治	昭50.4.1～昭53.3.31
光 永 久 夫	昭53.4.1～昭57.3.31
石 井 三 士	昭57.4.1～昭62.3.31
清 水 七 郎	昭62.4.1～平4.3.31
小 幡 建	平4.4.1～平8.3.31
小笠原 久 雄	平8.4.1～

3. 地域の環境

日野市開発の先駆けとなった多摩平団地と静かな住
宅地域の中に位置し、近くにコニカ、富士電機、帝人
等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は
比較的よい。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は人間尊重の精神を基調とし、法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、民主的社会人として調和のとれた人間形成の基礎づくりを目指して、次の目標を定める。

- 考えながら学ぶ子
- 思いやりをもつ子
- がんばりぬく子
- 身体をきたえる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 豊かな心を持ち、たくましく生きる児童を目指す。特に「考えながら学ぶ子」「思いやりをもつ子」を重点目標に掲げ、知・情・意・体の調和のとれた児童の育成を基盤にすえ、自己教育力を高める教育活動の充実を図る。
- イ. 児童の自ら学ぶ意欲を育てるために、学習の基礎的基本的な内容を重視し、教師の協業を図りながら、個性と能力を引き出す教育活動の推進を図る。
- ウ. 具体的な学年・学級目標を設定し、その具現化を目指す。学年・学級間の協力体制を強め、効率の高い教育活動の展開と、教師の研修・研究を推進し、学年・学級経営の充実にも努める。
- エ. 生命尊重・人権尊重の意識を自ら高める児童を育てるために、全ての児童の交流を大切にし、相互理解と協力の機会を設定して思いやりの心の育成を図る。
- オ. 完全学校週五日制への移行に伴い、開かれた学校を目指すと共に、学校・家庭・地域の持つ特性を生かし、児童の心身の健全育成を図る。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 研究主題「主体的に表現できる児童の育成」について追究する。特に児童自身の思いや考えをその子なりの表現で伝えることにできる力がつくように学習指導法の改善を図る。
- 研究や日々の授業を通して、体験的活動を重視した学習や問題解決的学習を推進する。
- 児童のつまづきをなくし、基礎基本の学力を充実するため、学年を中心とした研究を推進する。
- 個に応じた指導を重視し、ティームティーチング指導の充実を図る。

イ. 道徳

- 「道徳の時間」の充実を図り、「心の教育」を推進し、互いに助け合い認め合う心豊かな人間関係の育成を目指す。
- 進んで働き、最後までがんばる態度の育成を図る。
- 動植物を愛護することを通して、生命の尊厳についての意識を育てる。
- 資料の整備・活用・指導法の改善を図り、道徳的实践力を高める。

ウ. 特別活動

- 学級活動の充実を図るために、児童の自発的・自治的活動を促し、自発的・実践的な態度を身に付けさせる。
- 児童会活動を、楽しい学校、規律ある生活を目指す児童の自主的な活動の場とし、特に委員会活動・学級活動との関連を強める。
- 楽しいクラブ活動を目指し、児童相互に、協力し助け合う自主的な活動を大切にする。

(2) 特色ある教育活動

- 異学年による活動を計画し、助け合いや遊びの機会を多くすることにより、思いやりや責任感を育てる。
- 児童の創意を大切にし、自主的に参加できる行事を企画・実践する。
- 福祉副読本の活用や、地域の福祉施設との交流を深め福祉教育の充実を図る。
- 環境副読本の活用を通して、環境教育の素地を養う。
- 男女平等教育など、人権尊重教育について研修を深め、これを推進する。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 進んで働く態度とがんばりぬく力を育てるとともに、基本的な生活習慣の定着化を図る。
- 心身に障害のある児童に対し、共通理解を図り、学校全体で見守り、育成にあたる。
- 言語活動の適正化を図り、思いやりをもつ児童の育成にあたる。
- 家庭や地域との連携を深め、協力しあって児童の健全育成にあたる。

イ. 進路指導

- 児童一人一人の個性・特性を理解し、発達段階に応じた指導を図るとともに、自己の良さをより一層伸長させようとする意欲・態度を育てる。

6. 本年度の研究課題

「主体的に表現できる児童の育成」

7. 本校の特色

- (1) 児童、教職員一体となって、花壇、自然林、情操池を整備充実し、学校緑化と情操教育に効果をあげている。
また、野鳥の愛護にも努め直接体験活動の充実の一環としている。
- (2) 子どもが創る学校づくりの一環として、すすんで働く子の育成を目ざしている。
 - ・多摩平団地の造成に伴って新設された団地校である。
 - ・児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
 - ・保護者の教育的関心は高く、保護者会の出席状況はよい。

8. その他（教職員の研究歴）

内 No.	開 発 委 員	研 究 員	中 央 研	道 徳 ・ 助 言 研
1	小笠原 久 雄 (55. 特活)	小笠原 久 雄 (49. 特活)	岡 田 壽美子 (平6)	
2		岡 田 壽美子 (平2 学校保健)		
3		鶴 間 紀 子 (平3 生活)		
4		小 川 浩太郎 (平6 体育)		



学 校 名 日野市立潤徳小学校
所 在 地 日野市高幡402
電 話 042-591-0409・0410
順 路 京王線高幡不動駅下車北へ徒歩 5 分
児 童 数 男189名 女169名 計358名

校長氏名 信 夫 清 彦

教頭氏名 逸 見 明 男

1. 沿革の概要

- 明6. 5. 三沢医王本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す
- 明11. 11. 三沢701番地に移転し、潤徳小学校と称し校舎を新築する
- 明20. 4. 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明26. 4. 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明34. 4. 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明42. 5. 分学校昭景尋常小学校を廃止し、落川分校とする
- 昭16. 4. 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭22. 4. 校名を七生村立潤徳小学校と変更
- 昭27. 5. 創立80周年記念として、白鳥省吾作詞、信時潔作曲の校歌を作成する
- 昭33. 2. 校名を日野町立潤徳小学校と変更
- 昭34. 4. 給食調理室完成
- 昭37. 10. 大・小プールならびに更衣室完成
- 昭38. 11. 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）
- 昭40. 12. 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰される。
- 昭41. 3. 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校廃止
- 昭44. 2. 屋内体育館落成
9. 日野市立日野第八小学校分離開校
- 昭45. 4. 日野市立百草台小学校分離開校
- 昭46. 2. 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催
4. 普通教室9教室、学校図書館増築
- 昭48. 5. 開校百年記念式典挙行
- 昭49. 4. 日野市立南平小学校分離開校
- 昭52. 4. 日野市立程久保小学校分離開校
- 昭55. 9. 校庭整備完了
- 昭58. 2. 研究発表会（国語）
5. 開校110周年記念式典挙行
- 昭60. 2. 研究発表会（全学級公開、国語）
- 平5. 4. 湾処内トンボ池完成
- 平5. 9. 体育館の緞長・中幕・バック幕 暗幕新調
- 平5. 11. 開校120周年記念式典挙行
- 平6. 8. 家庭科室壁面塗装
- 平7. 8. 砂場・ジャングルジム改修
- 平9. 2. フィールドアスレックス改修

- 平10. 3. プール濾過機改修
プールサイド改修

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
初	大塚四郎右衛門	創 立
2	覚 井 諒 暁	明9. 12～明11. 11
3	和 山 作太郎	明11. 11～明15. 11
4	土方 喜久太郎	明15. 11～明17. 2
5	宮 倉 保五郎	明17. 2～明19. 10
6	小 宮 太之助	明19. 10～明20. 10
7	須 崎 和 蔵	明20. 10～明31. 3
8	小 宮 彌一郎	明31. 2～明34. 4
9	加 藤 菊次郎	明34. 4～明36. 1
10	佐 藤 良 輔	明36. 1～明42. 4
11	沖 倉 与 一	明42. 4～明43. 4
12	荒木田 大 夫	明43. 5～明45. 3
13	小 宮 彌一郎	明45. 4～大12. 3
14	平 杉 蔵	大12. 4～大13. 3
15	矢 沢 久 司	大13. 3～大14. 9
16	小 泉 栄 一	大14. 10～昭3. 3
17	広 井 博 昭	昭3. 4～昭7. 9
18	重 松 正 顕	昭7. 9～昭14. 7
19	鈴 木 慶 蔵	昭14. 7～昭22. 2
20	赤 坂 元 春	昭22. 2～昭27. 9
21	塚 本 正	昭27. 9～昭37. 3
22	尾 崎 半次郎	昭37. 4～昭41. 3
23	塚 本 正	昭41. 4～昭43. 3
24	溝 呂 木 桂 次	昭43. 4～昭47. 3
25	星 野 正 男	昭47. 4～昭51. 3
26	村 田 守 正	昭51. 4～昭55. 3
27	黒 沢 保 雄	昭55. 4～昭61. 3
28	篠 宮 忠 男	昭61. 4～昭63. 3
29	石 黒 健	昭63. 4～平4. 3
30	香 川 善 平	平4. 4～平9. 3
31	信 夫 清 彦	平9. 4～現在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北は浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に団地や住宅がふえ、ベッドタウンとしての様相を呈するに至った。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故の心配も多くなっている。また、平日は日野高校、実践女子大学、明星大学、中央大学生の通学に、休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等の行楽に高幡不動駅を中心にその乗降客でにぎわっている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、生涯を通して主体的に学ぶ意欲を持った心身共に健康で心豊かな児童の育成を目指して、次の教育目標を定める。

- | | | |
|---|---|---------|
| 敬 | 愛 | ・考える子 |
| 自 | 由 | ・はたらく子 |
| 勤 | 労 | ・心ゆたかな子 |
| | | ・健康な子 |

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

「主体的に課題に取り組みやりぬくたくましさ、豊かな心を持った子どもの育成」を指導の重点として、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。

- ① 児童の主体性を育てる教育活動を通して、一人一人の個性や能力を伸ばし、互いに認め合い、励まし合い、支え合う人権尊重の態度を育てる。
- ② 研究・研修を通して、指導内容・方法及び評価の改善・充実に努め、各教科等の基礎的・基本的内容の定着を図ると共に、主体的に学習する意欲や態度を育てる。
- ③ 全教科・領域にわたって、体験的な活動を重視し、豊かな感性や徳性を育てる。
- ④ 開かれた学校をめざし、地域の自然や文化を取り入れた教育活動の充実を図ることにより、国際理解の基礎を培うと共に、社会性を育てる。
- ⑤ 年間を見通した指導計画の作成と指導内容・方法の創意工夫により、教育水準の維持・向上を図る。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- ① 主体的、意欲的な学習態度を育て、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。
- ② 児童一人一人の個性、能力を生かす学習指導法を工夫し、基礎的、基本的な内容の徹底を図る。
- ③ 地域の自然や文化を生かした体験的学習や問題解決的な学習を取り入れ、思考力・表現力・情報活用能力等を育てる。

イ 道徳

- ① 教育活動全体を通じて、生命尊重の思いやりの心を育てる。
- ② 児童の体験を生かすなど、道徳の授業の充実を図り、道徳的实践力を育てる。
- ③ 児童相互、児童と教職員との信頼関係を深め、望ましい人間関係を育てる。

ウ 特別活動

- ① 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達を図り、個性を伸長する。
- ② 主体的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してより良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ① 水曜日の朝の学級活動や学年をこえた縦割り班集会などでの交流により、社会性や連帯感を育てる。
- ② 野菜や米作り、学校周辺の清掃活動などの場を通して、すすんで働き、物事を意欲的にやりぬく態度を培う。
- ③ 「読み聞かせ」や「一斉読書」の時間を設け、豊かな情操を高める。
- ④ 浅川や向島用水親水路、高幡山、不動尊など、地域の豊かな自然や文化にふれる体験活動を通して、自然や文化を大切にする態度を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 正しい児童理解につとめ、一人一人を生かす指導の徹底を図る。
- ② 教師と児童、および児童相互の心のふれあいを大切にし、好ましい人間関係をつくる。
- ③ 全教職員の共通理解のもとに、節度ある生活習慣の育成に努める。
- ④ 児童の健康と安全を確保し、事故防止に努める。
- ⑤ 家庭および地域との連携を深め、協力して児童の健全育成に努める。

イ 進路指導

- ① 児童一人一人が自分のよさを見つめ、生かし、自分の将来に夢や希望を持つことができるようにする。
- ② 全教育活動を通して、児童一人一人がめあてを持ち、主体的に学習を継続する意欲や態度を育成する。

6. 本年度の研究課題

認め合い、学び合う力を育てる指導法の研究

7. 本校の特色

創立124年の歴史と伝統をもつ学校である。潤徳小を母校とする保護者、新しく住居を構えた保護者、集団住宅に住む保護者等があり、教育に対する関心や意識が多様である。この中で「敬愛、自由、勤労」の伝統を大切にしながら、保護者・地域との連携を深め児童の健全育成に努めている。

○地域の自然や文化を生かした学習活動や地域の田畑を借りた生産体験学習を実施し、「生きる力」の基礎を育てている。

○異年齢集団（たてわり班、兄弟学級）活動を実施することにより、児童相互の交流を深め、社会性や思いやりの心を育てている。

○教職員が交替で読み聞かせをしたり、本の紹介をしたりして、心豊かな児童の育成に努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

教 育 研 究 員	研 究 生	そ の 他
信 夫 清 彦（54 体育）	信 夫 清 彦（57 体育）	逸 見 明 男（2 道徳助言研）
逸 見 明 男（3 道徳）		林 亀 三（63. 開発委・体育）
林 亀 三（57 体育）		
永 田 弘 美（6 生活）		
小 野 勝 政（8 算数）		
渡 邊 桂 子（9 理科）		



学 校 名 日野市立平山小学校
所 在 地 日野市平山4-8-6
電 話 042-591-4123・0512 FAX 042-591-0512
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩7分
児 童 数 男179名 女183名 計362名

校長氏名 畑 野 元 一

教頭氏名 難 波 和 子

1. 沿革の概要

- 明6. 5. 宗印寺を仮校舎として開校（真心学舎
といい修業年限は8ヵ年）
明17. 平山598番地に新築移転し、校名を平
山尋常小学校と改める。
明35. 5 校名を平山尋常高等小学校と改める。
明41. 尋常科を6ヵ年、高等科を2ヵ年とす
る。
昭16. 4. 国民学校令の施行により七生村立平山
国民学校と改める。
昭22. 4. 新学校教育制度の実施により七生村立
平山小学校と改める。
昭32. 2. 日野町、七生村合併により日野町立平
山小学校と改める。
昭38. 11. 市制施行により日野市立平山小学校と
改める。
昭42. 5. 平山4-8-6に移転する。
昭46. 3. 滝合小の新設に伴う学区変更
昭53. 4. 平山台小の新設に伴う学区変更
昭57. 8. 校舎窓、屋上、体育館内部補修
昭58. 5. 開校110周年祝賀式典挙行
8. 本館南側残部、特別教室北側窓取替
昭59. 1. 本館北非常用階段設置
11. 体育館外壁改修
昭60. 3. 第二幼稚園移転校庭拡張
8. 教室廊下側窓改修
昭61. 7. 正門改修
昭62. 1. 校庭整地、本館北側アルミサッシに改
修工事、本館防火シャッター及び扉改
修工事、本館外壁全面塗装工事
昭63. 体育館屋根塗装工事、保健室校庭出入
口増設工事
平元. 西門改修、フェンスの生垣化
平3. 西側トイレ改修、生活科室改修
平4. 東側トイレ改修
平5. 開校120周年祝賀式典挙行
新館トイレ外装工事
家庭科室、多目的室改修工事
平6. 新館非常階段、体育館屋根塗装
消防設備、受水槽、音楽室改修工事
平7. 音楽室フロア改修工事
本館北側壁面、昇降口の廂、新館南側
壁面塗装工事
ランチルーム全面改修工事
正門の花壇増設

- 平8. 新館一階蛍光灯増灯工事
本館、体育館雨漏り箇所修理
用務主事室ガス湯沸器及び排気筒取付
工事
本館トイレ転落防止柵設置工事
平9. プール市水引き込み工事、フェンス取
り替え工事
電気関係絶縁監視装置設置工事
保健室改修工事（正面黒板取り外し等）

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
初	梁 義 伯	明6. 5～明12. 1
2	大 沢 教之助	明12. 1～明20. 3
3	石 井 芳 丸	明20. 4～明30. 5
4	吉 永 信 丸	明30. 6～明35. 5
5	小 宮 彌一郎	明35. 6～明45. 3
6	古 屋 障 司	明45. 4～大2. 5
7	勝 又 房太郎	大2. 5～大4. 5
8	平 杉 蔵	大4. 6～大9. 3
9	上 田 富 弥	大9. 4～大15. 3
10	杉山 喜知太郎	大15. 4～昭6. 3
11	石 川 雄 丸	昭6. 4～昭11. 2
12	鳥 羽 照 司	昭11. 2～昭13. 3
13	石 谷 倉太郎	昭13. 4～昭21. 3
14	飯 塚 節 三	昭21. 3～昭22. 3
15	田宮五郎右衛門	昭22. 4～昭28. 3
16	森久保 惣 治	昭28. 4～昭34. 3
17	高 橋 本 義	昭34. 4～昭37. 3
18	加々美 良 英	昭37. 4～昭40. 3
19	後 藤 正 太	昭40. 4～昭42. 3
20	安 積 利 治	昭42. 4～昭47. 3
21	小 野 晃	昭47. 4～昭51. 3
22	深 沢 真 人	昭51. 4～昭55. 3
23	林 元 美	昭55. 4～昭58. 3
24	伊 藤 智 章	昭58. 4～昭61. 3
25	蓮 池 守 一	昭61. 4～平2. 3
26	内 藤 康	平2. 4～平7. 3
27	畑 野 元 一	平7. 4～

3. 地域の環境

浅川と多摩丘陵に挟まれ、西は八王子に接し、平地、田んぼ・畑等の農地もいくらか残り、自然に恵まれた環境である。近年は、団地・都営住宅・造成地住宅が建造され、学校周辺は農地の区画整理も進み、道路や橋も拡張され市街化されつつある。他地域からの転住者も増加している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法・学校教育法に基づき（特に人間尊重の精神を基調に）知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざして、次の教育目標を設定する。

○すすんで学び やりぬく子

- ・自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応できる力を育てる。
- ・自己の目標をもち、失敗や障害を乗り越えて最後までがんばりぬく力を育てる。

◎思いやりをもち 助け合う子（重点）

- ・自他のよさを見つける目を育て、支え合い励まし合う気持ちを育む。
- ・相手を尊重する態度（あいさつ・言動など）が実践できる力を育てる。

○からだをきたえ 元気な子

- ・すすんでからだを鍛え、たくましく生きる力を育てる。
- ・自他の健康・安全に気づかせ、心身ともに健全な児童を育てる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- ① 発達段階に応じた指導計画に基づき、児童一人一人の個性を重視した授業を推進し、基礎・基本の徹底を図る。
- ② 指導内容の精選、及び系統化と組織化を図り、児童が自ら課題を見つけ追求する喜びを味わえる学習活動を工夫し、楽しく豊かな授業の創造に努める。
- ③ 地域の人材や施設、浅川や平山城址公園などの自然環境等、地域の学習環境を効果的に活用し、体験的活動の充実を図る。

イ 道徳

- ① 全教育活動を通して、生命と人権を尊重するとともに、主体的によりよく生きようとする精神を養う。
- ② 豊かな体験を通して、児童の内面に根ざした道徳性の育成を図る。
- ③ 日常生活において、基本的生活習慣や望ましい人間関係を培うとともに、道徳的实践力の育成を図る。

ウ 特別活動

- ① 児童の実態、学年の発達に応じた指導を適切に行い、楽しい学校・学級づくりをめざす。
- ② 子どもまつり、お正月あそび、ユニセフ募金活動など、児童の主体性・創造性を生かした活動を通して、自主的・実践的態度を育てる。
- ③ 兄弟学級を中心としたお楽しみ交流会、なかよし遊び等の異年齢集団の活動を生かし、相互の触れ合いを広げ、豊かな人間関係を深める。

(2) 特色ある教育活動

- ① 児童が主体的、創造的に取り組む集会活動の活性化を図り、学校生活に変化と潤いをもたせる。
- ② 充実した学級活動を基盤として、教師と児童、児童と児童の相互の触れ合いを深め、よりよい人間関係を築く。
- ③ 外国籍児童の受入れ等を通して、互いに相手を理解し、尊重し合う心を育み、国際社会の一員としての資質を培う。
- ④ 展覧会、運動会などの学校行事を通して、表現力を高めるとともに、目的に向かってやりぬくことや協力することの大切さなどに気づく児童の育成を図る
- ⑤ 校地内の水田を活用した稲作り、野菜づくり、花づくりなどの栽培活動、小動物の飼育活動を通して、自然に親しみ生命を大切に作る心豊かな児童の育成を図る。
- ⑥ 「いよりの部屋」や「平山節」を積極的に活用し、先人の努力に気づかせ、文化の継承や創造への意識の高揚を図る。
- ⑦ 読書週間や、児童主体の「お話会」等を通して、読書生活を豊かにさせるとともに、「調べ学習」等に図書室の積極的活用を図る。
- ⑧ 協力的である地域の特性を生かし、PTAや育成会など、保護者や地域との連携を図り、空き缶回収などの奉仕活動を推進し、環境教育の充実を図る。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 自己を確立し、社会集団の一員として、希望をもって明るく強く生きる力を身につけさせる。
- ② 「平山小のきまり」を児童の生活の基本に据え、児童が、地域や学校で生活のあり方を自ら考え、基本的行動様式と社会規範を守った言動ができるようにする。
- ③ 保健・給食指導を充実させ、自己の健康・安全に気づかせ、体力の向上を図る。
- ④ 資料や情報を整備・活用するとともに、生活朝会や全体会を一層充実させ、全体計画や年間計画の具現化を図る。
- ⑤ 効果的な学習活動と健康で安全な生活をめざし、遊具・施設・設備の点検、修理等に努める。

イ 進路指導

- ① よさを励まし、一人一人の児童の個性や能力・適性を見極め、伸長を図る。
- ② 全教育活動を通して、一人一人が目当てをもち、生涯を通じて主体的に学習を継続する意欲と態度を育成する。

6. 本年度の研究主題

「生き生きと学習に取り組む児童をめざして」～本の楽しさに出会える子～〈図書指導をととして〉

7. 本校の特色

- (1) 本校は、開校125年の歴史と伝統を持つ学校である。児童の中には、曾祖父母・祖父母・父母と五世代にわたって在校した家庭もあり、学校に対する地域の愛着が強い。一方、学校周辺の開発が進み、新しく居住する者も増加している。従って、地域からは多様な要望があり、期待も大きい。このような状況の中で、伝統として残されて来た古き良きものを大切にし、新しいものを採り入れながらより良い校風をつくることに励んでいる。
- (2) 児童は素直であるが、やや自己中心的傾向がある。そこで、今年度も昨年度に引き続き、「思いやりをもち 助け合う子」を教育目標の重点に定め教育をすすめている。
- (3) 校内には、130㎡余りの花壇、100㎡余りの田んぼ及び同程度の飼育小屋・広場がある。花や稲の栽培、がちょうの飼育を初め、学校周辺の自然を活用した体験的活動を通して、児童の心と身体の育成に努めている。更に、地域の旧家を移築した「いろりの部屋（和室）」では、そこに展示してある昔の農機等を積極的に活用し、体験的に学習をすすめている。この部屋は、P・T・Aや育成会の会合にも開放し、地域に開かれた学校づくりを目指している。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内 訳		
	研 究 員	ひのっ子教育21研究員	開 発 委 員 会 委 員
1	佐 藤 ヒサ子（60. 保健）		難 波 和 子（63. 家庭）
2	佐藤 典子（61. 栄養職員）		
3	大 野 香（7. 音楽）		
4	品 田 真（7. 算数）		
5		大 野 香（10. 音楽）	



学 校 名 日野市立日野第八小学校
所 在 地 日野市三沢200
電 話 042-591-2411・2412 FAX 042-591-2412
順 路 京王線高幡不動駅より東へ徒歩15分
児 童 数 男355名 女324名 計679名

校長氏名 圓 谷 雅之助

教頭氏名 光 地 幸 子

1. 沿革の概要

- 昭44. 1. 2 開設が決定 工事に着手
4. 1 八小関係の教員並びに児童を分離し、授業を開始
8. 16 日野第八小学校開校
9. 1 415名の児童に転入学通知が出されたが、校舎未完成のためそのまま潤徳小で授業を行う
11. 1 開校式を挙行 開校記念日と決定
11. 25 校舎落成祝賀式挙行
昭45. 1. 15 公募により校章決定
4. 1 14学級となり、プレハブ2教室増築
7. 15 校旗ができる
7. 16 25m 6コースのプールが完成し、プール開きを行う
9. 7 校歌完成 作詞 米津千之、作曲 渡辺浦人
昭46. 4. 1 15学級 プレハブ教室増築
6. 4 社会教育のための校庭開放を実施する
9. 15 体育館工事着工
昭47. 2. 15 体育館落成式を挙行する
4. 1 プレハブ2教室増築
プレハブ5教室使用
6. 20 西武百草団地入居のため250名の児童転入
昭48. 3. 本校舎8教室の増築完了
5. 校地前程久保川の工事完了
昭49. 3. 1 校門が完成
4. 1 学級増のため、プレハブ5教室を使用
8. 15 プレハブ2教室が増設され、図書室、教材室として使用
9. 10 都水道に切替え
昭50. 1. 20 校地拡張 西側整備完了
2. 20 第3期増築完了 普通教室6、教材室2、非常階段、更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板
7. 15 プール市水切替工事完了
10. 25 体育館床塗替
12. 20 砂防(10×8m)完成
昭52. 4. 16 プレハブ教室、調理室改修工事完了
昭53. 4. 15 プレハブ2階建工事完了 教室8、図書室、音楽室として使用
昭54. 3. 31 プレハブ2階建 2教室増築工事完了
11. 17 開校十周年記念式典
昭55. 3. 31 三沢台小学校を分離

プレハブ全教室を撤去

- 昭57. 9. 10 運動場全面改修完了
昭59. 8. 31 防球フェンス(5×90m)完成
図書室(2教室打抜き)完成
昭60. 9. 26 花壇防球フェンス(5×35m)完成
花壇増設(5×1.5m, 3ヶ所)
プール更衣室通路舗装
昭61. 3. 24 体育館屋根塗装・雨どい工事完了
8. 27 体育館照明設備新設
昭62. 1. 31 プール機械室改装
平元. 8. 31 西校舎屋上改修
11. 25 創立20周年記念式典
平3. 10. 7 ランチルーム完成 使用開始
平4. 10. 12 体育館改修工事完了使用開始
平6. 3. 7 生活科ゾーン整備工事完了
(砂場、屋外テーブル、ベンチ)
平7. 8. 24 北門擁壁工事完了
平8. 12. 16 耐震補強大規模改造工事第1期完了
平9. 3. 18 プール給水管工事完了
8. 31 学級園(ひょうたん池)改修工事完了
12. 耐震補強大規模改造工事第2期完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
金 子 武 夫	昭44. 8～昭48. 3
岡 本 省 吾	昭48. 4～昭53. 3
古 谷 洋 太	昭53. 4～昭58. 3
澁 谷 義 一	昭58. 4～昭63. 3
草 薊 和 志	昭63. 4～平3. 3
石 川 耀 子	平3. 4～平6. 3
鈴 本 利 恵 子	平6. 4～平9. 3
圓 谷 雅 之 助	平9. 4～現在

3. 地域の環境

学校は、京王線高幡不動駅と百草園駅の間に位置している。学区は東西に細長く、学校まで徒歩40分位要する児童もいる。周辺は、開発途上にあり、田をつぶして住宅・商店が建設され、都市化が著しい。通学路の殆んどは、旧農道のため細長く曲りくねっていて危険な所もある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法・学校教育法に基づき、人間尊重の精神を基調として、本校の教育を行う。社会の変化に対応して、主体的に判断や行動ができ、個性豊かで、生涯を通して自ら学び続けることのできる国際社会に生きる、人間の育成をめざし、次の教育目標を定める。

ア. 健康でたくましい子ども（重点）

イ. 美しくゆたかな心の子ども

ウ. 深く考えやりぬく子ども

エ. 力を合わせてはげみあう子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア. 「健康でたくましい子ども」を重点目標として、生涯を通じて学び続ける心身共にたくましい児童の育成を図る。

イ. 自他の生命を尊び、互いに認め合い、支え合い、励まし合う好ましい人間関係を育み、人間尊重の精神を培う。

ウ. 校内研究・研修を通して、指導内容・方法・評価の改善、充実に努め、発達段階に即し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。また、一人一人の個性、能力を伸長し、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を育む。

エ. 開かれた学校を目指し、地域の自然や文化を積極的に取り入れた教育活動や体験的な学習活動を工夫する。

オ. 自然を慈しむ心や環境を大切にする態度を身につけ、環境の改善に主体的に働きかける実践的態度や技能を育成する。

カ. 自国の文化や伝統について理解を深め、郷土を愛する心を培い、進んで国際社会に参加・協力できる能力や態度を育成する。

キ. 心身に障害のある児童の理解を深め、指導を充実する。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

○個々の児童に即し、基礎的・基本的内容の指導を徹底する。

○多様な指導方法や形態を取り入れ、主体的・創造的な学習活動を創意工夫し、思考力・判断力・表現力を育成する。3年算数科は、ティームティーチングを行う。

○地域の特色を生かした教育の在り方を追及するとともに、体験的な学習を重視し、生きる力を育てる。

イ. 道徳

○全教育活動を通して、豊かな感性や徳性を涵養し、人間としての生き方や在り方の自覚を一層高める。

○道徳教育全体計画及び年間計画の改善を図り、時間を充実させ、道徳の実践力を高める。

○家庭や地域との協力・連携を深め、体験を通して内面に根ざした道徳性を育成する。

ウ. 特別活動

○児童の主体性、創造性を伸ばす活動（八小祭、全校遠足）を通して、一層自主的、実践的な態度を高める。

○児童の協力協働活動（勤労生産的活動・奉仕活動）を通して、助け合い、学び合う心と態度を育み、望ましい人間関係を培う。

(2) 特色ある教育活動

○異年齢集団活動で、豊かな心、生きる力としての知恵、健やかな心と体を育む。

○地域・家庭・関係諸機関との連携を深め、環境の改善、老人福祉などにも主体的に働きかける態度や技能を培う。

○心身に障害のある児童の能力・適性に応じ、関係諸機関との連携を密にしたり、共通理解を図る。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

○全教職員共通理解のもと、児童理解を通して基本的生活習慣の定着を図る。

○「八小の約束」をよりどころに、集団の規範を守る態度や互いに認め合い支え合う態度を育む。

○家庭・地域・関係諸機関と緊密な連携を図り、児童一人一人のよさを深く理解するとともに、個々の課題に的確に対応する。

イ. 進路指導

○よさを認め励まし、一人一人の児童の個性や能力・適性を開発、伸長する。

○全教育活動を通して、一人一人がめあてを持ち、生涯を通じて主体的に学習する態度を育む。

6. 本年度の研究主題

「自分の生命や他人の生命を大切にする子どもの育成」 ―生命を尊重する心を育てる―

7. 本校の特色

- ① 「きれいな学校」「明るいまいさつ」「正しいことば」が、本校の努力目標である。全教育活動を通して、学習・生活・言語環境の整備に努めると共に、一人一人の子どもをたいせつにする教育を推進する。
- ② 恵まれた地域の自然環境や文化財を活用し、フィールドワーク等の体験学習を日常の教育活動に取り入れ、学習に対する興味・関心を高め、郷土を愛する心を育てている。
- ③ 地域と連携のもと、2～6年児童のサッカークラブ員が、放課後、練習に励んでいる。サッカー技術の向上、体力づくり、チームづくりを通して、健全育成の面で大きな成果をあげている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	中 央 研	研 究 員	開 発 委 員	道徳助言研・その他
1		清水絢子（平7．国語）	海老原眞知子（平5．家庭）	光地幸子（平5．海外派遣）
2		海老原眞知子（平8．道徳）		



学 校 名 日野市立百草台小学校
所 在 地 日野市百草999
電 話 042-591-0997・0998 F A X 042-591-0997
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
百草センター下車 徒歩5分
児 童 数 男114名 女122名 計236名

校長氏名 木 内 秀 雄

教頭氏名 西 森 恵 子

1. 沿革の概要

- 昭44. 8. 2 校舎新築起工
12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校として
潤徳小学校内で授業開始
昭45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新校舎に
移転開校する 学級数8、児童数118
名、教職員16名、市職員3名
6. 1 開校式挙行、6月1日を開校記念日と
する
昭46. 3. 8 校旗、校歌発表会を開き、3月8日を
制定記念日とする
4. 30 校舎北側の埋立工事完了
7. 31 プール工事完了、大プール、小プール、
シャワー、更衣室、機械室竣工
昭47. 2. 12 調理室火入れ式、調理開始
6. 17 体育館完成
昭48. 9. 26 校舎新築工事開始
昭49. 3. 31 増築7教室竣工
昭51. 3. 20 増築校舎完成、普通教室9、図工室1
昭54. 5. 31 開校10周年記念式挙行 記念誌、タイ
ムカプセル作成
10. 31 校庭南側の階段上に正門落成
昭55. 4. 1 学区域変更により、梅が丘団地が本校
学区に編入される
昭58. 8. 6 屋上フェンス取替完了
9. 7 校庭改修工事完了
昭61. 4. 3 小プール底改修工事完了
昭62. 3. 19 校庭西門改修工事完了
昭63. 2. 8 本校舎南側外壁修理及び塗装
6. 25 A V卓設置工事完了
9. 10 外壁塗装工事完了（本校舎北側）
平1. 2. 21 プール管理棟外壁修理塗装完了
10. 3 体育館、補修、改修工事完了
（床面、外壁塗装含）
平2. 3. 10 新校舎漏水配管修理完了
7. 21 電動バスケットボール設置
8. 3 給食室シャッター取り付け
10. 26 プール、足洗い場設置、とびこみ台撤
去
11. 16 開校20周年記念式挙行 記念誌発行
平3. 3. 29 クーラー設置（保健室）
8. 30 給水管改修工事完了
平4. 3. 31 飼育舎新設
平5. 1. 21 和室新設
4. 1 つくし学級（情緒・通級）開設

平6. 8. 各教室採光ブロックフィルム貼布 図
工室流し改修工事

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
岡 本 省 吾	昭45.4.1～昭48.3.31
村 田 安 正	昭48.4.1～昭51.3.31
田 中 春 男	昭51.4.1～昭55.3.31
竹 内 音 治	昭55.4.1～昭58.3.31
志 賀 頼 治	昭58.4.1～昭59.9.8
村 松 徹 二	昭59.10.1～昭63.3.31
草 刈 喜 一	昭63.4.1～平3.3.31
小笠原 久 雄	平3.4.1～平8.3.31
木 内 秀 雄	平8.4.1～現在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された、
百草団地と梅が丘団地とが主な学区域である。

団地の内外ともに起伏が多く、まわりには緑豊かな、
静かで変化に富んだ高台がある。

眼下には、浅川がゆっくりと流れ、その向うには日
野市外に続いて立川まで一望することができる。近く
には多摩動物公園や百草園等があり、日曜日には都座
をさけたリ克雷シヨンの人々でにぎわう。

自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法の精神に基づき、人間尊重の精神を基調とし、児童・地域の実態をふまえ、健康な体と、思いやりとたくましさのある心を持ち、自ら判断し主体的に行動する児童の育成を目指し、次のように学校教育目標を設定する。

- | | |
|---------|---------------|
| ○元気な子ども | ○考える子ども（重点目標） |
| ○働く子ども | ○助け合う子ども |

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

進んでよく考え、主体的に行動できる児童の育成を指導の重点とする。

「よく考え行動する」児童の育成と「心の教育」を強く進めることを常に教師が意識し、児童の発達段階に則して、目標を具体化する。指導の場面では、児童が他者との関わりの中で、互いに考え、認め合い、思いやりを持ち、主体的に行動できるよう創意を生かした教育活動をすすめる。

そのために、

- ・全教職員の共通理解のもとに、一層組織的計画的に全教育活動を進める。
- ・教職員が更に、研修・研究を深め、児童が基礎的・基本的学力を身につけ、自ら学ぶ力を培うことができるように、体験的学習を多く取り入れる等指導の工夫をし、授業の創造に努める。
- ・体育・道徳・特別活動の指導の充実を図り、児童が進んで心と体の健康づくりに取り組み、思いやりとたくましさを育むことができるように努める。
- ・児童理解を深め、児童の個性・特性を引き出し、児童が互いに認め合い、更によりよい伸長ができるよう励まし、協力し合えるように指導を強める。
- ・児童の安全で楽しい学びの場として、美化・整備等の環境づくりに努めると共に、児童が地域や学校の自然を大切にし、いつくしむ心を育て、命の尊さを認識し主体的にその保全・改善のために行動できる実践的な意欲・態度を育む。
- ・「開かれた学校」「交流する学校」をめざし、家庭・地域・近隣校との連携と交流を密にすると共に、相互の役割を明確にし、理解しあい協力して教育活動を進める。
- ・学校五日制の趣旨を生かし、児童が主体的・計画的に休日を家庭・地域で過ごすことを尊重し、児童一人一人の体験を通した学びを大切にする。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

児童自ら進んでよく考え、主体的、意欲的に取り組む学習をめざす。

- ・授業時数を確保し、指導法の改善に努める。教材、教具の開発、視聴覚機器の活用等を基に、基礎的・基本的事項を児童一人一人に身に付けさせると共に、児童の興味、関心、意欲や学習過程を大切にした授業の展開に努める。
- ・地域の教材を積極的に活用し、体験的学習を多く取り入れ、生きて働く学力の育成をめざす。

イ 道徳

豊かな体験を通し、善悪の判断、自他の生命の尊さや思いやりの心を大切にする実践的態度や行動を、道徳の時間の指導の他、全教育活動を通して育み、いかなる偏見や差別もなくし、人権を尊重し平和を希求することの大切さを自覚させる。

ウ 特別活動

児童の個性・特性、体験、創意が生かされ、児童が喜びをもって主体的に参加する望ましい集団生活を目指す。そして、児童の活動が生かされ、認め合えるように支援していく。多様な活動を通して、心身の健康や安全に留意し、豊かな情操を育て、望ましい人間関係を持てる等、人として調和のとれた発達を図る。

(2) 特色ある教育活動

- ・読書指導を更に充実させ、児童に豊かな情操や思考力を育む。
- ・草花の栽培、ミニ動物園の飼育活動を通し、自然をいつくしみ、愛する心を育て環境の改善に主体的に働きかける行動力や実践的な意欲、能力、態度を育む。
- ・本校通級学級や都立七生養護学校との交流教育の発展、充実をはかり、互いに認め合い、支え合い、励まし合う、豊かな人間性を培う。
- ・3年生以上の児童が学校の仕事を分担し、発達段階に応じた活動を通して主体的な実践力を培う。また、児童活動「百草タイム」では、学年を越えた遊びを通して、他学年児童との交流を図る。

- ・1学期〔水泳〕、2学期〔鉄棒〕、3学期〔縄跳び〕と学期毎の体育の重点を設定し、児童に発達段階に応じた到達度カードを持たせ、意欲的に技術習得に取り組ませる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・「よく考えて行動できる子」を重点目標とし、主体的に生活していく力を培う。児童が親しみ、日常的に意識できるように「まず考えよう。そしてやってみよう！」を、具体目標として、児童の意識化を図る。児童一人一人の成就感、達成感を大切にすると共に、更に、集団としての高まりを目指した指導を基に、基本的生活習慣や集団生活におけるきまりの遵守、安全な行動等を児童が主体的に身につけるよう努める。

イ 進路指導

- ・生活全般の体験を通して、児童自らが自分の長所を発見し、その長所を伸張り、自己を向上発展させる意欲や態度を育てる。

6. 本年度の研究課題

「考える力を育てる指導法の工夫」

7. 本校の特色

在学児童のおよそ85パーセントが、住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専門の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高いが、学区域は狭い。多摩丘陵の一画にあり、自然には恵まれている。

特色ある行事

- 毎週木曜日を児童集会とし、勤労体験的内容（草とり集会、石ひろい集会他）も加味した児童主体の活動をする。
- 心身障害理解教育推進協力校として、近隣の養護学校との交流に力を入れている。

8. その他（教職員研究歴）

内 No.	研 究 員	開 発 委 員	道 徳 ・ 助 言 研
1	木 内 秀 雄（S54. 社会）	北 野 義 昭（S60. 図工）	西 森 恵 子（H5）
2	西 森 恵 子（H4. 家庭）		
3	有 賀 康 美（H6. 社会）		



学 校 名 日野市立滝合小学校
所 在 地 日野市西平山2-3-1
電 話 042-583-5172・5173
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩10分
児 童 数 男167名 女179名 計346名

校長氏名 西 田 敦 子

教頭氏名 森 野 豊

1. 沿革の概要

- 昭44. 12. 26 敷地購入（仮称第11小学校）
昭46. 3. 31 南校舎（A棟）完成。プレハブ校舎仮
設使用
4. 1 日野市立滝合小学校開校
20学級編成、教職員27名 市職員6名
4. 6 第1回入学式、始業式
4. 30 運動場体育固定施設の設置
5. 30 北校舎（B棟）完成
6. 1 開校記念日
6. 5 掲揚塔、水飲場、足洗場完成
6. 30 給食室竣工
7. 20 プール竣工
10. 1 校庭鉄柵竣工、花壇・池完成
12. 1 校章、校歌制定
昭47. 1. 21 エル・サルバドル国教育局次長視察
2. 20 体育館・校内通路完成
2. 25 落成式
3. 25 第1回卒業式（卒業生78名）
昭50. 2. 18 体力作り研究発表
4. 校庭植樹250本
昭51. 3. 旭が丘小分離（児童201名）
8. 動物園完成
4. 校地内に学童保育所完成
昭53. 9. 26 校庭全面整備完成
昭58. 8. 中庭舗装排水工事完了
昭59. 8. 30 給食室タイル・壁修理完了
昭61. 5. 6 体育館内工事完了
昭62. 1. 29 プールシート防水加工工事完了
2. 6 シューティングボード工事完了
8. 31 A棟外装工事完了
昭63. 8. 31 B棟外装工事完了、校庭南側フェンス
移設工事完了
平元. 8. 31 給食室ダム、ウエータ工事完了
平2. 8. 校舎北側舗装
平3. 8. 外部水飲場改修、A棟1階廊下塗装
平4. 1. AV調整卓交換
8. A棟2.3階廊下塗装、A棟3階教室内
装
平5. 8. A棟廊下改修、2階教室内装
平6. 8. 体育館全面改修工事完了
平7. 8. B棟専科教室・廊下塗装
平9. 3. A棟1階廊下塗装
平10. 2. A棟屋上フェンス取替工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
峰 岸 敬次郎	昭46. 4 ～ 昭50. 3
鈴 木 英 夫	昭50. 4 ～ 昭53. 3
梅 田 茂	昭53. 4 ～ 昭56. 3
鈴 木 敏 郎	昭56. 4 ～ 昭59. 3
野 口 昭 平	昭59. 4 ～ 昭62. 3
有 泉 徹 郎	昭62. 4 ～ 平3. 3
草 刈 喜 一	平3. 4 ～ 平7. 3
西 田 敦 子	平7. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校は、日野市の南西にあって、校庭の南側に浅川が流れ、その向こうに緑の多摩丘陵が続く。周囲に田畑が多く、屋敷森等も残る田園の中に位置している。小鳥のさえずりも聞かれ、冬には浅川周辺に数多くのわたり鳥がみられる。

しかし、学校周辺には住宅街もあるが、児童数は減少し続けている。学区域は、中央線の南側まで広がっており、通学時間で30分ぐらいの児童もいる。

近年、学校前の道路を通過する自動車が増え交通事故の危険は増大しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、自ら進んで調和のとれた人格の形成に努めることのできる児童の育成をめざして、次の教育目標を設定する。

- 健康でたくましい子ども（心と体の健康）
- 勉強に努力する子ども（意欲とねばり強さ）
- ◎進んで協力し、実行する子ども（心のふれあいと実践力）（◎は重点目標）
- 生きものをたいせつにする子ども（思いやりと生命の尊重）

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

知・情・意・体の調和のとれた児童の育成を目指し、自己教育力の育成、基礎・基本の重視、個性・能力を尊重した教育を意図的、計画的に行う。

- ア. 教育目標を具現化するために、学年、学級の実態及び児童の発達段階に即した具体的目標を設定し、学校の教育活動全体を通じて実践活動を進める。
- イ. 各教科及び各学年相互間の関連を図り、各教科の目標と各指導事項との関連を十分配慮し、児童一人一人に基礎的・基本的な内容を確実に身につけ、学ぶ意欲を高め、児童が主体的に学ぶことができるよう授業の工夫改善を図る。
- ウ. 道徳の時間が各教科及び特別活動における道徳教育と密接に関連を図りながら、自他の生命を尊び、たくましく生きる児童の育成を目指し計画的、発展的に指導する。
- エ. 全教育活動を通じて、生涯にわたり健康で安全な生活を営むために必要な能力や態度が身につくように指導の充実を図る。
- オ. 我が国の文化や伝統を大切にすると同時に外国の文化に目を向けさせ、国際社会に生きる力を育む教育を推進する。
- カ. 学校行事等の計画を立てる際には、各教科との関連を考慮し、授業時数の確保に努め、児童の負担にならないよう配慮する。
- キ. 児童がよりよい教育活動を展開するために教育環境を整える。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 個に応じた指導を工夫し、基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせる。
- 体験的な学習や問題解決的な学習を進め、自ら考える力や学ぶ力を身につけさせる。
- 多様な学習活動を通して豊かな創造力や表現力を育てる。
- 地域の人材・自然・文化・施設等を活用し学ぶ喜びや学ぶ楽しさを体得させる。
- チームティーチングによる指導を工夫し、児童のもつ良さを伸ばし、学ぶ意欲を育てる。

イ. 道徳

- 年間指導計画を見直し、道徳の時間の充実を図り道徳の実践力を育てる。
- 体験的活動を重視し、楽しく学ぶ道徳の時間を工夫する。
- 教育活動全体を通して、教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、人権尊重・生命尊重の心を培う。
- 家庭・地域社会と連携し、自尊の感情の育成や社会のルール・人としての生き方等を体得させる。

ウ. 特別活動

- 学校生活における集団活動を通して調和のとれた心の発達と個性の伸長を図り、活動を充実させるための企画力・実践力を養う。
- 集団活動に意欲的に参加し、人とのふれあいを通して望ましい人間関係を育てる。
- 学校生活がより良く過ごせるよう、集団の一員としての自覚を更に高め、協力する態度を養い、自主的実践的態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- 地域の自然や人材、文化、施設等を積極的に活用し、創意ある教育活動を展開する。
- 動植物の飼育栽培や美化に努める奉仕活動を重視し、生き物や自然をいつくしみ環境を大切にする心を育てる。
- 異年齢による自主的・創造的活動や交流を重視し、互いに認め合い協力し合う気持ちと態度を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 児童理解に基づき、一人一人の児童の人格を尊重し、個性を生かしながら、社会的資質や行動力を高め、学校生活を有意義で充実したものにさせる。

○基本的な生活習慣・行動様式や規律ある生活態度を身につけるために、地域及び家庭と連携を深めながら指導にあたる。

イ. 進路指導

○生涯にわたって主体的に学ぶ学び方を身につけさせ、進級、進学についての適切な指導を行い、自己実現を図れるように努める。

○趣味・特技等児童がもっている能力が発揮できる場への参加を勧め、個性や特技を伸ばし、将来に希望をもたせる。

6. 本年度の研究主題

子どもが意欲的に学ぶ学習活動の工夫

7. 本校の特色

校地面積20,458m²という恵まれた敷地内に1周200mのトラック、バスケットコート2面二の字形にならんだ校舎、周辺部に飼育小屋、プール、体育館があり落ち着いた空間をつくっている。

児童は全般的に素朴・純情・素直などの美点を持ち、活発に行動する元気な子が多い。保護者の学校教育に対する理解は深く、極めて協力的である。学校行事にも積極的に参加し、大いに内容を盛り上げるくれる。通学路の点検も協力的である。

○野菜の栽培など勤労生産学習の充実

○児童が係で活躍する運動会

○児童会主催、学区オリエンテーリング・滝合子どもまつり

○児童の希望を生かしたクラブ活動

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	そ の 他
1	佐 藤 文 敏 (3. 教育課題)	西 田 敦 子 (60. 家庭)	西 田 敦 子 (58. 海外派遣)



学 校 名 日野市立高幡台小学校
所 在 地 日野市程久保550
電 話 042-591-7011・7012
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて5分
高幡台団地下車
児 童 数 男116名 女98名 計213名

校長氏名 許 斐 文 代

教頭氏名 上 條 茂

1. 沿革の概要

- 昭46. 8. 7 校舎新築工事起工
昭47. 3. 10 日野市立高幡台小学校として開校
鉄筋3階建校舎
普通教室 12 特別室 9
特別教室 4
学級数 12
5. 27 高幡台小学校PTA設立総会
6. 24 開校式
本日を開校記念日とする
8. 1 プール完成、プール開き挙行政
昭48. 2. 24 校旗・校歌制定
10. 6 体育館落成式
昭49. 4. 1 第一期増築工事完成
普通教室9・図書室1・職員室
改造工事
昭51. 10. 13 高幡台小学校の位置標識
標高118m
昭53. 3. 31 第二期増築工事完成
昭54. 1. 24 防火シャッターを全部防煙シャッター
へ取替完了
昭54. 3. 4 玄関脇造園工事完了
昭55. 7. 5 校庭南門工事完了
昭56. 2. 7 校舎南側に学級園完成
8. 30 給食配膳室改修工事完了
昭57. 11. 11 開校10周年記念式典
昭59. 8. 20 屋上高置水槽取替（新・旧館）
昭60. 8. 25 プール際防球ネット取付
昭61. 8. 1 丸木遊具製作（職員）
昭63. 7. 27 校庭改修工事
7. 30 新館階段天井アスベスト改修
3. 15 体育館バスケットゴール取付
平2. 7. 23 校庭および屋上フェンス改修
平4. 3. 5 プール改修工事完了
3. 18 和室（いこいの間）完成
7. 29～10. 1 外壁改修工事（第一期）
12. 5 開校20周年記念式典
平5. 5. 11 すべり台補修
5. 30 東階段（校庭）手摺取付け工事
8. 11 放送室AV調整卓新設
9. 16 職員室クーラー取付
9. 28 屋上全面防水工事完了
10. 13 東校舎外壁改修工事第二期完了
平7. 9. 13 体育館改修工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
平 松 健 太 郎	昭47.4.1～昭50.3.31
手代木 和 夫	昭50.4.1～昭54.3.31
近 内 信 輝	昭54.4.1～昭58.3.31
津野田 昭 二	昭58.4.1～昭62.3.31
小 泉 宣 夫	昭62.4.1～平4.3.31
兼 島 政 邦	平4.4.1～平8.3.31
許 斐 文 代	平8.4.1～現在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地が、おもな学区である。高幡台団地は、5階から11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物公園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性豊かで調和のとれた人間形成をめざして次のような児童を育成する。

- ① たすけあうあう子ども……あたたかい心で助け合う子ども
- ② かんがえる子ども……よく考えて自分から進んでやりぬく子ども
- ③ はたらく子ども……働くことのすばらしさを身につけた子ども
- ④ たくましい子ども……心身ともにすこやかにたくましく生きる力をつけた子ども

(2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ① 児童相互が個性を認め合い、励まし合い、支え合う望ましい人間関係を推進し、人間尊重の態度の育成に努め、心の教育の充実を図る。
- ② 児童一人一人の基礎的・基本的事項を確実に身につけさせるとともに、個性と創造性を伸ばし、社会の変化に主体的に対応できる能力を育み、生涯を通じて学び続ける意欲や態度を養う。
- ③ 全教育活動を通して道徳的心情を培い、自主的・自立的な態度や勤労を尊ぶ実践的な態度を養う。
- ④ 人間愛・自然愛に根ざした教育を推進し、人や環境にやさしくそして環境の保全に主体的に働きかける行動力や実践力の育成をめざす。
- ⑤ 校内研究を充実させ、児童の意欲や思考力・表現力を伸ばす指導法の研究を推進する。
- ⑥ 悩む児童の心を満たす「教育相談部」を充実させ、不登校、いじめといわれる問題に学校全体で取り組む学校体制を作る。
- ⑦ 健康安全への関心を高め、健康作りと体力の向上に努めるとともに心身ともに健康で明るい児童を育成する。
- ⑧ 地域の自然や文化を教育活動に生かし、郷土を愛する心を培うとともに地域社会の一員としての自覚を高める。
- ⑨ 学校・家庭・地域社会の連携に努め、学校週5日制の趣旨を生かし、児童が地域の中で意欲的に活動できるように支援していく。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア、各教科

- ・指導内容を精選し、基礎的・基本的な学習を確実につけるとともに、総合的学習等を導入し、個性を生かす教育活動を進める中で思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ・地域の自然や人材など身近な教材を活用し、体験的な活動を通して日本の文化や伝統にふれるとともに豊かな心情を育てる。
- ・教育機器の活用、学校図書館の活用を図り、情報を主体的に選択し、活用したり表現したりする能力や態度を育てる。
- ・学校評価を意図的・計画的に実施し、年間指導計画に則った教育活動の充実を図る。そのためには、学校週5日制2回実施による授業時間の確保や授業の質の維持・向上に努める。

イ、道徳

- ・人間尊重を基盤とした教育を推進し、児童にとって「学校に来ることが楽しく明日が待たれる学校」作りを推進する。
- ・相手の立場を認め合い、力を合わせて物事をやりぬく態度や思いやりの心を涵養する。
- ・人や自然を大切にする態度や公共心の育成を図り、ものを大切にする実践的態度を身に付けるさせる。
- ・集団行動の決まりや望ましい行動の習慣化を図り、公德心の内面化を図る。

ウ、特別活動

- ・児童の共同・協力活動を通して、助け合い・学び合い・支え合う心を育てる。
- ・異年令集団や地域のボランティア活動などの具体的な体験活動を通して、自主的・自治的態度を育て社会性や国際性を培う。
- ・望ましい集団生活を通して、高幡台小の児童相互の連帯感や好ましい人間関係・豊かな人間関係を育て、地域社会でも望ましい生き方ができるようにする。
- ・勤労生産・奉仕活動を通して友達や地域社会のために役立とうとする心を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ・学年を越えた異年令集団活動（ミニ遠足・集団遊び・子ども祭り等）を通して、連帯意識を高める。併せて、学校生活における望ましい人間関係を育成する。
- ・保育園・幼稚園・養護学校や老人ホーム等との地域間の交流を図り、地域の理解を深めるとともに、思いやりの心や協力する力を育成する。
- ・三中地区育成会や校外地区班等の行事に参加することにより、共にふれ合う喜びや創造性ある生活が送れるようにする。
- ・菊作りや動物の飼育を通して豊かな心を育むとともに、生命尊重の精神を培う。

- ・和室を有効に活用し、日本の文化や伝統に触れるとともに尊重する態度を養う。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・全教職員の共通理解のもと基本的行動様式の定着を図り、集団の秩序と安全保持の立場から指導を徹底する。
- ・全教育活動を通して、温かい人間関係を培い、学校が望ましい自己実現の場になるよう、児童一人一人の個性や能力・特性を相互に尊重し合う態度を育成する。
- ・学校週5日制にともなう休日の過ごし方について、文化、スポーツ等に参加し、時間的にも精神的にもゆとりを持った生活が送れるようにする。

イ 進路指導

- ・自己を見つめ、新しい学年へ向けての意欲と自覚を高める。
- ・児童一人一人が、正しい勤労観・職業観を身につけるように努める。
- ・児童が自己の個性を生かし、自己実現に向かって努力する態度を育てる。

6. 本校の研究主題

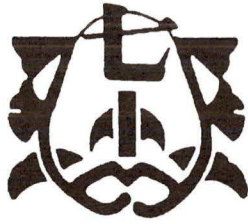
ひとりひとりが自ら考えお互いに認め合う児童の育成

7. 本校の特色

団地校であるから家庭の生活は平均し、児童の知能程度も比較的高く格差が少ない。反面閉鎖的傾向が見られ、連帯意識に弱さがある。このような実態を考え子どもが相互の縦横のつながりを深めたり、隣接地域の風にふれさせることによりより広い視野を育てることを重点にして実践する。

8. その他（教職員の研究歴）

研 究 生	研 究 員	研 究 員
許 斐 文 代（63. 理 科）	上 條 茂（H 5 . 社 会）	宇留賀公夫（H 2 . 図工）
	高 橋 智 子（63. 保 健）	古 越 富 子（H 5 . 保 健）
	作 山 秀 樹（H 4 . 音 楽）	溝 口 美 枝（60. 給 食）



学 校 名 日野市立日野第七小学校
所 在 地 日野市神明3-2
電 話 042-583-3907・3908 FAX 042-583-3908
順 路 JR中央線日野駅下車 徒歩約10分
児 童 数 男332名 女265名 計597名

校長氏名 品 田 敏 男

教頭氏名 清 水 義 路

1. 沿革の概要

- 昭48. 4. 開校 12学級 児童348名
トラックを除く運動場全面に洋芝の植付け
6. 校章制定
9. 校旗制定
12. 校歌制定
- 昭49. 3. 「校舎体育館落成記念式」及び「校歌発表会」举行
3月1日を開校記念日に制定
第1回卒業式 卒業児童45名
4. 開校2年め 入学児童77名
- 昭52. 4. 開校5年め 入学児童79名 13学級
教室不足のため、プレハブ教室2増設
10. 校舎の増築工事着工
- 昭53. 4. 学級数14
5. 増築工事竣工 普通教室6
図書室1
- 昭54. 4. 第7回入学児童93名 15学級
昭55. 4. 第8回入学児童111名 17学級
昭56. 4. 第9回入学児童128名 転入児童第2
学年以上82名 18学級
- 昭57. 4. 第10回入学児童128名 19学級
昭58. 4. 増築工事竣工、普通教室4、教材室等
3、昇降口、便所
開校十周年記念式典
- 昭62. 4. 第15回入学児童103名
昭63. 4. 第16回入学児童115名
平元. 4. 第17回入学児童120名
平2. 4. 第18回入学児童102名
平3. 4. 第19回入学児童96名
平4. 4. 第20回入学児童108名
平5. 4. 第21回入学児童73名 17学級
10. 開校二十周年記念式典及び祝賀会
- 平6. 4. 第22回入学児童 95名
平7. 4. 第23回入学児童 111名
平8. 4. 第24回入学児童 85名
平9. 4. 第25回入学児童 101名
平10. 4. 第26回入学児童 111名

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
星 野 武 之	昭48. 4 ～ 昭52. 3
上 部 正 彦	昭52. 4 ～ 昭56. 3
梅 田 茂	昭56. 4 ～ 昭58. 7
和 田 国 平	昭58. 9 ～ 昭63. 3
小 幡 建	昭63. 4 ～ 平4. 3
小 林 繁 人	平4. 4 ～ 平7. 3
品 田 敏 男	平7. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から西へ線路ぞいに徒歩で約10分。日野台地に設置されている。

校地の周囲は、住宅が増え、昔ほどの緑は少なくなっているが、屋上に上ると、南には多摩丘陵、西には秩父山地や丹沢山地を隔てて富士の秀麗が眺められる。また、この日野台地には遺跡が発掘されている等、教育的には環境に恵まれた場所と言える。

この地域はここ10数年の間に、旧甲州街道ぞいに増設されてきた新興住宅地帯で、都営住宅・分譲住宅がある。なお、本校の周囲には、大学、市庁舎、日野ふるさと博物館、消防署等があり、児童が学習するに最適の地域であると思われる。

しかし、最近、南側を東西に走る道路の交通量のピークが、児童の登校時間帯と合致し、しかも中央線をまたぐ陸橋を利用する児童数が圧倒的に多いことから、交通事故発生の心配がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

生命及び人権尊重の精神にみちた、心豊かでたくましく生きる心身共に健康な児童の育成を目指し、次の教育目標を定める。

◎自分の力で考える子（本年度の重点目標）

- 思いやりのある子
- 力いっぱいやりとおす子
- じょうぶな体をつくる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 学校の教育目標に基づき学年・学級の目標を定め、人間としての在り方生き方に関わる指導を重視した学年学級経営をすすめるとともに、生涯にわたって学ぶための資質、能力を育成する。

イ 児童一人一人が自ら学ぶ意欲を持ち主体的に学習できるよう、指導計画を充実し、問題解決学習や体験的な活動あるいは表現活動、チームティーチングなど多様な学習方法の工夫及び評価方法の改善などを行い、日々の授業を充実させる。

ウ 教育活動全体を通して、生命の尊さを伝え、互いに認め合い支え合い励まし合う思いやりの気持ちを培う中で、人権尊重の精神を養う。

エ 児童が自らすすんで健康と安全の保持と増進及び体力の向上を目指す態度と能力を育成する。

オ 身の回りの環境の保護や改善についての関心や問題解決の能力、実践力を育てる。

カ 学校週5日制度を児童の自己教育力育成の機会とすると共に、保護者及び地域の人々との緊密な連携のもとに、家庭、地域への所属感を育てる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ① 児童が自ら考え、判断し、表現することを重視し、多様な学習活動や評価を工夫する。
- ② 地域の自然・文化・伝統などの学習環境を効果的に生かし、児童が自ら課題を見つけ追究することの喜びを味わえる指導を工夫する。
- ③ 指導計画の整備と活用に努め、日々の授業の充実を通して基礎的、基本的な内容の徹底を図る。

イ. 道徳

- ① 全教育活動を通して、生命と人権を尊重するとともに、主体的によりよく生きようとする精神を養う。
- ② 道徳の時間には、一人一人のよさを認め、豊かな心情を育てるとともに、体験的な活動を重視し、道徳的実践力の育成を図る。
- ③ 資料や教具の整備と、全体計画や年間計画の活用を図る。

ウ. 特別活動

- ① 充実した学級活動を通し、集団の一員としての自覚を高め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- ① 学校行事や児童会、集会、クラブ、委員会、たてわり班などの諸活動を通して、主体的に行動できる力を育てる。

(2) 特色ある教育活動

ア 異学年の班活動を重視し、児童の仲間意識と高学年児童の指導性を培う。

イ 環境教育副読本や老人福祉副読本等を活用するとともに、体験的な活動を通して、主体的な実践力を育てる。

ウ 読み聞かせや、地域の豊かな自然にふれることを通して、豊かな心を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ① 自他の生命を大切にし人権尊重の精神にたって行動できる児童を育てる。
- ② 多面的で共感的な児童理解に努め、学校生活に主体的に取り組む児童を育てる。
- ③ 全教職員の共通理解のもとに、基本的生活習慣の定着を図る。
- ④ 生涯にわたって健康な生活を送れるように健康と安全への関心を高める。
- ⑤ 保護者や地域の人々と連携し、児童の健全な育成を図る。

イ. 進路指導

- ① 生涯にわたっての自己実現を図るために、児童の自主的自立的な態度や行動を認め励まし、児童自らが目標

を決め、その達成を目指して努力する心を育てる。

- ② 望ましい勤労観や職業観を育成するとともに、児童の個性や特性の良いところを伸ばし、将来への希望を持たせる。

6. 本年度の研究主題

「児童一人一人が自ら考え、自ら学ぶ学習活動の工夫」

7. 本校の特色

- (1) 自然に学び、自然に働きかける学習を通して、自分の力で考える子を育てる。そのために、①自然を取り入れた全体学習計画の作成・実施。②校外・校庭・屋上等の活用により勤労生産学習意欲を高める。③池・学級園の整備、動物との触れ合いを通して自然への関心を高める。
- (2) 中規模校の特性を生かした知・徳・体の調和のとれた児童の育成を進める。そのために、①異学年班活動を通して児童の連帯意識を育てる。②児童・教師の相互の交流を創意ある活動を通して深める。③個性尊重の教育を通して自ら学ぶ意欲を高める。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員 会 委 員	そ の 他
1	品 田 敏 男 (62. 社会)	品 田 敏 男 (2. 社会)	小 坂 克 信 (9. 海外派遣)
2	小 坂 克 信 (元. 社会)		
3	寺 澤 千代子 (4. 音楽)		
4	藤 井 京 子 (8. 算数)		
5	石 見 明 彦 (9. 体育)		



学 校 名 日野市立南平小学校
所 在 地 日野市南平4-18-1
電 話 042-592-2021・2022 FAX 042-592-2022
順 路 京王線南平駅より徒歩15分
児 童 数 男245名 女215名 計460名

校長氏名 畑 石 重 輝

教頭氏名 武 内 忠 雄

1. 沿革の概要

- 昭48. 12. 27 日野市教育委員会において、南平小学校を設置決定
- 昭49. 3. 25 仮設校舎完成
4. 1 日野市立南平小学校開校
学級数15、児童数535名、教職員22名、市職員4名
4. 5 仮設校舎校地整理完了
5. 4 本校舎工事着工
5. 22 南平小学校PTA設立
11. 15 本校舎完成
普通教室20、特別教室5、保健室、給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等
11. 22 校樹を「スズカケ」とする
校歌・校旗・校章・開校記念日の制定。
11. 29 本校舎へ移転
11. 30 校庭整備完了、進入路舗装、正門・フェンス取付完了
12. 31 体育館完成
- 昭50. 4. 30 大・小プール完成
- 昭53. 3. 15 校舎3教室増築
- 昭54. 12. 21 体育倉庫（プレハブ）完了
- 昭56. 3. 27 校舎3教室・図書室増築
9. 15 NHK全国学校音楽コンクール東京地区優良校受賞
- 昭57. 2. 4 体育科「児童が主体的に取り組む学習指導法の改善」全都研究発表会
- 昭58. 3. 31 学校園整備
- 昭59. 11. 22 10周年記念式典、祝賀会举行
- 昭61. 8. 25 校庭南側金網フェンス工事完成
- 昭62. 11. 4 体育館照明器具設置
- 昭63. 1. 23 体育館屋根塗装
3. 19 体育館緞帳改修
3. 19 校舎北側万年べいの改修
8. 31 家庭科室机新設
12. 20 体育館北側防音壁完成
- 平成. 8. 30 体育館床面、家庭科室改修
陶芸釜設置完了
10. 16 ランチルーム開設
- 平2. 1. 24 ランチルーム机・椅子新設
- 平3. 2. 13 プール槽塗装、更衣室屋根塗装
- 平4. 3. 17 ランチルーム全面改修
6. 1 生活科ゾーン完成（田んぼ2枚、井戸2基、水路、池等）

- 平4. 7. 2 校庭南東フェンス改修
- 平5. 6. 4 校庭西側移動式フェンス取り付け
- 平6. 12. 3 開校20周年記念式典・祝賀会举行
- 平7. 3. 31 校庭設備改修（ジャブジャブ池、水路、造形砂場、南側防球フェンス、鉄棒移動）
- 平8. 3. 21 開放教室内装工事完了
8. 18 体育用砂場移動
12. 5 日野市教育委員会研究奨励公開授業、研究発表
- 平9. 8. 8 体育館電動バスケットゴール設置
8. 18 普通教室（14学級）背面掲示板設置

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
黒 沢 保 雄	昭49. 4 ～ 昭55. 3
松 日 楽 敬 治	昭55. 4 ～ 昭59. 3
鈴 木 敏 郎	昭59. 4 ～ 昭62. 3
石 井 三 士	昭62. 4 ～ 平3. 3
有 泉 徹 郎	平3. 4 ～ 平6. 3
馬 場 武	平6. 4 ～ 平9. 3
畑 石 重 輝	平9. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校の学区は、日野市の南部に位置し、南側に多摩丘陵を切り開いた南平台（なんべいだい）、みなみが丘、鹿島台、川崎街道を挟んだ南平中・下（昔からの集落が現存する）地区と京王線と浅川に挟まれた向島地区、更に、平成8年3月に本校南側に完成した初の大規模マンション等の入居に伴い、新たに設けられた南平上地区（旧南平中地区からの分離）の七地区から構成されている。比較的まとまった学区であり、地区の把握がしやすい。

南平中・下地区を除き、何れも新興の分譲住宅地である。保護者の社会的、経済的地位は安定しており、学校教育によせる関心や期待は高く、学校にも協力的である。

宅地化が進んだとは言え、地域には、まだまだ雑木林や畑（野菜）、果樹園（梨）等があり、自然条件には比較的恵まれている。また、西方に丹沢連邦から秀麗富士を仰ぎ見ることができ、学校施設、設備、校庭等の整備と相まって、教育的環境としても恵まれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法、教育基本法の精神に基づき、児童・地域の実態をふまえ、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目ざし、次の教育目標を設定する。

- ◎自ら考え学ぶ子
- ◎目あてをもってやりぬく子
- 思いやりのある子
- 健康でたくましい子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

人権尊重の精神をもとに、教育目標の具現化を図るため、全教職員の協力・協働体制を確立し、意図的・計画的・組織的に教育活動を推進する。また、体験活動を重視し、児童の興味・関心・意欲を高め、児童一人一人の良さや可能性を生かした個性重視の教育活動を進める。

ア 人権尊重の精神を根幹に据え、自分と異なるものに対する理解を深めると共に、いじめや性による差別に対する意識を高め、互いに認め合い、高め合う学年・学級経営に努める。

イ 基礎的・基本的内容を身につけさせると共に、目当てをもってやりぬき、自ら学ぶ力を育成する。そのために、ティーム・ティーチング等を通して、児童一人一人の適性に応じて個性を生かす授業の構築を図る。

ウ 健康安全の保持増進、体力の向上を図る能力・態度と思いやり、たくましさを持った心を育むため、体育・道徳・特別活動・生活指導の充実を図る。

エ 教育活動全体をととして、地域や我が国及び諸外国の文化・伝統を理解し、尊重する態度を育くみ、国際社会に参加、協力できる態度や能力を培う。

オ 地域の環境に関心を持たせ、環境を大切にする心と環境保全を図る態度・能力を育て、環境教育の充実を図る。
カ 家庭・地域・関係諸機関との連携を密にし、地域の自然・文化・人材の活用を図ると共に、学校教育・施設の開放を進め、地域と共に歩む教育の推進を図る。

5 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- ・問題解決学習等を重視し、基礎的・基本的内容の定着を図ると共に、直接体験活動を取り入れ、児童自らが学ぶ力を培う。
- ・児童の主観を大切にすると共に、一人一人のよさや可能性を生かし、目当てを持って粘り強く、課題を追求しようとする態度を育てる。
- ・心身の健やかな成長を図るため、水泳・縄跳び・持久走等の活動をととして、生涯にわたって、健康な生活を営むための素地を養う。
- ・地域の自然、文化、人材を活用した教育活動の推進をととして、郷土愛を深めるとともに環境への理解と保全に努める態度・能力を育てる。

イ 道徳

- ・人権尊重・生命尊重の精神を基調とする道徳的实践力を学校教育全体の中で育成する。特に、いじめ等についての指導の徹底を図る。
- ・道徳の時間は、多様な指導資料を活用すると共に、指導方法を工夫し、児童の道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力や実践力を養う。

ウ 特別活動

- ・望ましい集団活動をととして、自己実現を図らせると共に、協力してより良い学校生活を築こうとする自主的・実践的態度を育てる。
- ・学校行事等への主体的な関わりをととして、集団への連帯感・所属感を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ・ティーム・ティーチングに対する教師の一層の理解を深め、個性を生かした教育をより効果的に進める。
- ・男女の性の違いを理解させると共に、本質的に、男女は平等であるという意識を育てる。
- ・「なかよし広場」での米作り、野菜・草花作り・ワラ細工、生活科等の体験活動をととして、自然の恵みや勤労の尊さ、地域の文化・伝統等を理解し、尊重する態度を育てる。
- ・草取り、石拾い等の日常活動をととして、環境美化や奉仕活動への意識を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・児童一人一人の成長への意欲や願いを的確に把握し、一人一人の児童の自己確立に向けて適切な支援をする。
- ・月目標の活用をとおして、進んで生活を改善していこうとする意欲を持たせる。
- ・家庭、地域と連携し、望ましい基本的生活習慣や社会規範意識を育てる。

イ 進路指導

- ・児童一人一人の実態を的確に把握し、長所を認め、励まし、生涯にわたって学び続けることの楽しさに気づかせる。
- ・自己の特性、長所に気づかせ、自尊感情を育てると共に、意欲的に自己実現を図ろうとする態度を育てる。

6. 本年度の研究主題

「おたがいの考えを深め合う学習活動の研究」

7. 本校の特色

- ・児童は比較的素直で、礼儀正しい。知的好奇心も強く、与えられた課題に対しては、熱心に取り組み、理解力もある。反面、指示待ちの傾向も見られる。
- ・米作り、野菜・草花作りを中心にした勤労・生産的体験学習を重視し、地域の教育力も積極的に取り入れている。
- ・1・2年の生活科、4・5年の算数科の授業を通して、望ましいT・T指導の在り方を研究している。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	現 代 化 委 員 ・ 開 発 委 員	海 外 派 遣
1	畑 石 重 輝（59 理科）	武 内 忠 雄（59 体育）	
2	武 内 忠 雄（52 体育）	田 村 操（61 国語）	
3	佐 藤 実 千 子（52 家庭）	山 田 栄 子（6 特別活動）	
4		佐 藤 実 千 子（6 家庭）	
5		稲 葉 重 樹（8 音楽）	



学 校 名 日野市立程久保小学校
所 在 地 日野市程久保1-14-2
電 話 042-592-5014・5015 FAX 042-592-5015
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバス
高幡台団地下車 徒歩5分
児 童 数 男155名 女113名 計268名

校長氏名 小山田 穰

教頭氏名 田 中 晴 美

1 沿革の概要

本校は、潤徳小学校の規模の拡大化の解消及び高幡台小学校の学区の変更に伴い、程久保地区に新設された学校である。

- 昭52. 2. 1 程久保小学校開校 潤徳小学校に開設準備室を設置
初代 渋谷義一校長就任
4. 1 日野市立程久保小学校開校
学級数18 児童数652 教員数26 市職員 8
7. 15 体育館竣工
10. 20 落成式挙行 この日を開校記念日とする。校歌・校章発表会を行う。
- 昭53. 4. 4 学級増によるプレハブ教室設置（1教室）19学級
- 昭55. 1. 18 体育倉庫竣工
11. 11 飼育舎竣工
- 昭56. 12. 17 受水槽竣工
- 昭58. 6. 15 校庭砂場竣工
12. 20 球技場（テニスコート）竣工
- 昭59. 2. 29 プール改修工事完了
8. 14 体育館ステージ照明設備工事
- 昭60. 8. 29 校庭整地完了
- 昭62. 10. 4 開校十周年記念運動会
11. 6 開校十周年記念式典挙行
11. 14 開校十周年記念展覧会
- 昭63. 8 普通教室黒板改修
- 平1. 6. 30 事務室エアコン設置
8. 1 放送室A/V卓取り替え
11. 7 日野市研究奨励校として「豊かな心を育てる体験学習」の主題のもとに研究発表会を開催
- 平2. 6 校長室エアコン設置
10 プール側フェンス完成
- 平3. 1. 8 ランチルーム用テーブル椅子購入
8. 9 保健室エアコン設置
- 平4. 10. 2 ランチルーム完成
- 平5. 3. 26 飼育舎完成
8 保健室流し全面改修
- 平6. 2. 7 日野市研究奨励校として「子どもの意欲が生きる学習指導」の主題のもとに研究発表会を開催
8. 9 放送室改修工事完了
- 平7. 9. 9 正門取り替え工事完了
11. 24 生活科室水道設備設置工事完了

- 平8. 4. 10 生ゴミ処理機設置工事完了
8. 21 プールフェンス忍び返し取り付け工事完了
- 平9. 3. 15 職員玄関横壁改修工事完了
3. 31 洋式トイレ室改修工事完了
6. 21 開校二十周年記念「子ども祭り」開催
7. 2 音楽室雨漏り防止工事完了
10. 5 開校二十周年記念運動会
11. 1 開校二十周年記念式典挙行
11. 28 開校二十周年記念学芸会
12. 6 特別教室ベランダ手摺り塗装工事完了

2 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
渋谷 義 一	昭52.2.1～昭58.3.31
大 島 昭 子	昭58.4.1～昭62.3.31
三 浦 勝 也	昭62.4.1～平2.3.31
倉 重 利 恵	平2.4.1～平7.3.31
小 林 繁 人	平7.4.1～平9.3.31
小山田 穰	平9.4.1～現在

3 地域の環境

日野市の南東部にあって明星・三井電建・下程久保の住宅地が主な学区域である。住宅は多摩動物公園の両側の起伏に富んだ傾斜地に立てられている。

緑が多く自然環境には恵まれた地域である。しかしその一方で通学路やその近辺の道路では、人通りの極めて少ないところもある。

また、住宅地内を通過する車やモノレール工事に伴う大型車輛の増加も著しい地域もあり、そのため、交通安全指導、不審者対策等、多方面にわたる児童の安全対策が重要課題となっている。

4 教育目標

本校の教育目標は、教育基本法及び学校教育法に基づき、生命と人権の尊重を基調とし、個性豊かで主体的に学び国際性を身につけた児童の育成を期して、次のように教育目標を定める。

- 一 元気 ○健康で生き生きした子ども
- 二 本気 ◎自ら考え進んで行動する子ども
 (重点目標) ◎心豊かで思いやりのある子ども
- 三 根気 ○目標に向かって努力する子ども

5 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- ① 体験的な活動や問題解決的な学習を重視し、基礎・基本の確実な定着を図るとともに主体的な学びの態度の育成を支援する。
- ② 地域の学習材や人材を活用など地域・関係諸機関との積極的な連携を図り、協力的な指導を行う。
- ③ 児童の自己学習力の伸長のために、指導計画・指導内容・指導方法を工夫するとともに、学習環境の点検と整備を計画的に行う。

(2) 道徳

- ① 児童相互や児童と教師の相互理解と温かい人間関係を築くとともに、社会の一員としての自覚を高め、基本的行動様式の定着を図る指導の充実と支援に努める。
- ② 自他の生命を尊重し、自立を育み、自らの責任を果たし、人間としてより良く生きていく態度の育成を図るために実践的活動や体験的な活動を重視する。
- ③ 道徳教育の全体計画のもとに、全教育活動を通して、保護者や地域との連携を基盤におき、児童の道徳的实践力を高める。

(3) 特別活動

- ① 児童の自主的、協力的な集団活動の充実を図り、楽しく、張り合いのある学校生活の実現に向けて指導の充実と支援に努める。
- ② 児童の興味や関心、本校の特色を生かし、体験的な活動を重視しながら児童自らの存在感や所属感の体得に向け意図的計画的な支援を行なう。
- ③ 学級活動年間指導計画を基に、学校全体の共通理解を図りながら、児童の基本的な生活習慣や健康で安全な生活態度の育成・好ましい人間関係の醸成に努める。
- ④ 本校の伝統を継承するとともに児童の学校生活に変化を与え、自主的に参加できるような学校行事を工夫して行う。

(4) 特色ある活動

- ① 学年の枠を外した異年齢集団（「縦割り班」）活動により、児童の相互理解と好ましい人間関係を深め、健全な社会性を育てる。
- ② 日常的な体育活動を計画的に行う。
- ③ 年間計画の中に「やまゆりの時間」を設け、個別指導や体験的な活動などを行うことにより、児童の個性や創造性、主体性や社会性を幅広く育てる。
- ④ 外国籍児童や帰国児童の体験や地域の人材・関係諸機関を積極的に活用し、児童の国際性の育成を図る。
- ⑤ 他校や地域との交流を深めたり、学校や地域の環境を愛護したりする活動を進める。

(5) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 受容的な態度で児童に接するとともに、児童相互の認め合い助け合いを深め、偏見や差別などのない明るく楽しい学校生活の実現に向けて指導の充実と支援に努める。
- ② 発達段階に即した基本的な生活習慣の育成やいじめのない生活の実現をめざし、校内体制の確立とともに、学校の指導方針を明確に伝えるなど、家庭や地域との積極的な連携を図る。
- ③ 校内外の安全の確保や災害時の対策を見直すとともに、安全指導を徹底する。
- ④ 健康の自己管理能力の向上をめざし、計画的に保健教育を行うとともに、救急処置及びその後の経過観察や生活上の配慮等を適切に行う。
- ⑤ 配慮を要する児童の理解や指導を関係諸機関と連携を図りながら、協力的・組織的に行う。

イ 進路指導

- ① 児童の個性を大切にし、児童が自己のよさや特性に気づき、将来にわたって自己実現を図ろうとする態度を育てる。
- ② 性にかかわる指導をふくめ、児童に自己の生き方に関心をもたせる指導を進める。

6 本年度の研究主題

「表現」 ― 見つけよう自分 伝えよう自分 ―

7. 本校の特色

全教育活動を通して、自らを学ぶ意欲と主体的に学ぶ力、自ら律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心情や実践力、また、その基礎となる豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力の育成を図り、児童一人一人にとって存在感と自己実現の喜びを味わうことができるように努める。

そのため、学校は進んで家庭や地域に開き、交流する中で研修・研究の充実を図り、教師の指導力を高め、創意工夫ある指導の実現に努める。

- ① 児童一人一人の個性や創造性・主体性を育てるとともに、集団の志気や質を向上させるために、学校の教育目標に基づき、児童の実態に即した学年・学級の目標を定め、学年学級経営の充実を図る。
- ② 人の気持ちや立場を考えて共に行動できる心情や実践力をもった心豊かな児童の育成をめざし、教師・児童の人権意識を高め、差別や偏見のない教育観・体罰否定の指導観をもって、人権尊重の教育の日常的な実践を推進する。
- ③ 児童が自己発揮できる意欲的で主体的な学習の実現をめざした校内研究・研修を充実し、教師自らが研鑽に努めるとともに学習指導の質的な改善と充実に努める。
- ④ 体験的な活動を通して、児童の自主的な集団活動を支援し、協調性や社会性・国際性を伸長するとともに他とともに活動する楽しさや自己の存在感や所属感の体得、及びその基礎となる健康や体力作りのために特別活動や特色ある活動を充実する。
- ⑤ 本校及び地域の自然や文化・伝統に関心をもつとともに、基本的な生活習慣や行動様式を身につけ、健全で主体的な生活ができ自己実現が図れる児童を育てるために、全校の協働体制のもと地域・保護者・関係諸機関等との積極的な連携を図り、生涯学習の基礎を培う。
- ⑥ 児童の教育に携わる学校の教職員としての自覚の基に、自己の個性や創意を生かし、責務を果たす努力をするとともに、児童のよりよい変容に向けての協働体制を確立する。
- ⑦ 児童が落ち着いた学習や安全な生活を意欲的にできるようにするために、学校環境の点検と改善を進める。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳 No.	東 京 都 教 育 研 究 員	そ の 他
1	小山田 穰（昭58. 社会）	小山田 穰（昭和55.56 兵庫教育大大学院研修派遣）
2	丸 山 まり子（昭57. 給食）	三木 滋（平9. 多摩地区教育推進委員）
3	木 附 隆 三（昭63. 社会）	木附 隆三（平9. 道徳助言研）
4	三 木 滋（平7. 教育課題）	後藤 欣子（平10. ひのっこ教育21研究員）
5	小 澤 智 幸（平8. 教育課題）	



学 校 名 日野市立旭が丘小学校
所 在 地 日野市旭が丘 5-21-1
電 話 042-583-3733・3748
順 路 中央線豊田駅北口下車 徒歩25分
京王・西東京バス（石川入口）下車徒歩10分
児 童 数 男358名 女353名 計711名

校長氏名 熊 野 時 巳

教頭氏名 八 木 文 夫

1. 沿革の概要

- 昭51. 8. 18 起工式
市議会は、日野市立旭が丘小学校の設置を決定
- 昭52. 2. 1 初代校長 小野寺東雄発令
3. 31 教頭、教諭等25名、市職員 8 名
計33名発令
4. 6 第1回入学式149名 4 学級
全校18学級 707名
5. 20 校舎完成
6. 30 プール完成
7. 20 校章制定
8. 15 体育館完成
11. 21 校歌制定 開校式典
- 昭53. 3. 25 第1回卒業式110名
- 昭55. 10. 13 体育館ボーダーライト
- 昭57. 2. 27 「雑木林の小道」完成式
- 昭58. 2. 7 音楽室廊下防音ドア完成
8. 11 給食室排水工事完成
- 昭59. 12. 10 堆肥小屋とプール塗装工事開始
- 昭60. 1. 20 プールフェンス工事開始
- 昭61. 1. 13 プール排水工事・シューティングボード工事
6. 4 理科室天井工事
8. 31 AV調整卓が入る
理科室・図書室の暗幕取替え
- 昭62. 1. 7 プールの平板工事
11. 22 開校10周年記念式典
- 昭63. 1. 7 体育館屋根塗装
10周年記念日時計工事
1. 30 故大熊校長献花式
8. 25 放送室・図書室工事・洗浄機取り付け完了
12. 23 故大熊校長遺稿集発行
- 平元. 5. 26 給食室クーラー設置
- 平2. 6. 25 校長室エアコン設置
7. 28 体育館バスケットゴール取付
- 平3. 1. 16 学区変更説明会
8. 7 体育館床張り替え工事
- 平4. 2. 29 旭小15年を語る会
9. 12 備蓄倉庫設置
- 平5. 2. 15 生活科用畑工事
5. 30 第17回運動会
6. 5 プールタオル掛け工事
6. 10 プールフェンス張り替え

8. 1 校庭改修工事開始
8. 31 給食室床工事完了
11. 10 子供議会出席
- 平6. 7. 11 外壁工事
- 平7. 6 雑木林土留め、フェンス工事
- 平8. 8 雑木林土留め、フェンス工事
- 平9. 8 家庭科室・理科室 換気扇工事
11. 29 周年記念式典挙行 記念誌発行

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小野寺 東 雄	昭52.2 ～ 昭58.3
大 熊 喜 一	昭58.4 ～ 昭62.12
飯 沼 宏	昭63.1 ～ 平4.3
信 夫 清 彦	平4.4 ～ 平8.3
熊 野 時 巳	平8.4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校は、日野市西南部八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二段丘の二段にまたがっている。東西2km南北1.5kmと広く、学校が西に偏在しているため、通学時間が30分以上かかる児童もいる。

学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場が占め、その周辺に個人住宅や集合住宅が混在する。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設は整備中である。また、工場が多く車公害が多くなってきた。学校の周辺には、畑や雑木林が多く、公園もあり、自然に恵まれている。父母は会社員が多く、学校教育への関心は深い。集合住宅が増加中である。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- ・よく考える子ども
- ◎なかよくする子ども
- ・がんばりぬく子ども
- ・からだをきたえる子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 児童の実態把握に努め共感的児童理解をもとに、人間尊重の精神を培い、豊かな感性と人間性を育て、いじめのない楽しい学校を作るために心の教育を推進する。
- ② 「よ・な・が・か」を地域ぐるみの合言葉とし、旭が丘小21年の成果をふまえ「生きる力」を育む視点から教育活動を見直し、教育目標の達成を目指す。
- ③ 学校教育目標の「なかよくする子ども」を重点目標とし、全教育活動を通してその目標の達成を目指す。
そのために、
 - ・常に人権尊重を基底とし、心と体の学習の推進を図り、自他の生命を尊び、相互に協力する態度や思いやりの心を持つ児童の育成に努める。
 - ・多面的な児童理解に努め一人一人の児童の個性を生かし創造性を伸ばす教育を推進する。
 - ・児童相互、児童と教職員が触れ合う時間を設定し、相互理解を深め信頼関係を高める。
- ④ 体験的な学習・問題解決的な学習を重視し、生涯学習の基盤である“自ら学ぶ力”を身につけさせる。
- ⑤ 豊かな学校環境を活用し、自然をいっしょに楽しみ、自然と共に生きる心と態度を育てる。
- ⑥ 運動の楽しさを味わわせることを通して、進んで自らの健康増進・体力向上に取り組む児童の育成に努める。
- ⑦ 保護者・地域から信頼される学校を目指し、教職員の研究・研修活動を充実し、指導力を高める。
- ⑧ 保護者・地域社会とのより良い連携の在り方を模索し、協力体制を築くことにより開かれた学校づくりを目指す。
- ⑨ 学校週五日制への移行に伴い、保護者や地域との連携をもとに、児童の学習・生活環境の充実を図るとともに、児童が自ら考え、判断し、行動する態度を育てる。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけさせ、個性を生かす教育活動を進める中で学ぶ意欲を高め学習の仕方を習得させ、思考力・判断力・表現力の育成を図る。理解の不十分な児童の個別指導をきめ細かく行う。
- ・児童の主體的な学習活動を促すため、課題追求・課題解決的な学習を取り入れ、学習活動の多様化を図る。また、地域を生かした教育活動を大切にし、社会人講師を招いたり地域の環境を生かした教育活動を実践する。

イ. 道徳

- ・児童の実態に即してねらいを重点化し、教育活動全体を通して自ら考え、正しく判断し、行動する、内面に根ざした道徳的実践力の向上に努める。
- ・指導計画に基づき多様な指導資料を活用するとともに、指導方法の工夫・改善を図り児童に深く自己を見つめさせるようにする。

ウ. 特別活動

- ・集団活動に積極的に参加し、望ましい人間関係を築き、自ら考え、共に協力する児童の育成に努める。
- ・学校行事では個を生かす活動を重視し、日常の学習の総合的な発展の場とする。
- ・日常生活への適応指導、健康・安全指導では教師が意図的・計画的に指導し目的意識を高めるように工夫する。
- ・「全校活動」の時間を通して、異年齢集団の中で児童相互の心の触れ合いを密にし思いやり、協力等の実践的態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ・栽培活動、飼育活動、雑木林の活用、資源の節約など環境教育を全校で取り組み、自然愛護、物を大事にする心、勤労意欲等を高める。
- ・ボランティア活動を重視し、豊かな人間性や人間同士の連携の精神を養う教育活動を推進していく。
- ・水曜日の午後触れ合いタイムを設定したり、遊ぶ時間を増やす等して学年学級の集団指導体制の確立を図り、児童と教師、児童と児童相互の心の交流を図り、いじめのない楽しい学校生活を送れるようにする。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・基本的な生活習慣を身につけ、自立心・自律心を高める力を育てる。
- ・教育相談の機能を高め、いじめや問題をもつ児童への組織的な対応を進める。

イ. 進路指導

- ・体験的な活動を通して、成就感・達成感を味わわせ、自ら考え、判断し、決定する能力を育成する。

- ・各種の催し物・競技会への参加を働きかけ個性や能力を引き出し伸ばす援助を行う。

6. 本年度の研究課題

- お互いの良さを認め合い、自らの良さや可能性を伸ばす児童の育成

7. 本校の特色

- (1) 「なかよくする子ども」の育成を重点目標に設定。
- (2) 授業の活性化をめざす校内研究体制づくり。
- (3) 雑木林を宝として、その保存と活用への指向。雑木林の付加価値を高める思考。
- (4) 体験的学習の場の充実を目指して。一人一鉢の菊づくり、椎茸栽培・茶摘み用苗木の育成、小動物との交流の場づくり等への指向。
- (5) 地域教育力との大いなる連携。スポーツ保険を軸として学校と地域が一体化し、元旦マラソン・サマージャンボリーなど学校創立以来の組織的な健全育成への着実な展開。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	熊野 時巳（3. 体育）		
2	八木 文夫（59. 体育）		
3	桑原 雅道（2. 国語）		



学 校 名 日野市立平山台小学校
所 在 地 日野市平山2-1-1
電 話 042-592-6381・6382
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩15分
児 童 数 男98名 女88名 計186名
(内わかき学級14名)

校長氏名 増 賀 従 男

教頭氏名 雨 宮 充

1. 沿革の概要

- 昭53. 1. 7 現在地に建設着工
4. 1 日野市立平山台小学校として開校、平山小学校の学区から新たに平山1, 2, 3, 6丁目を平山台小学校の学区と定める。児童数男286名、女282名 計550名 17学級（心障2学級含）の規模で開校する。
10. 24 校舎落成式 校章発表
11. 22 開校記念展覧会 開校記念日
昭54. 3. 9 開校記念校歌発表会
11. 10 心障学級作業学習コーナー設置
昭55. 3. 20 校舎増築8教室完成
8. 15 中庭排水溝、飼育舎完成、遊戯室床張替え、ガス配管一期完成
10. 20 野焼きの授業展開、テレビ放映
昭56. 3. 13 屋上フェンス（音楽室上）完成
4. 1 男385 女367 計752名
22学級（心障3含む）
昭57. 4. 1 男356 女348 計724
21学級（心障2含む）
8. 30 図書館改装 ガス配管工事完了
昭58. 4. 1 男335 女337 計672
20学級（心障2含む）
10. 30 屋外バスケットボール施設完了
昭59. 4. 1 男290 女312 計602
16学級（心障1含む）
3. 屋上フェンス完成・校舎増築完成
昭60. 4. 1 男276 女273 計549
17学級（心障2含む）
12. 9 プール全面塗装
昭61. 4. 1 男236 女245 計481名
15学級（心障1含む）
12. 8 研究公開（体育を中心とする）
昭62. 3. 30 体育館どん張取替
4. 1 男215 女208 計423名
14学級（心障1含む）
昭63. 2. 5 研究発表公開（心障）
4. 1 男191 女175 計366名
13学級（心障1含む）
8. 体育館照明装置取付け
11. 19 開校10周年記念式典挙行
平成. 3. 体育館バスケットゴール取付け
4. 1 男167 女171 計338名
14学級（心障2含む）

4. 日野市研究奨励校
5. 2 文部省心身障害児理解推進校指定
8. 30 多目的教育工事完成
平2. 4. 1 男151 女146 計297名
13学級（心障2含む）
10. 26 文部省心身障害児理解推進校研究発表
10. 30 ふれ合い広場完成
平3. 4. 1 男135 女138 計283名
12学級（心障2含む）
10. 30 屋上防水工事
平4. 4. 1 男131 女121 計252名
12学級（心障2含む）
平5. 4. 1 男115 女122 計237名
10学級（心障1含む）
7. 3 堀之内3号トンネル全校生見学
平6. 4. 1 男115 女113 計228名
10学級（心障2含む）
平7. 4. 1 男110 女107 計217名
10学級（心障2含む）
平8. 3. 18 校長室・事務室の移設完了
4. 1 男105 女103 計208名
10学級（心障2含む）
平9. 4. 1 男98 女91 計189名
9学級（心障2含む）
平10. 4. 1 男98 女88 計186名
8学級（心障2含む）

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 川 格	昭53.2 ～ 昭57.3
蓮 池 守 一	昭57.4 ～ 昭61.3
野 村 竹 郎	昭61.4 ～ 昭63.9
馬 淵 金 男	昭63.10 ～ 平3.3
波 多 野 坦	平3.4 ～ 平6.3
増 賀 従 男	平6.4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校は日野市の南端、多摩丘陵の頂きに開発して建設。北側は、日野市はもちろん八王子、立川も一望でき、巨大島瞰図を眺めるようである。また、南側は、多摩テックから平山城址公園に連なる雑木林が四季折々の風物を語る。

このような、景観だけでなく、体験学習をする上での生きた教材を得た学校である。学区は京王電鉄が造成、分譲した平山1, 2, 3丁目に加えて、平山6丁目を含んだ、まとまりのある地域である。また、この地に住む人々は相互に環境の美化、浄化に努めているため、静かで落ちつきのある雰囲気が維持されている。

4. 教育目標

憲法・教育基本法・学校教育法が示す国民の育成に努めるため本校の教育目標を定める。

本校の教育は、生命の尊重を基底とし、自ら考え、正しく判断し、実践できる児童の育成を目指す。

- よく考え 工夫する子
 - 力を合わせて やりぬく子
 - 心豊かな やさしい子
 - 明るく たくましい子
- (○は重点目標)

<目標達成のための基本方針>

- ① 「心豊かな やさしい子」を重点に掲げ、全教育活動を通じて生命を尊び人権尊重の態度を身につけた児童を育成する。
- ② 児童自らが学ぶ授業の創造を心がけ、社会の変化に主体的に対応できる児童を育成する。
- ③ 教師と児童、児童相互の心の交流を深め、思いやりをもち協調性のある児童を育成する。
- ④ 一人一人の児童理解に努め、全教職員の連携によって、心身ともに健康な児童を育成する。
- ⑤ 行事の精選や週時程の工夫によって、授業時数の確保に努める。また、行事が教科の体験学習の場となるように計画的な指導を行う。
- ⑥ 家庭・地域との連携を密にし、家庭・地域の教育力の活用を図るとともに、家庭・地域からの情報収集に努める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ① 生命の素晴らしさかけがえのなさを学び取らせる。そのため、生命の学習につながる各教科及び各領域を関係付けた指導を行う。
- ② 人権意識を身につけた児童を育成する。そのため、指導計画を確立し、年間を見通した指導を行う。
- ③ 基礎基本の定着を図るとともに、主体的に学ぶ態度を身につけた児童を育成する。そのため、個に応じた指導を心がけ、課題解決の学習、体験学習、他学年との合同学習・小集団学習等を工夫する。
- ④ 郷土や諸外国についての認識を深めるとともに、地域社会と交流することや、地球環境保全に対する関心を高める。

イ. 道徳

- ① 児童一人一人に自己を見つめさせる道徳の時間を通して、心豊かでより良く生きようとする児童を育成する。
- ② 生命尊重の精神をもとに、全教育活動を通じて自他を大切にする態度を培う。

ウ. 特別活動

- ① 児童一人一人の個性と創意を生かした学級活動を心がけ、集団に寄与する態度を育てる。
- ② 児童が、学校生活に関する諸問題を自発的・自治的に解決する力を高めるとともに、帰属意識を高める。
- ③ 小規模校としての特色を生かした異学年集団による活動を活発にし、全校児童の心の結び付きを深める。
- ④ 高学年の活動の場を設定し、リーダーとしての責任感を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ① 学校生活に潤いや充実感を与える活動を計画する。(平山台フェスティバル、オリエンテーリング、たてわり清掃、たてわり班遊び)
- ② わかくさ学級との交流を通して、障害児・障害者への理解を深め、ともに生きようとする態度を培う。(給食時の交流、朝会時・集会時の交流、間接交流)
- ③ 地域の教育力を活用し、学習を一層深め広げるとともに、社会の一員としての自覚を高める。(ほほえみ給食、お話会)

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ① 児童一人一人の個性の把握に努め、より良く伸ばしていく指導を工夫する。

- ② 児童が相互に生命や人権を尊重する態度を身につけさせる。
- ③ 集団生活に必要な基本的態度や健康・安全を心がける態度を身につけさせる。
- ④ 家庭・地域社会及び関連諸機関との連携を密にし、児童の健全育成に努める。

イ. 進路指導

- ① 児童の発達に即した自己理解を援助する。
- ② 望ましい勤労観・職業観を育て、自己の進路に対する自主的な判断ができるようにする。

6. 本年度の研究主題

「児童の人権意識を育てる指導法の工夫」

7. 本校の特色

- 開校21年目。市内全域がほぼ見渡せる。恵まれた自然環境の教材化を図っている。
- 小規模校の特徴を生かし、和やかな雰囲気と、全校たてわり活動による協働、共学を図っている。
- 心障児と健常児との交流をすすめたり、地域の老人クラブとふれ合う体験を通して「心豊かな心やさしい子の育成を目指す」心の教育を推進している。
- 地域の要請に応える教育力の提供について、青少年育成会等と協力したり、地域行事への参加をしたりしてその具体化を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員
1	増 賀 從 男（56. 国 語）	中 村 康 成 東京の教育21開発委員（少子化部会） （9. 開 発）
2	中 村 康 成（55. 体、61. 道）	
3	雨 宮 充（60. 道 徳）	
4	吉 尾 真理子（8. 社 会）	
5	宇留賀 真理子（10. 国 語）	



学 校 名
所 在 地
電 話
順 路
児 童 数

日野市立東光寺小学校

日野市新町 3-24-1

042-584-6200・6201 FAX042-584-6201

中央線日野駅下車 徒歩10分

男159名 女125名 計284名

校長氏名 小 杉 博 司

教頭氏名 矢 野 優

1. 沿革の概要

- 昭52. 9. 30 学校用地買収予算市議会議決
昭53. 3. 30 学校建設校舎予算市議会議決
6. 2 学校開設準備委員会開催
8. 21 校舎建設工事着工～54.5.31
昭54. 2. 1 日野市立東光寺小学校として開設。
4. 1 日野市立東光寺小学校として開設。日野市立第三小学校の学区から、新町3丁目と栄町1～5丁目を学区と定める。
4. 6 始業式。入学式。新1年児童数102名 全校児童数545名。15学級の規模で発足。
6. 20 体育館倉庫完成。正門、フェンス取り付け完了
6. 21 桜、樺、つつじ（合計2330本）植樹完了
7. 18 校樹を「さくら」と決定
10. 31 体育館及びプール完成。
11. 17 東光寺小学校PTA創立総会
11. 20 日野市立東光寺小学校「校舎及び体育館、プール落成記念式」「校章、校旗披露」「校歌発表」を行う。
11. 22 第一回開校記念日
昭55. 3. 25 第一回卒業証書授与式。卒業生88名。
8. 31 水飲み場、足洗い場が校庭に新設
10. 30 学級園、うさぎ小屋、遊具を職員作業により設置する。
昭57. 3. 31 小鳥舎新設、校庭の緑化
11. 25 校庭緑化の実施、樹木500本植える。
平成. 11. 18 日野市立東光寺小学校開校十周年記念式典を挙行。
平2. 8. 22 体育館に自動バスケットゴールが新設される。
10. 24 校庭防球ネットが増設される。
平4. 3. 20 飼育舎（ログハウス風）新設。
平5. 8. 31 ランチルームが新設。
8. 31 屋上に防災無線屋外子局が新設。
9. 14 校庭に貯水層が新設。
平6. 1. 18 校庭防球ネットが増設される。
11. 18 体育科用・生活科用・高鉄棒用砂場が新設される。
平7. 8. 11 校庭木製遊具が新設される。
平8. 9. 6 ランチルームが改修される。
平10. 3. 10 観察池が中庭に新設される。

3. 25 第19回卒業証書授与式。開校以来の卒業生1,433名となる。

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
高 田 智	昭54. 2 ～ 昭58. 3
近 内 信 輝	昭58. 4 ～ 昭60. 3
志 村 桂 次	昭60. 4 ～ 平4. 3
鍋 田 良 子	平4. 4 ～ 平10. 3
小 杉 博 司	平10. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校は、日野市北西部にあって、学区域の一部は多摩川と八王子市に接している。学区域は新町3丁目、栄町1,2,3,4,5丁目で、東西1.8km、南北0.8kmと東西に長く、学校は学区域の中央南側に位置している。通学時間は、遠い児童で15分である。

学区には、大正16年、僧永海が旧東光寺のあと地に建てた万松山成就院がある。また、多摩川と日野用水にはさまれた低地に農家が点在していたが、都市化にともなって兼業農家が増え、まわりには宅地造成が進み、個人住宅や集団住宅が混在している。

学校の裏側には、自然林、正門近くには田畑や果樹園等があり、自然条件に恵まれている。

また、施設設備、校庭が完備され、教育的環境は優れている。

父母の学校に寄せる関心も高い。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法及び教育基本法の精神に基づき、「自他を尊重しながら、心身ともにたくましく、主体的・創造的に生きる児童の育成」を目指し、次のように教育目標を設定する。

- 明るい子ども（本年度重点目標）
- 考える子ども
- 強い子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 全教育活動を通して、生命尊重・人権尊重の意識高揚に努める。
- ② 主体的に学ぶ意欲の高揚を図り、自ら考え、正しく判断し、行動できる児童の育成に努める。
- ③ 人間として必要とされる基礎的・基本的な内容を実践的に身に付けさせ、児童一人一人の個性を生かした教育の推進に努める。
- ④ 児童が、自ら進んで健康の増進や体力の向上を図ることができるように、健康・安全教育を計画的・組織的に推進する。
- ⑤ 学級経営の充実を図り、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築き、豊かな体験活動や触れ合い活動を通して、互いに認め合い、学び合い、他を思いやる心と実践力を育てる。
- ⑥ 家庭・地域との連携を深め、より開かれた学校を目指すとともに、地域の文化や伝統及び環境問題への理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚と責任を養う。
- ⑦ 教師一人一人が研修に努め、より緊密な協働体制を確立する。
- ⑧ 児童がより主体的に自己の生活時間を見直す一方、人や自然との体験的関わりを深め、より豊かな感性と高い自立性を培うことができるよう支援する。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 地域素材の教材化・活用等を行い、児童一人一人の学習への興味・関心を高め、自ら進んで学習に取り組むことができるよう、自主的な学習態度を育てる。
- 一人一人の個性や能力に応じた学習の指導法を工夫し、各教科の基礎的・基本的な内容を身に付けさせるとともに、感動体験を大切に学習指導を進める。
- 地域や学校の特性を生かし、生活科をはじめ、各教科を通して豊かな体験的学習・問題解決的学習を系統的に行い、学ぶことの楽しさや達成感を体得させる。

イ. 道徳

- 思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考え、行動できるなど道徳的实践力を全教育活動を通して育てる。
- 各教科の指導や生産体験学習、生き物との触れ合い等を通して、自他の生命や人格を尊重し、自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心を育成する。
- 勤労の尊さを理解させ、学校や地域への奉仕の気持ちを深め、進んで働く態度を育成する。

ウ. 特別活動

- 児童の発想や創意を生かし、自ら進んで活動し、集団の一員としての自覚を持ち学校生活を充実・向上させていこうとする態度を育てる。
- 児童の生活を見つめ、進んで考え、自ら責任を果たそうとする態度を育てる。
- 地域社会や自然と関わり、触れ合える活動を多く経験させ、進んで学校や地域に奉仕する態度を育成する。
- 自分の特性を知り、学校生活で進んでそれを生かし、更に伸ばそうとする積極的な態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- 地域の豊かな自然や広い校地を活用し、児童の創意を生かした異学年活動を行い、地域の人々や児童相互の好ましい人間関係を育み、児童が自ら進んで考え行動し、人や自然との関わりを深める教育活動を推進する。
- PTAや地域の人々との協力のもと、学年園・花壇等を活用した生産体験活動や奉仕活動に進んで取り組み、生き物を育てる楽しさ、大切さを知らせ、勤労意欲や豊かな心を育成する活動を積極的に進める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全教育活動を通して、進んで学校生活の決まりを守り、話を聞く態度を育てるとともに、児童が安全で明るく健康な活力ある学校生活を送ることができるように努める。
- 組織的な指導体制を確立し、一人一人の児童の生活上の問題点を把握し、きめ細かい指導を行うとともに、他の教育機関との連携・協力を推進する。
- 児童各自に生活時間を見直させ、より計画的で有効な時間の使い方を指導する。

イ. 進路指導

- 児童一人一人が自分の個性を自覚し、進んでそれを生かし、将来への高い目標を持って学校生活を送れるよう努力する。

6. 本年度の研究主題

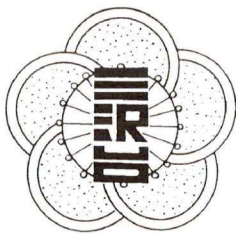
「一人ひとりが生き生きと課題に取り組む指導法の研究」

7. 本校の特色

- (1) 地域の学校としての立場を強く自覚し、その期待にいっそう応え得る学校の創造を目指す。
- (2) 本年度の重点目標である「明るい子ども」の育成を目指し、教職員はもちろん、家庭との相互理解による連携を強め、PTA・地域との協力などを密にして教育を推進する。
- (3) 児童一人ひとりが個性を発揮し、生き生きと積極的に活動する活力に満ちた教育が行われるように充実した校内研究を推進する。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	そ の 他
1	小杉 博司（昭57・社会）	小杉 博司（昭61・社会）	小杉 博司（昭63・教材開発社会）
2	石岡 房子（昭63・国語）		矢野 優（平7・道徳助言研）
3	高木 宏（昭63・特活）		
4	川井田和子（平2・道徳）		
5	川崎 知子（平5・学校保健）		



学 校 名 日野市立三沢台小学校
所 在 地 日野市百草896-1
電 話 042-592-2351・2352
順 路 京王線百草園駅下車 徒歩15分
児 童 数 男130名 女134名 計264名

校長氏名 飯 田 國 代

教頭氏名 川 原 保 彦

1. 沿革の概要

- 昭55. 4. 1 開校 日野第八小より分離 児童数
666名（男319名 女347名）、
教職員34名で発足
4. 7 第1回入学式111名入学
6. 10 プール完成
8. 4 体育館完成
9. 1 校庭使用開始
（芝生、アンツーカーの運動場）
9. 10 市主催による落成式
- 昭56. 2. 10 校歌・校章発表会 開校記念日とする
3. 25 第1回卒業式 126名卒業
4. 6 第2回入学式 114名入学
学級数18
9. 22 校庭改修工事完了（ダスト舗装に）
- 昭57. 3. 25 第2回卒業式 125名卒業
4. 6 第3回入学式 90名入学
学級数17
- 昭58. 3. 25 第3回卒業式 110名卒業
4. 6 第4回入学式 66名入学
学級数16
- 昭59. 3. 24 第4回卒業式 110名卒業
4. 6 第5回入学式 82名入学
学級数16
- 昭60. 3. 25 第5回卒業式 117名卒業
4. 6 第6回入学式 82名入学
学級数15
6. 28 音楽室冷房設備工事完了
- 昭61. 3. 25 第6回卒業式 131名卒業
4. 7 第7回入学式 79名入学
学級数14
- 昭62. 3. 25 第7回卒業式 119名卒業
4. 6 第8回入学式 60名入学
学級数13
8. 31 三沢台小学童クラブ開設
- 昭63. 3. 25 第8回卒業式 104名卒業
4. 6 第9回入学式 55名入学
学級数13
9. 1 体育館舞台照明設備工事完了
- 平成. 3. 25 第9回卒業式 79名卒業
4. 6 第10回入学式 67名入学
学級数12
- 平2. 3. 24 第10回卒業式 89名卒業
4. 6 第11回入学式 52名入学
学級数12

8. 24 体育館床張替え工事完了
A V放送器機設置
- 平3. 2. 1 ランチルーム設備充実
2. 9 創立10周年記念式典
父母の会より記念品贈呈（遊具）
3. 25 第11回卒業式 79名卒業
4. 6 第12回入学式 50名入学
学級数12
- 平4. 3. 25 第12回卒業式 77名卒業
3. 31 鳥小屋・砂場・畑新設
4. 6 第13回入学式 41名入学
学級数12
8. 31 ランチルーム改修工事完了
8. 31 音楽室防音工事完了
9. 3 生ごみ分解消滅機使用開始
- 平5. 3. 20 桜、梅の苗木を植樹
3. 25 第13回卒業式 56名卒業
4. 6 第14回入学式 47名入学
学級数12
9. 30 暖房機工事完了
12. 24 雨水利用設備工事完了
- 平6. 3. 25 第14回卒業式 61名卒業
4. 6 第15回入学式 48名入学
学級数12
- 平7. 2. 4 開校15周年記念コンサート
3. 25 第15回卒業式 69名卒業
4. 6 第16回入学式 37名入学
学級数11
- 平8. 3. 23 屋上一部雨漏り防止工事完了
3. 25 第16回卒業式 50名卒業
4. 6 第17回入学式 29名入学
学級数10
- 平9. 3. 23 屋上雨漏り防止工事完了
3. 25 第17回卒業式 56名卒業
4. 7 第18回入学式 34名入学
学級数9
- 平10. 3. 25 第18回卒業式 48名卒業
4. 6 第19回入学式 32名入学
学級数9

2. 歴代校長

氏 名				年 月 ～ 年 月
初代	深 尾 眞			昭55.2～昭59.3
二代	松日楽 敬 治			昭59.4～昭62.3
三代	福 地 保			昭62.4～平2.3
四代	西 田 敦 子			平2.4～平7.3
五代	飯 田 國 代			平7.4～現在

3. 地域の環境

本校は日野市東南端に位置し、多摩丘陵の頂きを開発した住宅街（西武・日本信販）の中心にあり、北は日野市、立川市方面、南は八王子市、多摩市及び多摩ニュータウンが一望できる。東は百草園の雑木林に囲まれ、自然に恵まれているうえ、静かな住宅環境で落ち着いている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調に、国際社会において心豊かにたくましく生きる人間の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- すすんで学ぶ子
- 明るく思いやりのある子（重点目標）
- よく考え行動する子
- からだをきたえる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 自ら学ぶ意欲を高め、柔軟な思考力・豊かな創造力・表現力を育てるとともに学ぶ楽しさや喜びを体得させる。
- イ. 自尊と敬愛の心を育て、明るい希望をもち、心豊かに生活できるような指導・援助をする。
- ウ. 自ら考え正しく判断し、行動できるような主体性と実践する力を育てる。
- エ. 生命を尊重し、自ら進んで健康の増進と体力の向上を目指すとともに、運動に親しむ態度や能力を育てる。
- オ. 家庭や地域といったその連携を図り、協力して教育効果を上げるとともに、より良い教育環境の整備に努める。
- カ. 月2回の学校週5日制の実施にあたり、子どもの学習負担が増大したり、教育水準が低下しないよう指導計画及び指導方法を工夫改善する。
- キ. 生活体験、自然体験等の機会をふやし、特色ある教育活動を推進する。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

児童が自ら考え、課題に向かって主体的に取り組めるよう指導法の開発に努め、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。

- 児童の学習への意欲や関心を高めるために、ねらいを明確にした体験的な活動を重視した指導方法の工夫改善に努める。
- 学習のねらいと評価の観点をはっきりさせ、計画的な学習をすることにより児童の基礎学力の定着を図り、思考力・判断力・表現力・情報活用能力などの能力を育てる。
- 教材、教具の効果的な活用を図り、学習効果の向上に努める。また、地域の素材を教材化し学習の中に生かす。

イ. 道徳

教育活動全体を通して道徳的心情を豊かにして実践力を育てる。そのために、各教科・特別活動とのつながりを深めた指導の展開に努める。

- 生命の尊重を基調に明るく思いやり的心をもちたくましく生きる子を育てる。
- 望ましい行動様式を身に付けさせ、節度と協調性のある子を育てる。

ウ. 特別活動

- 児童の主体的な活動を重んじ、個性や能力の発見と育成に努める。
- 異年齢組織などを活用して児童相互の交流を深め、協力して落ち着いた活力のある良い校風づくりに励む態度と実践力を育成する。

(2) 特色ある教育活動

- ふれあい教育を行い人間理解を深め、広く豊かな実践力を育てる。
- 校内・校外での奉仕活動を行い勤労の喜びと大切さの理解を深め、あわせて学校と地域社会の連携を深める。
- 動植物を育てる教育活動を行い、生き物や自然を慈しむ心と環境の改善に働きかける実践力を育てる。
- 日本の文化や伝統を理解し親しむとともに、他国の文化に関心と理解を深める教育活動を行う。
- 毎月第3土曜日の3・4校時に総合活動の時間を設定する。地域とふれ合う活動や、体験的活動を展開することにより主体性、創造性を培い、生きる力の育成を図る。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 楽しい学校生活が送れるように、全教育活動を通じて、人間として調和のとれた豊かな心を育てる。
- 集団としての規律を理解させ、基本的生活習慣の徹底を図る。
- 児童の豊かな人間性を培うために正しく、美しく、温かい言葉で話すことができるようにする。
- 家庭・地域との連携を深め、安全指導、健全育成の万全を期す。

イ. 進路指導

- 児童一人一人の特性を生かし、個別指導を一層徹底し、生涯学習を指向する基礎づくりを目指す。
- 各教科・道徳・特別活動との関連を密にして、職業や勤労に対する正しい理解と判断力を育て、労働や奉仕することの大切さを体得させる。
- 海外から帰国した児童については、学校生活への適応を図るとともに、外国における経験を生かすなど適切な指導に努める。

6. 本年度の研究主題

「体験学習を通して、自分で課題を発見し追求する子の育成」

教科 生活科・理科

7. 本校の特色

子どもたちの「心のふるさと」となる地域と一体化した学校づくりを目指す。このため全教職員の創意を生かし、子どもと共に遊び、働き、学ぶ教職員の日々の姿から教育実践の効果を高めていく。

8. その他（教職員の研究歴）

No.	内訳	都 ・ 文 部 省 委 員	研 究 員
1		飯田 國代（61. 都研究奨励費）	飯田 國代（60. 特活）
2		川原 保彦（H 6 . 中央研修）	川原 保彦（61. 体育）
3			茂木 敏光（H 6 . 教育課題）



学 校 名 日野市立仲田小学校
所 在 地 日野市日野本町6-1-74
電 話 042-581-8511 FAX 8512
順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分
児 童 数 男115名 女135名 計250名

校長氏名 河 野 和 昌

教頭氏名 古 宮 キヨ子

1. 沿革の概要

本校は、日野第一小学校及び日野第四小学校の教室不足の解消、危険な道路を横断しない安全通学と、当地域の将来の発展を見越して、日野第一中学北側の国有地「日野第一桑園」跡地と一部買収民有地に新設された学校である。

昭58. 3. 30 仲田小学校新設のための市条例一部改正を市議会が可決

6. 22 現在地に建設着工

昭59. 2. 1 初代校長 山口武彦就任

4. 1 開校

4. 6 第1回入学式

5. 23 校庭・プール竣工

7. 31 体育館竣工

10. 12 市主催落成式挙行

11. 12 校歌・校章披露式挙行

昭60. 3. 25 第1回卒業証書授与式

昭61. 3. 25 第2回卒業証書授与式

昭62. 3. 25 第3回卒業証書授与式

4. 1 2代校長 岩下和夫就任

昭63. 3. 25 第4回卒業証書授与式

11. 21 開校5周年記念式典

平元. 3. 25 第5回卒業証書授与式

平2. 3. 25 第6回卒業証書授与式

平3. 3. 25 第7回卒業証書授与式

平4. 3. 25 第8回卒業証書授与式

4. 1 3代校長 中村孝一就任

4. 6 第9回入学式

平5. 3. 25 第9回卒業証書授与式

4. 6 第10回入学式

平6. 3. 25 第10回卒業証書授与式

4. 6 第11回入学式

平7. 3. 25 第11回卒業証書授与式

4. 6 第12回入学式

平8. 3. 25 第12回卒業証書授与式

4. 1 4代校長 河野和昌就任

4. 6 第13回入学式

平9. 3. 25 第13回卒業証書授与式

4. 7 第14回入学式

平10. 3. 25 第14回卒業証書授与式

4. 6 第15回入学式

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
山 口 武 彦	昭59. 2 ～ 昭62. 3
岩 下 和 夫	昭62. 4 ～ 平4. 3
中 村 孝 一	平4. 4 ～ 平8. 3
河 野 和 昌	平8. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校の学区は、日野市の北部に位置し、東と南に甲州街道（国道20号線）、西にJR中央線、北に多摩川にかこまれた、ほぼ長方形に近い地域である。

この地域は、江戸時代以来甲州街道日野宿として栄えてきた。近年、多摩川沿いの水田を埋め立て宅地化が進行している。したがって、古くから居住している人々、比較的新しく移住してきた人々とが混在している。

本校は、この地域の中央部北寄りの旧農林省蚕糸試験場（日野第一桑園）跡地にたてられ、周囲は、仲田緑地や多摩川という自然の美しい環境が残されている。

仲田は、この付近の古い字名で、本校名もこれによったものである。

4. 教育目標

生涯学習社会を迎え、個性尊重の精神を基調として、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

◎すすんで学ぶ子

自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に対応できる力を育てる。

○からだをきたえる子

自ら進んで、健康の保持・増進及び体力の向上を図る能力と態度を育てる。

○思いやりのある子

生命尊重を基盤とし、人間性を尊重し、豊かな心を育てる。

○最後までやりぬく子

困難や障害を乗り越えて自己実現を目指す、たくましく生きる力を育てる。

5. 本年度の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 「進んで学ぶ子」の育成を目指すと共に、基礎・基本的事項の定着を図り、体験的な活動を重視し、知識と生活の結びつく知の総合化を目指す。
- T T教師や地域の方々等、人材の積極的活用を進めるなど、指導内容・方法・体制を工夫することにより、一人一人を生かす授業を展開し、思考力・判断力・表現力の育成を図る。

イ. 道徳

- 社会の一員としての自覚を高め、基本的生活習慣を身に付けさせるとともに、自他を尊重する心情及び態度を育てる。
- 豊かな人間性を育み、よりよく生きようとする心の教育の充実を目指す。
- 道徳の目標や内容が日常に生かされるよう、児童の実態に応じた指導計画を作成し道徳的実践力の育成を図る。

ウ. 特別活動

- 学級会・児童会・クラブ等諸活動及び学校行事を通し、仲田小の一員としての自覚を促し、企画・運営・実行する自治能力を高めるとともに、自主的・実践的・協力的な態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- 一人一人が人間と地球の関係を考え、環境に対して責任ある行動をとるようにする視点から教育活動を、体験的な学習を中心にして進める。
- 教科学習、特別活動等において、地域の史跡、自然等特色ある地域環境や人材を活用し、地域との連携の上に立った教育活動を推進する。
- 学校裁量の時間を教育課程に位置づけると共に、特別活動（学校活動、児童会活動）と関連を図りながら、児童が主体となった全校の活動や保護者・地域の人々と共にした体験的な活動を進める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 一人一人の子どもが人間として尊重され、集団の一員として自ら考え人間らしい生き方ができるよう援助、指導し、豊かな人間関係を育てる。
- 学級での指導を中心とする中で、教育相談、生活指導職員会議・朝会等を通し児童理解と校内体制の確立に努め、問題点の早期発見・早期対応に心掛ける。
- 学校のきまり、生活時程の改善を図り、児童の主體的な学校生活を支援する。

イ. 進路指導

- 自分のよさに気づかせると共に、将来にわたって、自分の果たすべき責任について考えさせ、自己実現を目指す意欲的な態度を育てる。
- 一人一人の児童の個性や特性の把握に努め、保護者との連携を深めながらその伸長を図る。

6. 本年度の研究

(1) 研究主題

「お互いに認め合い高め合いながら進んで学ぶ子の育成」

(2) 研究教科

「算数科」

(3) 研究目標

仲田小学校の児童一人一人が生き生きと進んで学び、自ら学力が向上したことを実感できる研究を目指す。

(4) 目標達成のための方針

仲田小学校の教師の誰もが授業に対しての理論・技術を向上させ、日常的に「楽しい授業」「わかる授業」「学力がつく授業」を目指し、『仲田小学校の学習システム・学習スタイル』を創造する。

(5) 研究の進め方

- 研究をより活性化し、深めるために低・高学年2つの分科会を設ける。
- 系統的な研究をすすめるため、情報交換・研究の位置づけ等、研究推進部が中心となり進める。

7. 本校の特色

本校は、開校15年目を迎えた教職員の意欲と児童の活力にあふれる学校である。

(1) 恵まれた自然環境

本市の北東部に位置する学区域は、緑豊かな仲田緑地や、流れも清き多摩川など、美しい自然に囲まれている。また学校の前には、樹齢100年に達する大ケヤキやイチョウがそびえ、四季おりおりの景観が子供たちの心をはぐくんでくれる。

(2) あいさつが上手な明るい子

本校の子供たちは、すこぶる明るく、素直である。来客者は口をそろえて、「この学校の子供たちはあいさつが上手ですね」とほめてくれる。

あいさつは、心と心を結ぶ最高の手段であり、好ましい人間関係の形成に役立つ。豊かで明るい学校生活を過ごすために、あいさつは不可欠なものであり、全校で取り組んでいる。

(3) 研究熱心な教職員

本校では、「お互いを認め合い高め合いながら進んで学ぶ子の育成」をテーマに、昨年度までの研究の成果を土台とし、算数科を通し一層の飛躍・深化に努めている。

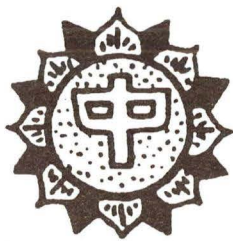
また用務員は、庭木の剪定の時期を研究したり、事務職は廉価で品質のよい物品購入に心がけ、調理員は、子どもの側に立った味付けなどを絶えず研究している。

(4) 協力的な地域の方々

本校を取り巻く地域は、「日野宿」跡地に象徴されるように、大変歴史の古い所である。それだけに貴重な遺産や資料がたくさんある。以前、開校五周年記念の資料集を作成するため、地域の方々に資料提供を要請したところ、驚くほど多くの資料や古文書を寄せてくれ、また古老から、昔の話を十分聞かせていただいた。さらに、十周年記念行事を地域の協力のもと実施し連携を深めてきている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	中央研修	研究生	海外派遣	研究員	その他
1	古 宮 キヨ子 (5)	古 宮 キヨ子 (3. 教育相談)	古 宮 キヨ子 (2. ヨーロッパ)	岩 崎 英 夫 (元. 体育)	雨 宮 宣 夫 (7. 道徳助言)
2				植 松 久美子 (2. 国語)	斉 藤 弥 生 (8. 専修講座)
3				雨 宮 宣 夫 (6. 教育課題)	古 宮 キヨ子 (8. 専修講座)
4				佐 藤 民 男 (9. 社会)	鈴 木 裕 子 (10. ひのっ子教育)
5				西 弘 美 (10. 理科)	



学 校 名 日野市立日野第一中学校
所 在 地 日野市日野本町7-7-7
電 話 042-581-0009・0261 F A X 581-0023
順 路 J R 日野駅下車 徒歩10分
生 徒 数 男307名 277名 計584名

校長氏名 松 澤 茂 久

教頭氏名 嘉 陽 義 明

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 30 公立中学校として設置認可、日野中学校と称する。
- 昭24. 4. 1 校歌制定
- 昭29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称
- 昭37. 9. 17 新校舎（鉄筋防音）落成
- 昭38. 9. 9 プール落成
- 昭39. 5. 1 特別教室落成
- 昭41. 7. 1 体育館落成式
- 昭42. 11. 4 創立20周年記念式典挙行
- 昭48. 3. 10 校舎増築（普2、特別2）
- 昭52. 11. 4 30周年記念、校歌刻字の記念碑
- 昭55. 4. 1 大坂上中新設に伴い学区縮小
- 昭59. 3. 31 給食棟増築（食堂1、特別2）
- 昭59. 6. 4 学校給食開始
- 昭62. 11. 7 創立40周年記念式挙行
- 平2. 9. 3 校庭整備工事完了
- 平3. 10. 25 柔道室改築
- 平4. 2. 24 コンピュータ室完成
- 平6. 8. 31 教育相談室完成
- 平7. 8. 31 給食室空調施設完成
- 平9. 2. 26 校舎棟・給食棟防水工事完了
- 平9. 7. 26 職員室空調施設完成
- 平9. 11. 15 50周年記念式挙行

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
町 田 勘 之 助	昭22.4 ～ 昭25.9
飯 塚 節 三	昭25.10 ～ 昭37.3
大 沢 彰	昭37.4 ～ 昭40.3
大 沢 量 作	昭40.4 ～ 昭45.3
安 部 達 郎	昭45.4 ～ 昭49.3
東 恭 朝	昭49.4 ～ 昭53.3
松 延 耕 作	昭53.4 ～ 昭57.3
小 林 節 夫	昭57.4 ～ 昭59.3
奥 村 節 生	昭59.4 ～ 昭63.3
高 橋 豊 彦	昭63.4 ～ 平成.1
宮 本 裕 子	平成.2 ～ 平6.3
松 澤 茂 久	平6.4 ～ 現在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達し、甲州街道ぞいの宿場町として栄えてきた。

近年、郊外の住宅、アパート、工場、特に中小企業、家内工業、商業が多く、近郊農業も見られる。

4. 教育目標

(1) 一人一人を尊重し、心理と平和を求める社会の形成者として、世界に開かれた人間の育成を目指し、次の目標を定める。

- 一、自ら考え、学びつづける人（主体性）
- 一、協力し、全体につくす人（連帯性）
- 一、心豊かで、思いやりのある人（人間性）
- 一、進んで、心身をきたえる人（健康）

(2) 教育目標を達成するための基本方針

- ① 生徒が自己実現に向けて主体的な生き方を実践できるよう、生徒一人一人が基礎・基本を身につけ、意欲的に取り組める授業の実践と指導の工夫をし、自ら考え学び続け、自分を適切に表現できる力を育成する。
- ② 生徒が社会生活に適応し、逞しく生き抜くことができるように、学級・学年・学校・地域社会の一員としての自覚を促し、よりよい生活を築こうとする自主・自律的態度、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、郷土愛を培う。また、校内や地域の美化活動・奉仕活動から環境改善への意欲を育む。
- ③ 人間性豊かに生きられるように、道徳教育の充実に努め、人権尊重の精神を培い、国際理解教育を推進する。
- ④ 思いやる豊かな心と健康な体を育てるために生徒理解を深め、教育相談体制を充実させ、体育や体育的行事、部活動の充実を図り、進んで心身を鍛える人間の育成に努める。また、性に関する理解を深めるための指導を充実する。
- ⑤ 学校5日制の主旨を踏まえ、授業時数の確保に努めると共に、教材の精選、指導内容の重点化を行う。また、社会の変化に対応するため、家庭や地域社会、関係機関との連携を一層深め、地域社会の一員として所属感を持たせ、地域への帰属意識を培い、開かれた学校作りを推進する。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・授業ルールを明確にした上で、基礎基本を重視したわかりやすい授業、そして生徒の理解を助ける授業の実践により、基礎学力の充実を図り、生徒自ら学ぶ意欲を培う。また、校内研修活動の充実化を図り、教師自らの指導力の一段の向上に努める。
- ・学校5日制をふまえ、授業時数の確保と教材の精選及び指導内容の重点化に努める。
- ・理科・保健体育科における。チームティーチングによる指導の工夫や選択教科の拡大に向け、個に応じた指導法の工夫に努める。
- ・体験的学習、問題解決的学習、地域素材を生かした学習や学校図書館、視聴覚教材、教育機器を活用した学習を充実し、生徒の興味・関心・意欲を伸長させるとともに、情報を選択し活用する能力を高める。

イ. 道徳

- ・道徳の時数確保とともに3年間を見通した道徳の年間指導計画に沿って組織的・計画的・継続的な指導に努める。
- ・教育活動全体を通して、表現力の向上に努めることにより、望ましい人間関係の土台を築き、いじめや暴力・差別・偏見を排除し、人権尊重精神に基づき、思いやり、認め合い、支え合う心と態度を育てる。
- ・地域や社会の一員として、社会規範を身に付け、自主的判断のもとに責任ある行動が取れる道徳的实践意欲と態度を培う。
- ・他領域、特に進路指導との関連を図りながら、各学年の発達段階に応じて、生き方・在り方などの指導を充実し、豊かな心を育てる。

ウ. 特別活動

- ・教師と生徒、生徒相互の心の触れ合いを深め、信頼関係を確立する。そのために、学級活動の計画的実践及び短学活の継続性を図る。
- ・小集団を基礎に、個人の自発性や個性及び責任感を啓発し、学級集団の質を高める。
- ・生徒会活動や部活動を充実させ、生徒の自主的活動力と一人一人の個性・能力の伸長を図る。
- ・学校行事を通して体験的な活動を促進し、成就感が意欲につながる指導に努め、あわせて集団への所属感を深めさせる。

(2) その他の活動

サンフラワー一中（学習・心身・連帯・環境）を合い言葉に、落ち着きと潤いのある学校生活を築くため、次の環境教育や社会性を育む教育、並びにボランティア協力校としての活動を推進する。

- ・清掃・美化活動の徹底を図り、心豊かな教育環境の醸成する。
- ・クリーンフェスティバル、花と緑のある学校づくり、古切手・テレホンカード集め、ユニセフ募金等の体験的・勤労的・奉仕的な活動を通して、心豊かな社会性を育む。
- ・学校の活動が見えるよう、家庭、地域と連携し、理解と共感を得ていくよう努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・生徒の規律ある充実した学校生活の確立と基本的な生活習慣の徹底を図り、社会の一員としての自覚を高め、社会規範を守る態度を育てる。
- ・生徒指導の共通理解・共通実践に努め、職員が一枚岩となって取り組む生徒指導態勢を確立する。
- ・あいさつや朝会等の集会指導の充実により、集団行動の質的向上を図る。
- ・教育相談室を活用し、カウンセリングを重視して生徒理解を深めるとともに、生徒一人ひとりの内面に迫る個別指導の徹底を図る。
- ・保護者、地域、小学校、関係機関等と緊密な連携を図り、生徒の健全な育成に努める。
- ・日常の諸活動を通して、表現力を高め、人間関係を築く基盤を広げる。

イ. 進路指導

- ・一人一人の生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と態度を育てる。生徒進路の選択に当たっては、生徒の能力・適性・希望等に基づいて適切に助言・援助を行う。
- ・3年間を見通した全体計画に基づき、組織的・計画的・継続的な指導を行う。
- ・学級活動における進路指導の時間を確保し、充実させる。
- ・職場訪問・職業調べ・留学生の話聞く会・上級学校調べ・卒業生の話聞く会・高校の先生の話聞く会等体験的な学習を通して、生きた進路情報を習得させ、適切な進路選択能力を育てる。

6. 本年度の研究主題

活力のある学校を目指して ―主体的に活動し、表現する生徒の育成―

- ・ 生徒の活動場面を増やし、活気のある授業を実践するための指導法の工夫。
- ・ 指導内容の精選と教科の連携。
- ・ 生徒活動の活性化の充実化。

7. 本校の特色

学校の教育目標を具現化するため、サンフラワー一中を合い言葉に、落ち着きと潤いのある学校づくりに全教職員で取り組む。

- ・ 学ぶ喜びを体得させ、考える力を育てる（サンフラワー学習）
- ・ 生徒に逞しく生きる力を育てる（サンフラワー連帯）
- ・ 豊かな心と健康な身体を育てる（サンフラワー心と体）
- ・ 美しく落ち着いた学習環境をつくる（サンフラワー環境）

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員
1	松 澤 茂 久（59. 特 別 活 動）	嘉 陽 義 明（62. 保 体）
2	嘉 陽 義 明（59. 保 体）	鶴 川 節 子（4. 家 庭）
3	迫 丸 英 明（60. 数 学）	迫 丸 英 明（6. 教 育 問 題）
4	岸 隆 男（63. 国 語）	井 原 千 恵 子（9. 東 京 の 教 育）
5	横 溝 雅 之（2. 保 体）	
6	沢 田 陽 子（5. 英 語）	
7	菅 野 武（5. 保 体）	
8	瀬 沼 徹（5. 社 会）	
9	馬 場 誠（7. 特 別 活 動）	



学 校 名 日野市立日野第二中学校
所 在 地 日野市多摩平4-5-2
電 話 042-581-0056・0262
順 路 中央線豊田駅下車 北へ徒歩10分
生 徒 数 男245名 女220名 計465名

校長氏名 日 食 和 雄

教頭氏名 岡 部 秀 敏

1. 沿革の概要

昭29年度 設立認可、開校式、入学式（生徒202名）
昭30年度 第二期工事八教室増築落成
昭31年度 第三期工事竣工落成
昭32年度 第1回卒業式（卒業生204名）
昭33年度 校旗・校歌制定
昭34年度 産業教育研究校に指定される
昭35年度 特別教室（工作、調理、理科）竣工落成
昭36年度 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会、修学旅行 研究発表会
昭37年度 プール竣工落成
昭38年度 保健体育研究発表会
昭39年度 普通教室3教室竣工、創立10周年記念式典挙行
昭40年度 体育館竣工
昭41年度 防音校舎第一期工事完成（6教室）
昭42年度 防音校舎第二期工事完成（18教室）、プール用更衣室工事完成
昭43年度 南校舎前、境栽花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
昭48年度 創立20周年記念式典挙行
昭49年度 南校舎3階塗装。技術科教室及同準備室改造整備。中庭・他整備
昭50年度 南校舎6教室増設、南校舎2階塗装
昭51年度 理科室、家庭科調理室、机、床整備
昭52年度 体育館照明工事、暗幕完成
校舎電気配線整備
昭55年度 第二技術室の新設
昭56年度 北校舎内部塗装工事、校長室・事務室の床張替え工事
昭57年度 南校舎窓枠改修工事。プールサイド改修工事。体育館床塗装工事
昭59年度 創立30周年記念式典挙行
昭61年度 給食棟建設工事完成
昭62年度 給食始まる
南校舎内部塗装工事
昭63年度 南校舎内部塗装工事
体育館西側舗装工事
健全育成相談室設置
平元年度 南校舎二階廊下改修塗装
青桐祭（文化の部）市民会館で挙行
平2年度 体育館改修
被服室、理科室の床改修
平3年度 コンピューター室新設

平4年度 南校舎一階廊下天井改修
北校舎階段張替え工事
北校舎二階トイレ改修
平5年度 南校舎二階教室天井改修
南校舎昇降口1,2階戸改修
北校舎廊下手すり新設（第二音楽室）
平6年度 創立40周年記念式典挙行
南校舎一階教室天井改修
金工室前廊下天井改修
南校舎二階トイレ改修
平7年度 南校舎三階教室天井改修
平8年度 北校舎三階廊下手すり新設
校庭南側防球フェンス設置
平9年度 南校舎教室ドア改修工事

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
橋 本 貴 一	昭29. 3 ～ 昭30. 9
増 山 恒	昭30. 10 ～ 昭41. 3
飯 田 栄 一	昭41. 4 ～ 昭46. 3
河 村 俊 一 郎	昭46. 4 ～ 昭48. 3
飯 田 卯 吉	昭48. 4 ～ 昭51. 3
小 林 政 之 助	昭51. 4 ～ 昭55. 3
渡 辺 吉 彦	昭55. 4 ～ 昭59. 3
小 林 節 夫	昭59. 4 ～ 昭63. 3
大 野 隆 久	昭63. 4 ～ 平6. 3
日 食 和 雄	平6. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に、日野五社を中心としたサラリーマンの住宅地として発展したベッドタウンの中央に位置している。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、民主的な社会の形成者として、たくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健康なからだと自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い、奉仕の態度を育てる。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

自ら学習に励む人になろう 思いやりの心で他に尽す人になろう 進んで心身を鍛える人になろう
--

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

年間指導計画を基に、指導内容の充実・精選及び、指導方法の工夫改善につとめ、基礎基本の充実を図り、ゆとりある学習を通して自主学習を促進し内発的意欲、主体的学習態度の育成を図る。

また、指導方法の改善のひとつとして、理科においてチームティーチング、音楽において複数学級の合同授業を実施し、授業の効果を高める。

イ 道徳

日常の教育活動全体を通して、組織的・計画的に内容の重点化を図り、学校生活全般において自主的判断のもと、責任ある行動がとれる豊かな道徳性の育成に努める。

また、人権尊重教育の立場から学校の教育活動全体を通して、

- ① 互いに認め合い、励まし合う態度を育む。
- ② 『人の命の尊さ』を学ばせる場面や道徳的立場から「自分の生き方」について考えさせる場面を設定する。
- ③ 偏見や差別の根絶に努める。

効果を高める指導法として学年合同の授業を設定する。

ウ 特別活動

学年・学級の諸活動を基盤に、生徒会活動など集団活動を通して、自主性・協調性・奉仕性等を養う。

特に、生徒会活動においては環境教育の一環として、リサイクル運動を進展させ、よりよい環境の創造活動に主体的に参加させる。

行事や諸活動を充実させ、活発な活動を促進することによって生徒自身の参加の意欲を高め、他との関わりについて学ぶ場を設定し、主体性・協調性・創造性の伸展を図る。

小集団を基に学級・学年・生徒会の活動の中で、個々の自発性を促し、生徒集団の質を高める。

(2) その他の活動

部活動の内容の充実を図ることによって、生徒の活動意欲を促進し、豊かな人間関係を作り、学校生活の活性化を図る。

地域に根ざした学校教育を推進し、地域活動に参加させ、生徒が地域の自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情を育む。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

教師と生徒、生徒相互の人間関係を深めることによって、基本的生活習慣を身につけさせ、自ら正しく判断し、実践していく能力を養う。

問題行動の指導は、共通理解に基づき一致した指導を継続・徹底するとともに、ゆとりを持って自己教育力、自ら正す力の育成を図る。

上記の目的を達成させる手段として、教育相談を進め、生徒一人一人を理解することによって、指導・助言を行う。

イ 進路指導

教師・生徒・保護者の交流を促進し、発達段階に応じた指導をすすめる、自己の個性や適性の伸長を図り、正しい職業観を育成し自らの進路を選択できる能力を高める。

進路学習として次のことを学級活動時に行う。

第1学年……『自己を知る』『職業調べと生き方』

第2学年……『職業を考える』『学ぶための制度と機会を知る』

第3学年……『将来の生き方』『進路選択・決定』

6. 本年度の研究主題

生徒指導「生活指導（生徒理解を深める）」

7. 本校の特色

日野市最大の多摩平第1公園に接し多摩平団地のほぼ中央に位置し、けやき、白かし、くぬぎ、こなら、赤松、ゆりの木等々の木々に囲まれ、自然環境は良好である。広い校庭は桜に囲まれ、体育系のクラブ活動は活発で優秀な成績を上げている。都の愛鳥モデル校にも指定されており、情操面の高揚も見られる。青桐祭（体育祭・文化祭）も16年目を迎え定着してきた。年2回実施される生徒会主催の球技大会、合唱祭は、学級のまとまりを強めるとともに、生徒の自主性を育てている。特に青桐祭を通して生徒の誇りと二中の特性の育成に努める。

8. その他（教職員の研究歴）

No. \ 内訳	研 究 員	開 発 委 員
1	日 食 和 雄（55. 保健体育）	日 食 和 雄（58. 保健体育）
2	岡 部 秀 敏（58. へき地 2. 数学）	秋 庭 英 子（7. 家庭）



学 校 名 日野市立七生中学校
所 在 地 日野市南平 6 - 7 - 1
電 話 042-591-0174・0175 FAX042-591-0178
順 路 南平駅（京王線）下車徒歩 8 分
豊田駅（J R）下車徒歩 18 分
生 徒 数 男 195(3) 女 197(1) 計 392(4)
() 内は心障・相談学級の生徒数

校長氏名 岩 浪 真

教頭氏名 正 留 久 巳

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場
庁舎内に設置
5. 15 七生村役場を仮校舎として開校式举行
2部授業で発足
昭23. 2. 15 七生村南平1994番地に七生中学校敷地
決定、地鎮祭を举行
9. 4 新校舎完成、当日より授業開始
昭32. 12. 1 P T A 結成第 1 回総会を举行
創立10周年の記念式典及び校歌制定の
発表を举行
昭33. 2. 1 日野町立七生中学校と校名変更
昭37. 7. 31 プール開きを举行
昭37. ~39. 鉄筋 3 階 3 教室・6 教室完成
昭41. 7. 1 体育館落成
昭42. 11. 3 創立20周年記念式典举行
昭45. 3. 31 鉄筋防音校舎 9 教室完成
4 ~ 9 七生中学校に三中分校設置
昭46. 3. 31 第二期防音鉄筋校舎完成
8. 24 プール浄化装置・更衣室完成
昭47. 3. 20 観察用水槽完成
5. 22 訪問学級開級式
昭50. 5. 22 南校舎西側（4 階）増築工事完成 訪
問学級教室完成
7. 1 地番変更日野市南平 6 - 7 - 1
昭52. 11. 3 創立30周年を祝う会举行
昭54. 9. 30 校庭、運動場改修工事完了
昭57. 3. 31 社教による夜間照明工事完了
昭58. 4. 1 心障学級開設（2 教室改造）
5. 心障特別教室完成
昭59. 5. 校庭南フェンス改修（歩道完成）
8. 全教室窓枠アルミサッシに交換・外装
吹付け工事实施
昭60. 3. 廊下塗装工事实施
5. 給食棟（厨房・食堂）完成
昭61. 3. 校庭南フェンス（高）延長
昭62. 9. 12 創立40周年記念式典・祝賀会を举行
平 2. 3. 訪問学級を閉鎖
4. 相談（情障）学級を開級
平 3. 10. 体育館を改修
平 4. 3. コンピュータールーム工事完了
平 9. 11. 8 創立50周年記念式典祝賀会を举行

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
飯 塚 節 三	昭22.4 ~ 昭25.9
増 山 恒	昭25.10 ~ 昭30.10
飯 島 一 吉	昭30.10 ~ 昭37.3
木 村 巧	昭37.4 ~ 昭40.3
芳 西 幸 三	昭40.4 ~ 昭44.3
羽 崎 一 男	昭44.4 ~ 昭47.3
高 橋 太 一	昭47.4 ~ 昭51.3
吉 岡 孝 二 郎	昭51.4 ~ 昭55.3
山 本 保	昭55.4 ~ 昭61.3
川 崎 昭 三	昭61.4 ~ 平元.3
村 田 志 信	平元.4 ~ 平 4.3
名 塚 三 雄	平 4.4 ~ 平 8.3
岩 浪 真	平 8.4 ~ 現在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩 8 分、中央線豊田駅より南へ 18 分、浅川に沿う静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、自然環境に恵まれている。

学区近くには、高幡不動、また多摩動物公園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校は法令に定められた教育の目的・目標の達成をめざし、又、生徒・学校及び地域の実態に即して次のとおり教育目標を定める。

自主・敬愛・勤勉・責任・健康

- ・自ら学び、考え、行動しよう。
- ・責任と思いやりの心を持とう。
- ・健全な心と身体を作ろう。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ・教育活動全てにわたり人権尊重の精神を培い、生徒の個性を伸らし、心豊かでたくましく生きる生徒を育てる。
- ・基礎的・基本的な内容を身に付けるために各教科および学年間の連携を密にして、組織的・計画的な研究を日常的に進める。

- ・心身障害学級との積極的な交流を図ることを通して、障害児に対する理解を深め、互いに認め合い、支え合い、励まし合う態度を育てる。
- ・学区小学校、諸機関との連携を深め、生徒の健全育成に勤めるとともに、学校5日制に伴い、地域の人々や文化と触れ合う機会を通して、地域との連帯感、地域への帰属意識を培い、地域に開かれた学校教育を進める。
- ・生命を尊び、健康で明るく活力のある学校生活を送ることをめざして、自ら進んで健康の保持・増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる。
- ・自主性と創造性に富む集団の育成を目指して、生徒会活動や学級での話し合い活動を積極的に推進する。
- ・教科・学級での指導を通して、自国の文化や伝統に対する理解を深め、国際的な視野にたって行動できる生徒を育てる。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・指導内容・方法・評価の改善を通して、基礎的・基本的事項の指導を徹底し、生徒一人一人の個性の伸長を図るとともに、主体的に学ぶ意欲の向上を図る。
- ・社会…自ら学ぶ能力の育成を図り、国際社会の形成者として基礎を養う作業的学習を重視するため、3年生を週3時間とする。
- ・理科…ティーム・ティーチング授業を導入し、主体的に学習する態度を身につけ創造性を培う。また、実験・観察をより多く取り入れるため3年生を週4時間とする。
- ・音楽…特に鑑賞分野での視聴覚教材の活用などにより指導を徹底させ、豊かな情操を育てるため、2年生を週2時間とする。
- ・美術…作業的学習の充実、視聴覚教材を活用による鑑賞能力の向上を図り、より豊かな情操を高めるため、2年生を週2時間とする。
- ・技術・家庭…情報基礎をより深く学習させ、基礎的な知識の習得と、進んで創意工夫する態度を育てるため、3年生を週3時間とする。
- ・外国語（英語）…1. 2年生については、基礎学習の充実と外国事情についての理解を深めるため、週4時間とする。3年生については、さらにコミュニケーション能力を高めるため、週4時間とする。また、AETを導入し、ティームティーチングにより個に応じた指導の充実を図る。

イ. 道徳

- ・全教育活動を通して、道徳的心情を豊かにし自己をたえず向上させるような生き方を学ばせる。
- ・教師と生徒の人格的交流を深めながら、道徳的判断力を培い、道徳的实践力を高める。

ウ. 特別活動

- ・望ましい集団活動ができる場を充実させ、自己を生かし、能力が発揮できるよう指導に努める。
- ・生徒の自発的な活動を助長し、自主的実践的な態度を育成する。
- ・生徒が主体的に取り組む体験的な行事を行うことを通して、達成感・成就感を味わえるよう指導に努める。

(2) その他の活動

- ・生徒理解を深めるための教育相談を充実し、生徒一人一人の内面を捉えることを通して、生活意欲の向上に努める。
- ・体力の向上および健康の保持増進の指導を充実し、生涯体育の基礎作りを推進する。
- ・小学校、育成会との連携を通して、地域に開かれた学校教育を推進する。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・教師と生徒の心の触れ合いを指導の基本に据え、生徒理解を深め信頼関係を確立する。
- ・人間尊重を最重点におき、いじめ、暴力等のない「安心して学べる学校」をつくる。
- ・学校週5日制を活用して学校外生活の充実を図り、あわせて社会規範を守る態度が育つよう指導に努める。

イ. 進路指導

- ・生徒が将来にわたる生き方を考え、自己実現を図る能力と態度を身につけられるよう全校的な指導体制の充実を図る。
- ・情報収集やその活用および見学等の体験的な学習を通して、生徒が主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観、職業観を身に付けることができるよう指導の充実を努める。

6. 本年度の研究主題

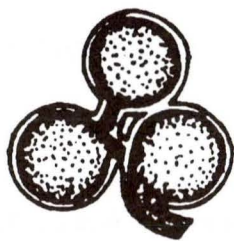
「生き生きした学校・学級づくり」

7. 本校の特色

- 生徒は明るく素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も伝統と新しさをうまく調和して意欲的に活動している。親父会の活動も活発である。
- 研修会や授業研究等を通して、基礎学力の定着、授業の充実を図っている。
- 生徒会活動が盛んで、新入生を迎える会、三年生を送る会等の行事が、活発に行われている。
- 地区育成会や小学校とも連携して、開かれた学校づくりに努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開発委員・東京の教育21	そ の 他
1	岩 浪 真（51. 美術）	岩 浪 真（54. 美術）	菊地 雅彦（4. 研究生 相談）
2	正 留 久巳（6. 教課）	正 留 久巳（62. 美術）	
3	三 島 雅 裕（8. 美術）		



学 校 名 日野市立日野第三中学校
所 在 地 日野市程久保650
電 話 042-591-2228・2229 FAX042-591-2221
順 路 京王線高幡不動駅下車 百草団地行バスで
高幡台団地下車 徒歩7分
生 徒 数 男249名 女270名 計519名

校長氏名 福 島 良 樹

教頭氏名 片 倉 俊 秀

1. 沿革の概要

- 昭45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三中分校として、七生中学校内で授業開始 生徒数26名、教職員数12名
10. 1 日野市立日野第三中学校開校、七生中学校内で授業 生徒数44名、教職員数14名、百草、高幡の両団地を学区にする
- 昭46. 3. 27 校舎新築工事竣工
4. 1 学区変更、程久保地域の全部 三沢地区上、中を加える
7. 1 学区変更、西部百草団地を加える
10. 2 開校式を挙行 10月2日を開校記念日とする 校章・校歌を発表
- 昭48. 1. 31 体育館工事竣工
- 昭50. 4. 1 第二期校舎増築竣工
- 昭54. 4. 2 第三期校舎増築竣工
- 昭55. 10. 5 創立10周年記念式典
- 昭59. 4. 1 学区変更、西部百草園住宅および日本信販西部百草園住宅地域を除外、三沢中学校区に移す
9. 1 第四期特別教室増築竣工 プール管理棟竣工
- 昭62. 3. 31 プール改修工事竣工
- 平元. 8. 31 集中コントロールガス暖房工事竣工
- 平2. 6. 22 クラブハウス竣工
6. 26 校庭夜間照明施設竣工
8. 13 給食棟竣工
9. 28 給食開始
11. 17 創立20周年記念式典
- 平4. 5. 20 校庭改修工事着工
7. 27 体育館改修工事着工
10. 3 校庭改修工事完了
10. 20 体育館改修工事完了
- 平5. 4. 26 パソコン教室工事完了
- 平8. 3. 18 教育相談室工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
橋 本 敏 一	昭45.9 ～ 昭48.3
松 延 耕 作	昭48.4 ～ 昭53.3
田 中 弘 明	昭53.4 ～ 昭56.3
長 岡 宗 次	昭56.4 ～ 昭59.3
千 葉 廣 志	昭59.4 ～ 昭63.3
清 水 春 海	昭63.4 ～ 平3.3
高 木 宏 文	平3.4 ～ 平6.3
福 島 良 樹	平6.4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校は日野市南部の多摩丘陵地帯にある。学区は住宅公団の高幡・百草の両団地、民間分譲の三井、電建の諸団地及び在来の程久保、三沢の両地区を含んだ地域である。

屋上からは眼下に浅川が流れ、その北に起伏に富み緑豊かな武蔵野台地を一望することができ、西方遙か富士の秀峰も眺められる。学区内には都立多摩動物公園、明星大学があり、付近には百草園、東電学園、帝京大学、中央大学などがあって文教地区を形成している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

- 人権尊重の精神を基調に、国際社会に活躍できる心身共に健やかな人間を育成するため、次の目標を定める。

『自ら正しく判断し、責任を持って実行する人となる』

○自ら学び、考え工夫する人

○自然や人々を大切にすること

○自ら心身を鍛えやりぬく人

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 人権尊重の精神に基づいた教育活動を推進する。
知徳体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成のため、教育目標を具現化した学年・学級の目標を設定し、具現に向け、学年・学級の経営の充実を図り推進する。
- 基礎・基本を習得させ、生徒の個を捉え、自己教育力を伸長させる。生徒理解に根ざした指導を

基本に教育活動を推進し、意欲的な生徒の活動を展開させる。また学校五日制に対応し、指導法の工夫改善を進める。

- ③ 生徒と教師の信頼関係に立った教育活動を推進する。一人一人の生徒のもつ良さに注目し、それを培い伸ばす。自らの意見を持ち、考え実行することのできる生徒を育成する。
- ④ 健康、安全教育を推進し、自己の健康と体力の向上に努める資質を養い、自他共に尊重し、慈しむ心を育てる。
- ⑤ 保護者、地域に信頼され期待される学校づくりのために、開かれた学校を推進する。保護者、地域と一体となり生徒の健全育成をすすめ、地域社会の一員としての意識を高める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

『生徒一人一人を大切にしたい指導を基とし、主体的な活動を展開できる生徒の育成を図る。』

ア. 各教科

- ① 基礎・基本を重視し、わかる授業を展開し、生徒自ら学ぶ意欲を培い、自主的な学習態度を身につけさせる。生徒理解に基づいた指導の充実を図り、生徒一人一人の個性を捉え、個に応じた指導を推進する。
- ② 生徒に、よりわかりやすい授業を展開するために、T・TやAETの指導の工夫と改善を進め、また視聴覚機器などを活用することにより一層の充実を図る。
- ③ 生徒が意欲的に学習に取り組めるように、指導と評価のあり方を工夫・改善する。

イ. 道徳

- ① 他領域との関連を図りながら豊かな心を育てる。教育活動全体を通して思いやりと協調性を養い、道徳的実践力を高め、温かい人間関係を育む。
- ② 生命を尊び、自他の人権を尊重し集団の一員としての自覚を高める。

ウ. 特別活動

- ① 生徒の自主的活動、体験的活動を重視し、生徒会活動の充実を図る。
- ② 学校行事においては、その目的を理解させ一人一人が自主的に責任をもった行動をとり、連帯感に富んだ人間関係の確立を目指す。
- ③ 地域の中での交流を通して、理解教育を推進し、障害のある人への理解を深め、共に生きる心を培う。

(2) その他の活動

- ① 活動全体を通し、積極的に生徒との交流を心がけ、教師と生徒及び生徒相互の間の望ましい人間関係を作る。
- ② 地域の小学校・養護学校との交流を図り、相互理解を深めるため、新入生を対象にオリエンテーションを実施する。また、養護学校等との交流では、合唱祭への招待、夏祭りへの参加を積極的に行う。
- ③ 落ち着きと潤いのある学校生活を送らせるために、清掃美化指導の徹底を図る。あわせて、地域環境美化につとめ、リサイクルボックスの利用・空き缶の回収などを行う。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ① 自ら正しく判断することを基本に、自主的に行動できる生徒の育成を図る。具体的には、
 - 1. 『時間のけじめをつけさせる』
 - 2. 『身の回りの持ち物を考えさせる』
 - 3. 『リーダーの育成を図る』の3つを重点として指導する。
- ② 教育相談を充実させ、生徒理解を深め、生徒一人一人の内面をとらえた指導をする。
- ③ 生徒個々に対する指導は、生徒指導部・各学年などを通して全教職員の共通理解をはかり、一致した指導の徹底を行う。
- ④ 家庭との連絡を密にし、指導の充実をはかる。

イ. 進路指導

- ① 3年間にわたった系統的な進路指導計画を立て、社会に一員としての自覚を養う。
- ② 自己理解を深め、自らの進路を切り開き、生きる力を培う。
- ③ 教師と生徒、保護者との面談を実施するなどの緊密な交流を図り、進路情報を有効に活用し、適切な進路選択ができるようにする。

6. 本年度の研究課題

ア. 主題「生徒理解を深めるための工夫」（3年目）

イ. 研究内容

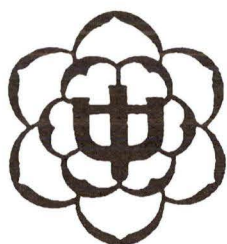
- ① 生徒一人一人が生き生きとできる学級活動の工夫
- ② 教育相談（カウンセリング）の手法を学ぶ
- ③ 教育相談の手法を生かした面談のあり方と実際

7. 本校の特色

- 本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができ、自然環境に恵まれている。
- 開校28年目で、学級数は14、学区域の小学校は、潤徳小、百草台小、高幡台小、程久保小の4校がある。
- 開校以来、「自ら判断し、責任を持って実行する人となる」の教育目標の具現化をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成に努めている。
- 気持ちよく学習できる環境を整えるため、教室美化、掲示指導に力を注いでいる。月一回、美化デーを設定し、清掃活動の徹底に努めている。
- 学校、地域環境美化と省資源・省エネルギーのためリサイクルボックス利用、空き缶回収などの活動を生徒会を中心に取り組んでいる。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	そ の 他
1	福 島 良 樹（52. 理）	福 島 良 樹（57. 教課）	福 島 良 樹（61研究生、理科）
2	片 倉 俊 秀（62. 道）	磯 部 博 子（6. 国語）	永 井 義 治（元 杉並 済美研理）
3	吉 田 俊 明（元. 教課）	吉 田 俊 明（9. ボランティア）	
4	井 上 義 孝（5. 技術）		
5	岩 崎 弘 晃（9. 社会）		
6	御 木 聖 子（9. 英語）		



学 校 名 日野市立日野第四中学校
所 在 地 日野市旭が丘 2 - 42
電 話 042-583-3905・3906 FAX 042-583-3915
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩17分
バス（平山工業団地循環 旭が丘中央公園下車 5 分）
生 徒 数 男309名 女283名 計592名 16学級

校長氏名 松 原 勇

教頭氏名 阿 部 信一郎

1. 沿革の概要

- 昭47. 5. 10 市教委に四中設立委員会設置
8. 21 校舎起工式（工事費19億円施工 小田急建設）
12. 7 学区決定
昭48. 1. 18 屋内体育館着工
3. 26 都教委・第四中学校設立を認可
4. 1 初代校長 河村俊一郎
以下 教員24名発令・開校
7. 2 屋内体育館完成 使用開始
（工費約4,600万円 施工 小田急建設）
7. 18 本校シンボル「泰山木」決定
8. 7 プール完成（工費2,700万円）
10. 13 校歌作詞完成
10. 16 校章決定、教育目標設定
11. 10 校歌作曲完成（寺原伸夫氏）
11. 16 校旗完成
11. 17 落成式挙行
11. 22 第一回開校記念日
昭49. 2. 2 標準服制定
5. 30 保健室 冷房装置取り付け
7. 1 増築工事開始
7. 3 保健室 空気清浄装置取り付け
9. 6 駐車場舗装（体育館西側）
昭50. 1. 8 体育倉庫、砂場完成
3. 8 増築部完成 校舎 3 スパン
機械室（工費約1億6千万円
施工 小田急建設）
4. 26 テニスコート完成
校庭の校舎側にU字溝設置
昭51. 1. 16 図書館開館
昭52. 4. 1 二代校長 山口幸雄 着任
9. 13 第三期工事開始（工費9,500万円 施工 小田急建設、年度末完成）
昭53. 3. 28 校庭に防球フェンス設置
昭54. 5. 15 校庭東側に防球フェンス設置
6. 26 校庭南側に防球フェンス設置
昭56. 4. 1 三代校長 花牟礼哲 着任
昭58. 4. 10 学校警備、機械化となる
11. 21 創立10周年記念式典挙行
校歌碑建立・除幕
昭60. 4. 1 四代校長 立川泰司 着任
昭62. 1. 17 給食棟建設工事着工

9. 30 給食棟及びテニスコート（全天候型に）
改修

- 昭63. 4. 1 五代校長 桑原和正 着任
5. 16 給食開始
平2. 8. 18 西側校舎外壁塗装
平3. 7. 21 東側校舎外壁塗装
平4. 4. 1 六代校長 高橋和子 着任
平5. 10. 30 体育館改修工事終了
11. 5 開校20周年記念式典挙行
平6. 9. 10 相談室完成
平7. 2. 7 健全育成研究発表会
4. 1 七代校長 松原 勇 着任

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
河 村 俊 一 郎	昭48.4 ～ 昭52.3
山 口 幸 雄	昭52.4 ～ 昭56.3
花 牟 礼 哲	昭56.4 ～ 昭60.3
立 川 泰 司	昭60.4 ～ 昭63.3
桑 原 和 正	昭63.4 ～ 平3.3
高 橋 和 子	平4.4 ～ 平7.3
松 原 勇	平7.4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的に北半分は洪積台地（日野台）、南半分は浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2～3段の段丘状になっており、その境界は高低差10～20mの急崖になっている。

戦後にここにも都市化の波が押し寄せ、昭和33年多摩平団地入居をきっかけに、人口は急増しはじめた。平山工業団地・JR豊田電車区、多数の住宅、アパートなど、畑や雑木林が宅地化され、学区内の様相はいちじるしく変化しした。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

平和で民主的な国家社会の形成者として世界にひらかれた個性豊かな生徒の育成をめざし、つぎの目標をさだめます。

- 一、よく考え、自ら学ぶ人
- 一、心身を鍛え、やりぬく人
- 一、他を思いやり、責任ある行動をとる人

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

人権尊重の精神のもとに、一人一人の生徒を大切にすることを推進する。

そのため、授業をはじめあらゆる場で生徒理解と生徒を認め、励ます指導に努める。さらに、望ましい人間関係を育てる基盤である学級経営の充実、心豊かな生徒を育てるための道徳教育の充実、個を生かす教育の充実、基礎・基本の徹底と意欲を高めるための指導法の改善に努める。

1. 各教科・領域及び学年の指導目標を学校教育目標との関連において明確にし、全教職員の共通理解のもとに指導にあたる。
2. 生徒の自主的活動を重視した行事、および学年・学級経営の充実をめざし、研修・実戦に努める。
3. 基礎的・基本的な内容を重視し、個に応じた指導に努めるため、上限下限の時数を示された教科については、3年保健体育を除き上限の時数とする。
4. 生徒理解を深めるため、学校裁量の時間を計画的に運用し日常的な教育相談活動の充実を図る。
5. 学ぶにふさわしい教育環境の整備、美化に努め、あわせて地域の自然や文化を大切にする態度を育成する。
6. 地域・家庭との連携を密にし、PTAの理解と協力を得て、教育目標の達成を図る。
7. 教師としての力量を高めるため、研修の充実・指導資料の収集・活用を図る。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

1. 生徒一人一人を生かす指導につとめ、自ら進んで学びとる学習態度を育成する。
2. 教材等の精選につとめ、基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、生徒一人一人の能力の伸長に努める。
3. 音楽科の指導をチームティーチングにより充実させ、学校全体の情操教育の向上に役立てる。

イ. 道徳

1. お互いの人権を尊重し、思いやりの心を養う。
2. 自然や文化、ものを大切にする心を養う。
3. よく考えて行動し、責任を持って着実にやりぬく強い意志を養う。
4. 各学年の発達段階に応じて、生き方・在り方などの指導を充実し、よりよい生き方を考えさせる。

ウ. 特別活動

1. 学級経営の充実を目指し、教師と生徒、生徒の相互の心のふれ合いを深める。
2. 生徒自身が自己の役割や責任の自覚を深め、集団の一員としてよりよい集団生活を送れるよう社会性を育む。
3. 諸活動を通して、生徒の能力や個性を的確にとらえ、個を生かす場の設定と伸長に努める。
4. 学級活動と生徒会活動との関連を深めて、生徒の主体的な活動を充実する。
5. 生徒会活動や学級活動の充実を図り、生徒一人一人が満足感・充実感を得られる行事にするように努める。
6. クラブ活動は、部活動によって代替し、年間の計画のもとに実施する。

(2) その他の活動

充実した中学校生活を送らせるために

1. 学校行事への取り組みを通して、自主的体験的活動を重視する。
2. 生徒一人一人の学習や生活の悩みを解決するため、学校裁量時間に四中タイムを毎月ごとに設定するなどして、教育相談活動を充実し、生徒理解を深める。
3. 八王子東養護学校をはじめ近隣の福祉施設との交流を進め、生徒の体験を重視して、共に生きる態度を養う。
4. 東京都、ボランティア活動協力校の指定を受け実践する。

(3) 生活指導、進路指導

ア. 生活指導

1. 授業をはじめ、あらゆる場面に努める。
2. 一人一人の生徒理解を土台として、個性を認め、励ます指導を基本とする。
3. 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、家庭・地域との連携を密にし、生徒の健全育成に努める。
4. 身近な環境の清掃活動や整備に努めさせ、ものや自然を大切にする心と勤労意欲を向上させる。
3. 心身の健康安全に対する指導の充実を図り、事故防止に努めさせる。
4. 学級活動や学校行事などを通して、集団生活の中での個の役割を理解させ、主体的に責任を果たす態度を養う。
5. 一人一人の生徒の理解を深めるため、教育相談活動を充実する。
6. 生徒による全校集会・学年集会などの企画運営を通して、集団としての資質を向上させる。

イ. 進路指導

1. 3年間の系統的な指導で自己理解を図り、生徒一人一人が将来の進路を主体的に選択する能力と態度を育成する。
2. 各教科の学習活動を通して人間の生き方・在り方に触れる指導の工夫をする。

3. 図書資料等の情報を有効に活用し、主体的に進路を選択する能力の育成を図る。

6. 本年度の研究主題

「豊かな人間形成を目指した指導のあり方」

7. 本校の特色

- (1) 教育活動……各領域の調和を保ちながら、明るく活力ある校風を育てる。
- (2) 健全育成の推進……東京都健全育成推進校として健全育成の推進に努めた。
- (3) 父母との連携……学級・学年父母会・地域懇談会などにより、共通理解をふかめ連携を図る。
- (4) 美化・緑化の推進……清掃のゆきとどいた校舎内外の環境美化に努める。
- (5) 体験学習の推進……
 - ・八王子東養護学校や光の家との触合いマラソン等の交流を通して、共に生きる豊かな心を育てる。

8. その他（教職員の研修歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生 等
1	松原 勇 （37 保健体育）		市川 尚春（6. 中央研修）
2	阿部信一郎 （8 学校給食）		石川 晴一（9. 海外派遣）
3	斉藤 道 （6 特別活動）		
4	石川 晴一 （7 道 徳）		
5	朝島美恵子 （3 技術家庭）		



学 校 名 日野市立三沢中学校
所 在 地 日野市三沢 1-17-4
電 話 042-592-5017・5018
順 路 京王線百草園駅より西へ徒歩10分
高幡不動駅より東へ徒歩12分
生 徒 数 男296名 女264名 計560名

校長氏名 熊 沢 直 孝

教頭氏名 沖 山 治

1. 沿革の概要

昭51. 9. 18 仮称五中学校校舎起工式
昭52. 2. 1 初代校長 古川 豊 発令
4. 1 日野市立三沢中学校開校 教頭以下教職員22名発令
4. 6 始業式（2年156名、3年147名）
4. 7 第1回入学式（1年188名、全校生徒491名）
9. 16 第1回開校記念日
昭53. 3. 22 第1回卒業式（男80名 女66名）
4. 7 第2回入学式（男109名 女85名）
昭54. 3. 19 第2回卒業式（男75名 女88名）
4. 7 第3回入学式（男111名 女91名）
昭55. 3. 18 第3回卒業式（男93名 女91名）
4. 8 第4回入学式（男107名 女105名）
昭56. 3. 20 第4回卒業式（男105名 女86名）
4. 6 第5回入学式（男131名 女94名）
昭57. 3. 19 第5回卒業式（男108名 女95名）
4. 1 二代校長 降旗経雄発令
4. 7 第6回入学式（男137名 女108名）
昭58. 3. 19 第6回卒業式（男110名 女108名）
4. 7 第7回入学式（男107名 女122名）
18学級 教職員35名
昭59. 3. 19 第7回卒業式（男130名 女95名）
4. 1 校舎増築、給食室完成
4. 7 第8回入学式（男174名 女161名）
昭60. 3. 19 第8回卒業式（男136名 女102名）
3. 31 西側第二グラウンド完成
4. 8 第9回入学式（男171名 女153名）
昭61. 3. 20 第9回卒業式（男110名 女119名）
3. 31 前庭、中庭緑化完成
4. 8 第10回入学式（男169名 女170名）
24学級 教職員55名
昭62. 3. 20 第10回卒業式（男174名 女169名）
4. 1 三代校長 綿引正己発令
4. 7 第11回入学式（男173名 女142名）
23学級 教職員55名
11. 7 創立10周年記念式典
昭63. 3. 18 第11回卒業式（男175名 女164名）
4. 7 第12回入学式（男142名 女129名）
23学級 教職員56名
平元. 3. 20 第12回卒業式（男170名 女168名）
4. 7 第13回入学式（男132名 女97名）
21学級 教職員50名
平2. 3. 20 第13回卒業式（男173名 女142名）

4. 1 四代校長 阿部忠志発令
4. 7 第14回入学式（男129名 女111名）
18学級 教職員44名
平3. 3. 20 第14回卒業式（男142名 女123名）
4. 8 第15回入学式（男96名 女103名）
17学級 教職員42名
平4. 3. 19 第15回卒業式（男133名 女99名）
4. 7 第16回入学式（男108名 女86名）
18学級 教職員 42名
平5. 3. 19 第16回卒業式（男136名 女111名）
4. 1 五代校長 山崎 妙子発令
4. 7 第17回入学式（男86名 女101名）
15学級 教職員 40名
平6. 3. 19 第17回卒業式（男97名 女106名）
4. 7 第18回入学式（男80名 女78名）
14学級 教職員38名
平7. 3. 20 第18回卒業式（男107名 女87名）
4. 7 第19回入学式（男100名 女98名）
14学級 教職員38名
11. 8 文部省生徒指導総合推進校研究発表会
平8. 3. 21 第19回卒業式（男88名 女103名）
4. 8 第20回入学式（男84名 女82名）
16学級 教職員40名
9. 1 食堂空調設備完
平9. 3. 4 日野市団体研究奨励「学校における教育相談のシステム確立」研究発表会
3. 19 第20回卒業式（男78名 女84名）
4. 8 第21回入学式（男93名 女81名）
16学級 教職員39名
10. 25 創立20周年記念式典
平10. 3. 19 第21回卒業式（男107名 女99名）
3. 25 1・2階身障トイレ設置のための改修工事修了
4. 1 六代校長熊沢直孝発令
4. 7 第22回入学式（男104名 女91名）
15学級 教職員38名

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
古 川 豊	昭52. 2 ～ 昭57. 3
降 旗 経 雄	昭57. 4 ～ 昭62. 3
綿 引 正 己	昭62. 4 ～ 平2. 3
阿 部 忠 志	平2. 4 ～ 平5. 3
山 崎 妙 子	平5. 4 ～ 平10. 3
熊 沢 直 孝	平10. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校は京王線の高幡不動駅と百草園駅のはば中間の北側にある。学区は京王線に沿って北は浅川までの平坦部、南は多摩丘陵からなり、環境に恵まれ、高幡不動尊、百草園などの名勝がある。

4. 教育目標

憲法と教育基本法にのっとり、広い視野に立って平和で民主的な人間に育成することを目指して、次の目標を定める。

- ① みずから学び、真の学力を身につける人間に育てる。
- ② 心豊かで、みんなと協力できる人間に育てる。
- ③ からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に育てる。

◆教育目標を達成するための基本方針

- (1) 各教科、各領域の調和とそれぞれの充実により、学習の基礎的・基本的内容の定着を図る。
- (2) 教育相談室の一層の活用を図り生徒と教師、生徒相互の理解を深め、一人一人を生かす指導を充実する。
- (3) 学校週五日制の拡大に伴い、指導内容の精選、指導方法の工夫に努め、現行の教育水準を維持する。
- (4) 健康・安全の指導を充実、体位、体力の向上に努めるとともに、集団の一員としての自覚ある態度を育てる。
- (5) 教育環境を整え、生徒の自主的・自治的能力の育成に努め、明るく生き生きした校風を確立する。
- (6) 保護者、地域と連携し、その役割を明確にし、一体感のある指導態勢を高め、社会の信頼に応える。

◆指導の重点

(1) 各教科

自ら学ぶ意欲を高める指導を推進する。そのために

ア. 各教科、特に選択教科の指導内容の充実を図り、個性を重視した教育を推進する。

イ. ティームティーチング、体験的な学習、地域の教材を生かした教育活動等を重視し、基礎基本の徹底に努める。

ウ. 授業研究、授業公開を年間計画に具体的に位置づけ、教職員の研究意欲の高揚と、指導技術の向上、共有化を図る。

(2) 道徳

ア. 人権尊重の精神を基本に据え、自他を尊重し、認め合い、支え合い、励ましあう態度の育成に努める。

イ. 自然をいつくしむ心を育て、心の豊かさを培うとともに、環境改善に主体的に働きかける実践力を育てる。

ウ. 郷土を愛する心、地域社会の一員としての自覚を育む指導に努める。

(3) 特別活動

ア. 望ましい集団活動を育成し、自己実現をはかる能力の向上に努める。特に、生徒会活動、学級活動の活発化とともに、学年、学級単位の活動の創意工夫に努める。

イ. 自主性、自律性の向上を目指す指導の推進に努める。そのために自己理解の深化、集団の一員としての自覚の高揚、進んで生活課題の解決に取り組む態度の育成に努める。

ウ. 学校行事を体験的な学習の機会として生かし、個性、創造性の伸長に努める。

(4) その他の活動

ア. 校舎外の美化活動を通して、連帯感や奉仕の心を育てる。

イ. 生徒理解を一層深め、一人一人の心の居場所となる学級づくりを目指す。

ウ. 社会人講師の活用を積極的に推進し、社会性や広い視野に立った国際感覚を養う。

(5) 生活指導

評価の基準・方法を明確にし、主に次の事項を焦点化し、徹底する。

ア. 教育相談の手法を取り入れ、教師と生徒との心の触れ合いを深め、全教職員のまとまりのある指導を徹底する。

イ. 健康・安全についての理解を徹底し、規則正しい態度を身につけさせる。

ウ. 進んで協力し、責任を果たす態度を育てる。

エ. 集団生活のきまりを守り、明るい学校生活を送らせる。

オ. 余暇を有効に利用できるようにするため、地域との連携を一層深め主体的に行動できる態度を育てる。

(6) 進路指導

進路資料集「明日への展望」の活用を図りつつ、評価の基準方法を明確にし、主に次の事項の指導を徹底する。

ア. 3年間を見通した進路指導を整備し、適時、適切な指導を工夫する。

イ. 将来の希望や期待をもたせ、目標達成への意欲を高める。

ウ. 個性、能力の理解を深め、進路選択を適切に援助する。

5. 本年度の研究主題

平成6、7年度 文部省「生徒指導総合推進校」としての研究の継続、定着を図るべく、主題を「生徒理解の方法と実践」とし、評価の基準・方法を明確にしつつ、生徒理解の研究を深める。

6. 本校の特色

学校長の学校経営方針（安全、安心、安定）に基づき、全教職員の協力のもと、「見える学校、聞こえる学校、開かれた学校」を目指す。文部省の研究により、教職員の教育相談能力が高まり、生徒理解に立った指導が行きとどいている。地域との連携も深まり、極めて良好な協力関係ができている。

教職員は常に和の精神を堅持して、当面する多くの問題を解決し、教育内容の充実を図ってきた。特に、生徒一人一人の個性を伸ばし、能力を開発するために、厳しい中にも明るく、のびやかな雰囲気を大切にしている。その中で自ら考えさせ、自主的な行動のとれる生徒の育成を目指している。

7. その他（教職員の研究歴）

開 発 委 員	研 究 員	研 究 生
横溝 照夫（平成10 社会科）	熊沢 直孝（昭58. 保健体育）	石田 匡志（平6）中央研修
	澤田 昌善（平6. 社会）	石田 匡志（平8）海外派遣
	沖山 治（平7. 教育課題）	井田 久雄（平8）海外派遣
	横溝 照夫（平8. 教育課題）	石田 匡志（平10）長期研修生
	中川 尚美（平8. 国語書写）	
	石田 匡志（平9. 教育課題）	



学 校 名 日野市立大坂上中学校
所 在 地 日野市大坂上4-17-1
電 話 042-583-9755・9756・9696 FAX 042-583-9696
順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分
生 徒 数 男336(4)名 女284(3)名 計620(7)名
()内 心障学級生徒数

校長氏名 谷 合 明 雄

教頭氏名 鈴 木 直 也

1. 沿革の概要

- 昭55. 2. 1 初代 長谷川辰美校長着任
4. 1 日野市立大坂上中学校開校 教頭以下
教職員37名発令
4. 8 第1回入学式 272(2)名
5. 15 校舎・校庭工事完成
6. 6 体育館工事完成
6. 28 プール工事完成
7. 12 落成式挙行
8. 11 生徒標準服、校章・校旗制定
11. 1 体育館緞帳、暗幕工事完成
11. 8 校歌制定 校章、校旗、校歌発表会挙
行
昭56. 3. 9 第一回卒業式挙行(244名)
昭56. 5. 9 第一回PTA総会開催
昭57. 8. 27 日野市姉妹都市、米国レッド・ランド
市長本校を訪問
昭58. 3. 31 理科室、食堂、図書室、美術室、普通
教室4完成
5. 18 学校給食開始
昭61. 12. 4 タイ国営テレビ本校取材
昭63. 2. 6 日本テレビ本校取材
4. 1 第2代 名塚三雄校長着任
平元. 8. 25 体育館改装工事完了
平2. 11. 10 創立10周年記念式典
平3. 9. 30 米国コロラド州York, Jr. Highschool,
John. Dewey, Jr. Highschool,の2
校と姉妹校提携書交換
平4. 2. 17 日野市教育委員会研究奨励校として
「国際理解教育」学校・授業公開
4. 1 第3代 伴野博夫校長着任
7. 1 コンピューター室完成
11. 21 大坂上中地区育成会第1回総会
11. 28 校則改正臨時生徒総会開催
平7. 4. 1 第4代 谷合明雄校長着任
平8. 3. 18 教育相談室完成
平9. 4. 1 日野市研究奨励校
研究主題
「生き生きとした魅力ある学校を目指
して」
平10. 2. 27 同研究発表会
学校・授業公開
講師 大妻女子大学 金井 肇 教授
平10. 4. 1 東京都教育委員会指定
スクールカウンセラー配置校

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
長 谷 川 辰 美	昭55. 2 ～ 昭63. 3
名 塚 三 雄	昭63. 4 ～ 平4. 3
伴 野 博 夫	平4. 4 ～ 平7. 3
谷 合 明 雄	平7. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

現在地は日野の発祥の地として知られている。また、関東ローマ層の日野台地にあり、昭和11年日野工場地帯の中に設立された神鋼電機(株)のあと地に新設された中学校である。

学区内に日野自動車(株)をはじめ中小工場も多く、また実践女子大学、日野台高校と隣接しており、教育環境は良好である。

4. 教育目標

広い視野に立って、進んで自己を開拓し、向上しつづける人になろう。

- ① よく考え、進んで学ぼう。(知性)
- ② 思いやりの心を持ち、他につくそう(敬愛)
- ③ 心身を鍛え、全力でやりぬこう(健全)

＊ 本年度は、③を重点目標とする。

特殊学級の教育目標

- ① 自分で考え、判断し、自主的に行動する生徒を育成する。
- ② 生徒が楽しく、意欲的に授業に参加できるよう指導内容・指導法の工夫・改善に努める。特に、個に応じた指導を徹底する。
- ③ 生活に密着した教材を提供することにより実践的な学力が身に付くよう、教材研究に努めるとともに、教室や活動場所の環境設定を工夫する。
- ④ 生徒が通常の学級の活動に積極的に参加し、多くの友達が作れるよう交流の機会と場を工夫する。
- ⑤ 生徒が自分自身をしっかりみつめ、自己の良さを伸長できるよう援助助言に努める。特に、表現力や感性を磨くための行事や活動の工夫・改善に努める。

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- ① 授業規律の確立を図るとともに、具体物の制作や操作を主体とした学習活動、小集団による創造的、協力的活動を準備し、生徒の興味、関心、意欲を引き出す授業を展開する。その際、地域の自然や文化、歴史的事象の教材化にも配慮するようにする。
- ② 外国語科（英語）及び数学科でティームティーチングを採り入れ、生徒一人一人の個性や能力に応じたきめ細かな指導を推進し、基礎学力の定着を図る。
- ③ 学習に遅れがちな生徒への指導、個に対応した選択教科の内容・方法の検討など、生徒一人一人の実態に即した指導内容・指導方法の工夫・改善に努める。
- ④ 芸術教科においては、生徒の創造的な活動を重視し、豊かな心と感性を培う。
- ⑤ コンピュータ設備や学校図書館の効果的な活動を図るなどして情報教育を充実し、生徒の選択能力を伸長するとともに、さまざまな情報を主体的に選択・処理・活用していく能力の育成を図る。

イ 道徳

- ① 人権尊重の精神を徹底し、互いを認め合い、思いやる態度の育成を図る。
- ② 生徒の精神的な自立を援助し、事の善悪を正しく判断できる能力及び態度の育成を図る。
- ③ 社会の一員としての奉仕と感謝の心を培う。
- ④ 生徒のよりよく生きたいとの関心に応え、学校の全教育活動をととして生き方教育を充実させる。
- ⑤ 道徳の指導計画を整備するとともに、道徳の時間の確保に努める。

ウ 特別活動

- ① 主体的な実践活動を充実し、生徒の自主性や協調性を育て、豊かで創造的な学校生活を構築する。
- ② 体験的な学校行事をととして社会性を培い、豊かな感動や充実感を感得させる。
- ③ 歌声の響く学校づくりをととして、豊かな心と瑞々しい感性を養う。
- ④ 部活動（クラブ活動）の活性化や地域スポーツとの積極的な関連を図りながら、生涯体育の基礎づくりを推進する。
- ⑤ 心身障害学級との交流活動をととして、心障理解教育を推進する。

(2) その他の活動

ア 教師と生徒、生徒相互の人間関係を深め、受容的な雰囲気づくりを進めるとともに、学校生活に変化と潤いを与えるものとして、学年・学級の諸活動の充実を図る。

イ 落ち着きと潤いのある教育環境の実現のため、清掃・美化指導を徹底させる。

ウ 委員会や学級の係活動を組織的・計画的に行うとともに、リサイクル運動を強力に展開し、環境に配慮した望ましい行動のとれる生徒の育成を図る。

エ 各種委員会等の活動を活性化し、一人一人を生かす教育の充実を図る。

オ 外国人講師を招聘しての交流活動をととして、国際理解教育の推進を図る。

カ 地域の社会人講師を招聘しその生き方に学ぶ会を設定することにより、生徒の視野を広げ、生活感覚を深め、もって進路指導の一助とする。

キ 地区育成会や自治会との連携のもとに、施設・設備や地域の人材の活用を図り、地域に開かれた教育経営を展開する。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 生徒一人一人の自尊感情を高め、自らの生活は自ら律することの出来る態度と能力の育成を図る。
- ② 規律ある学校生活の実現のため、約束や規則を守る態度と基本的な生活習慣の育成に努める。
- ③ 言語に対する意識や関心を高め、時と場に応じた適切な言動ができるようにする。
- ④ 生徒一人一人との対話を重視し、生徒が納得する指導に努める。
- ⑤ 教育心理やカウンセリングの技法の研修を進め、学校教育相談についての理解を深めるとともに、教育相談室を活用し生徒一人一人の不安や悩みの解消に努める。
- ⑥ 指導すべき内容と方法について職員間で十分に共通理解を深め、学年や学級の枠を超えて一貫した指導ができるような指導体制の整備・充実を図る。
- ⑦ 不登校や登校拒否生徒への対応については、関係諸機関との相談や連携を図りつつ家庭や保護者と一体となった指導を展開し、問題の解消に努める。

イ 進路指導

- ① 生徒が自己理解を深め、自己の能力と適性を伸長し、広い視野と確かな目的意識をもって将来の進路を選択できるようきめの細かい援助・助言に努める。

- ② 生涯に渡ってたくましく、意欲的に生き抜く力を育てるために、小学校の指導の延長のもとに3年間を見通した系統的、発展的な指導を展開する。
- ③ 外国人留学生や社会人講師との啓発的交流活動をととして、自己の在り方・生き方に対する認識を深めさせるようにする。
- ④ 生徒の能力や適性、進路希望等に基づいて適切な進路選択ができるよう、進路指導計画の整備を図るとともに、指導内容・指導方法の工夫・改善に努める。

6. 本年度の研究主題

生き生きと魅力ある学校をめざして——一人一人の生徒に目を向けた指導——

7. 本校の特色

本校は一中と二中を母校とし、各方面の理解と協力により作られた近代的な設備の整った開校18年目の学校である。校舎内は非常に明るく、校庭には樹齢30年を超える桜、ヒマラヤスギが生え、校門には樹齢100年ともいわれる樺がそびえ、教育環境は非常に良い。日野台高校と隣接し、生徒は高校生活を窓越しに見て生活している。

開校以来、地域社会・家庭と協力して子どもの長所を生かし、本校の基礎固めに全校職員が力を結集して努力してきた。教職員の新しい校風をつくる意欲や父母の学校への期待・協力により、おちついた雰囲気のある学校となり、生徒が意欲的に活動する学校となった。58年度より学校給食が始まり396名入る食堂が完備し、各地よりの参観者がある。

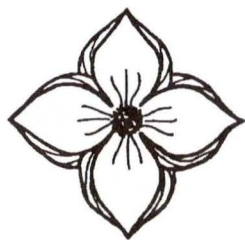
また本校は心身障害学級設置校であり、交流学習等教育内容の充実に努めている。幸いにして在学する生徒の一人一人が明るく生き生きとした姿で学んでいる。

平成十年度は、①研修会や授業研究を通じて指導技術を高め、授業の充実をはかり、②生徒会活動を重視し、計画的な指導により生徒の自浄能力と意識をさらに高め、③生活環境を全校あげて整備するとともに、家庭・地域との一層の連携を推進していく方針である。

以上のことを通じて教育目標に示された思いやりの心を持ち、他につくす心情を大切にする生徒の育成を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	中央研修 海外派遣等
1	谷 合 明 雄（50. 道 徳）	佐 藤 至 正（60. 技 術）	佐 藤 至 正（59. 進 路）
2	大 房 裕 司（2. 道 徳）	成 瀬 誠（60. 特 話）	谷 合 明 雄（61.9～ 道徳指導要領改訂）
3	宇 田 川 修（4. 心 障）	山 田 よ し 子（1. 音 楽）	谷 合 明 雄（4.～6. 道徳資料作成）
4	鈴 木 直 也（5. 保 体）	鈴 木 康 弘（1. 数 学）	谷 合 明 雄（5. 中央研修）
5	森 田 英 之（7. 教 育 課 題）	高 橋 陽 子（4. 美 術）	谷 合 明 雄（5. 文部省海外派遣）
6	新 名 美 恵 子（8. 学 校 保 健）	大 房 裕 司（6. 道 徳）	鈴 木 直 也（5. 中央研修）
7	安 里 喜 世 子（8. 心 障）	大 房 裕 司（10. 東 京 の 教 育 21）	大 房 裕 司（5. 若手教員海外派遣）
8	池 田 誠 喜（8. 保 体）		鈴 木 直 也（7. 都 海 外 派 遣）
9	高 野 和 美（9. 学 校 給 食）		池 田 誠 喜（9. 上 越 教 育 大 派 遣）
10	中 原 明 寿（9. 外 国 語）		
11	刀 禰 孝 司（10. 音 楽）		
12	堀 田 智 暁（10. 学 校 給 食）		



学 校 名 日野市立平山中学校
所 在 地 日野市平山4丁目21番地の3
電 話 042-593-3015
順 路 J R中央線豊田駅下車 徒歩18分
京王線 南平駅下車 徒歩10分
生 徒 数 男177名 女167名 計344名

校長氏名 辻 野 良 子

教頭氏名 中 野 秀 樹

1. 沿革の概要

- 昭55. 6. 14 校舎建設工事着工
昭56. 2. 1 初代校長 河野 寿忠着任
3. 26 校舎使用開始
4. 1 開校 乙戸教頭以下教諭29名 主査1名 市職員11名着任
4. 7 第一回入学式挙行（男子137名 女子140名 計277名 7学級）
5. 6 市内中学校最初の完全給食開始
5. 27 プール完成
8. 21 体育館完成
12. 25 校旗完成
昭57. 1. 7 校歌完成
2. 6 校歌、校章発表会
昭58. 1. 24 平山中PTA規約成立
4. 1 第二代校長 川崎 昭三着任
昭61. 4. 1 第三代校長 高木 宏文着任
平元 8. 31 図書室（四階）の改修完了
平3. 4. 1 第四代校長 北原 景昭着任
11. 9 10周年記念式典
平4. 4. 13 食堂建設工事完了
平5. 4. 26 パソコン室工事完了
平6. 4. 1 第五代校長 中根 勉着任
9. 1 下水道工事完了
平8. 8. 31 外壁補修工事完了
教育相談室設置工事完了
平10. 4. 1 第六代校長 辻野 良子着任

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
河 野 寿 忠	昭56. 2 ～ 昭58. 3
川 崎 昭 三	昭58. 4 ～ 昭61. 3
高 木 宏 文	昭61. 4 ～ 平3. 3
北 原 景 昭	平3. 4 ～ 平6. 3
中 根 勉	平6. 4 ～ 平10. 3
辻 野 良 子	平10. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

多摩丘陵北部に開けた低地に学校がある。校舎南側にある校庭の目先を京王線が走り、校舎北側は、堤防道路を隔てて浅川の河川敷につながっている。緑豊かで自然環境に恵まれている。

学区域は、東西の最長部分が約2.3km、南北が約1.5kmにわたり、学校は学区域の最も北東部に寄った位置にある。

近年、都市化の進行に伴い、ベッドタウンのたたずまいを濃くし、人口の急増がみられたが生徒数は昭和62年度を峠に漸減に向かっている。

保護者の教育への関心は極めて高い。

4. 教育目標

本校は、憲法・教育基本法の示すところに従い、学力・体力の基礎とゆたかな情操を身につけることを教育の基本とし、生涯を通じて学び続ける人間を育てることを目標とする。

- 一、考え、工夫する人
- 一、協力し、進んで働く人
- 一、自然や人々を、大切にする人
- 一、心身を鍛え、やりぬく人

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・教育内容を精選し、わかりやすく、楽しい学習を展開し、個性を伸ばす指導法や教材に工夫をこらす。
- ・教育機器や学校図書館の活用を通し、生徒が積極的に主体的に情報を選択する力を養うとともに、機器操作の基本を学ぶ機会を通し、情報社会への適応能力を高める。
- ・地域の自然、文化を教材や教育活動に取り入れる。
- ・基礎学力の充実を図り、日常の学校や家庭生活の中で、生徒が自主的に学習を進めることができるように、意欲を育てる習慣を身につけさせる。
- ・体験学習を通し情操教育を充実させ豊かな感性を養う。
- ・地域の教育への期待にこたえ、かつ基礎・基本の充実を図る観点から、第2学年の音楽、美術、第3学年の社会、理科、技術・家庭は上限の時数で実施する。また、外国語（英語）は、1年、

2年、3年とも1時間を学校選択として履修する。

イ. 道徳

- ・温かい人間愛を基礎とした望ましい人間関係をつくるよう、すべての人を尊重し、理解する心情の育成を図る。
- ・ものごとの善悪を正しく判断し、正しい事は勇氣をもって実践する態度を養う。
- ・全教育活動を通して、人間としての生き方についての自覚を深め道徳的实践力を育成する。

ウ. 特別活動

- ・生徒会・クラブ・部活動・学年・学級の諸活動への積極的な参加を通して、所属意識を高めると共に連帯感の精神を養い、責任感と実行力を身につけさせる。
- ・1年野外活動・2年スキー教室・3年修学旅行などを実施し、各学年の発達段階に応じた協力・思いやり・責任感等の心を育てるとともに、物事を計画的・組織的に進める能力や態度を養う。又今年度は、1年生にスキー移動教室を移行するため1. 2学年同時にスキー移動教室を実施する。

(2) その他の活動

- ・一人一人の能力や個性を生かす教育相談・個人面談・進路相談の実施をおしすすめる。
- ・基礎的な学力を身につけるための自主活動、補充学習、質問教室など計画的にすすめる。
- ・生徒会活動を通じて、浅川の清掃活動やリサイクル活動などボランティア活動を積極的にすすめる。また、地域の福祉施設との交流を深める。

(3) 生活指導、進路指導

ア. 生活指導

- ・生徒が主体的に運営する集会活動などを計画的に実践し、望ましい生活集団や態度を育て、集団の質を高める指導を行う。
- ・個人面談、教育相談などを通して、生徒理解を深め、教師と生徒、生徒相互の信頼関係を確立し、豊かな人間関係を育てる。
- ・全教職員が一致して指導する体制をつくって、問題傾向には早期に対応策を構じ、家庭や関係諸機関との連携を密にして、全生徒の健全育成に努める。

イ. 進路指導

- ・自己の特性を知って、その伸長に努め、適切な進路を選択できる能力を育てる。
- ・個々の生徒や各学年の発達段階、特性等を考慮して、3年間を見通した計画的、系統的な指導を実施する。

6. 本年度の研究主題

「生徒理解を深めるための指導法の工夫」

7. 本校の特色

生徒一人一人の個性を尊重し、生徒一人一人を大切にする教育を基本としている。

- 生徒が自信と誇りを持って生き生きと学んでいる学校
- 生徒のために力一杯やろうとする教師のいる学校
- 生徒を取り巻く教育環境のよい、活気に満ちた学校

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生	そ の 他
1	辻 野 良 子 (4 . 道 徳)	中 嶋 建 一 郎 (8 . 特 別 活 動)	坂 井 悦 子 (元 . 理 科)	
2	中 野 秀 樹 (6 1 . 社 会)		中 野 秀 樹 (3 . 社 会)	
3	川 井 信 義 (1 0 . 社 会)			

平成10年度 学校教育要覧

平成10年10月 発行

発 行 日野市教育委員会

編 集 日野教育委員会学校教育部指導室

東京都日野市神明一丁目12番地の1
電話 (042) 585-1111 (代)

印 刷 有限会社 ゆたか印刷

